

豊川市
教育振興に関するアンケート調査
結果報告書

令和3年3月

豊 川 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	市民	2
(1)	回答者属性	2
(2)	子どもの教育について	5
(3)	家庭・地域における教育について	82
2	児童・生徒	109
(1)	回答者属性	109
(2)	学校生活について	112
(3)	家や地域での生活について	125
III	自由意見	166

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和4年度から令和8年度までを計画期間とした新たな計画（第3期豊川市教育振興基本計画）策定の基礎資料として、市民の方々の教育に関する意識や実態を把握することを目的とするものです。

今回のアンケート調査では、経年比較による市民意識の変化を把握するために、平成27年度に実施したアンケートの設問項目を基本として、時代背景なども考慮しながら、新たに設問項目を追加して実施しました。

2 調査対象

- (1) 市 民 豊川市在住の16歳以上を無作為抽出
- (2) 児童・生徒 豊川市立小中学校に通う児童（小学6年生）、生徒（中学2年生）から無作為抽出

3 調査期間

令和2年12月1日から令和2年12月15日

4 調査方法

市民は、郵送による配布・回収、児童・生徒は、学校での直接配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000 通	914 通	45.7%
児童・生徒	1,135 通	1,123 通	98.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、個々の項目への回答比率がどのくらいであるかを見ていることから、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を除いているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。
- ・クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べた表やグラフを作成することで、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で着色しています。（無回答を除く）

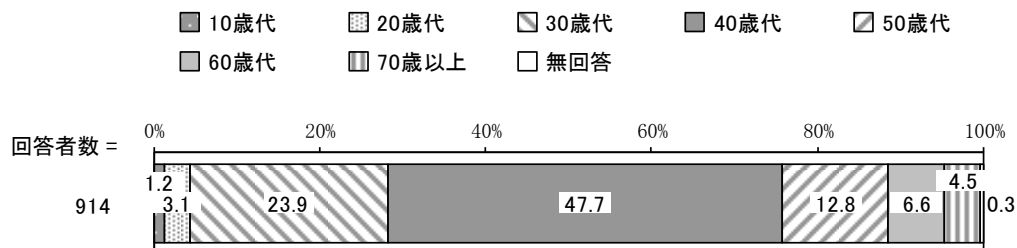
Ⅱ 調査結果

1 市民

(1) 回答者属性

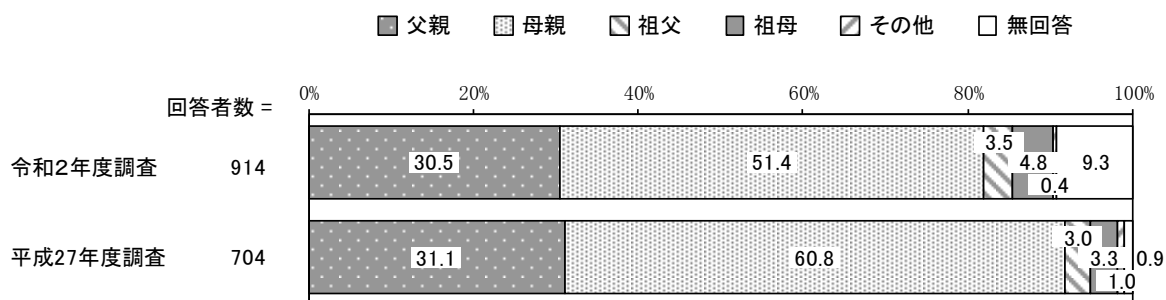
問1 あなたの年齢は何歳ですか。(令和2年12月1日現在)(1つに○)

「40歳代」の割合が47.7%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が23.9%、「50歳代」の割合が12.8%となっています。



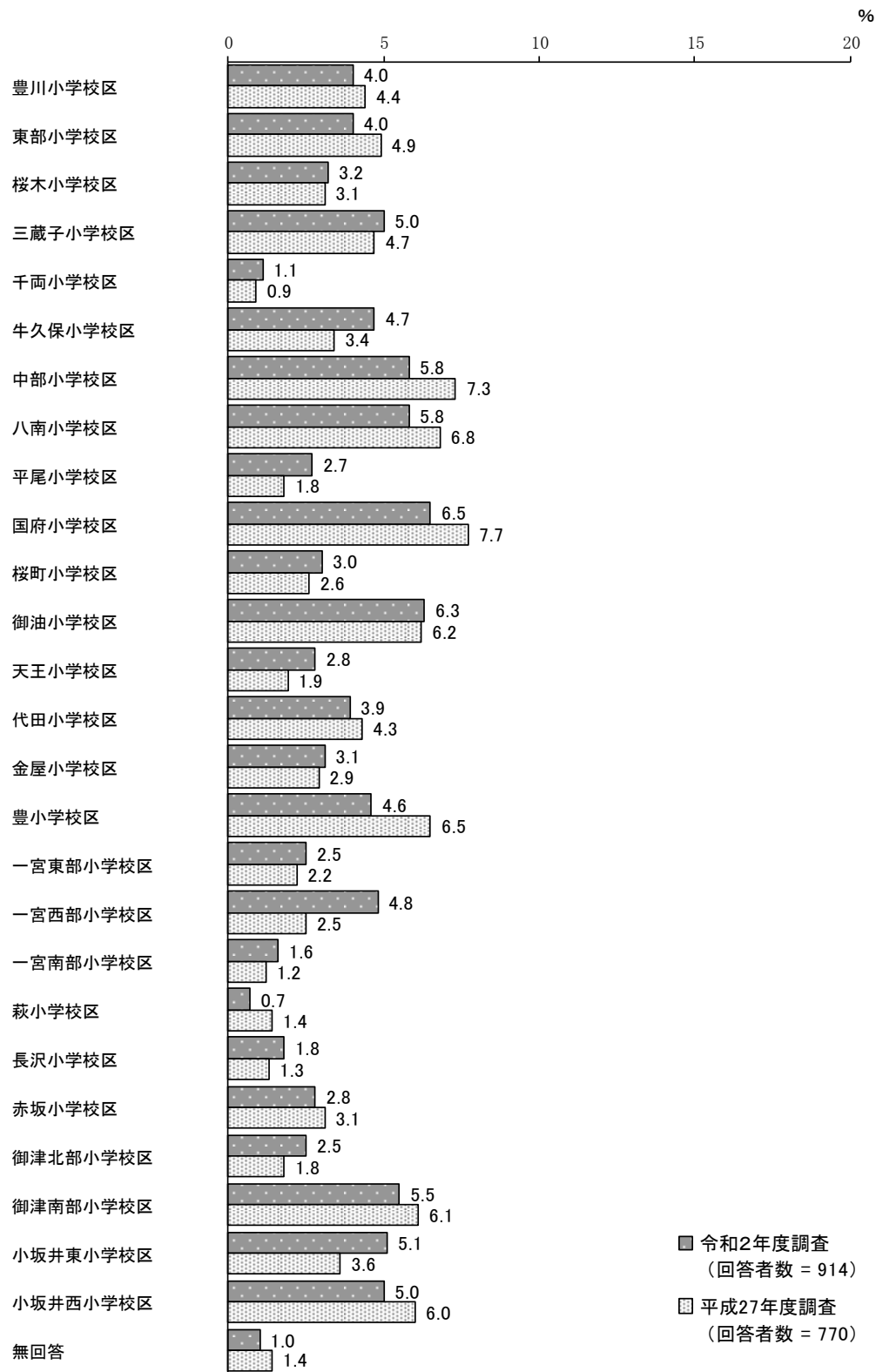
問2 お子さん(お孫さん)がいらっしゃる方にお伺いします。このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。お子さん(お孫さん)からみた関係でお答えください。(1つに○)

「母親」の割合が51.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が30.5%となっています。平成27年度調査と比較すると、「母親」の割合が減少しています。



問3 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つに○)

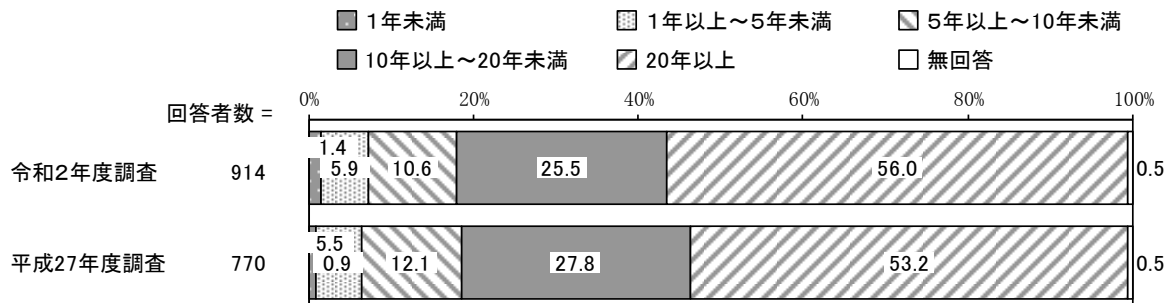
「国府小学校区」の割合が6.5%と最も高くなっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたは、豊川市に住んで何年になりますか。(令和2年12月1日現在)(1つに○)

「20年以上」の割合が56.0%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が25.5%、「5年以上～10年未満」の割合が10.6%となっています。

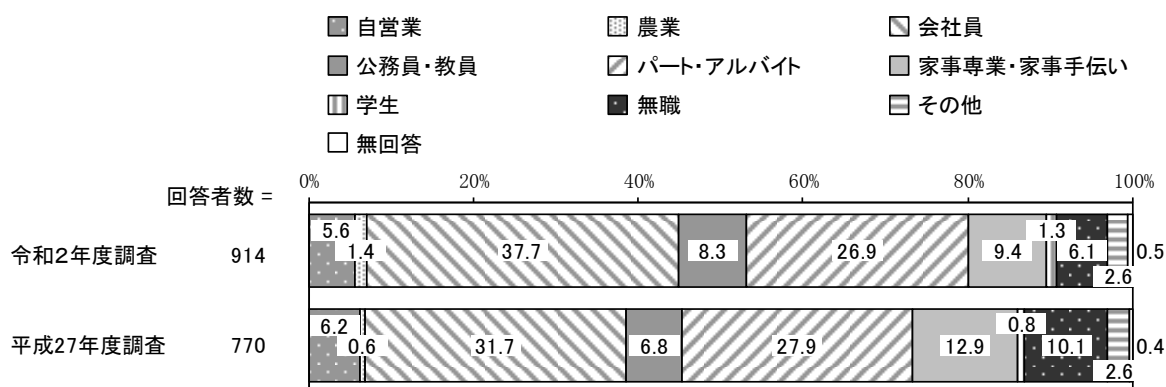
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

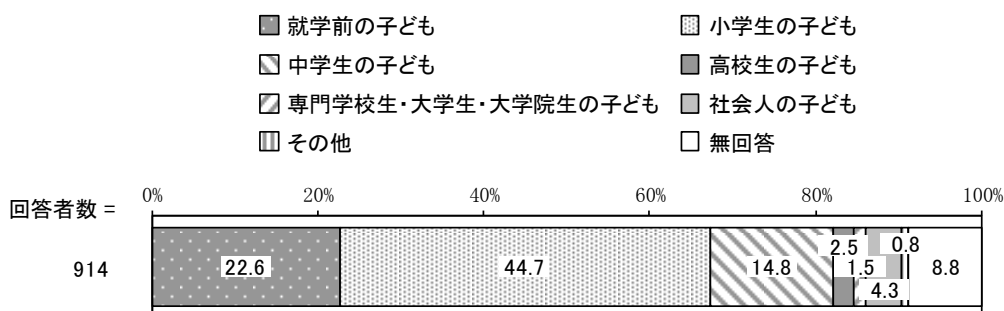
「会社員」の割合が37.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が26.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「会社員」の割合が増加しています。



問6 お子さん(お孫さん)がいらっしゃる方にお伺いします。一番下のお子さん(お孫さん)は次のどちらに該当しますか。(1つに○)

「小学生の子ども」の割合が44.7%と最も高く、次いで「就学前の子ども」の割合が22.6%、「中学生の子ども」の割合が14.8%となっています。

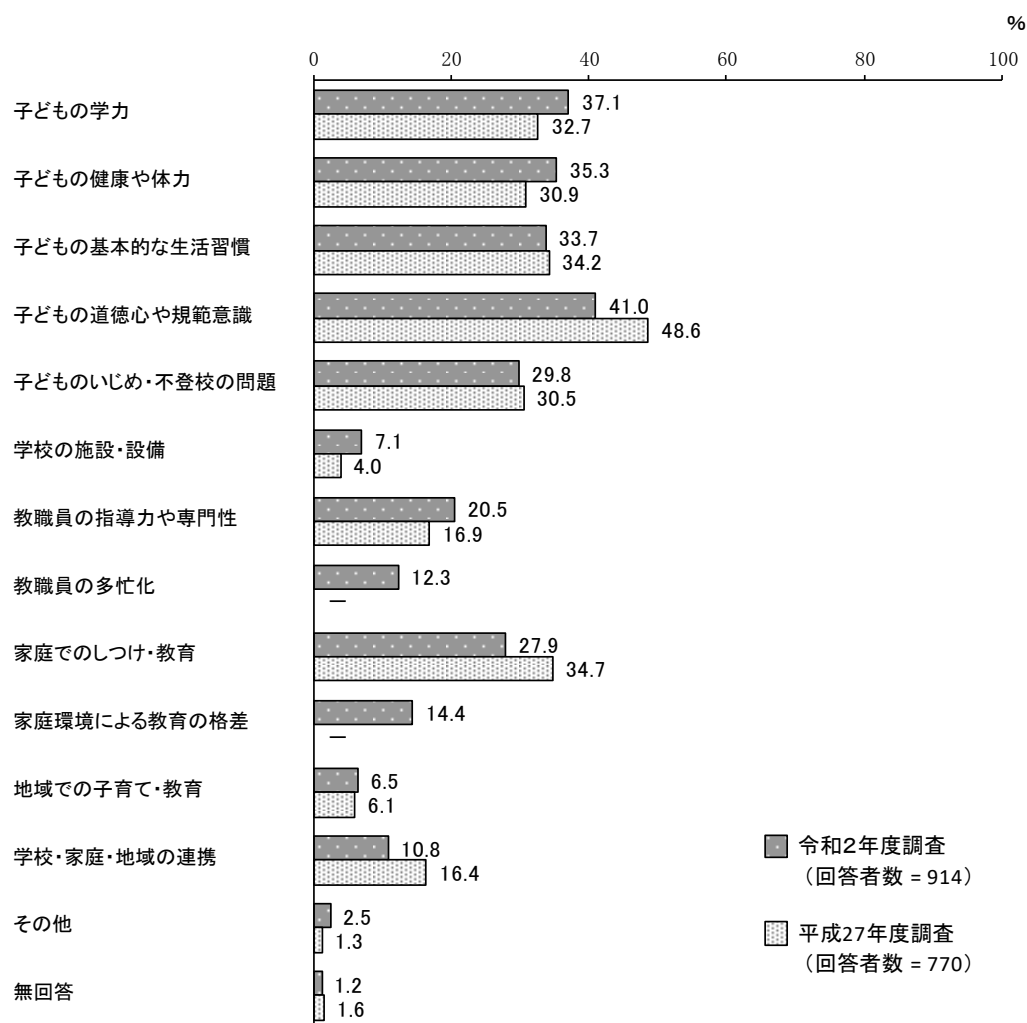


(2) 子どもの教育について

問7 子どもの教育について、あなたが課題だと感じることは何ですか。(主なものを3つまで○)

「子どもの道徳心や規範意識」の割合が41.0%と最も高く、次いで「子どもの学力」の割合が37.1%、「子どもの健康や体力」の割合が35.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもの道徳心や規範意識」、「家庭でのしつけ・教育」、「学校・家庭・地域の連携」の割合が減少しています。



※前回調査に「教職員の多忙化」、「家庭環境による教育の格差」の選択肢はありません。

【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が、就学前の子ども、高校生の子どもの割合が高くなっています。

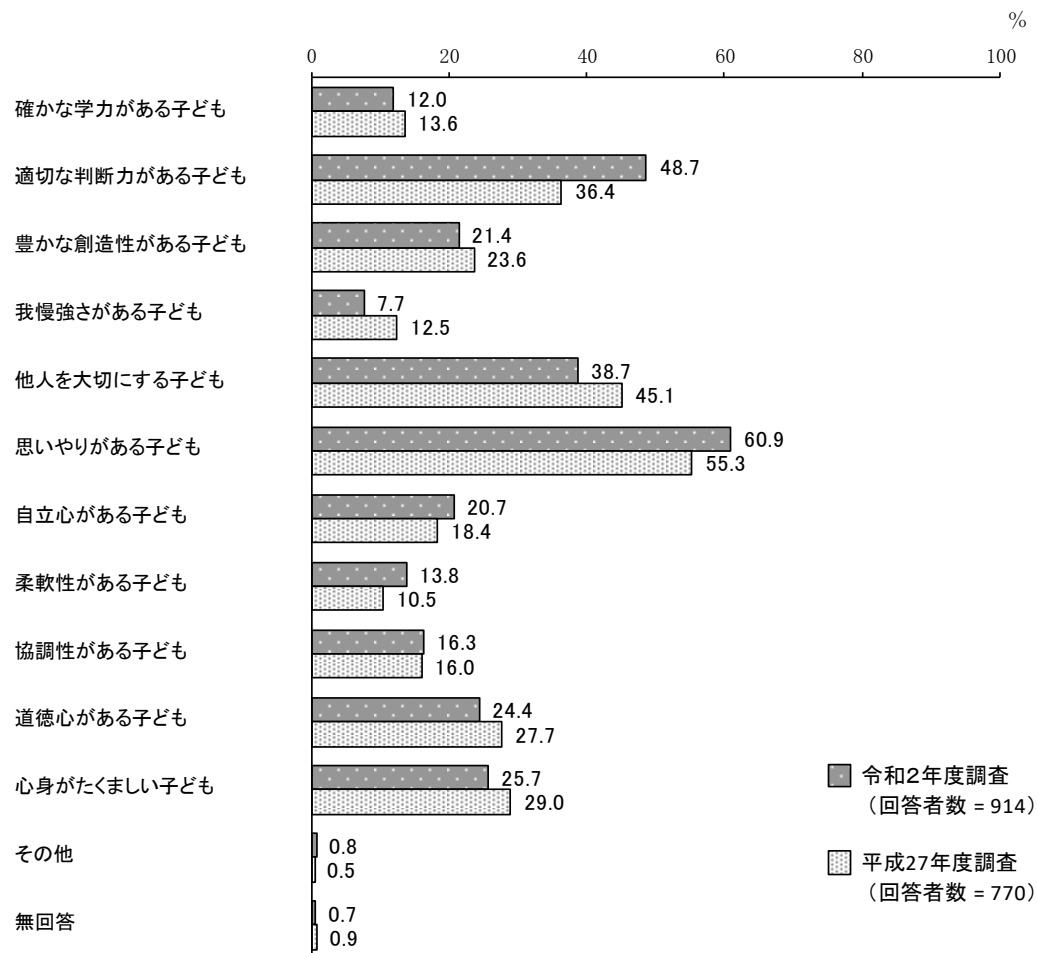
単位：％

区分	有効回答数 (件)	子どもの学力	子どもの健康や体力	子どもの基本的な生活習慣	子どもの道徳心や規範意識	子どものいじめ・不登校の問題	学校の施設・設備	教職員の指導力や専門性	教職員の多忙化	家庭でのしつけ・教育	家庭環境による教育の格差	地域での子育て・教育	学校・家庭・地域の連携	その他	無回答
就学前の子ども	207	29.5	37.7	39.6	43.0	32.9	4.3	18.4	11.1	31.9	14.5	8.2	11.1	1.9	1.0
小学生の子ども	409	43.3	39.1	34.7	40.3	27.6	7.8	21.8	11.0	27.1	11.7	6.4	9.0	2.0	0.5
中学生の子ども	135	43.7	32.6	30.4	40.7	23.7	9.6	25.9	5.9	23.0	17.8	5.9	11.9	3.7	0.7
高校生の子ども	23	26.1	30.4	39.1	39.1	17.4	8.7	30.4	13.0	21.7	13.0	—	13.0	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	50.0	21.4	28.6	64.3	42.9	14.3	21.4	14.3	21.4	14.3	7.1	—	—	—
社会人の子ども	39	25.6	20.5	28.2	43.6	33.3	2.6	20.5	17.9	33.3	25.6	2.6	33.3	5.1	—

問 8 あなたは、豊川市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。（主なもの3つまで○）

「思いやりがある子ども」の割合が60.9%と最も高く、次いで「適切な判断力がある子ども」の割合が48.7%、「他人を大切にする子ども」の割合が38.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「適切な判断力がある子ども」、「思いやりがある子ども」の割合が増加しています。一方、「他人を大切にする子ども」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

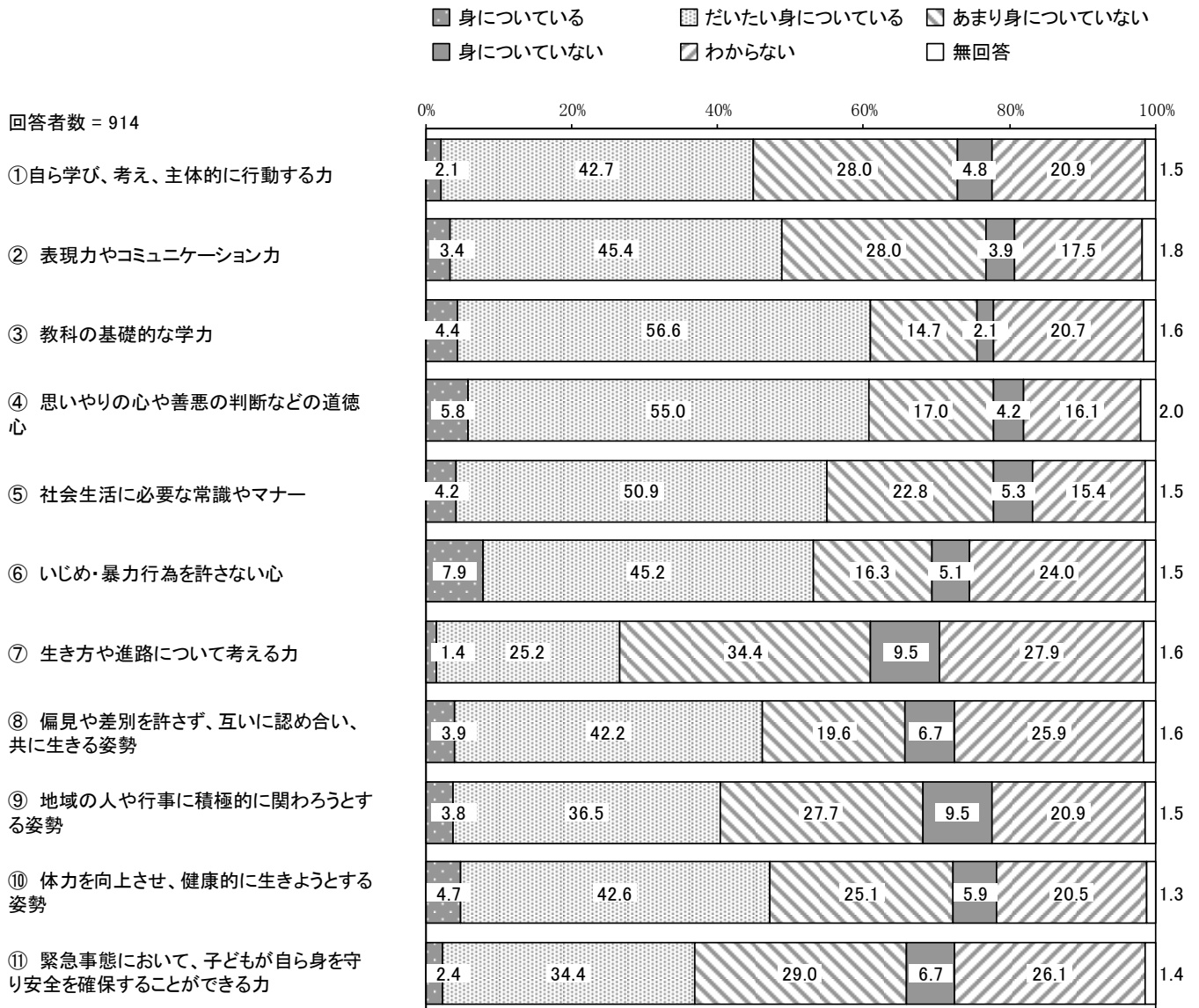
子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「道德心がある子ども」の割合が、高校生の子どもの「適切な判断力がある子ども」の割合が、就学前の子ども、小学生の子どもで「思いやりがある子ども」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	確かな学力がある 子ども	適切な判断力がある 子ども	豊かな創造性がある 子ども	我慢強さがある 子ども	他人を大切にする 子ども	思いやりがある 子ども	自立心がある 子ども	柔軟性がある 子ども	協調性がある 子ども	道德心がある 子ども	心身がたくましい 子ども	その他	無回答
就学前の子ども	207	5.8	44.9	23.2	11.6	43.5	63.8	23.2	12.6	14.5	19.8	30.4	1.0	1.0
小学生の子ども	409	14.7	49.1	21.3	5.1	34.7	66.0	18.3	15.2	14.7	24.2	25.9	1.0	0.5
中学生の子ども	135	11.9	54.1	17.0	7.4	43.0	54.8	23.7	14.8	21.5	24.4	21.5	—	—
高校生の子ども	23	8.7	56.5	21.7	8.7	34.8	52.2	30.4	8.7	30.4	17.4	17.4	4.3	—
専門学校生・ 大学生・大学院生の子ども	14	21.4	35.7	21.4	14.3	28.6	57.1	21.4	—	14.3	57.1	21.4	—	—
社会人の子ども	39	12.8	51.3	33.3	7.7	38.5	51.3	17.9	12.8	23.1	23.1	28.2	—	—

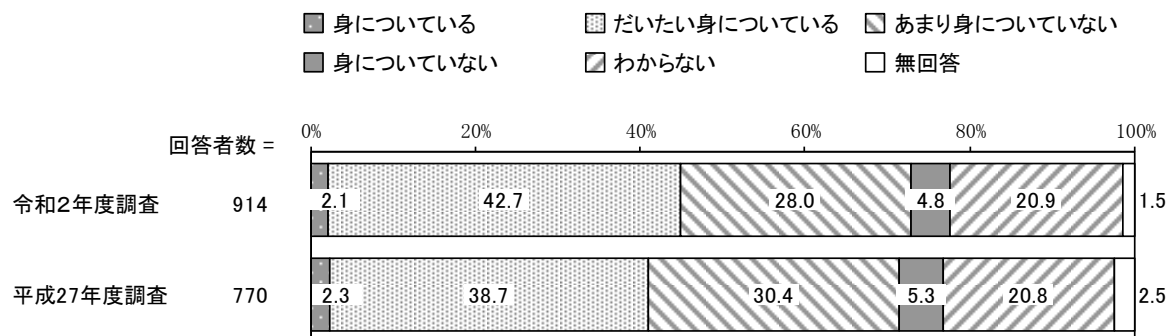
問9 教育を通じて、豊川市の子どもたちには、次のような能力や態度が実際に身についていると思いますか。(①～⑪の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

『③教科の基礎的な学力』、『④思いやりの心や善悪の判断などの道德心』で「身についている」と「だいたい身についている」をあわせた“身についている”の割合が高く、6割を超えています。一方、『⑦生き方や進路について考える力』で「あまり身につけていない」と「身につけていない」を合わせた“身につけていない”の割合が高く、4割を超えています。



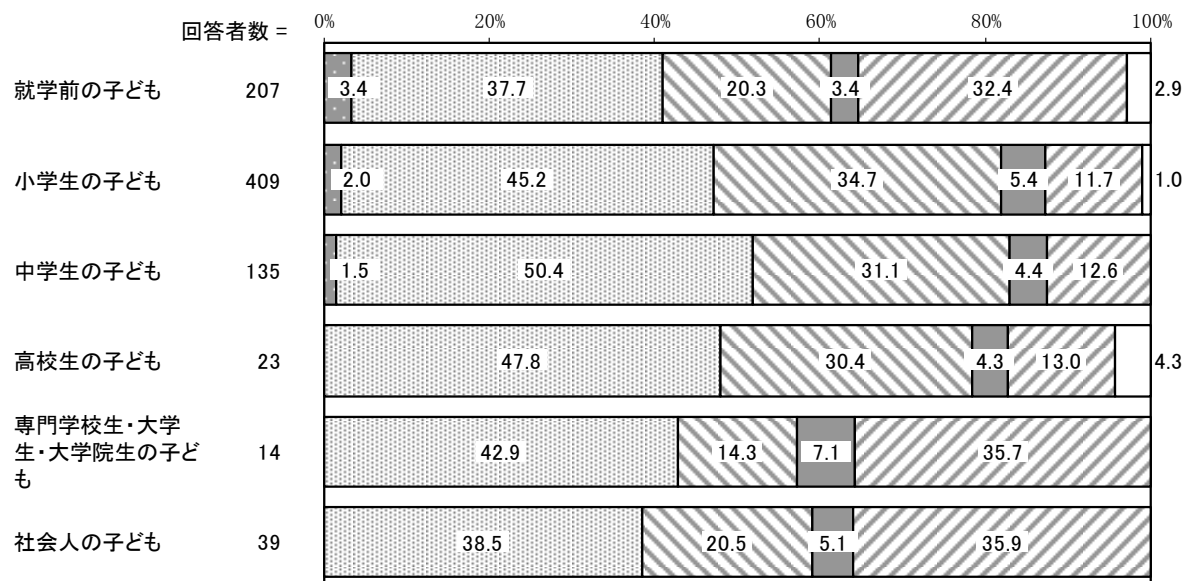
① 自ら学び、考え、主体的に行動する力

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



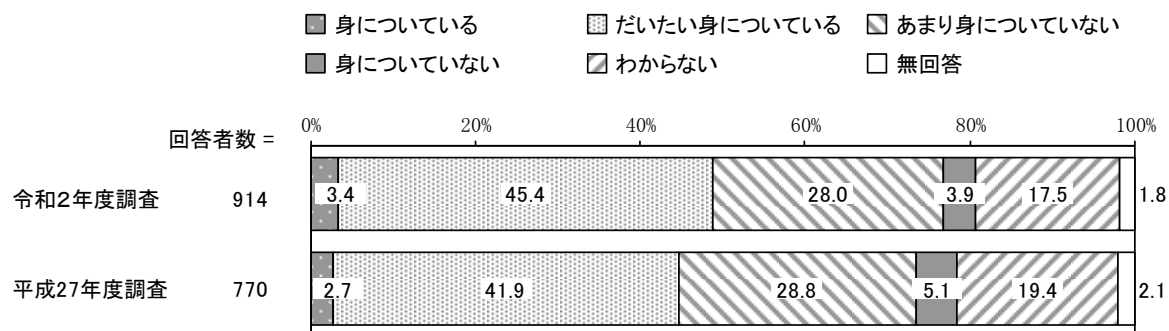
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学生の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



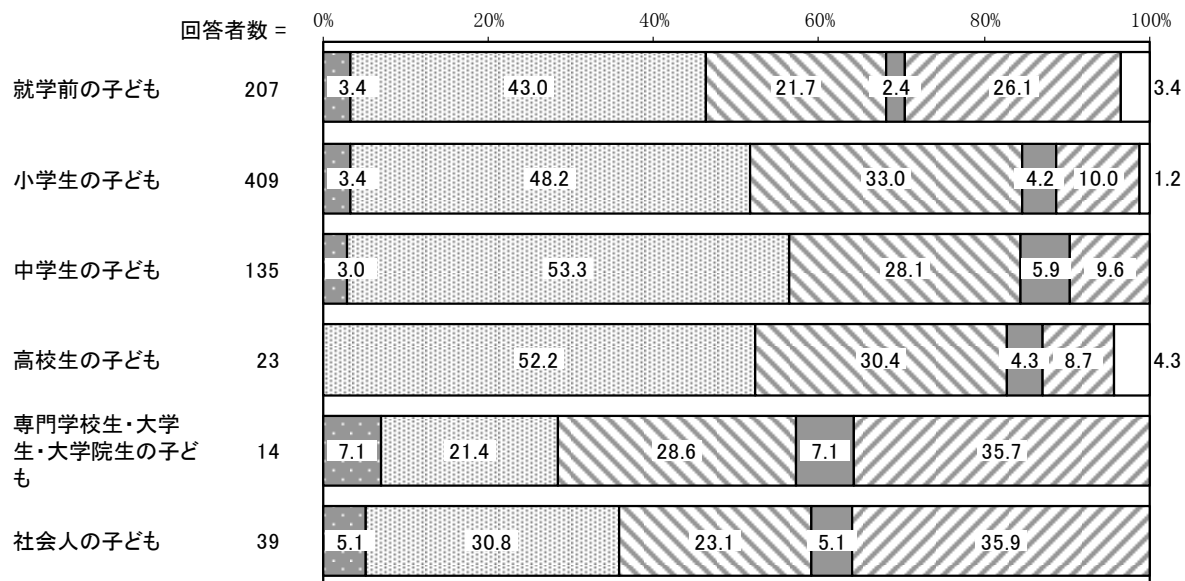
② 表現力やコミュニケーション力

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



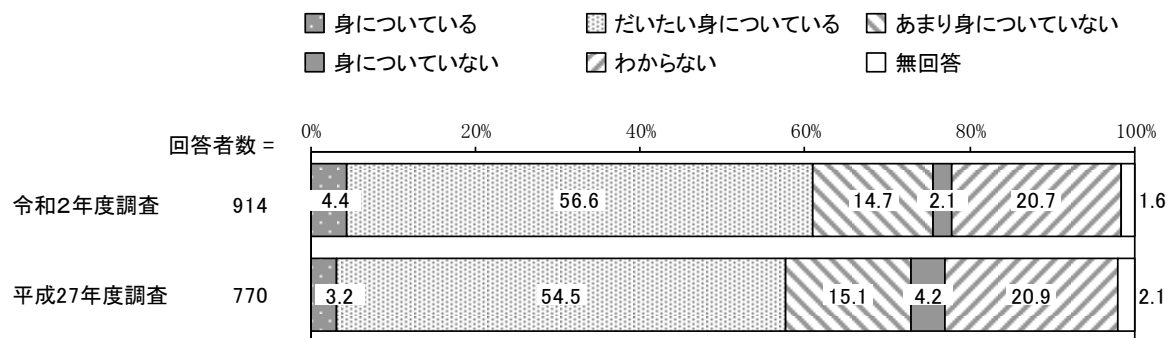
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学生の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



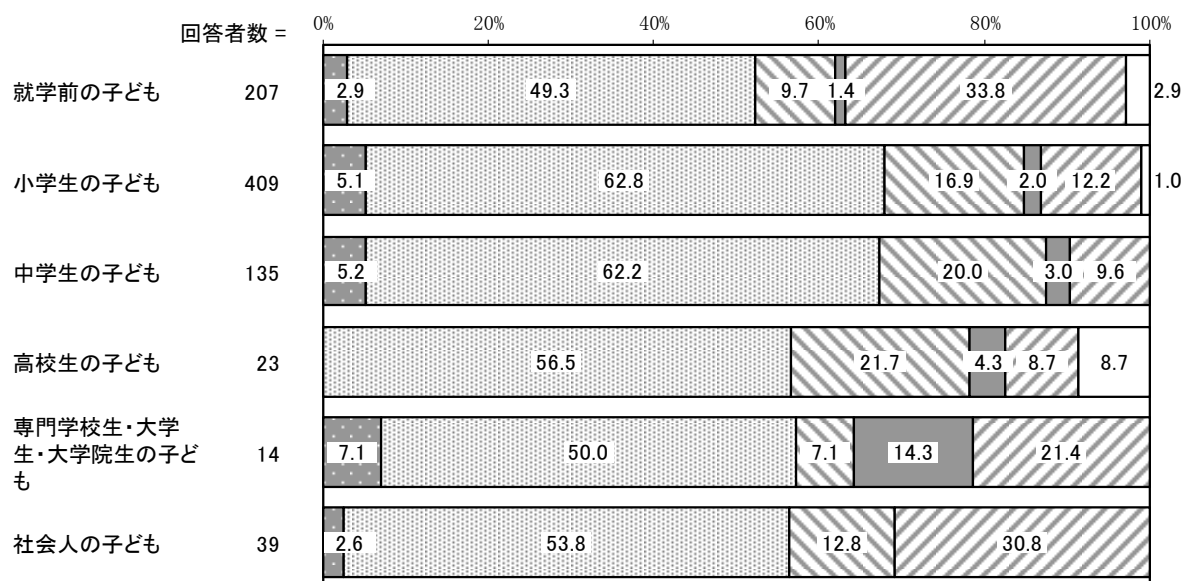
③ 教科の基礎的な学力

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



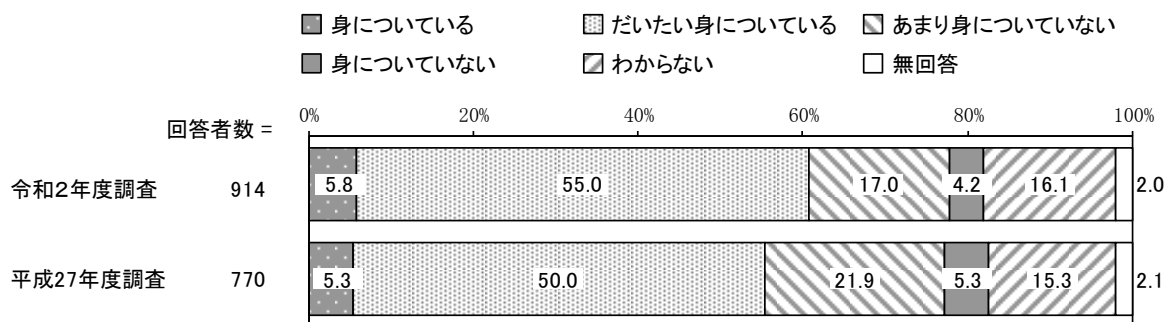
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子ども、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



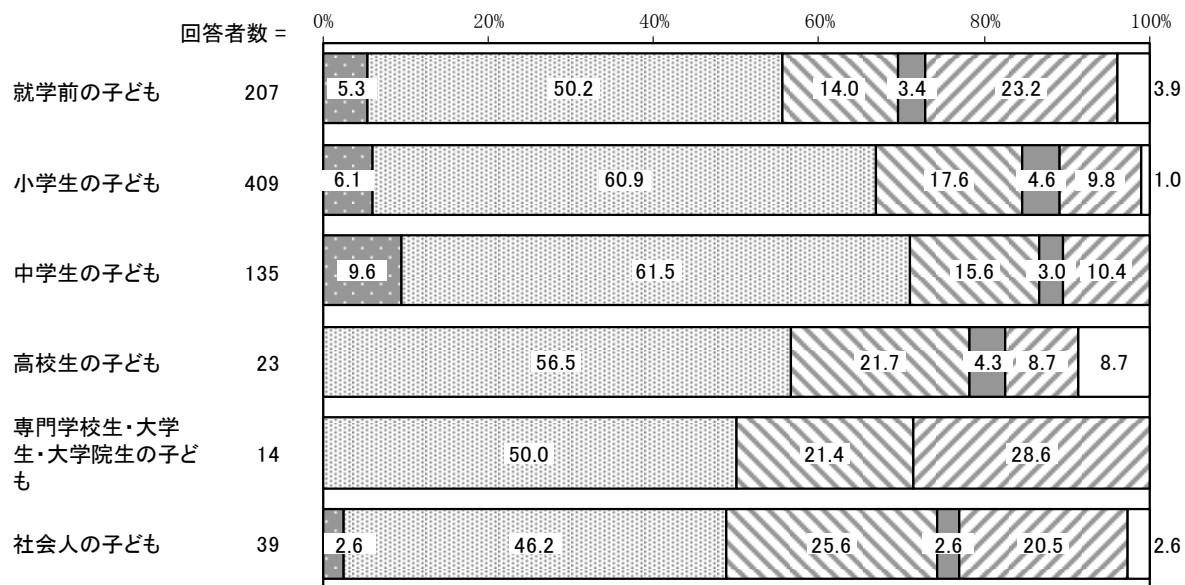
④ 思いやりの心や善悪の判断などの道德心

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



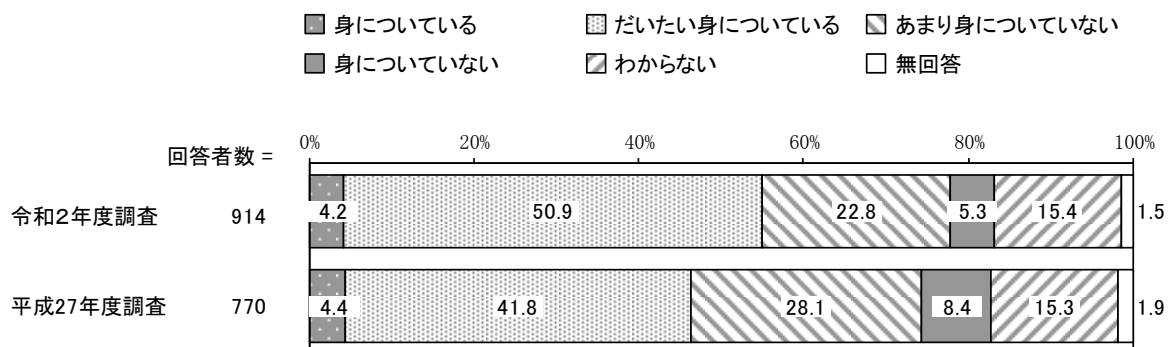
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、社会人の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



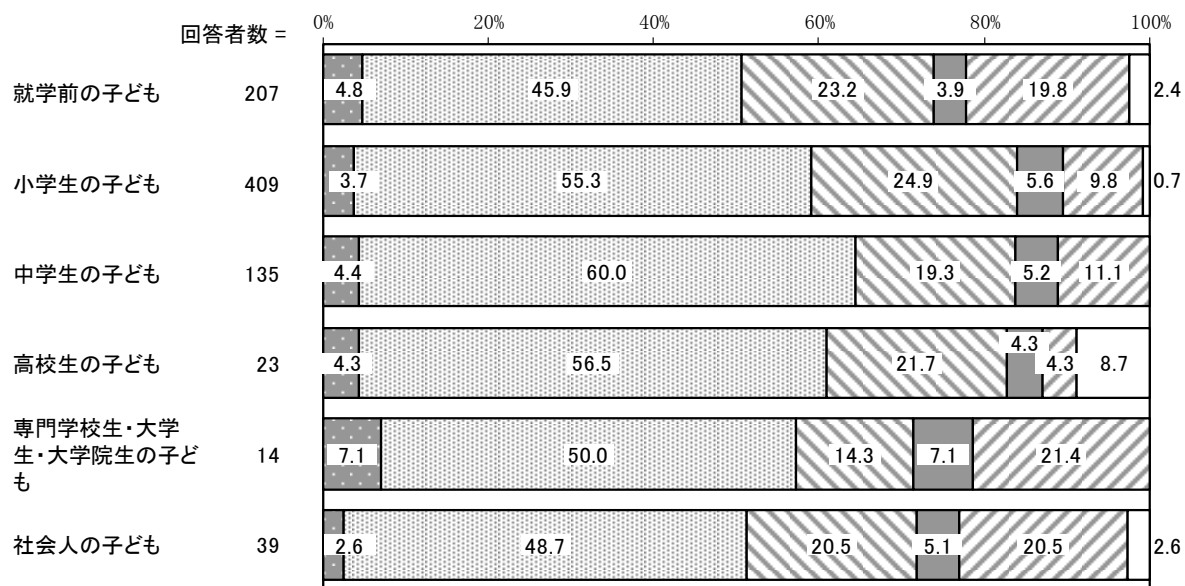
⑤ 社会生活に必要な常識やマナー

平成27年度調査と比較すると、「だいたい身についている」の割合が増加しています。一方、「あまり身についていない」の割合が減少しています。



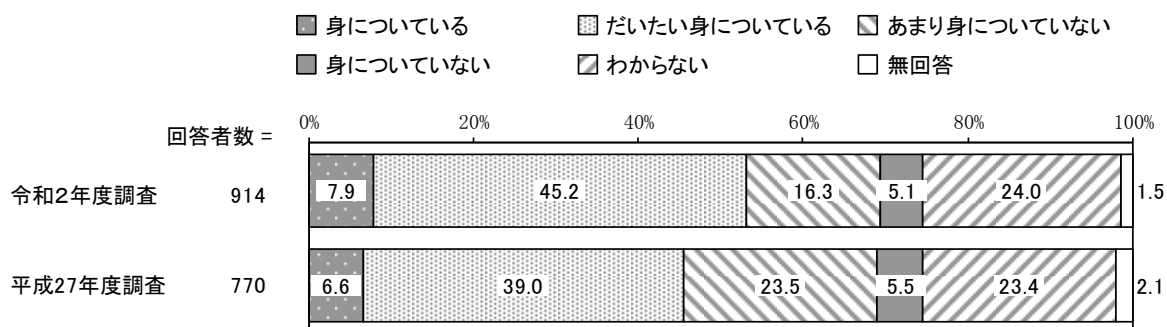
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学生の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



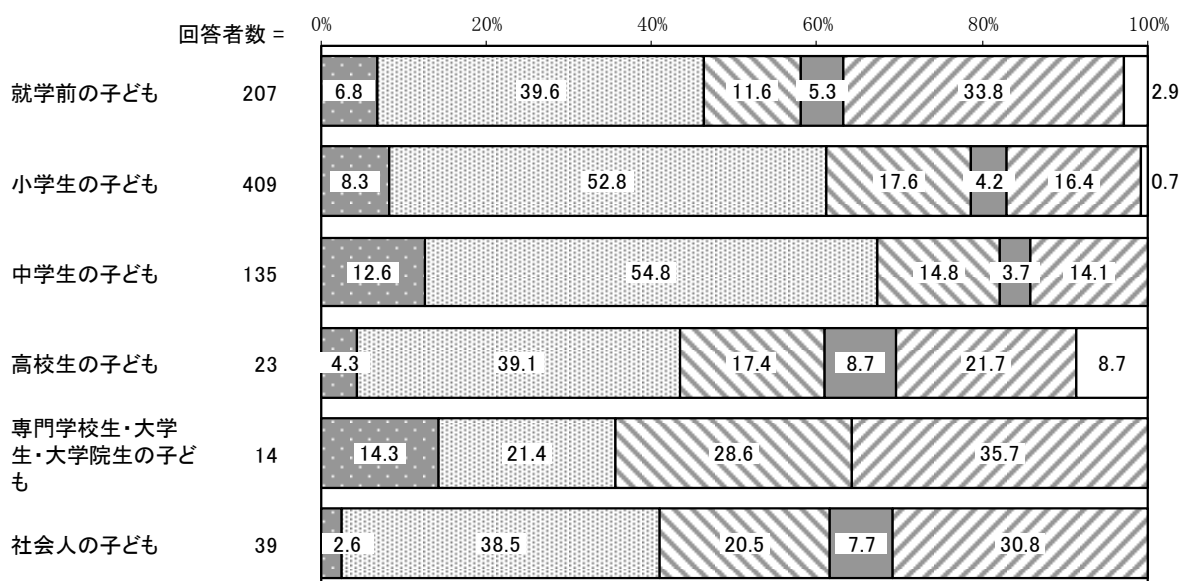
⑥ いじめ・暴力行為を許さない心

平成27年度調査と比較すると、「だいたい身についている」の割合が増加しています。一方、「あまり身についていない」の割合が減少しています。



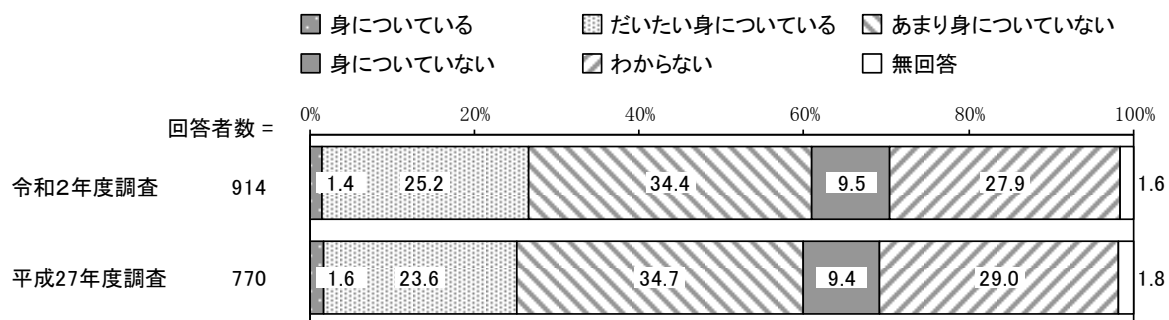
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「あまり身についていない」の割合が高くなっています。



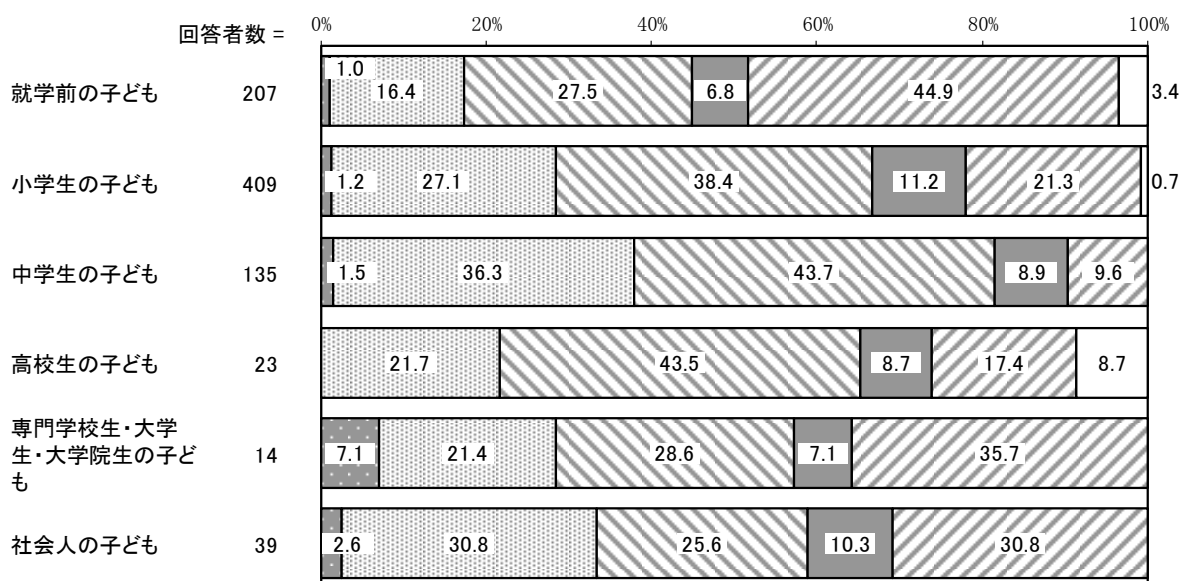
⑦ 生き方や進路について考える力

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



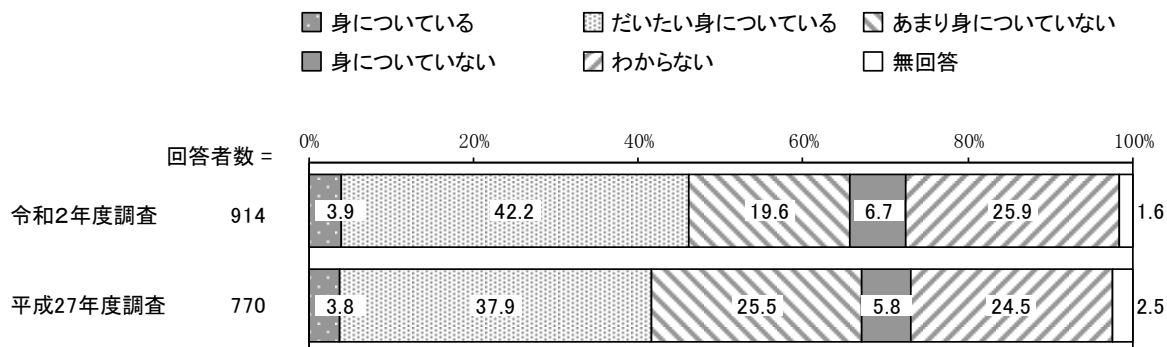
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生の子ども、高校生の子どもの「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



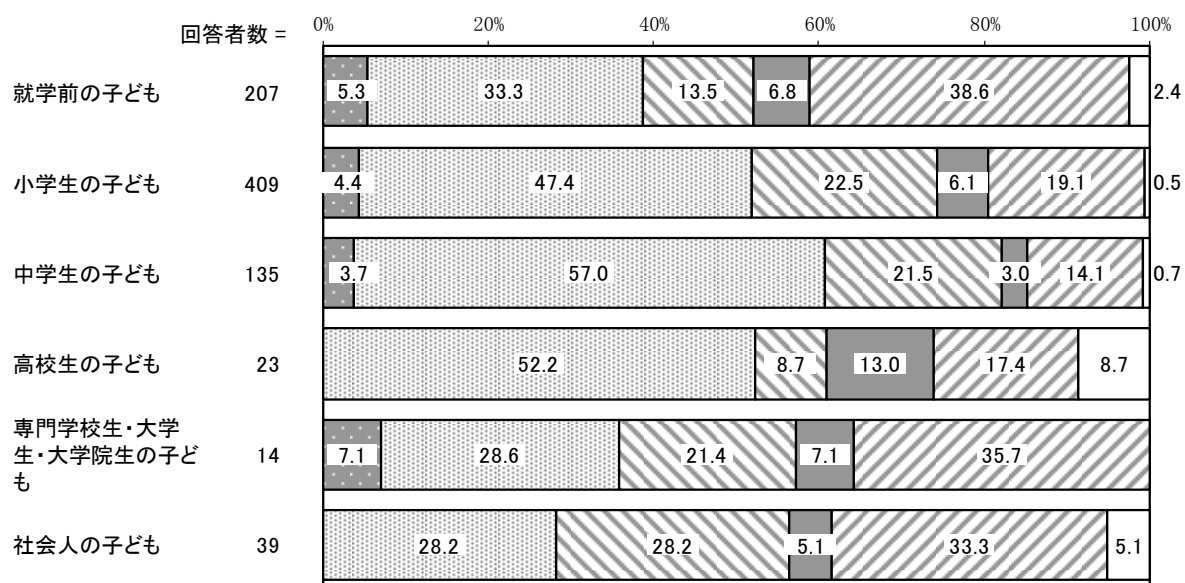
⑧ 偏見や差別を許さず、互いに認め合い、共に生きる姿勢

平成 27 年度調査と比較すると、「あまり身についていない」の割合が減少しています。



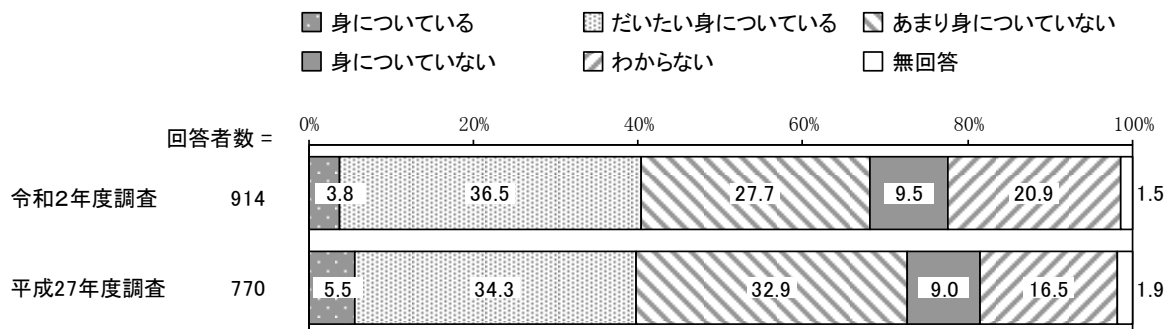
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、社会人の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



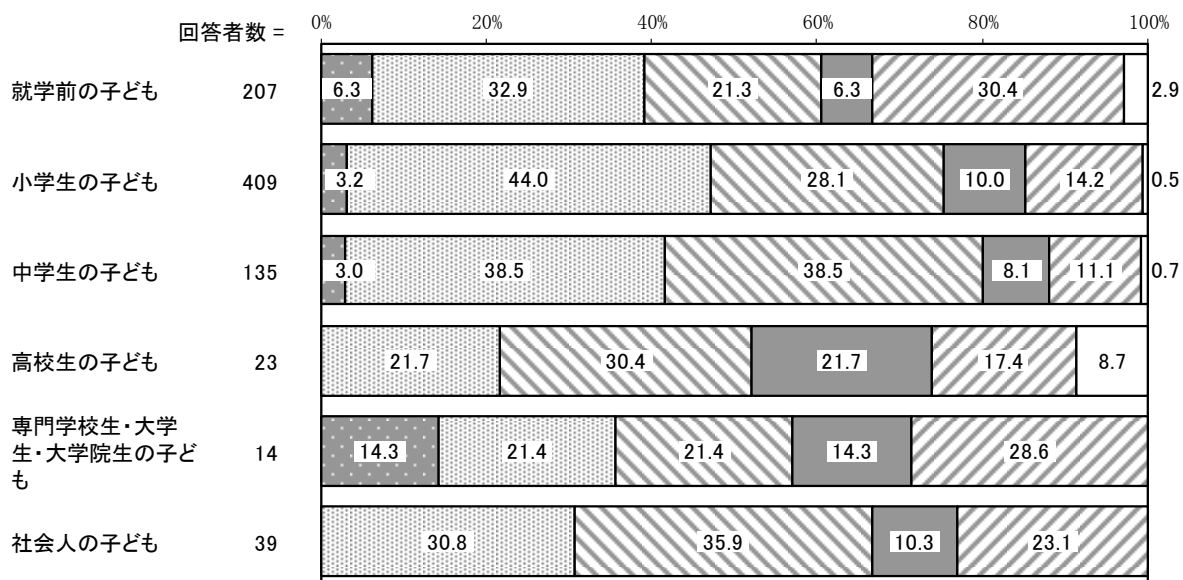
⑨ 地域の人や行事に積極的に関わろうとする姿勢

平成27年度調査と比較すると、「あまり身についていない」の割合が減少しています。



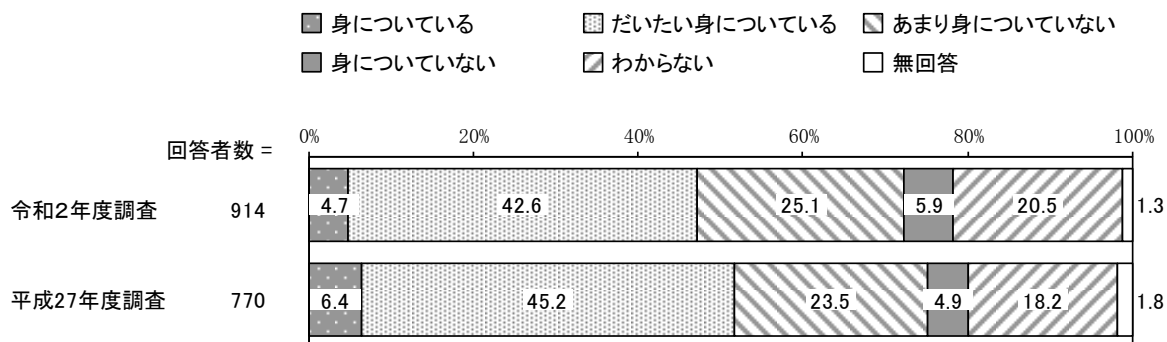
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



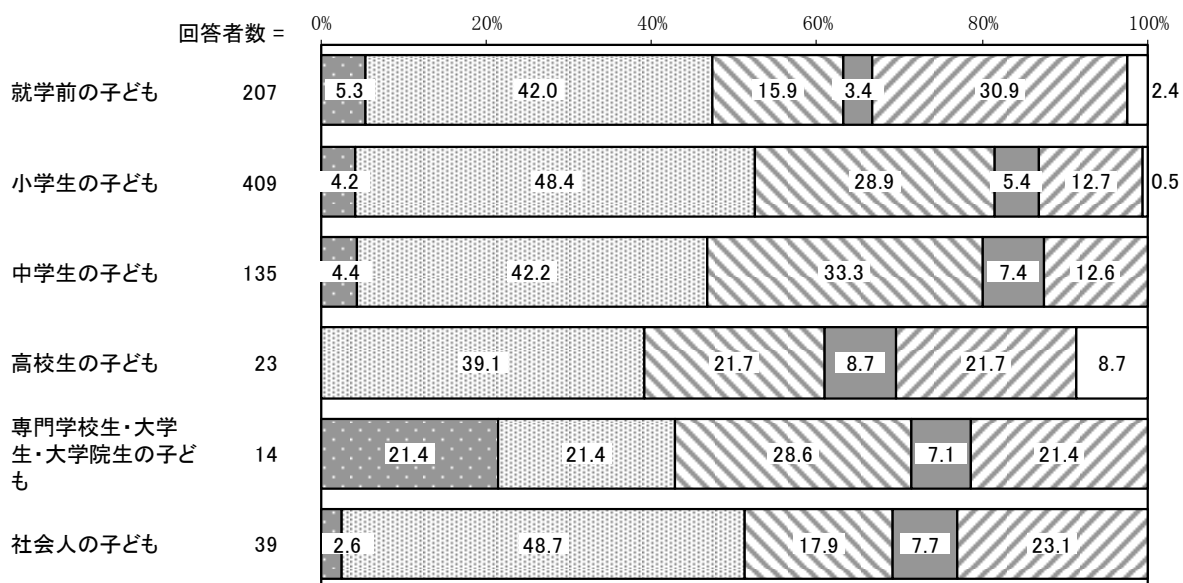
⑩ 体力を向上させ、健康的に生きようとする姿勢

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



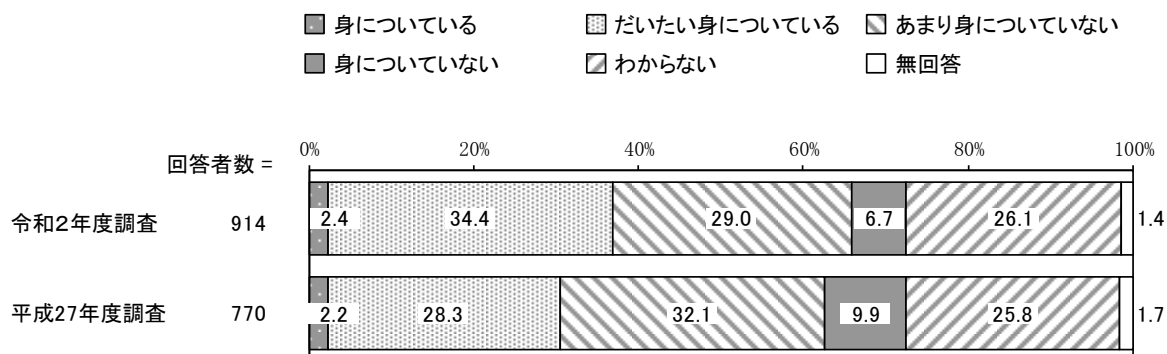
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



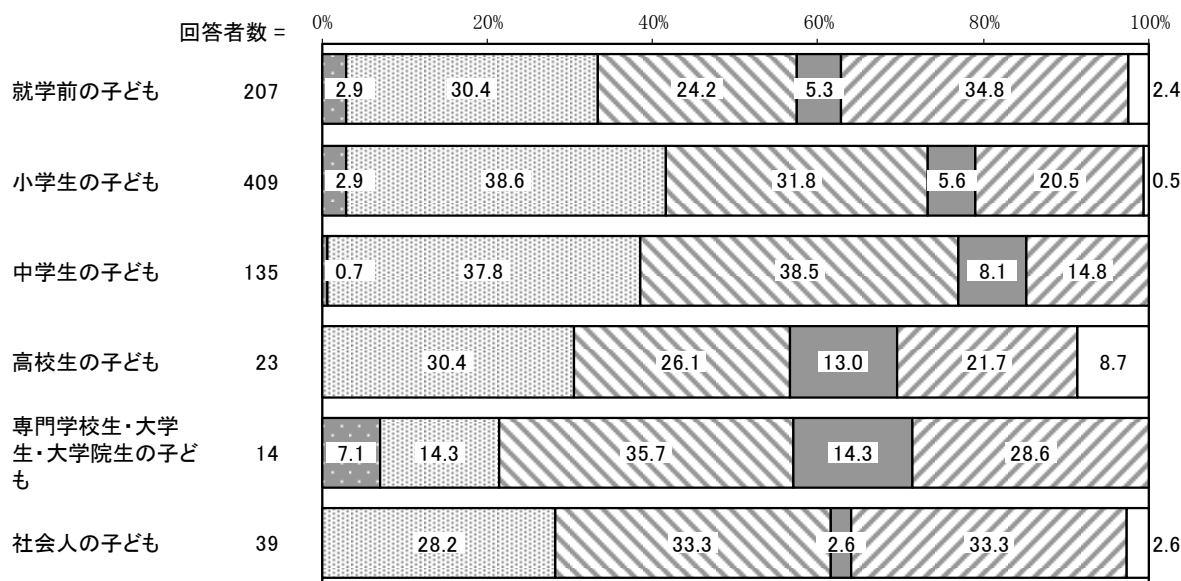
⑪ 緊急事態において、子どもが自ら身を守り安全を確保することができる力

平成 27 年度調査と比較すると、「だいたい身についている」の割合が増加しています。



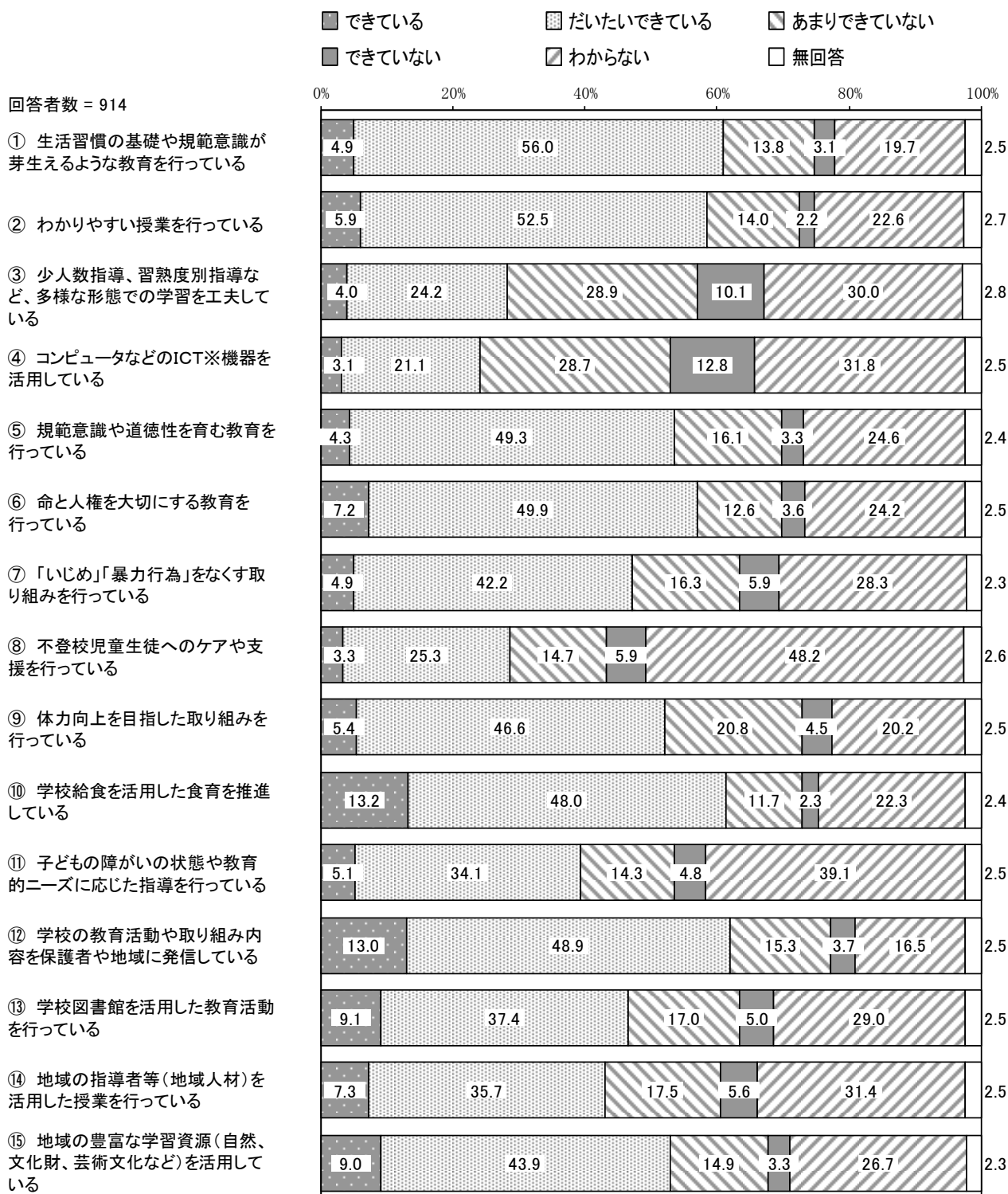
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「身についている」と「だいたい身についている」を合わせた“身についている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「あまり身についていない」と「身についていない」を合わせた“身についていない”の割合が高くなっています。



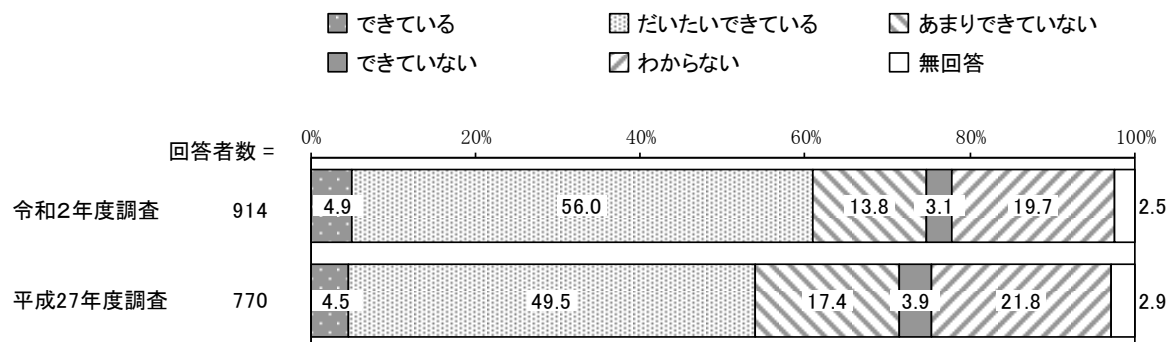
問 10 豊川市の学校教育において、次のような取り組みについて、できていると思いますか。お子さんがいらっしゃる方も、わかる範囲でお答えください。(①～⑮の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

『①生活習慣の基礎や規範意識が芽生えるような教育を行っている』、『⑩学校給食を活用した食育を推進している』、『⑫学校の教育活動や取り組み内容を保護者や地域に発信している』で「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高く、6割を超えています。一方、『③少人数指導、習熟度別指導など多様な形態での学習を工夫している』、『④コンピュータなどのICT※機器を活用している』で「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高く、約4割となっています。



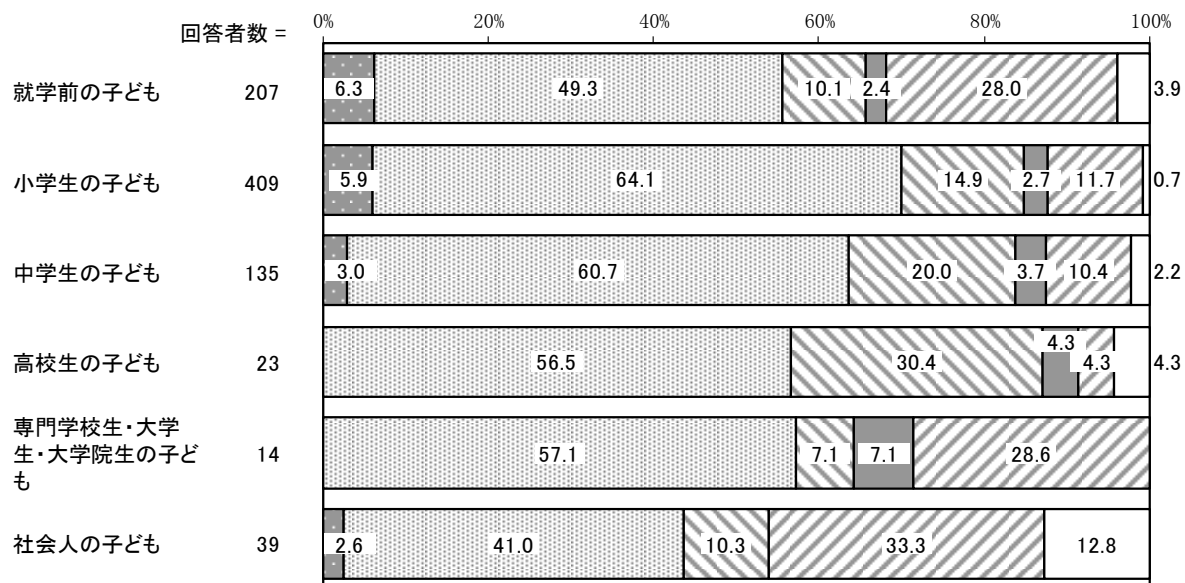
① 生活習慣の基礎や規範意識が芽生えるような教育を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が増加しています。



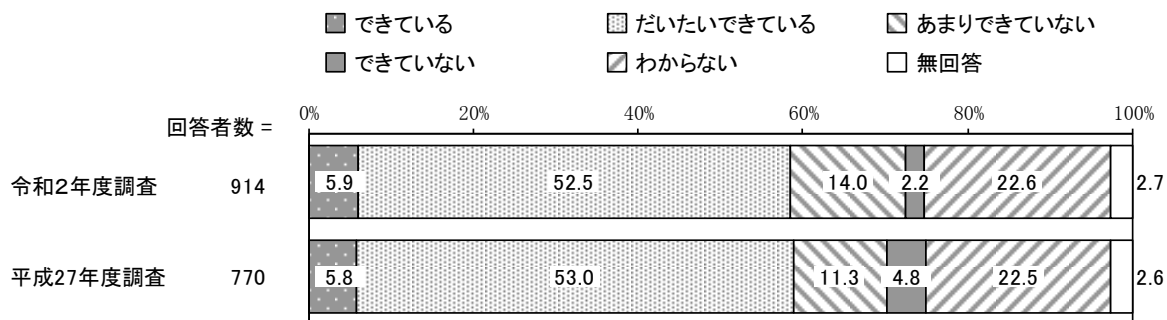
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



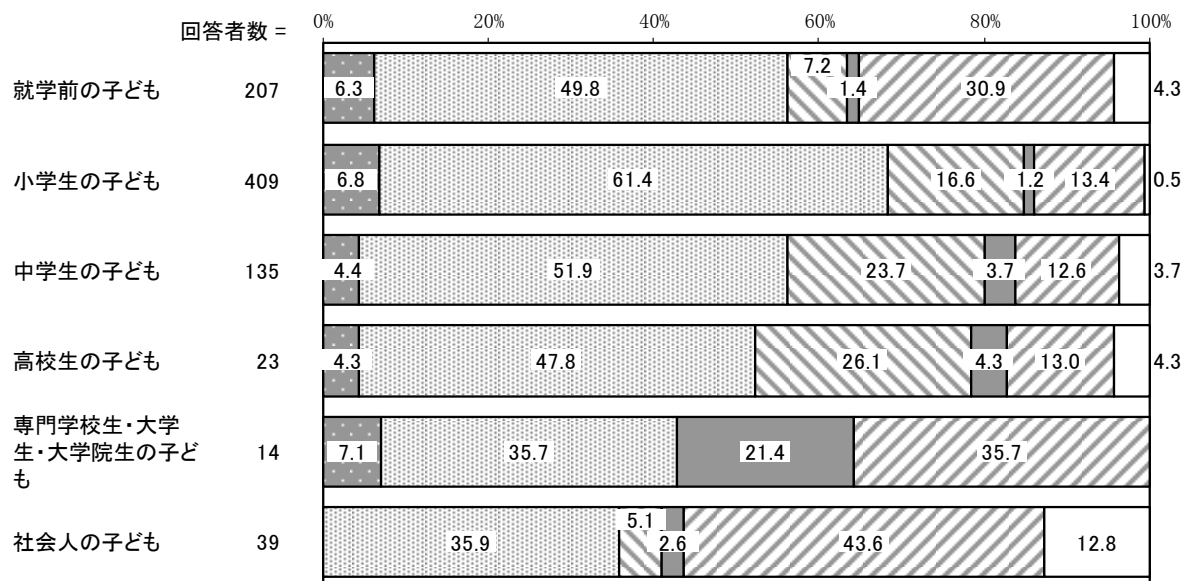
② わかりやすい授業を行っている

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



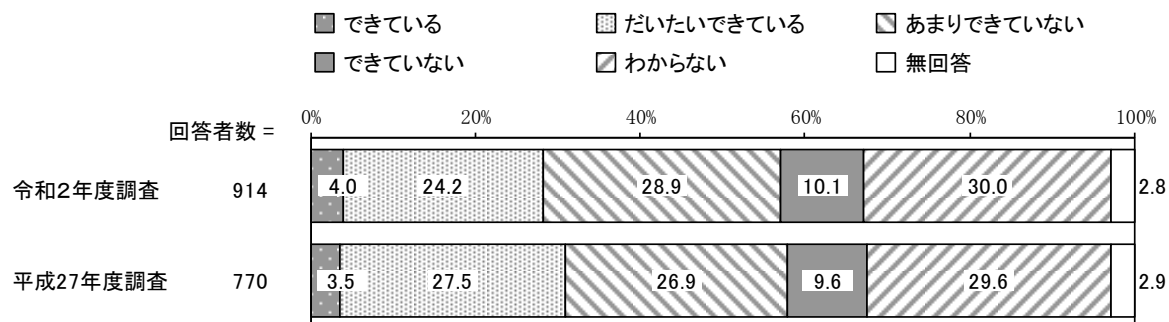
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



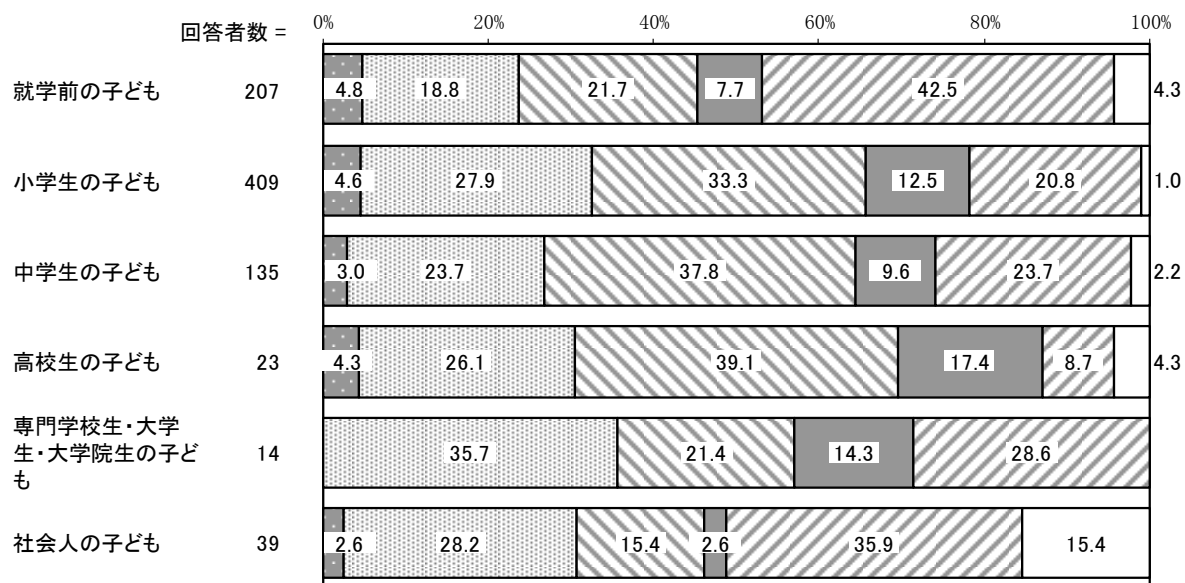
③ 少人数指導、習熟度別指導など、多様な形態での学習を工夫している

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



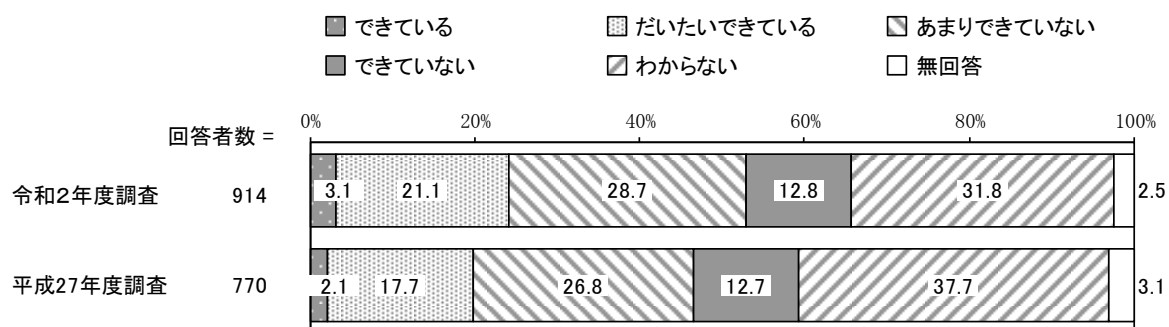
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「だいたいできている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



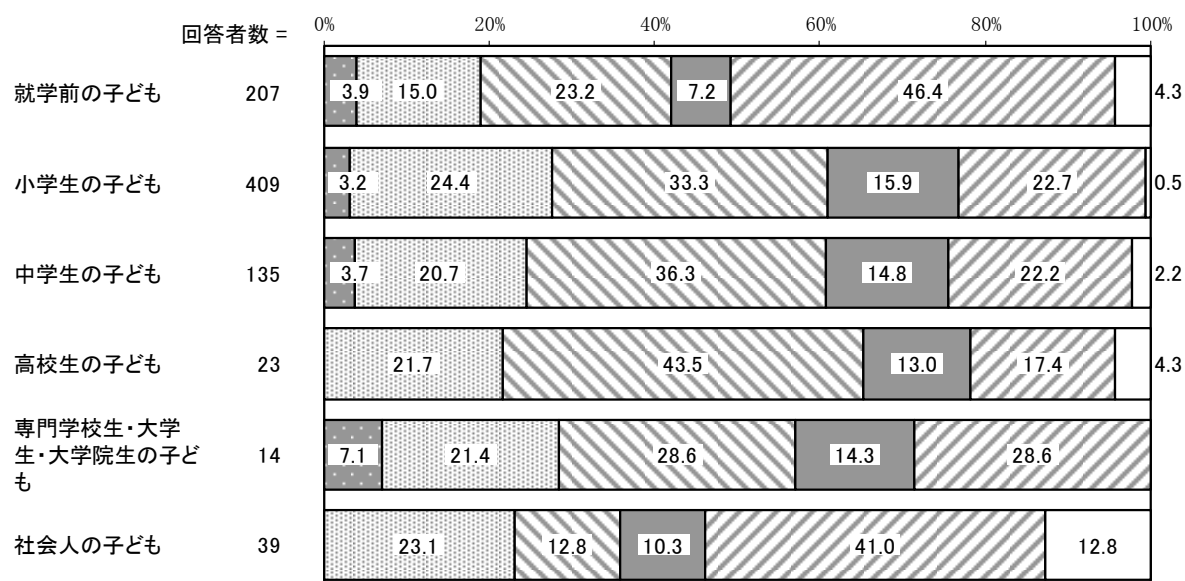
④ コンピュータなどのICT※機器を活用している

平成27年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



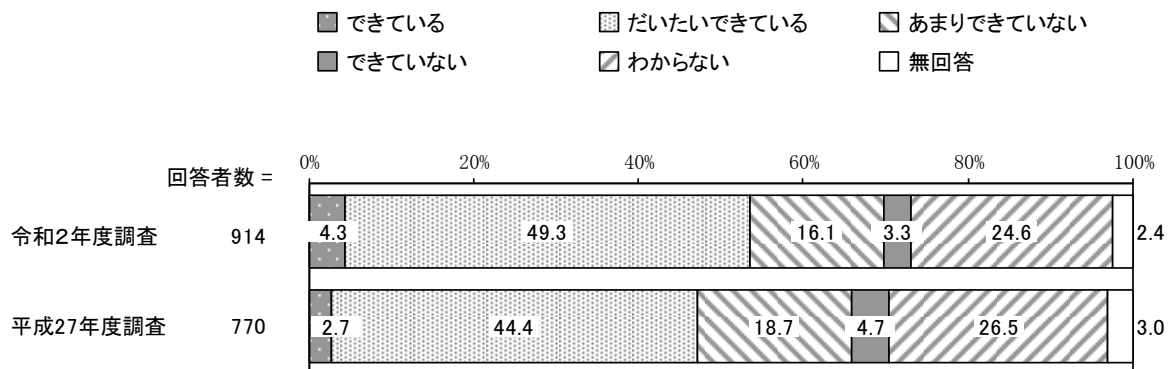
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生の子ども、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高く、5割を超えています。



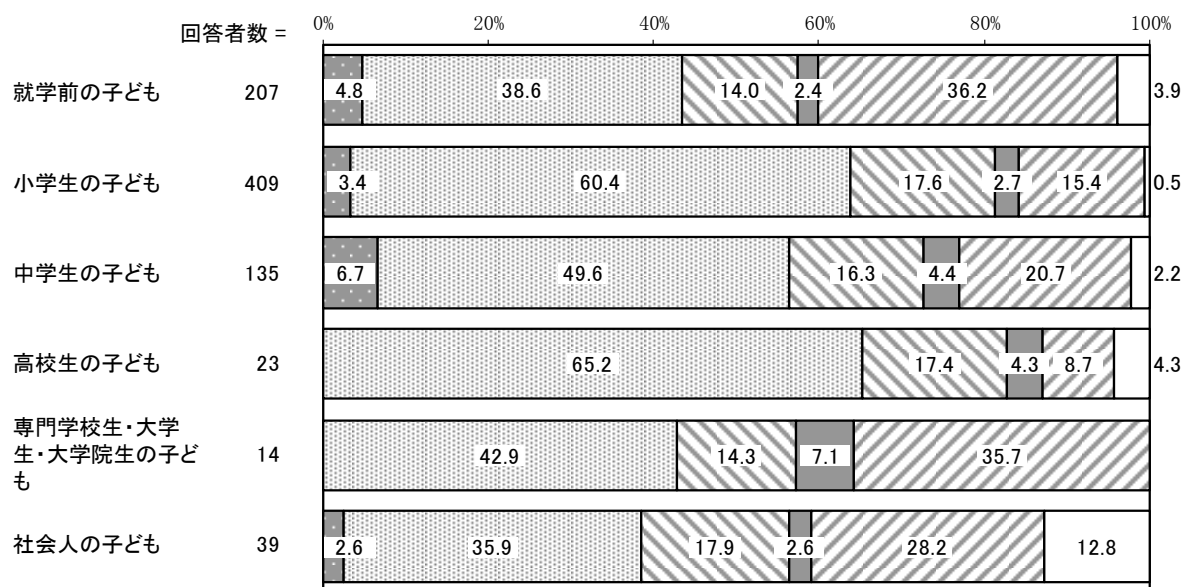
⑤ 規範意識や道徳性を育む教育を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



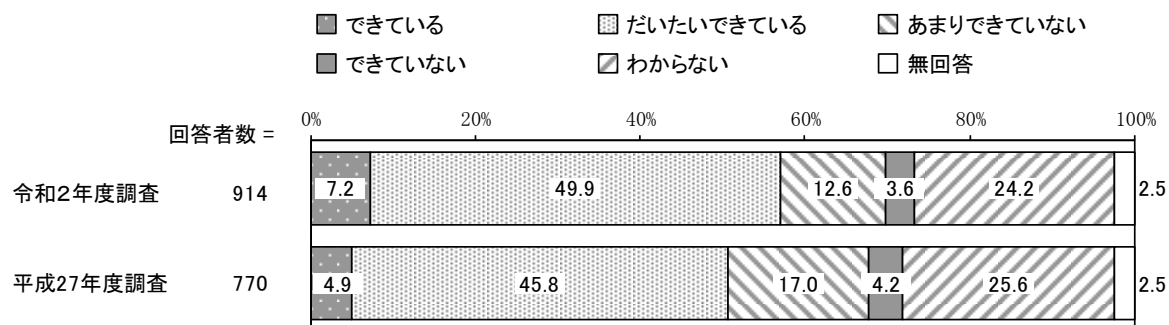
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子ども、高校生の子どもの「できている」と「だいたいできている」の割合が高く、6割を超えています。



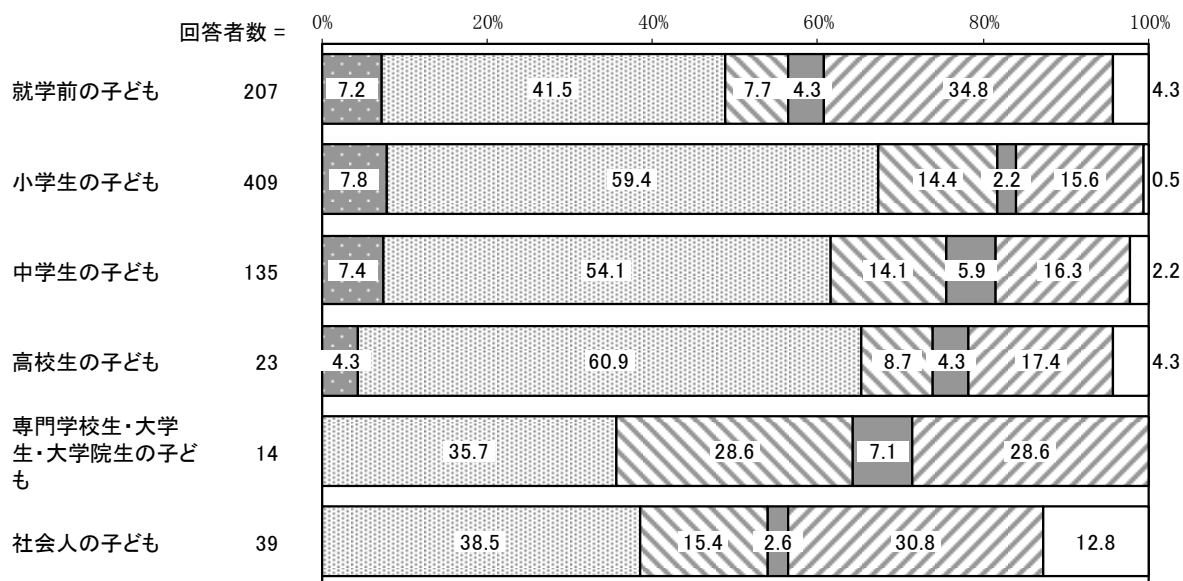
⑥ 命と人権を大切にする教育を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



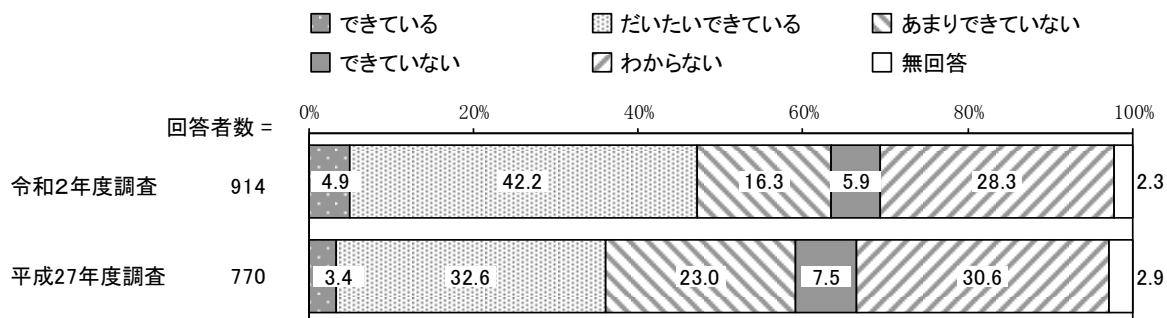
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



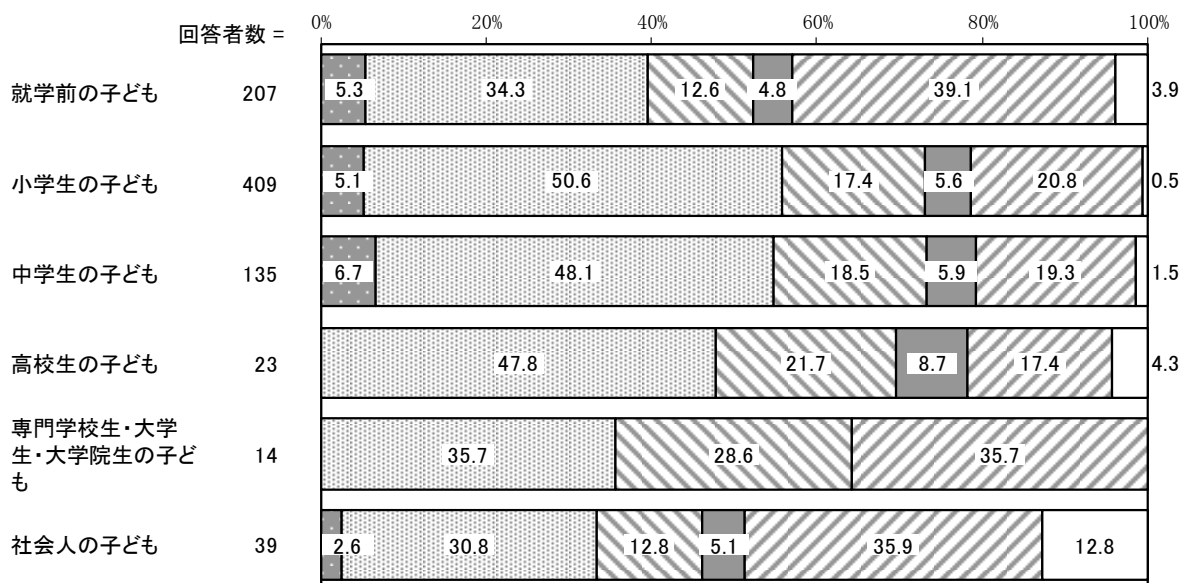
⑦ 「いじめ」「暴力行為」をなくす取り組みを行っている

平成27年度調査と比較すると、「だいたいできている」の割合が増加しています。一方、「あまりできていない」の割合が減少しています。



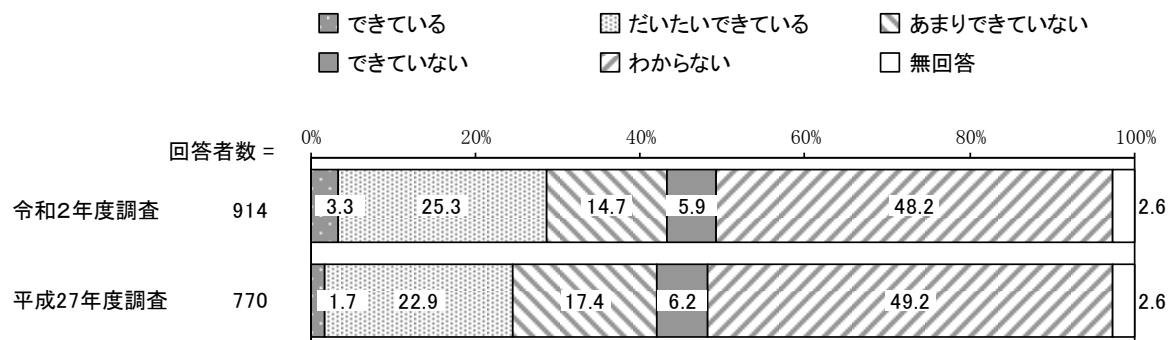
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子ども、中学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



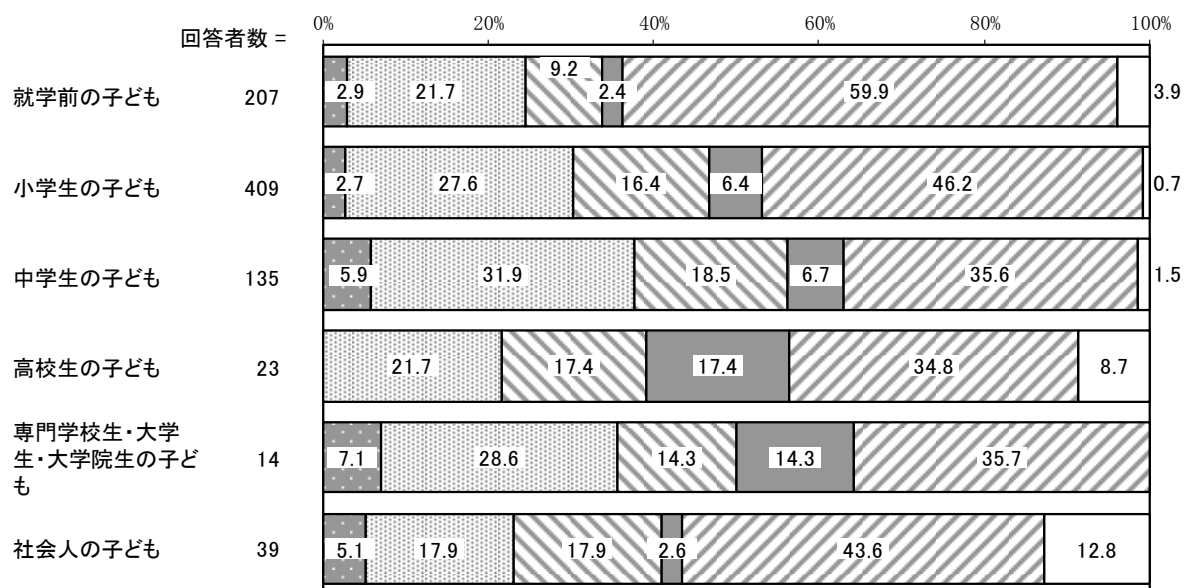
⑧ 不登校児童生徒へのケアや支援を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



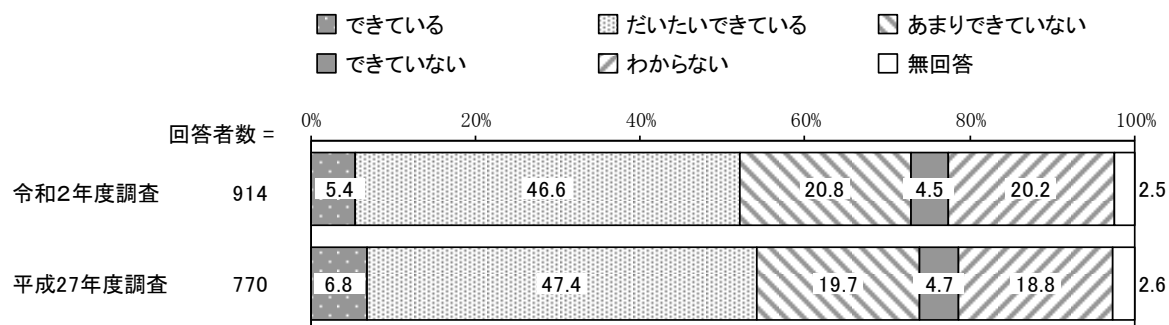
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



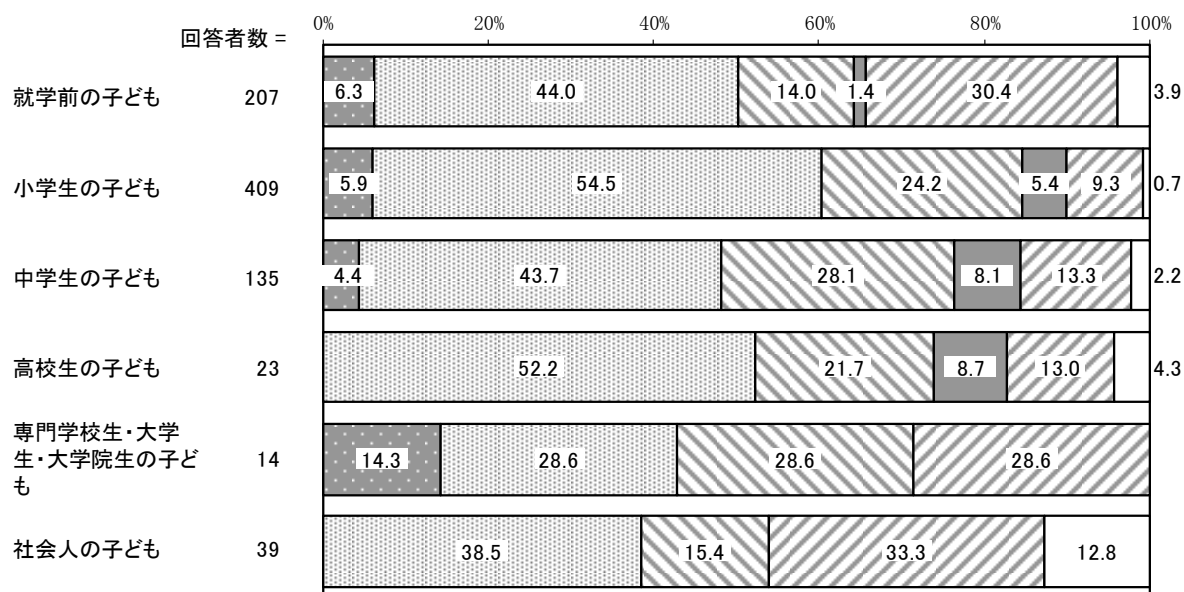
⑨ 体力向上を目指した取り組みを行っている

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



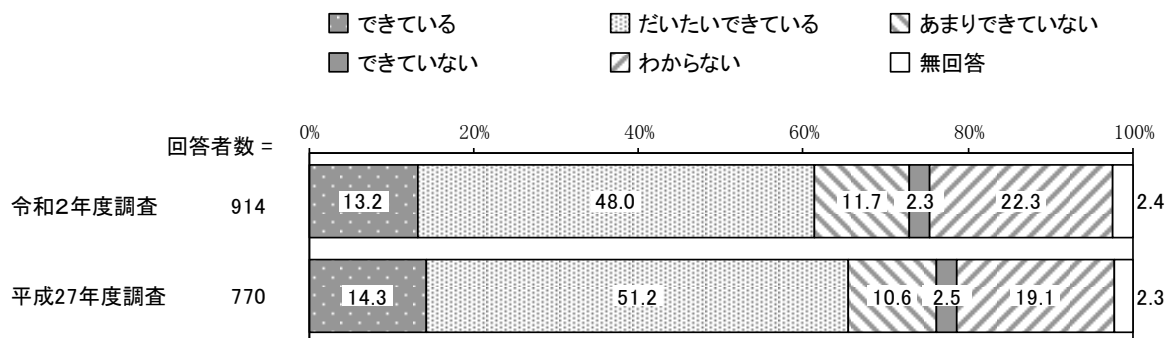
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生子どもで「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



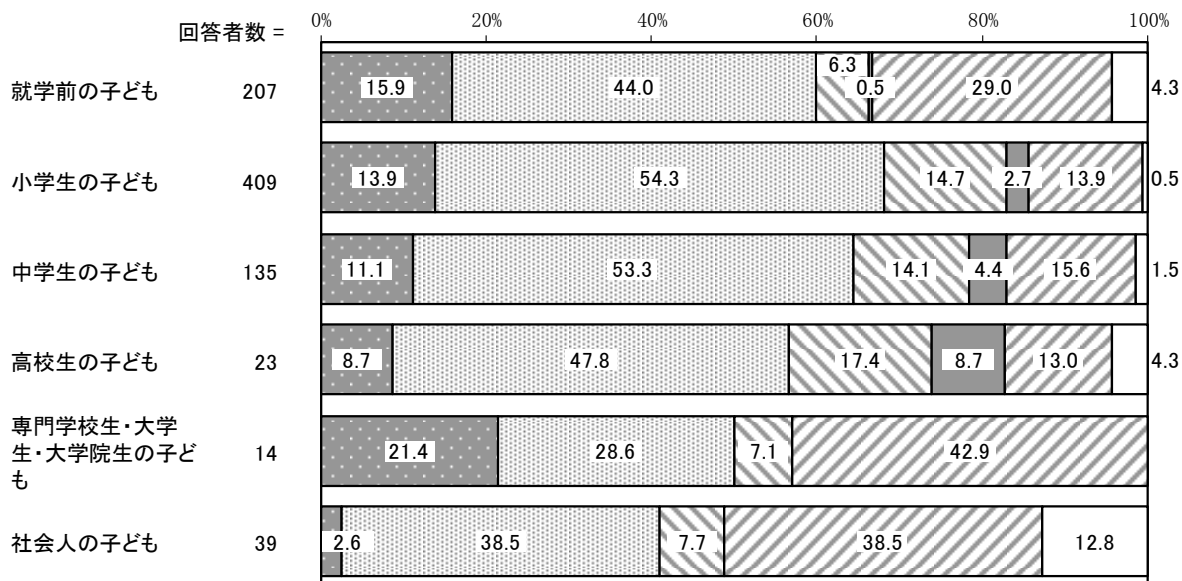
⑩ 学校給食を活用した食育を推進している

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



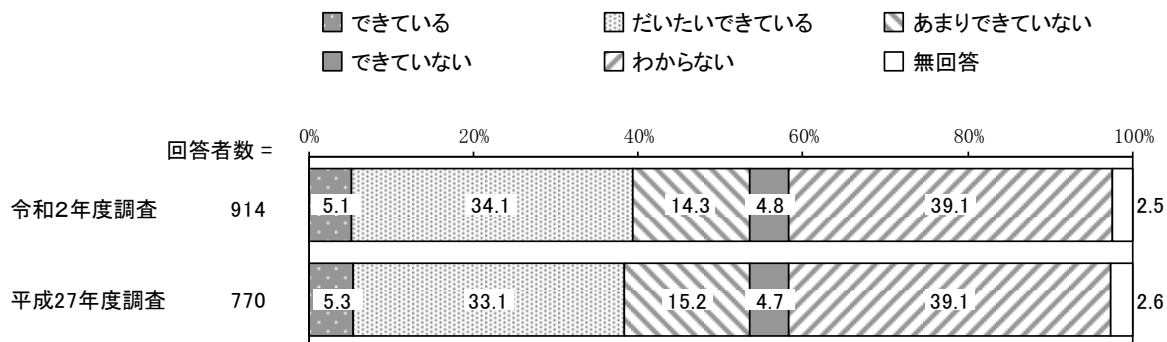
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



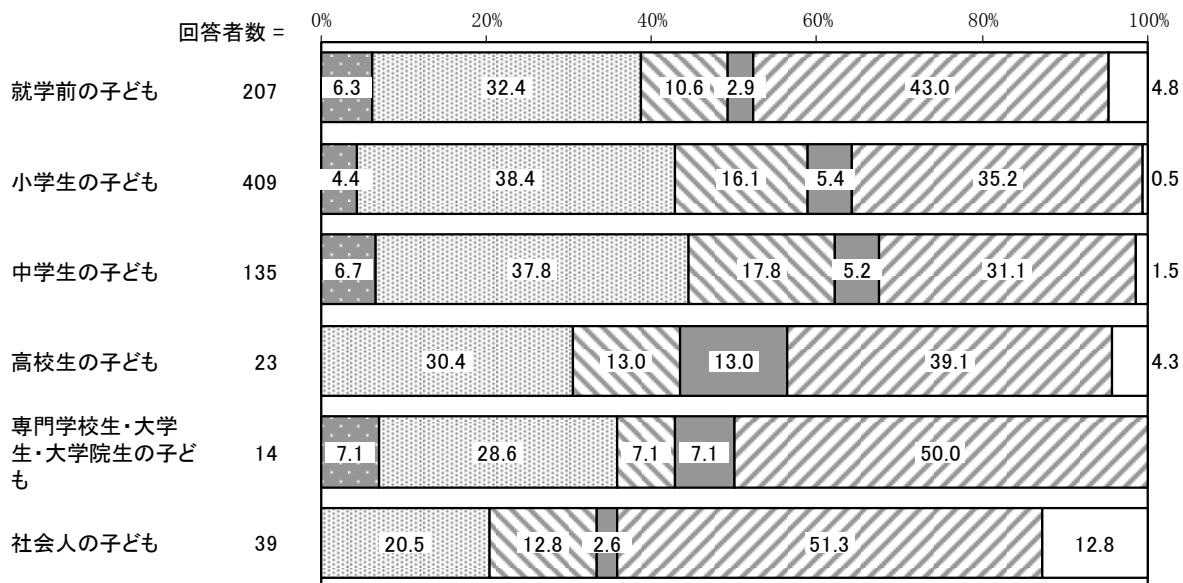
⑪ 子どもの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



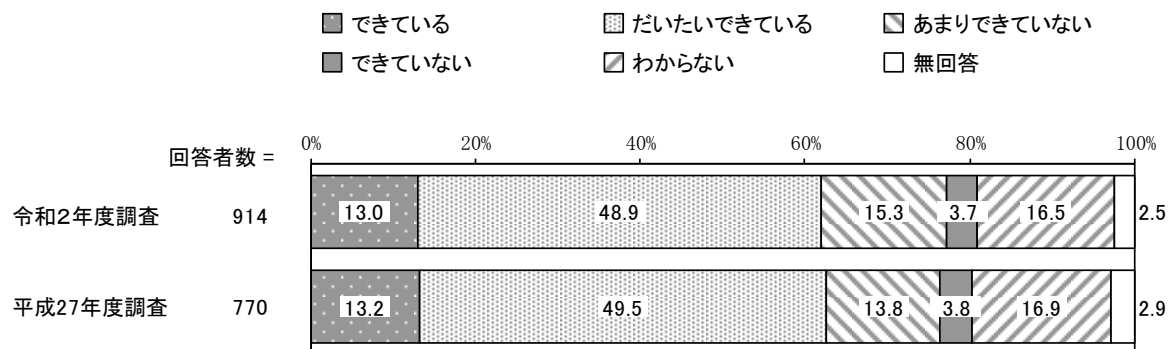
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、中学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



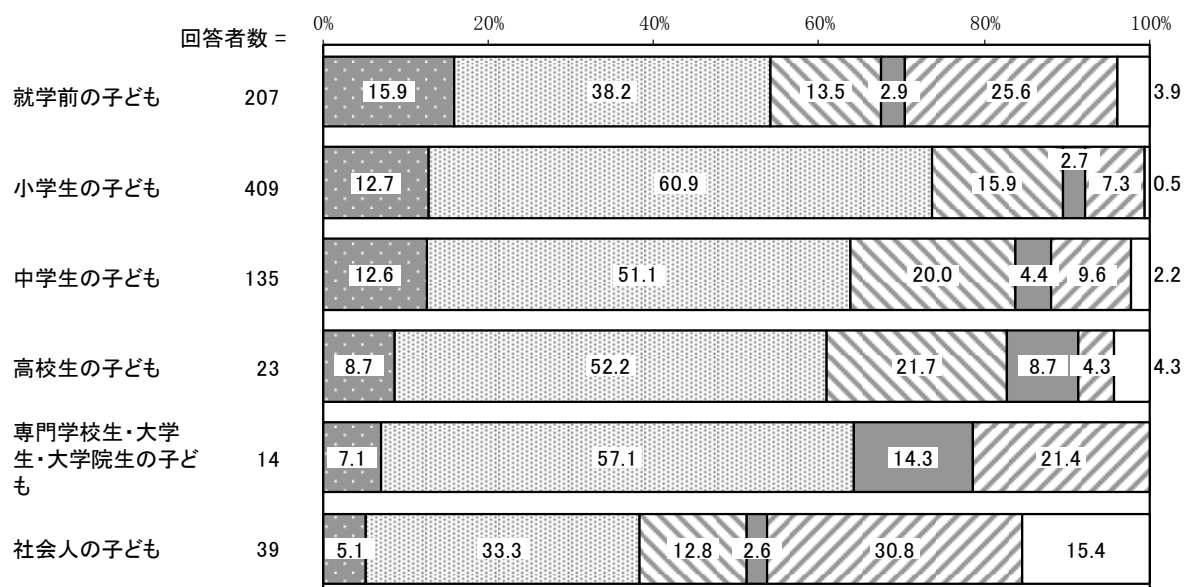
⑫ 学校の教育活動や取り組み内容を保護者や地域に発信している

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



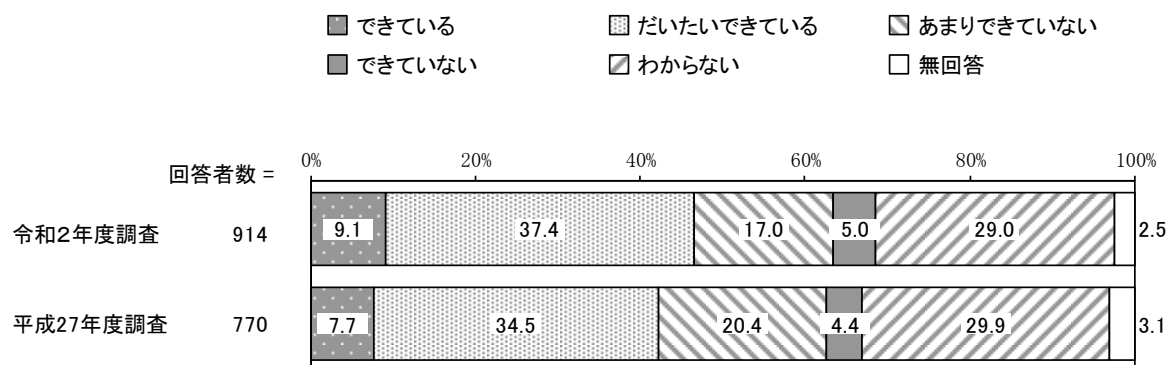
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



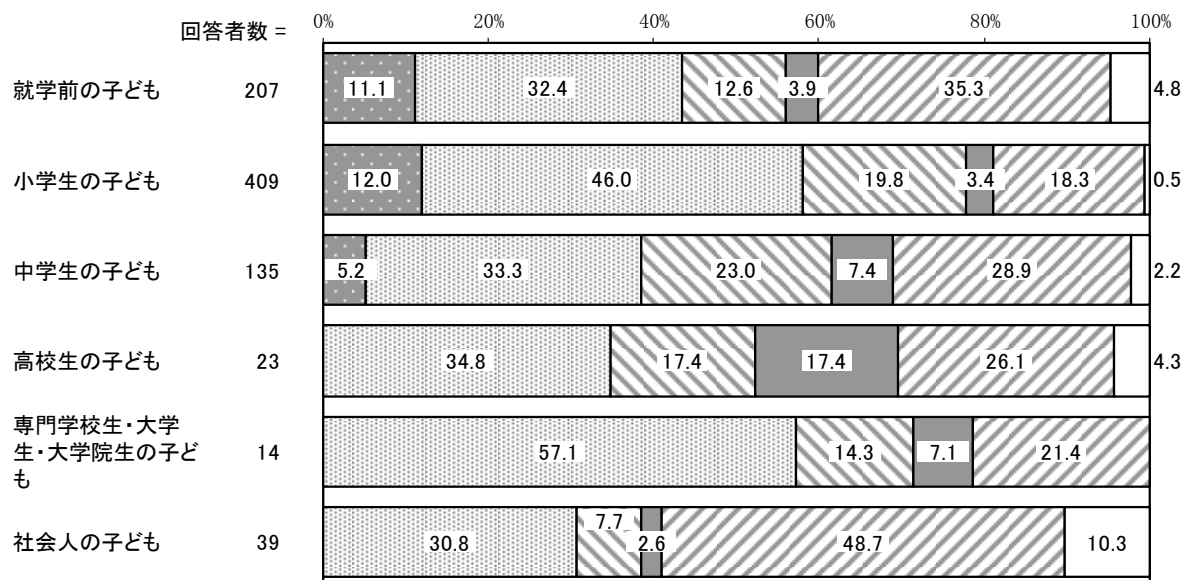
⑬ 学校図書館を活用した教育活動を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



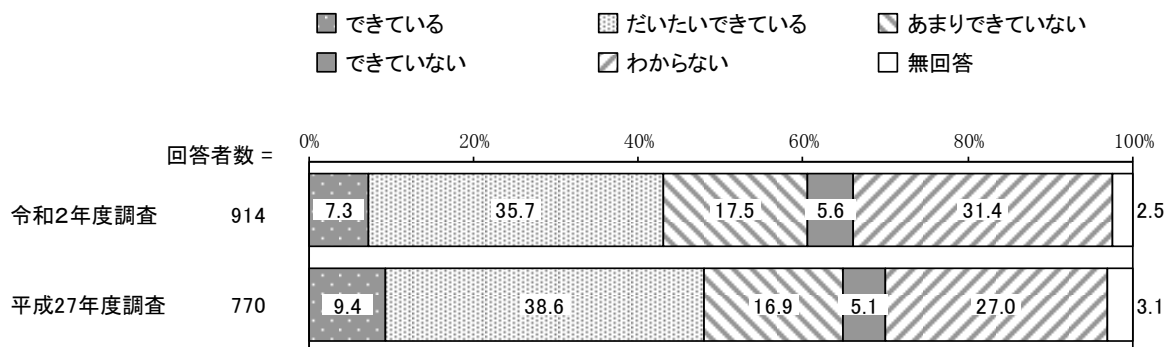
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、高校生の子どもの「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



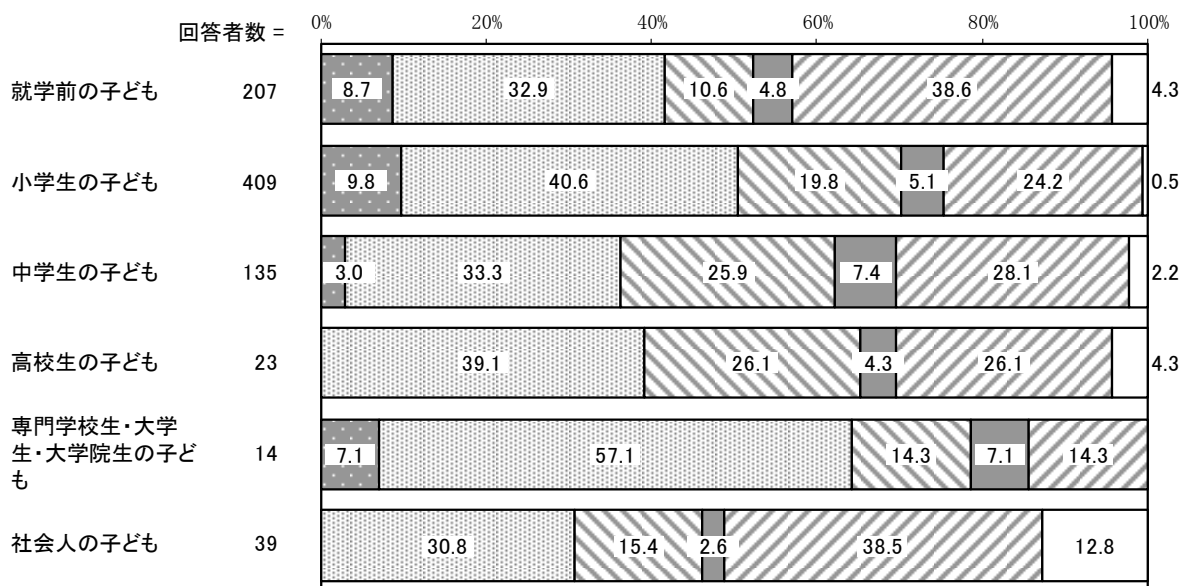
⑭ 地域の指導者等（地域人材）を活用した授業を行っている

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



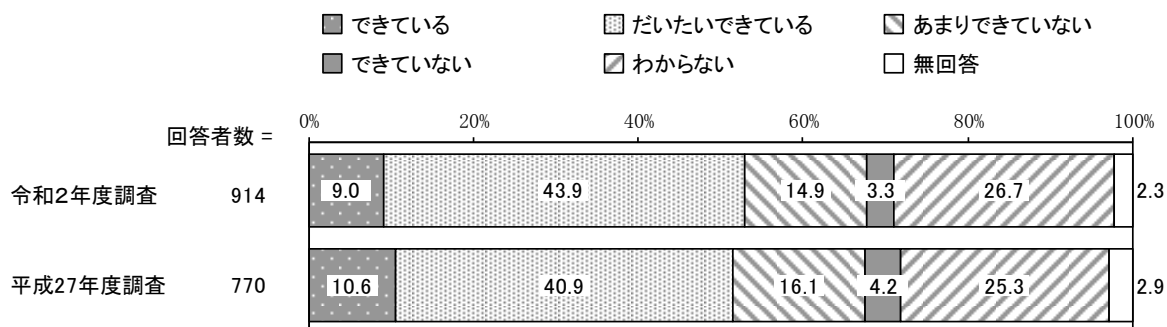
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもの「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生の子どもで「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



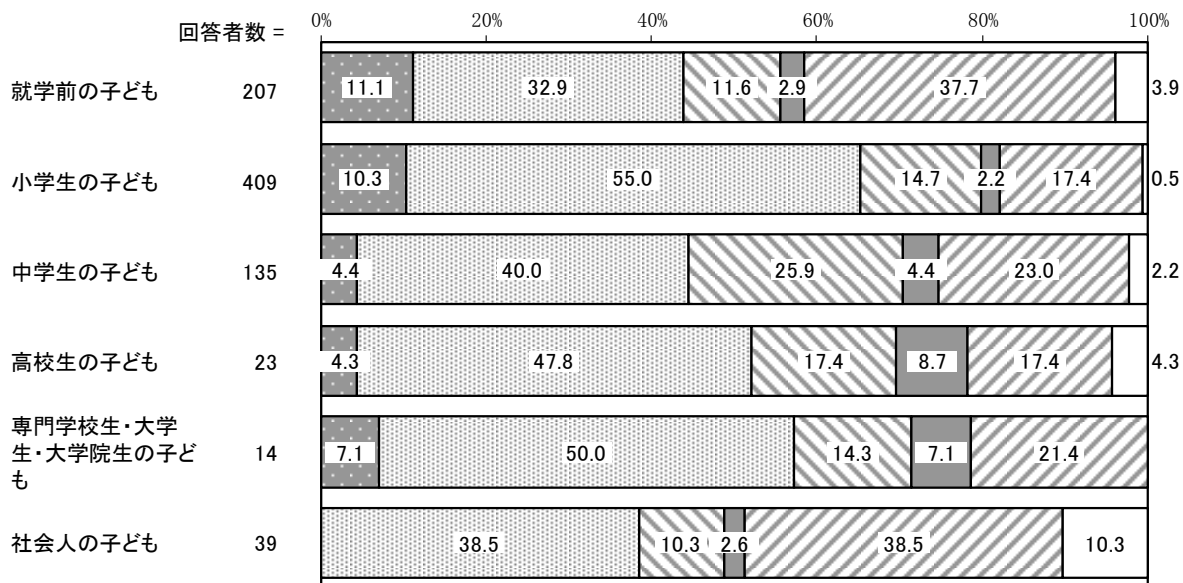
⑮ 地域の豊富な学習資源（自然、文化財、芸術文化など）を活用している

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



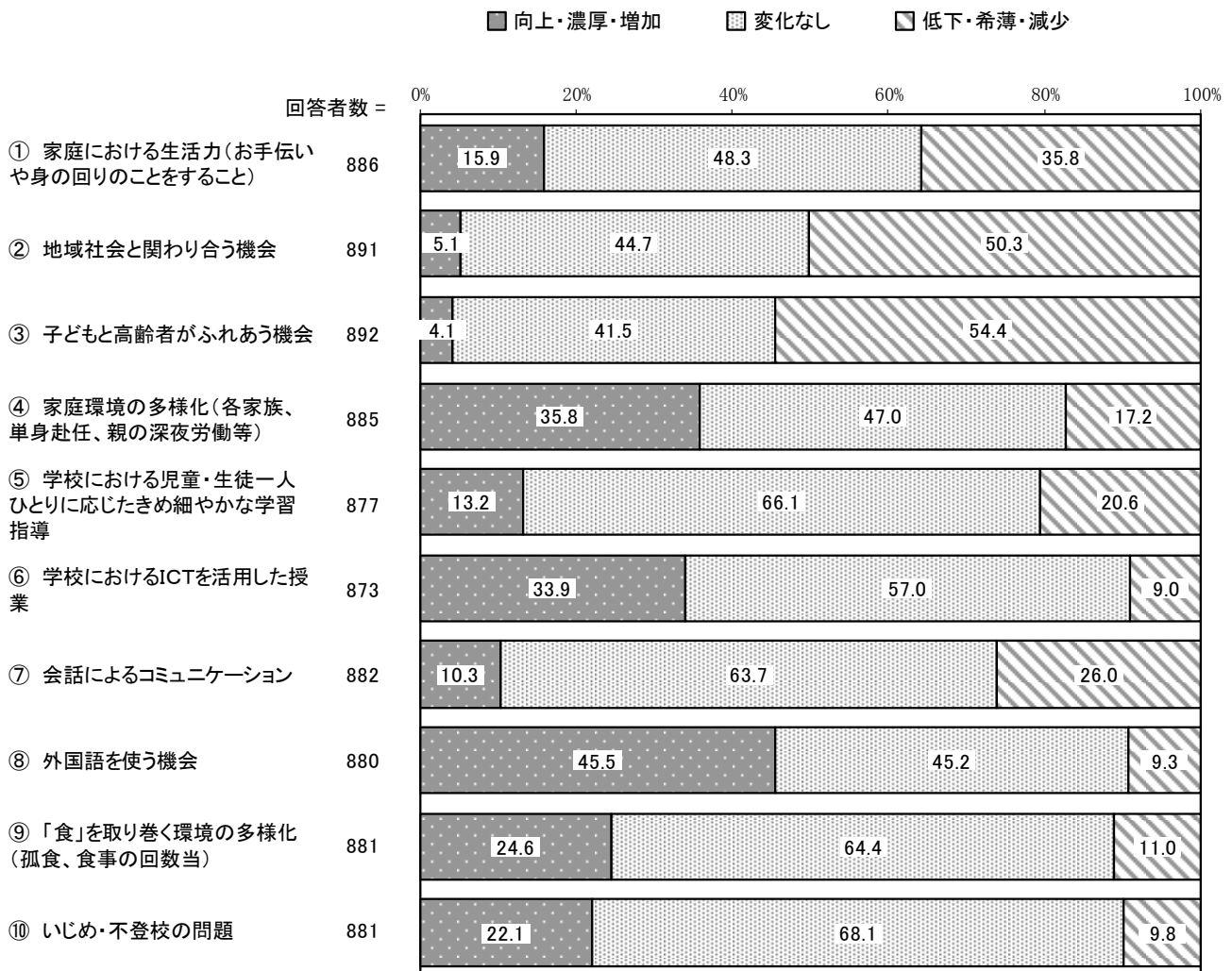
【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「できている」と「だいたいできている」を合わせた“できている”の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生の子どもで「あまりできていない」と「できていない」を合わせた“できていない”の割合が高くなっています。



問 11 あなたは、子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(①～⑩の各項目について、あてはまるものに、それぞれ一つだけ○)

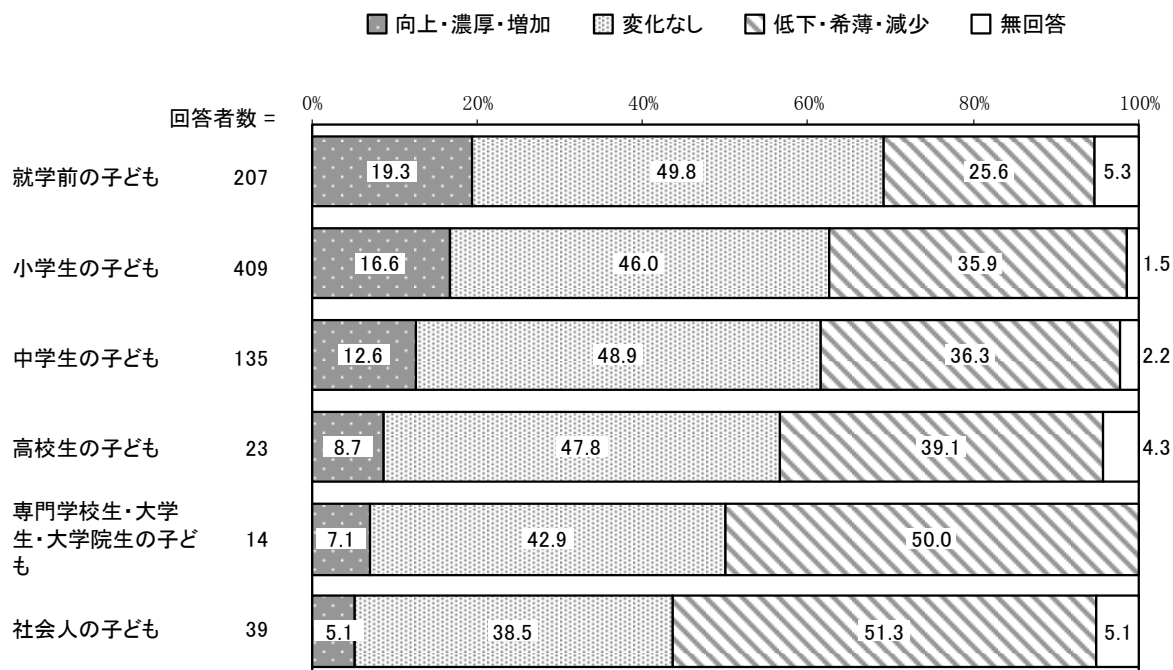
『⑧外国語を使う機会』で「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。また、『②地域社会と関わり合う機会』、『③子どもと高齢者がふれあう機会』で「低下・希薄・減少」の割合が高くなっています。その他は、「変化なし」の割合が高くなっています。



① 家庭における生活力（お手伝いや身の回りのことをすること）

【子どもの年代別傾向】

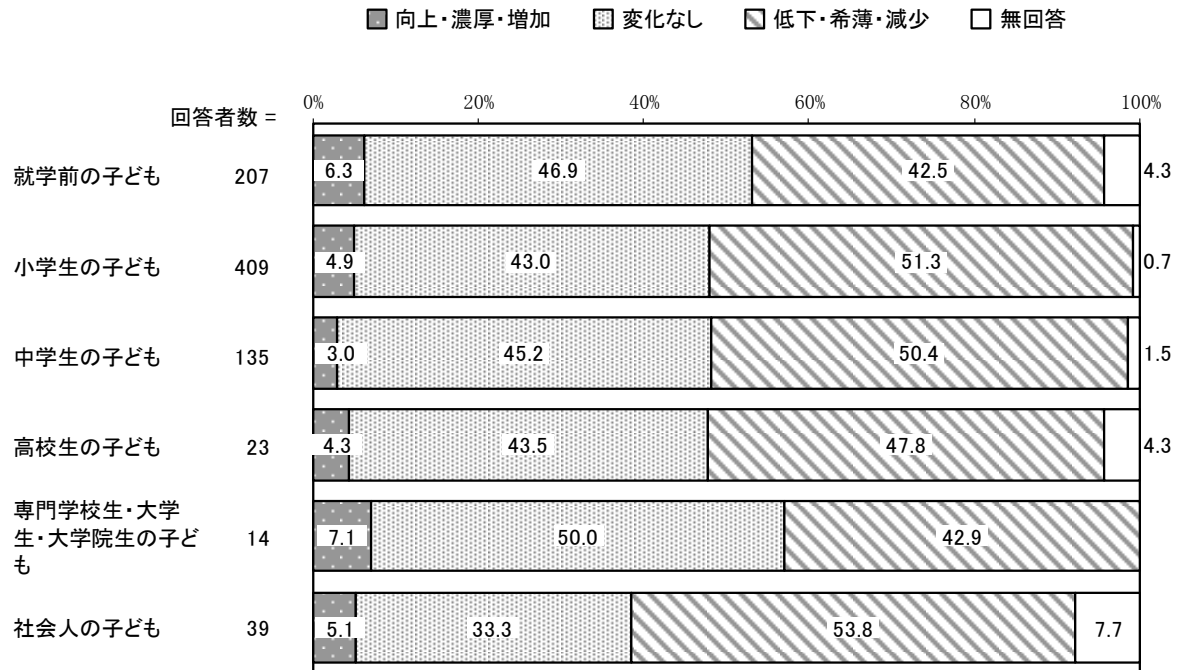
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。反対に、子どもの年代が低くなるほど「向上・濃厚・増加」の割合が高くなる傾向がみられます。



② 地域社会と関わり合う機会

【子どもの年代別傾向】

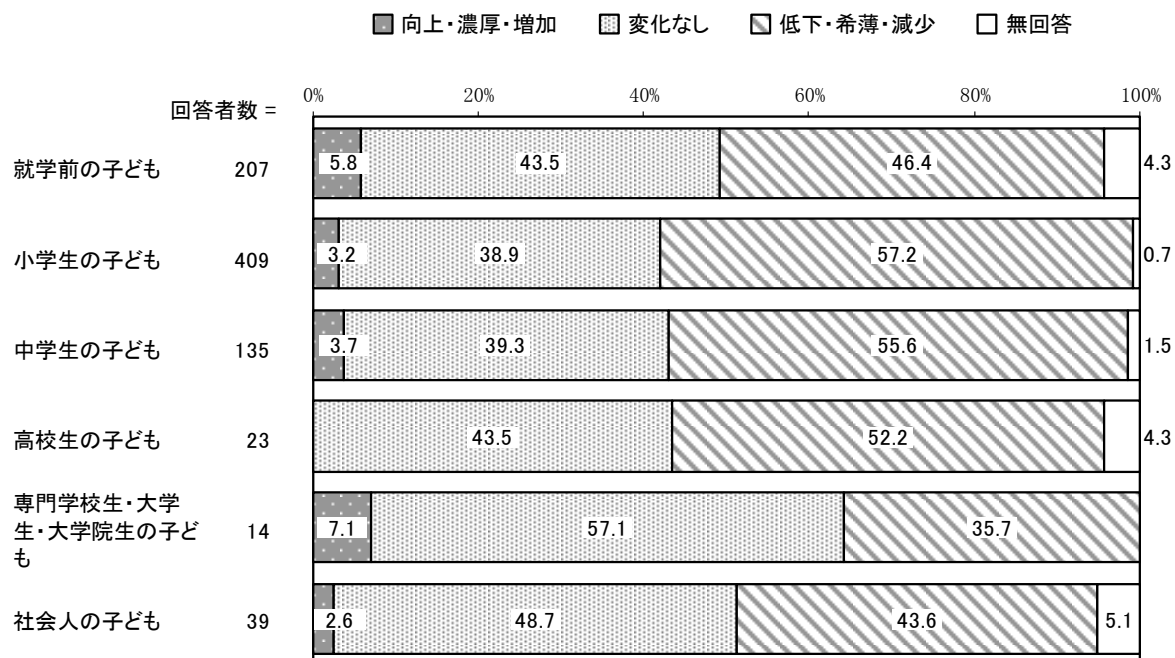
子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「低下・希薄・減少」の割合が、専門
 学校生・大学生・大学院生の子どもで「変化なし」の割合が高くなっています。



③ 子どもと高齢者がふれあう機会

【子どもの年代別傾向】

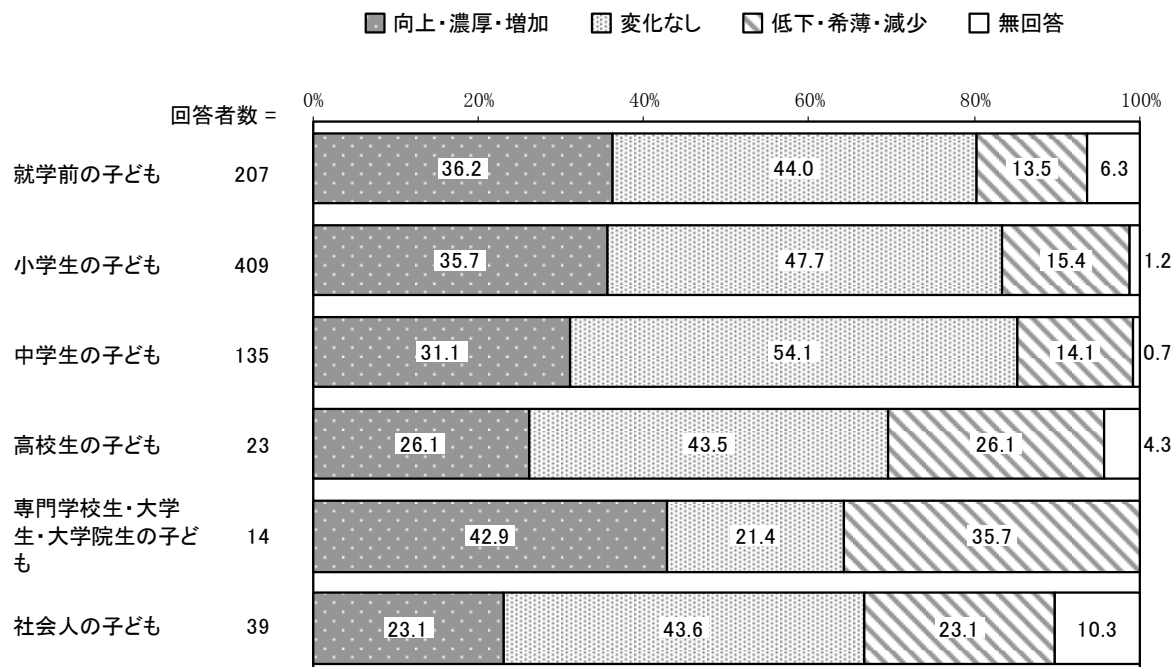
子どもの年代別でみると、子どもの年代が低くなるほど「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「変化なし」の割合が高くなっています。



④ 家庭環境の多様化（核家族、単身赴任、親の深夜労働等）

【子どもの年代別傾向】

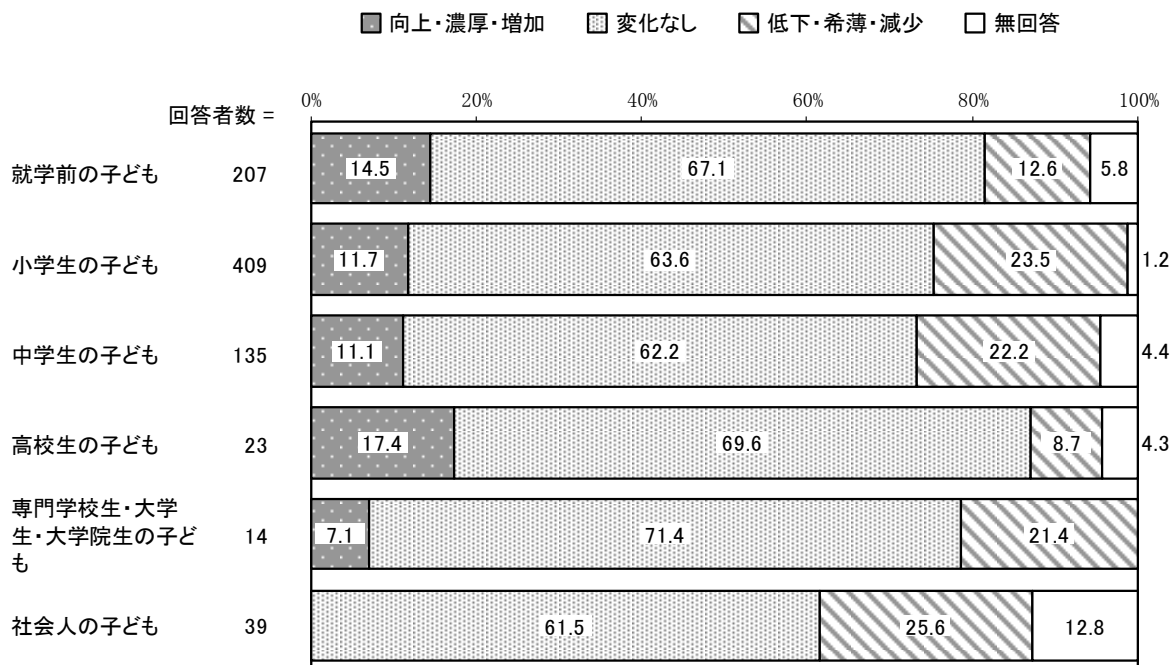
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、中学生の子どもで「変化なし」の割合が高くなっています。



⑤ 学校における児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導

【子どもの年代別傾向】

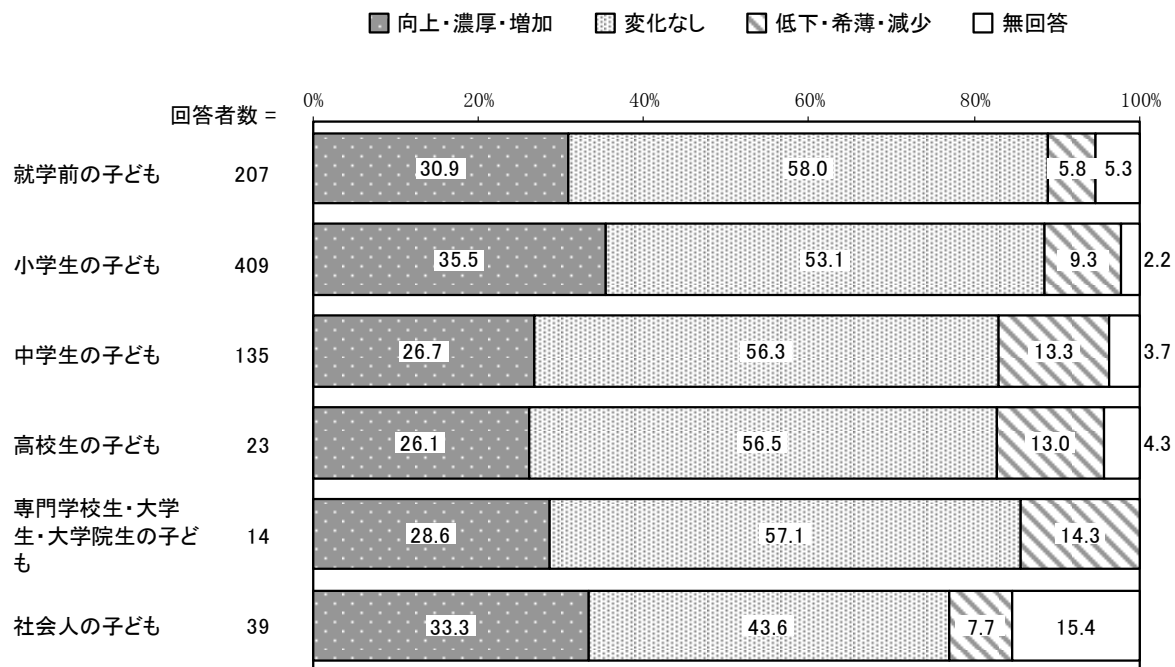
子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「低下・希薄・減少」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「変化なし」の割合が、高校生の子どもの「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



⑥ 学校におけるICTを活用した授業

【子どもの年代別傾向】

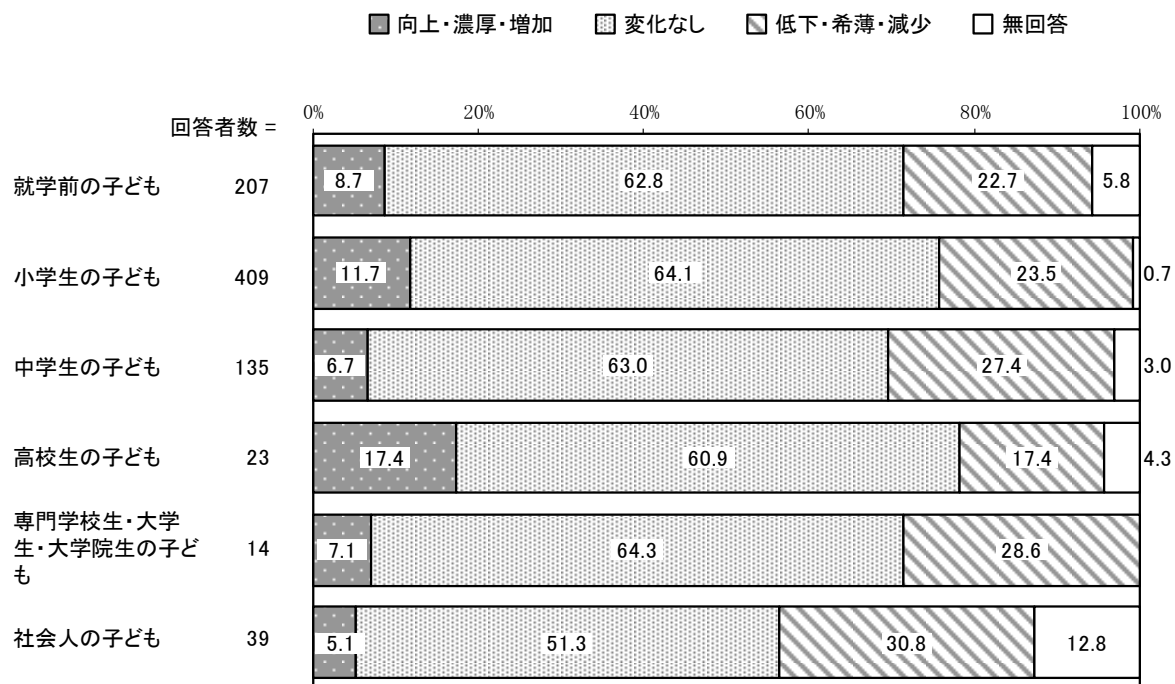
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、就学前の子どもで「変化なし」の割合が、小学生の子どもで「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



⑦ 会話によるコミュニケーション

【子どもの年代別傾向】

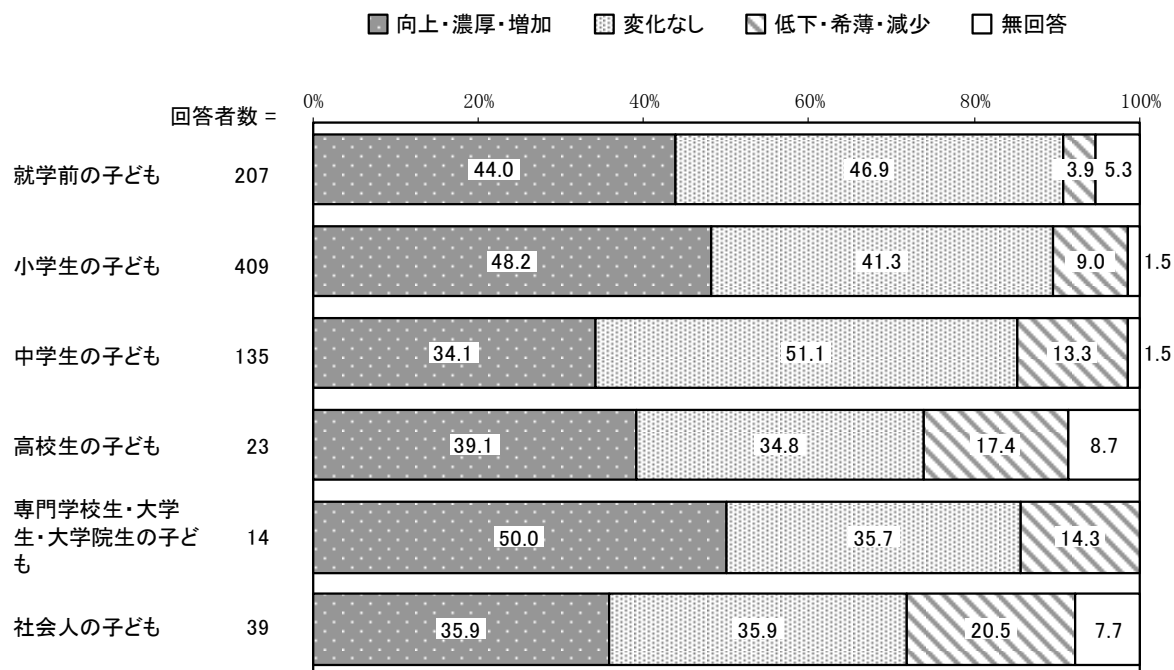
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、小学生の子ども、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「変化なし」の割合が、高校生の子どもの「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



⑧ 外国語を使う機会

【子どもの年代別傾向】

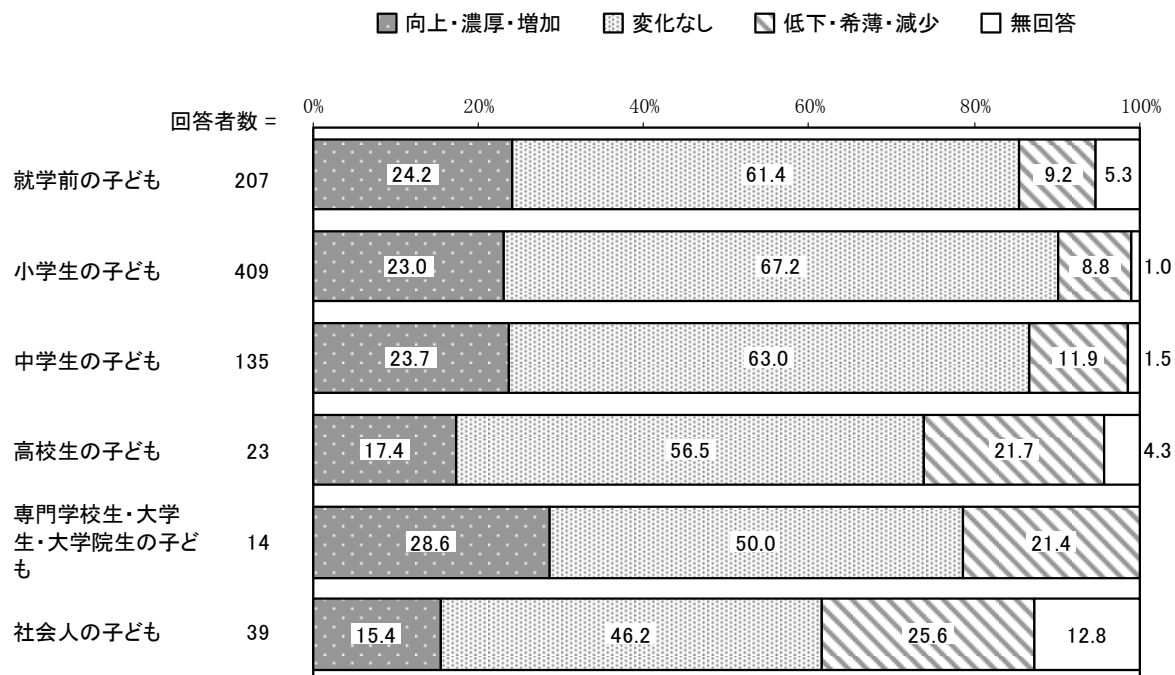
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、中学生の子どもで「変化なし」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



⑨ 「食」を取り巻く環境の多様化（孤食、食事の回数等）

【子どもの年代別傾向】

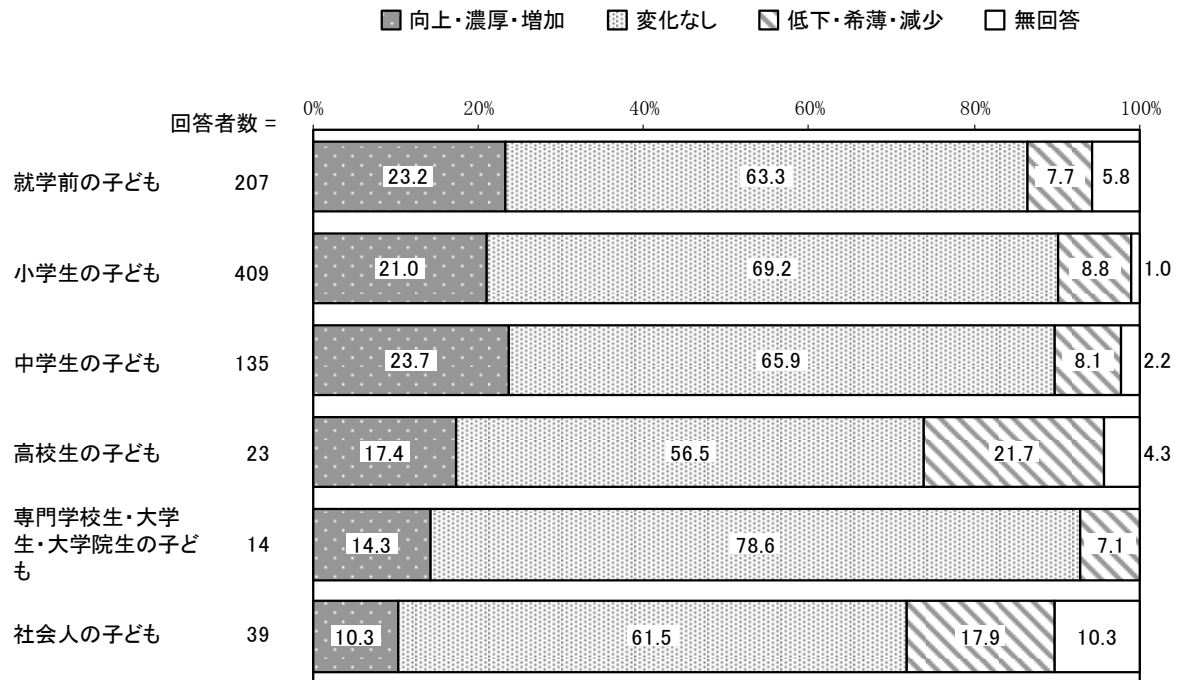
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「低下・希薄・減少」の割合が高くなる傾向がみられます。反対に、子どもの年代が低くなるほど「変化なし」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



⑩ いじめ・不登校の問題

【子どもの年代別傾向】

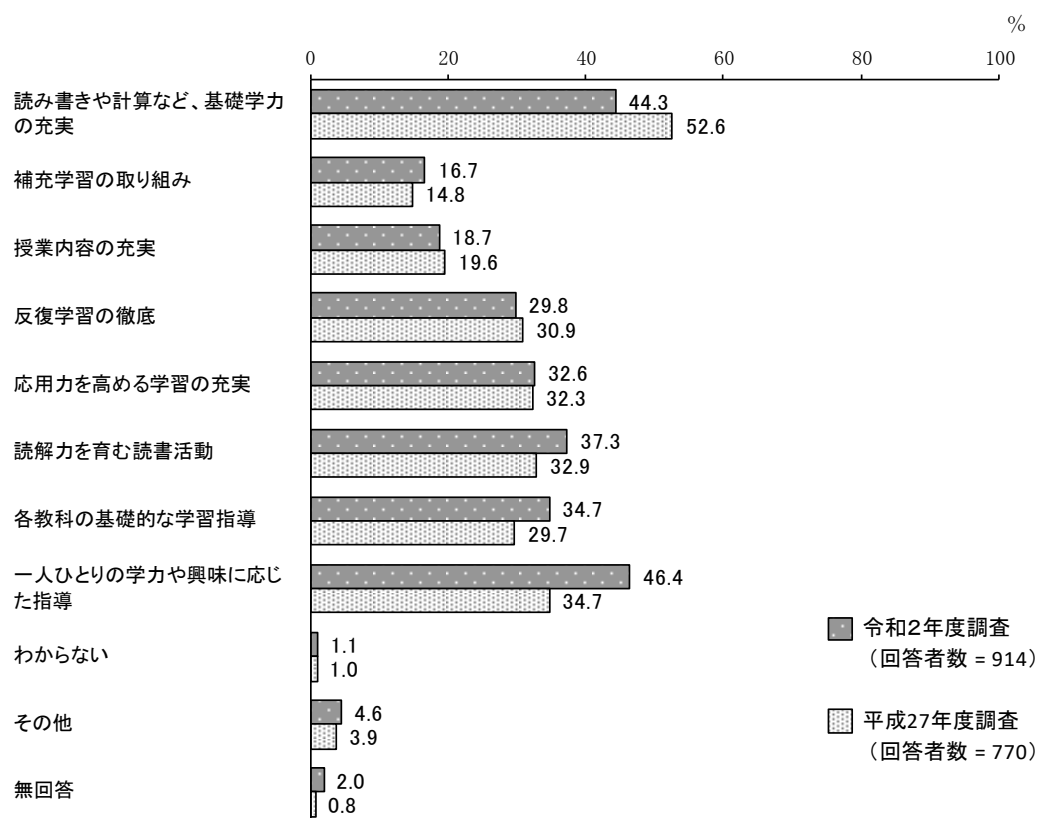
子どもの年代別でみると、他に比べ、高校生の子どもで「低下・希薄・減少」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「変化なし」の割合が、就学前の子ども、中学生の子どもで「向上・濃厚・増加」の割合が高くなっています。



問 12 あなたは、子どもたちの学力を向上させるために、どのような取り組みが必要と思いますか。（主なもの3つまで○）

「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」の割合が46.4%と最も高く、次いで「読み書きや計算など、基礎学力の充実」の割合が44.3%、「読解力を育む読書活動」の割合が37.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「各教科の基礎的な学習指導」、「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」の割合が増加しています。一方、「読み書きや計算など、基礎学力の充実」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「読み書きや計算など、基礎学力の充実」の割合が、高校生の子どもの「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」の割合が高くなっています。

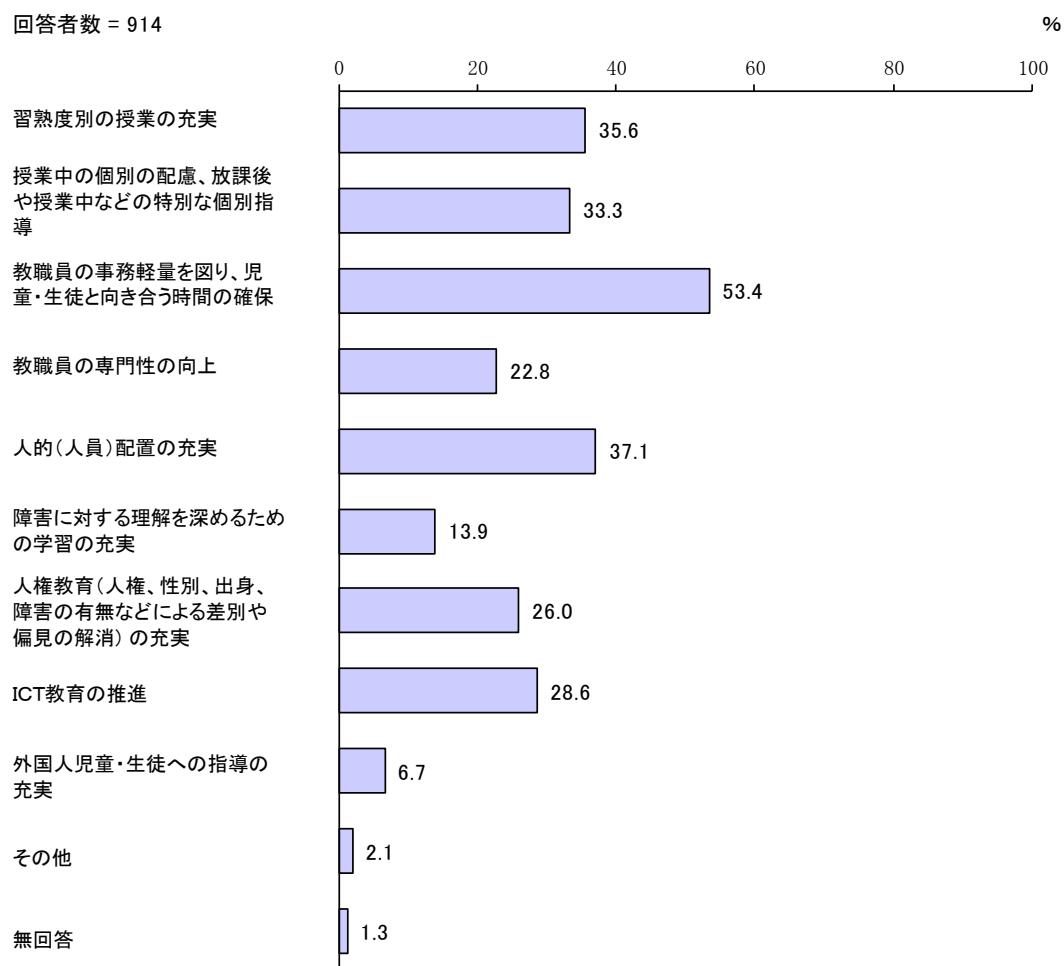
単位：％

区分	有効回答数 (件)	読み書きや計算など、 基礎学力の充実	補充学習の 取り組み	授業内容の 充実	反復学習の 徹底	応用力を 高める学習 の充実	読解力を 育む読書活 動	各教科の 基礎的な学 習指導	一人ひとりの 学力や興味に 応じた指導	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	45.4	8.7	16.9	24.2	35.3	38.6	33.3	46.9	1.9	4.3	2.9
小学生の子ども	409	46.0	16.6	18.1	33.3	32.5	39.4	35.5	46.2	0.2	5.4	1.5
中学生の子ども	135	37.0	28.9	23.0	33.3	31.9	27.4	40.0	46.7	2.2	1.5	1.5
高校生の子ども	23	43.5	34.8	4.3	34.8	34.8	21.7	39.1	52.2	—	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生 の子ども	14	57.1	35.7	21.4	35.7	21.4	35.7	35.7	42.9	—	7.1	—
社会人の子ども	39	53.8	12.8	17.9	23.1	25.6	48.7	35.9	41.0	2.6	—	2.6

問 13 あなたは、子どもたち一人ひとりの学びを保障するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

「教職員の事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間の確保」の割合が53.4%と最も高く、次いで「人的（人員）配置の充実」の割合が37.1%、「習熟度別の授業の充実」の割合が35.6%となっています。

回答者数 = 914



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「人的（人員）配置の充実」、「ＩＣＴ教育の推進」の割合が、社会人の子どもで「教職員の事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間の確保」の割合が高くなっています。

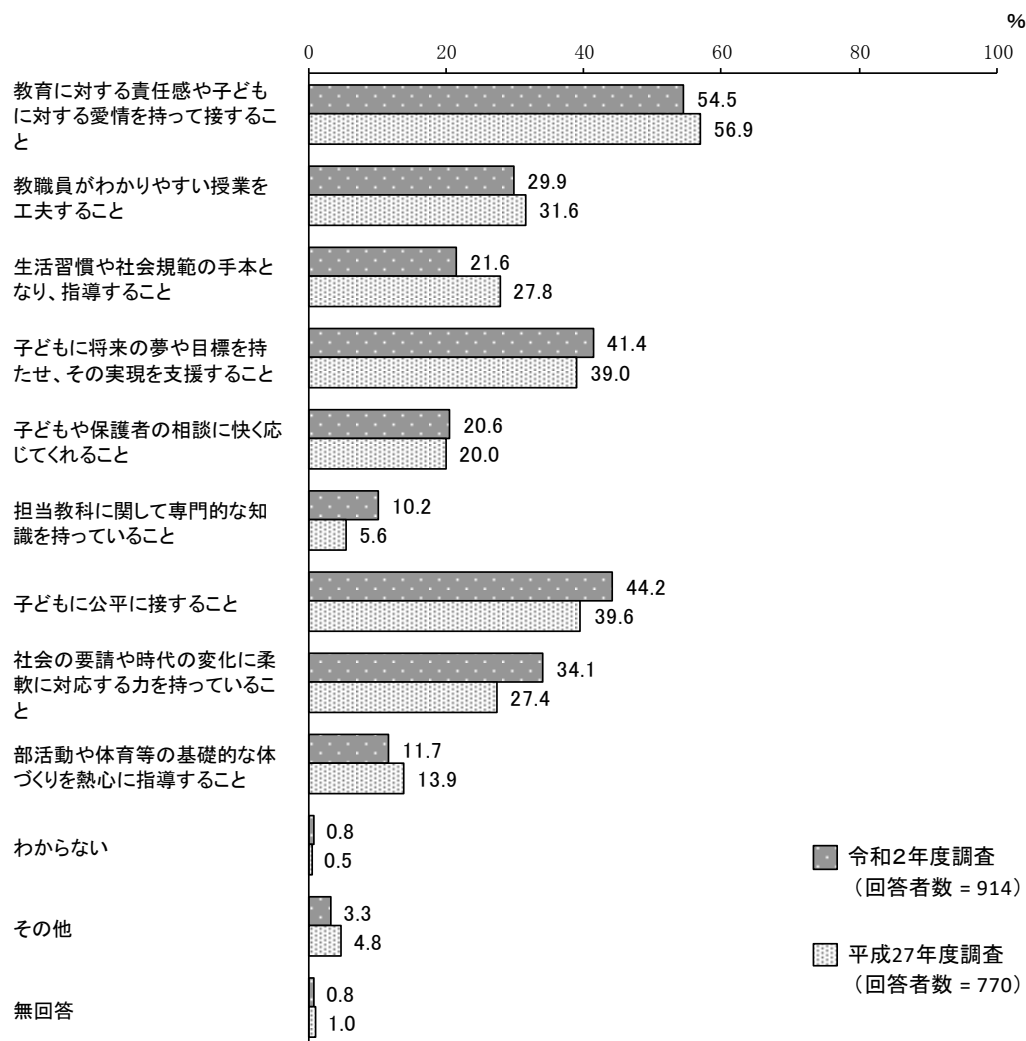
単位：％

区分	有効回答数（件）	習熟度別の授業の充実	授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導	教職員の事務軽量を図り、児童・生徒と向き合う時間の確保	教職員の専門性の向上	人的（人員）配置の充実	障害に対する理解を深めるための学習の充実	人権教育（人権、性別、出身、障害の有無などによる差別や偏見の解消）の充実	ＩＣＴ教育の推進	外国人児童・生徒への指導の充実	その他	無回答
就学前の子ども	207	38.2	29.0	57.5	23.2	36.2	15.0	29.5	23.2	6.3	1.9	1.0
小学生の子ども	409	35.7	35.9	53.5	25.4	39.6	12.5	22.0	31.1	7.1	2.0	0.5
中学生の子ども	135	37.0	41.5	45.9	19.3	30.4	11.9	23.0	36.3	3.7	2.2	3.0
高校生の子ども	23	39.1	34.8	52.2	17.4	30.4	13.0	34.8	30.4	8.7	4.3	—
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	28.6	42.9	42.9	7.1	57.1	14.3	7.1	50.0	—	7.1	—
社会人の子ども	39	28.2	15.4	61.5	28.2	23.1	15.4	48.7	15.4	5.1	—	2.6

問 14 あなたは、小・中学校に対してどのようなことを望みますか。（主なもの3つまで○）

「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「子どもに公平に接すること」の割合が 44.2%、「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が 41.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること」の割合が増加しています。一方、「生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、就学前の子どもで「教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること」、「子どもに公平に接すること」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が高くなっています。

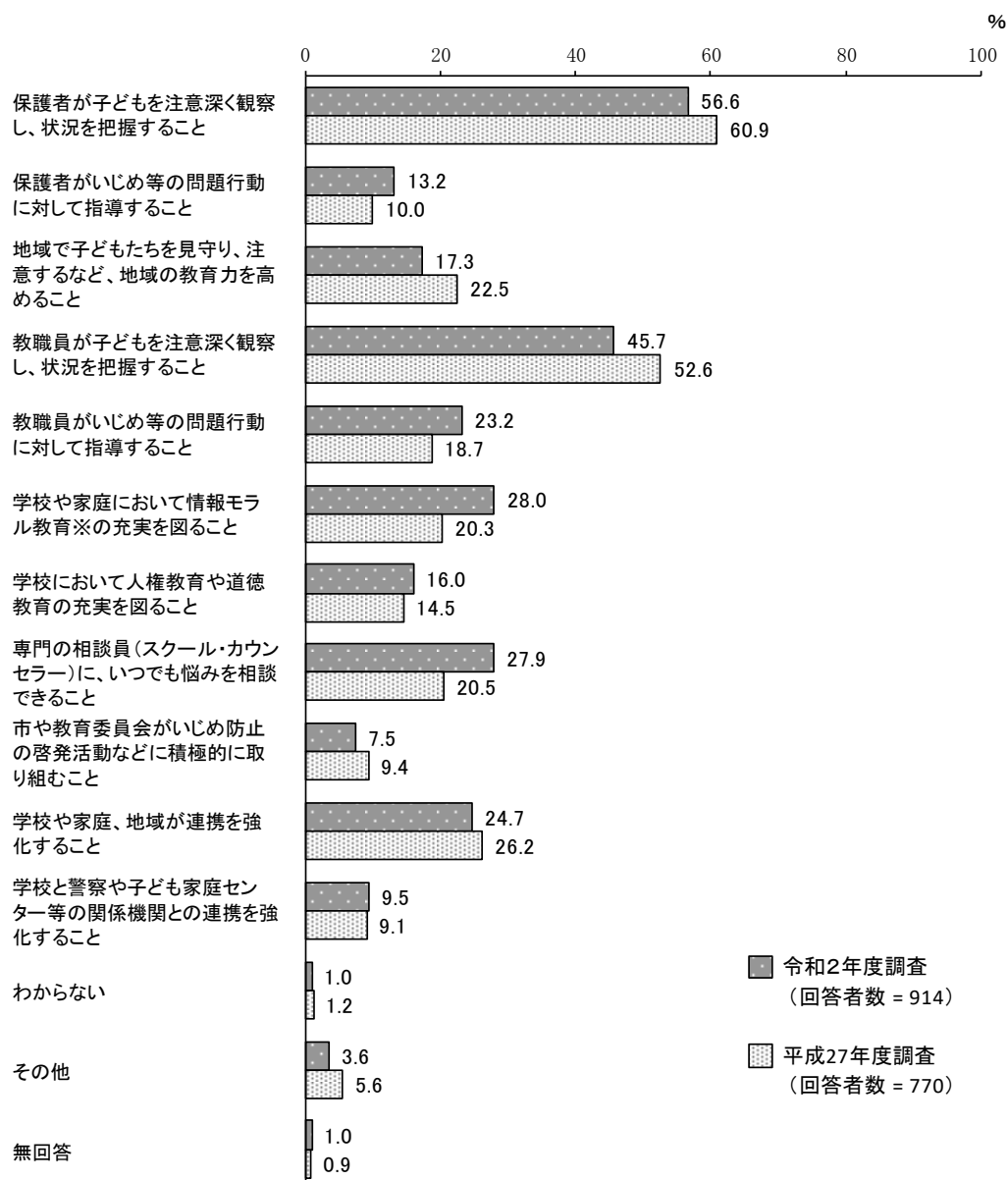
単位：％

区分	有効回答数(件)	教育に対する責任感や子どもに対する愛情を持って接すること	教職員がわかりやすい授業を工夫すること	生活習慣や社会規範の手本となり、指導すること	子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること	子どもや保護者の相談に快く応じてくれること	担当教科に関して専門的な知識を持っていること	子どもに公平に接すること	社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持っていること	部活動や体育等の基礎的な体づくりを熱心に指導すること	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	58.9	26.6	20.3	40.6	29.5	7.2	51.2	32.9	9.7	1.4	3.4	1.0
小学生の子ども	409	56.2	32.0	19.6	42.3	18.1	11.7	41.1	39.1	13.0	0.2	4.2	—
中学生の子ども	135	51.1	31.1	23.7	43.0	20.0	8.9	43.7	29.6	13.3	—	0.7	1.5
高校生の子ども	23	52.2	34.8	21.7	39.1	8.7	8.7	47.8	26.1	13.0	—	4.3	—
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	57.1	28.6	42.9	57.1	14.3	—	35.7	28.6	7.1	—	—	—
社会人の子ども	39	48.7	30.8	33.3	43.6	15.4	10.3	43.6	28.2	10.3	—	2.6	—

問 15 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためにはどのようなことが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

「保護者が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が56.6%と最も高く、次いで「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が45.7%、「学校や家庭において情報モラル教育※の充実を図ること」の割合が28.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「学校や家庭において情報モラル教育※の充実を図ること」、「専門の相談員（スクール・カウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること」の割合が増加しています。一方、「地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること」、「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子ども、中学生の子どもで「保護者が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が高くなっています。

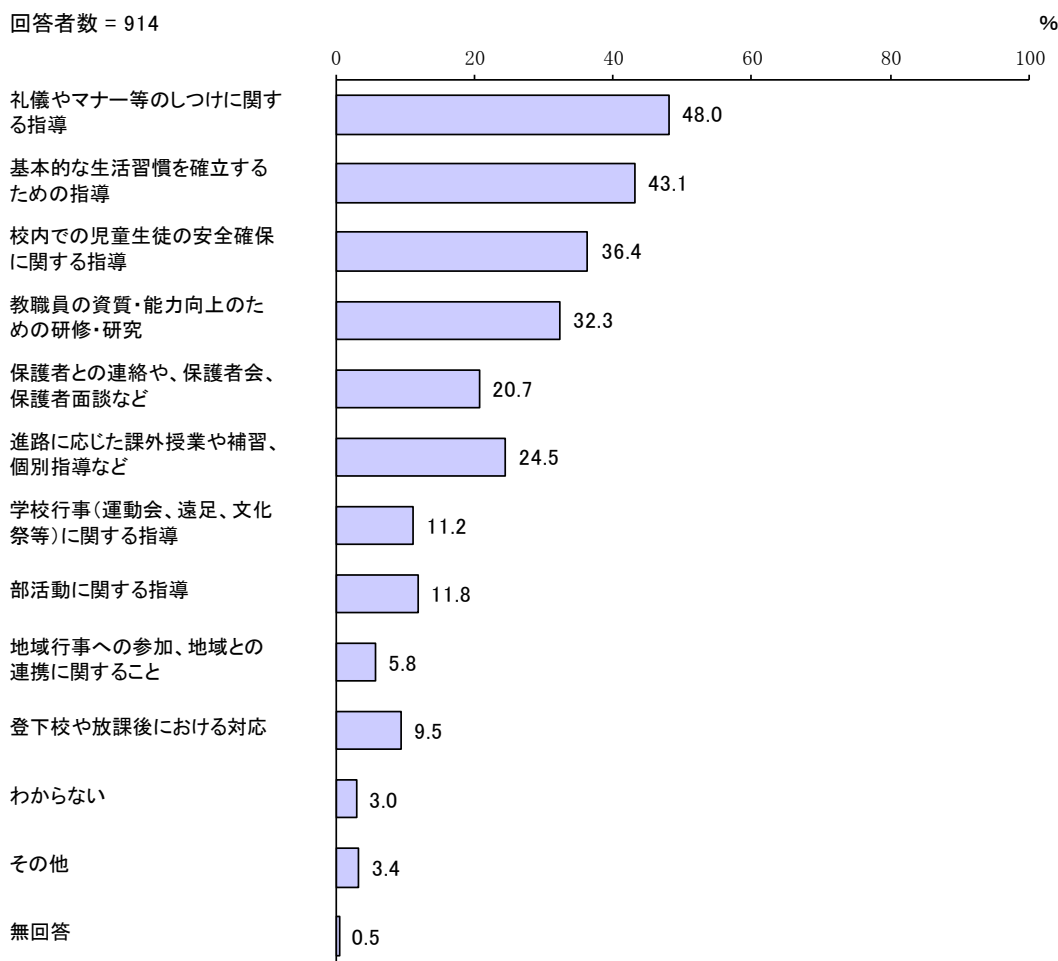
単位：％

区分	有効回答数（件）	保護者が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること	保護者がいじめ等の問題行動に対して指導すること	地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること	教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること	教職員がいじめ等の問題行動に対して指導すること	学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること	学校において人権教育や道徳教育の充実を図ること
就学前の子ども	207	54.6	13.5	19.3	43.5	21.3	34.8	17.9
小学生の子ども	409	60.9	14.4	15.4	48.4	24.2	26.7	15.4
中学生の子ども	135	61.5	10.4	16.3	48.9	26.7	22.2	14.8
高校生の子ども	23	56.5	8.7	13.0	52.2	39.1	26.1	—
専門学校生・大学生・大学院生の子 ども	14	50.0	14.3	14.3	28.6	14.3	35.7	35.7
社会人の子ども	39	56.4	5.1	28.2	41.0	12.8	28.2	10.3

区分	専門の相談員（スクール・カウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること	市や教育委員会がいじめ防止の啓発活動などに積極的に取り組むこと	学校や家庭、地域が連携を強化すること	学校と警察や子ども家庭センター等の関係機関との連携を強化すること	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	26.6	4.3	25.6	9.7	1.4	3.9	—
小学生の子ども	27.9	6.8	24.9	9.3	1.0	3.7	0.7
中学生の子ども	29.6	8.1	20.7	6.7	0.7	2.2	1.5
高校生の子ども	26.1	4.3	17.4	17.4	—	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子 ども	35.7	21.4	21.4	14.3	—	—	—
社会人の子ども	28.2	7.7	35.9	10.3	—	—	—

問 16 あなたは、教職員が授業以外で行っていることのうち優先すべきものは何だと思いますか。（主なもの3つまで○）

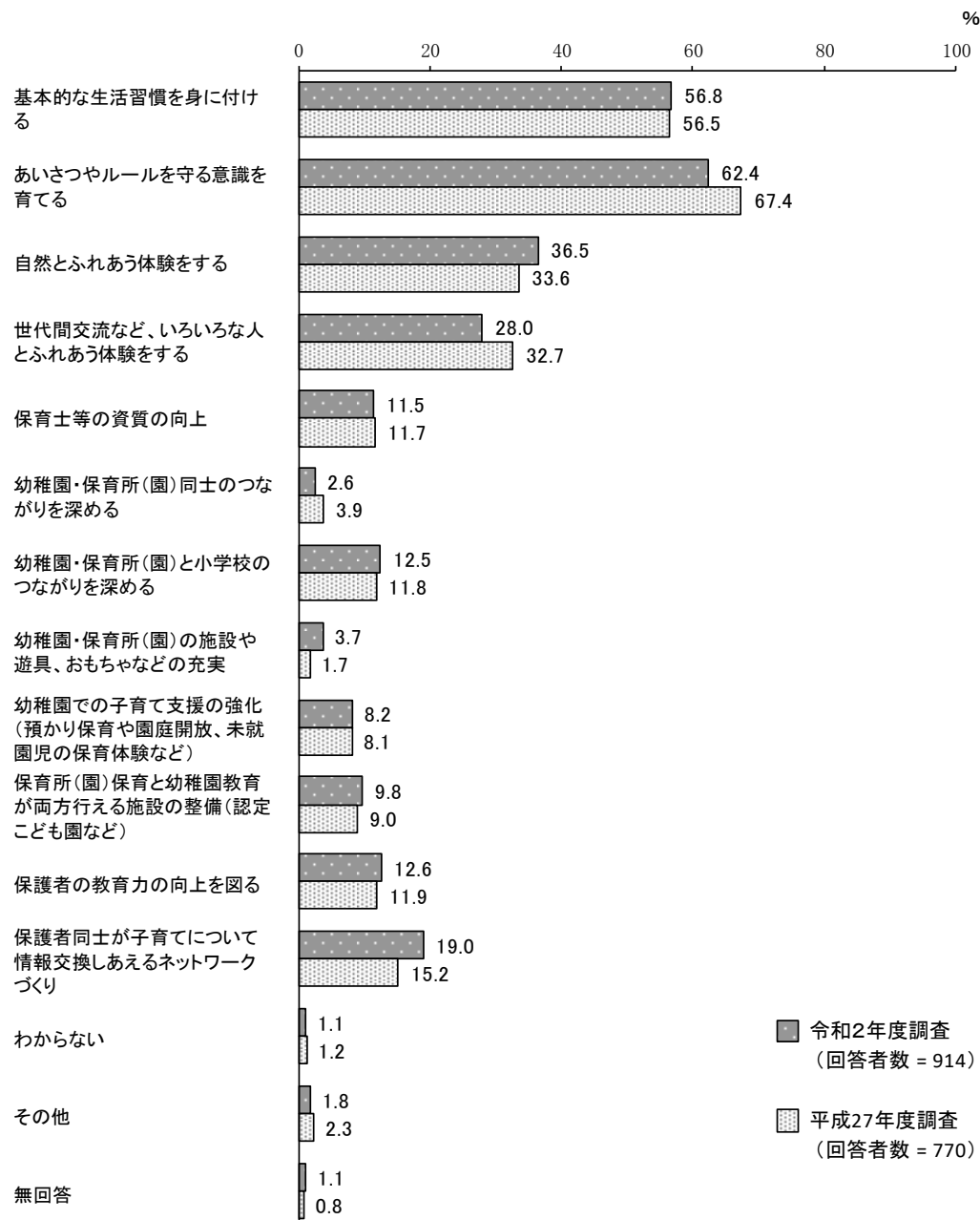
「礼儀やマナー等のしつけに関する指導」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を確立するための指導」の割合が 43.1%、「校内での児童生徒の安全確保に関する指導」の割合が 36.4%となっています。



問 17 あなたは、豊川市の就学前教育の充実のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

「あいさつやルールを守る意識を育てる」の割合が62.4%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を身に付ける」の割合が56.8%、「自然とふれあう体験をする」の割合が36.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「あいさつやルールを守る意識を育てる」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「基本的な生活習慣を身に付ける」の割合が、就学前の子どもで「あいさつやルールを守る意識を育てる」の割合が高くなっています。

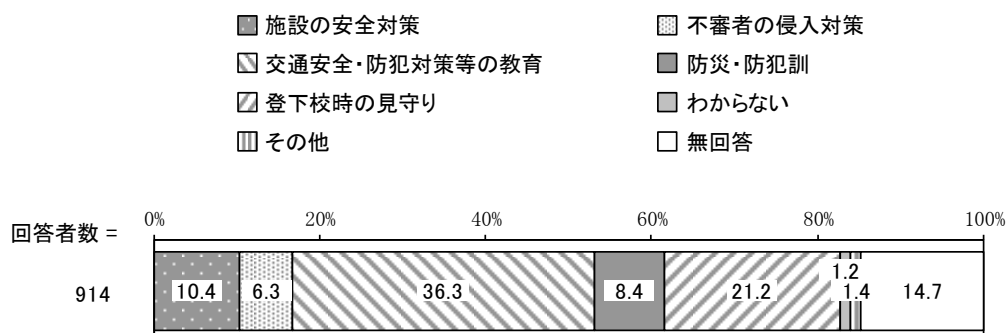
単位：％

区分	有効回答数（件）	基本的な生活習慣を身に付ける	あいさつやルールを守る意識を育てる	自然とふれあう体験をする	世代間交流など、いろいろな人とふれあう体験をする	保育士等の資質の向上	幼稚園・保育所（園）同士のつながりを深める	幼稚園・保育所（園）と小学校のつながりを深める
就学前の子ども	207	57.5	66.2	40.1	24.2	9.7	2.9	10.1
小学生の子ども	409	59.7	63.6	37.9	27.4	13.4	2.7	13.7
中学生の子ども	135	51.1	63.0	31.1	34.1	9.6	1.5	14.1
高校生の子ども	23	43.5	47.8	39.1	30.4	21.7	—	21.7
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	64.3	57.1	21.4	21.4	14.3	—	14.3
社会人の子ども	39	69.2	56.4	30.8	33.3	12.8	2.6	7.7

区分	幼稚園・保育所（園）の施設や遊具、おもちゃなどの充実	幼稚園での子育て支援の強化（預かり保育や園庭開放、未就園児の保育体験など）	保育所（園）保育と幼稚園教育が両方行える施設の整備（認定こども園など）	保護者の教育力の向上を図る	保護者同士が子育てについて情報交換しあえるネットワークづくり	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	4.8	9.7	15.0	9.2	19.8	1.9	1.9	—
小学生の子ども	3.9	4.9	9.0	14.2	17.6	0.5	1.2	0.5
中学生の子ども	3.0	11.9	5.9	11.9	18.5	0.7	3.0	2.2
高校生の子ども	—	8.7	—	21.7	13.0	—	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	—	—	—
社会人の子ども	—	10.3	12.8	5.1	28.2	2.6	—	—

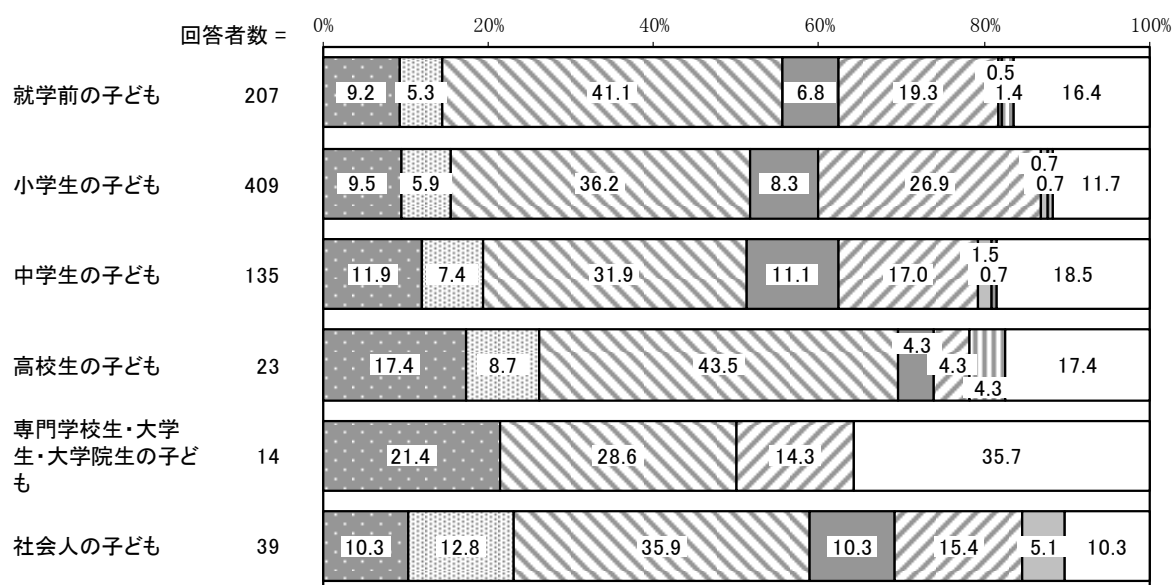
問 18 あなたは、子どもたちの安全・安心な学校生活の充実のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（主なもの 1 つに○）

「交通安全・防犯対策等の教育練」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「登下校時の見守り」の割合が 21.2%、「施設の安全対策」の割合が 10.4%となっています。



【子どもの年代別傾向】

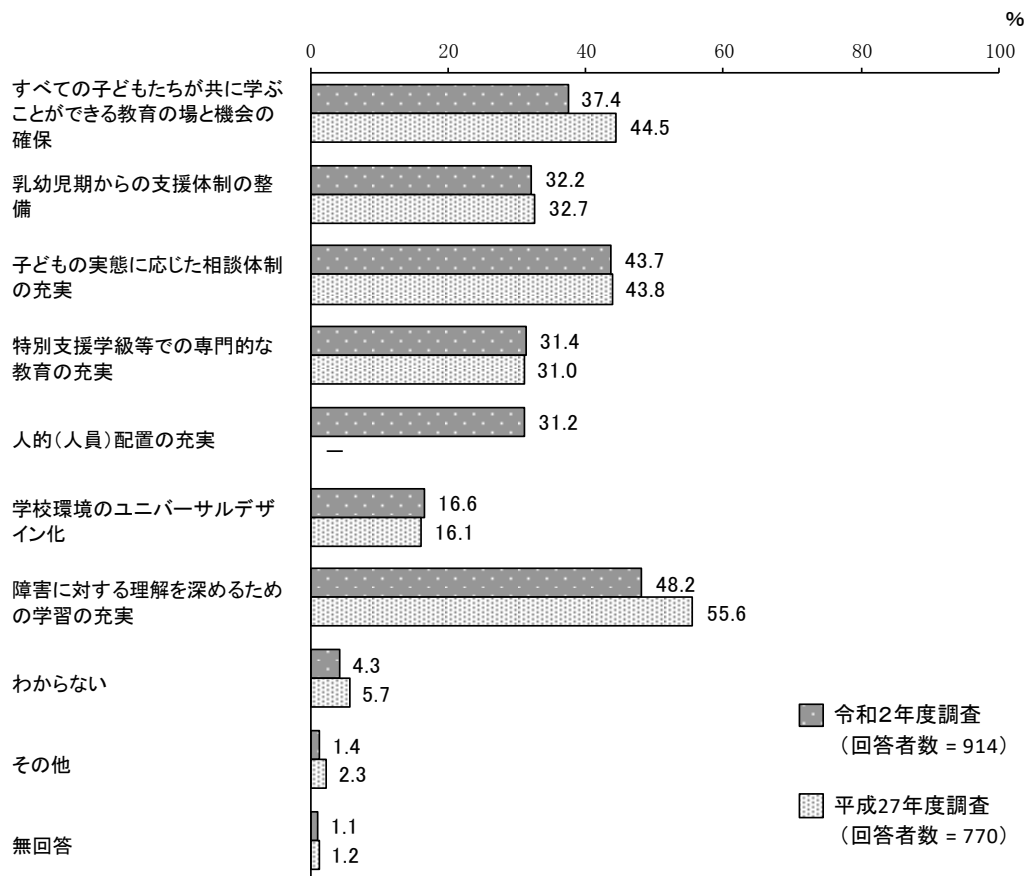
子どもの年代別でみると、子どもの年代が高くなるにつれて「施設の安全対策」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、高校生の子どもで「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が、小学生の子どもで「登下校の見守り」の割合が高くなっています。



問 19 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

「障害に対する理解を深めるための学習の充実」の割合が48.2%と最も高く、次いで「子どもの実態に応じた相談体制の充実」の割合が43.7%、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保」の割合が37.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保」、「障害に対する理解を深めるための学習の充実」の割合が減少しています。



※前回調査に「人的（人員）配置の充実」の選択肢はありません。

【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「人的（人員）配置の充実」、「障害に対する理解を深めるための学習の充実」の割合が、高校生の子どもの「子どもの実態に応じた相談体制の充実」の割合が高くなっています。

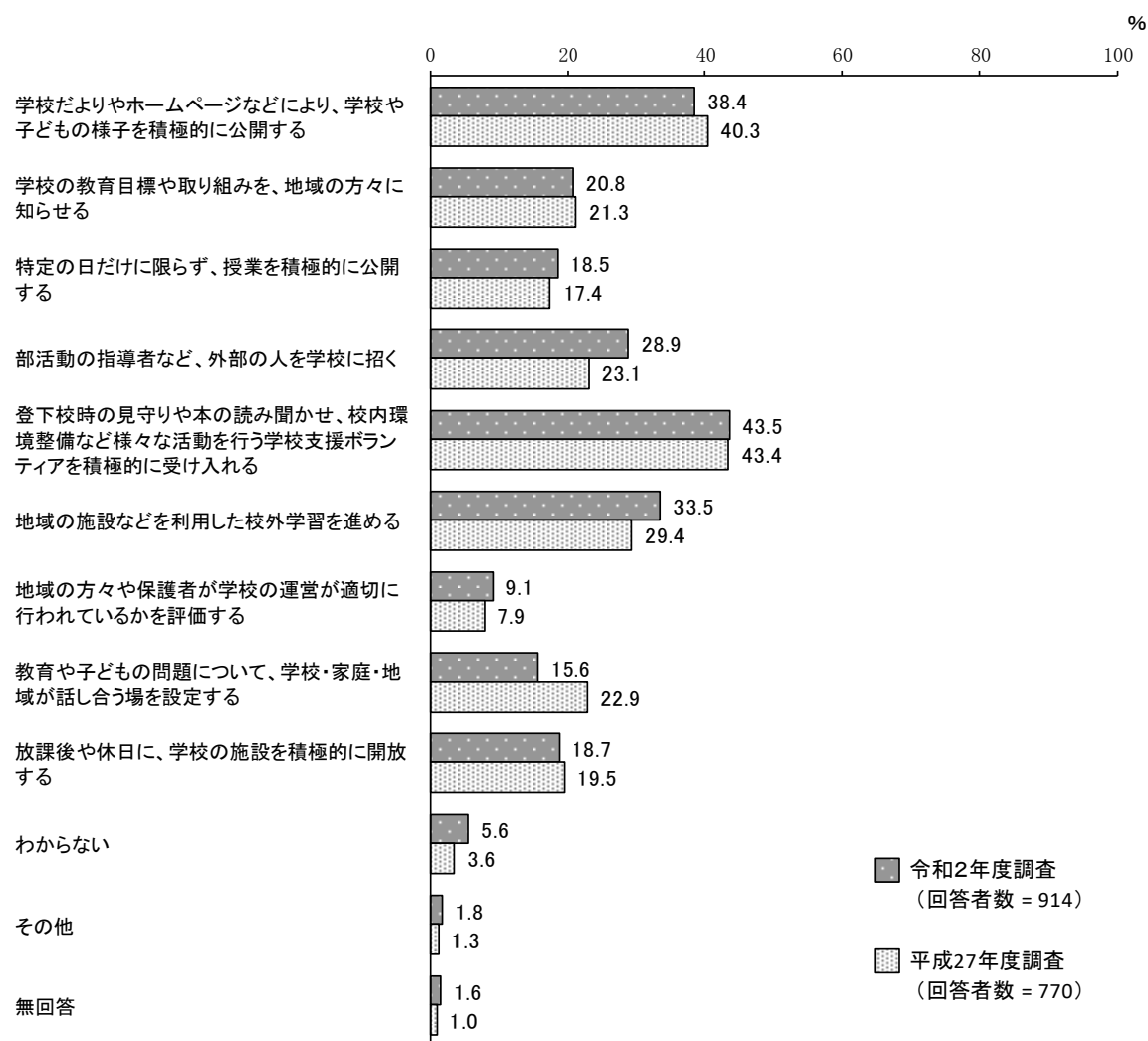
単位：％

区分	有効回答数（件）	すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の場と機会の確保	乳幼児期からの支援体制の整備	子どもの実態に応じた相談体制の充実	特別支援学級等での専門的な教育の充実	人的（人員）配置の充実	学校環境のユニバーサルデザイン化	障害に対する理解を深めるための学習の充実	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	42.0	40.1	48.3	26.6	28.5	15.5	44.9	4.8	0.5	0.5
小学生の子ども	409	36.2	30.1	42.1	33.3	33.0	15.2	50.6	4.4	2.2	0.7
中学生の子ども	135	30.4	34.1	48.1	39.3	29.6	16.3	49.6	2.2	—	0.7
高校生の子どもの	23	30.4	26.1	56.5	21.7	21.7	21.7	52.2	4.3	8.7	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	28.6	42.9	35.7	42.9	57.1	14.3	57.1	—	—	—
社会人の子ども	39	53.8	23.1	46.2	25.6	15.4	15.4	51.3	2.6	—	—

問 20 地域に開かれた学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。（主なものの3つまで○）

「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が43.5%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が38.4%、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が33.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が増加しています。一方、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

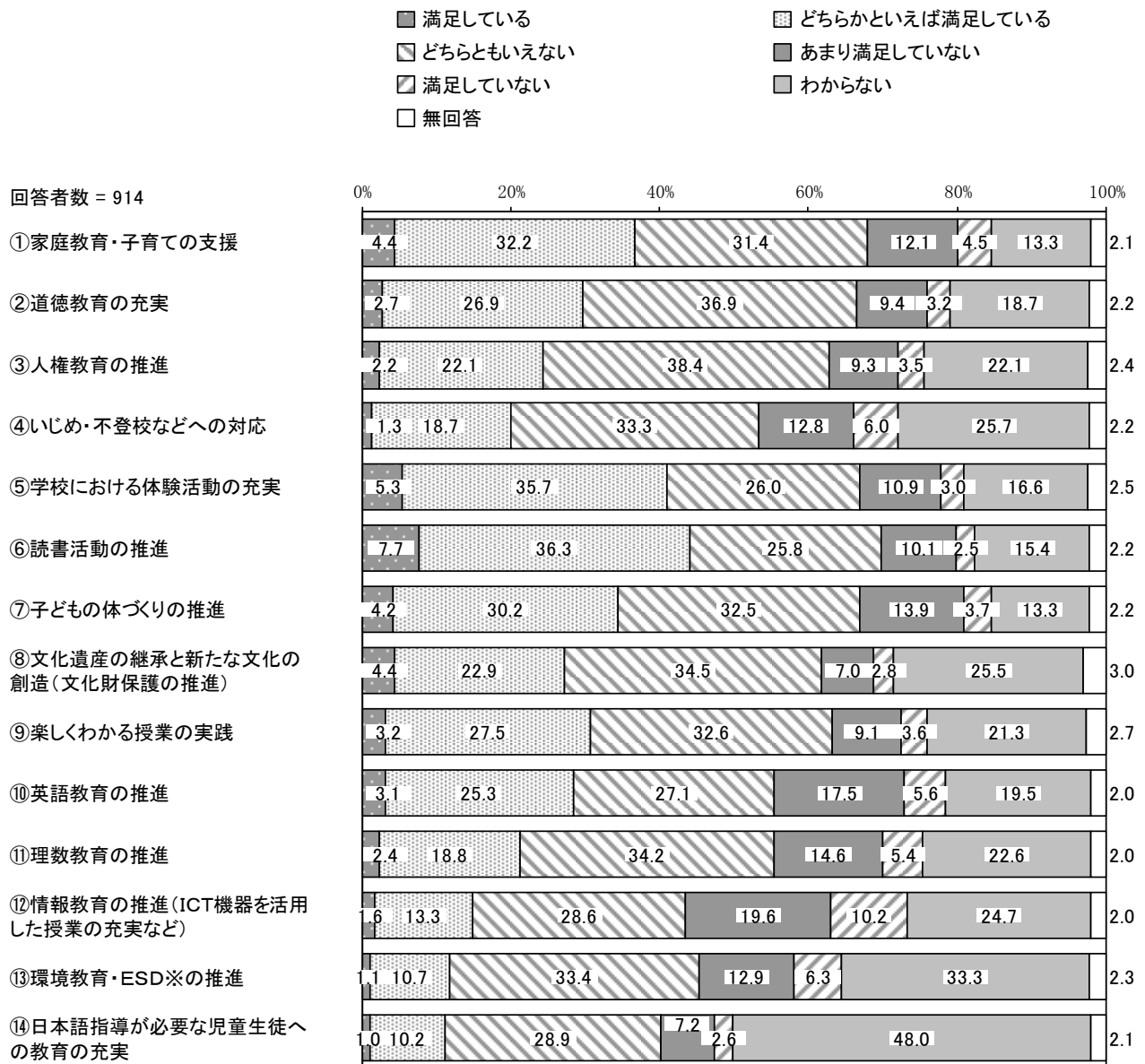
子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が高くなっています。また、小学生の子どもで「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が高く、4割を超えています。

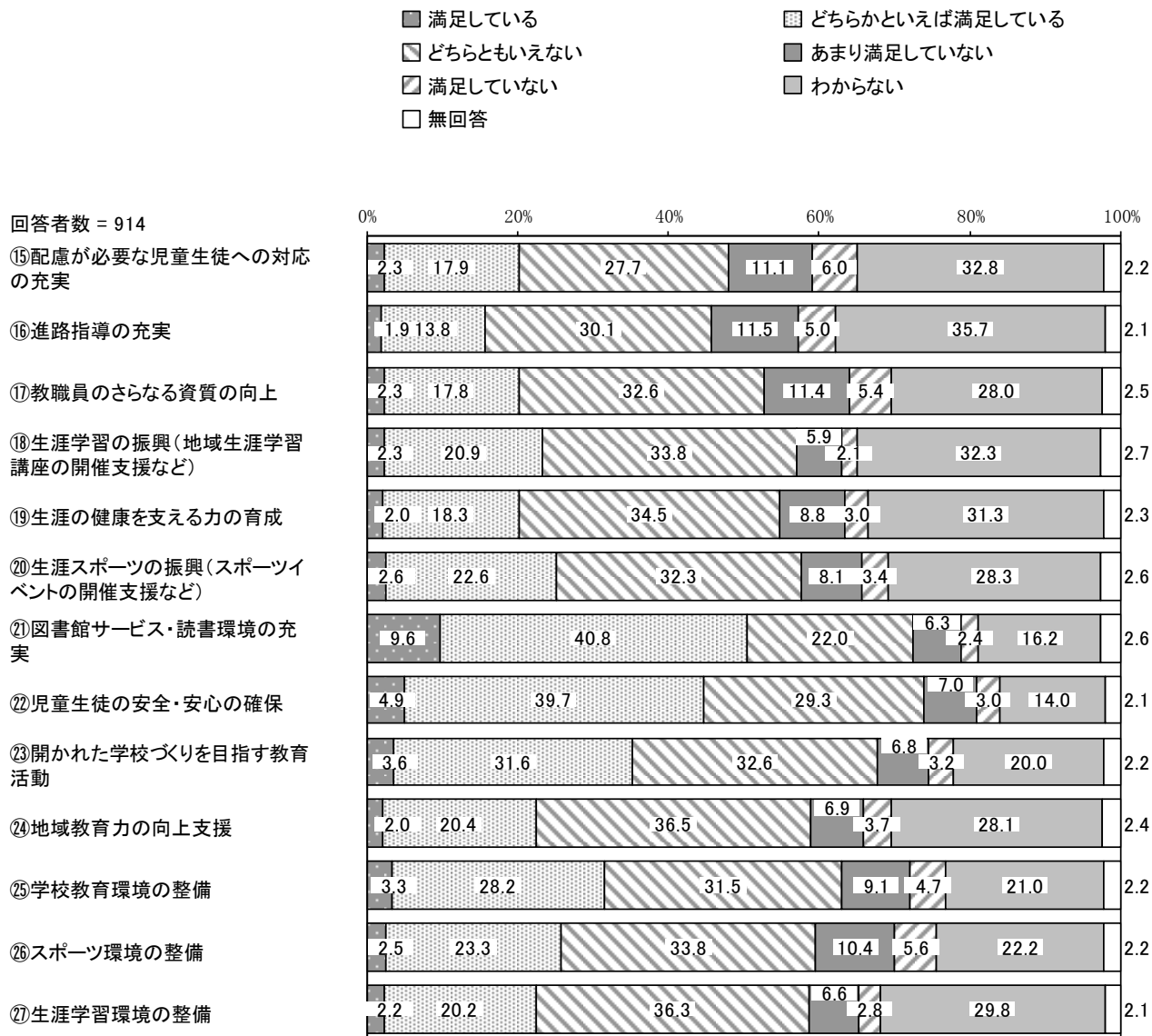
単位：％

区分	有効回答数（件）	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取り組みを、地域の方々に知らせる	特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する	部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	40.1	22.2	21.7	28.5	40.6	30.9	10.6	15.5	22.2	4.8	2.4	0.5
小学生の子ども	409	36.2	20.3	18.6	29.1	47.2	40.1	7.6	13.9	18.6	4.6	1.2	1.2
中学生の子ども	135	46.7	20.0	14.8	37.8	37.0	25.9	8.9	13.3	17.8	5.2	1.5	2.2
高校生の子ども	23	39.1	21.7	26.1	21.7	39.1	26.1	8.7	17.4	26.1	8.7	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	42.9	21.4	7.1	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	14.3	7.1	—	—
社会人の子ども	39	53.8	33.3	12.8	23.1	48.7	23.1	5.1	25.6	10.3	7.7	—	—

問 21 次の教育施策や教育事業について、あなたは、現在の豊川市の取り組みに満足していますか。(①～⑭の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

『②図書館サービス・読書環境の充実』、『②児童生徒の安全・安心の確保』で「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた“満足している”の割合が高くなっています。一方、『⑩英語教育の充実』、『⑫情報教育の推進（ICT機器を活用した授業の充実など）』で「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が高くなっています。



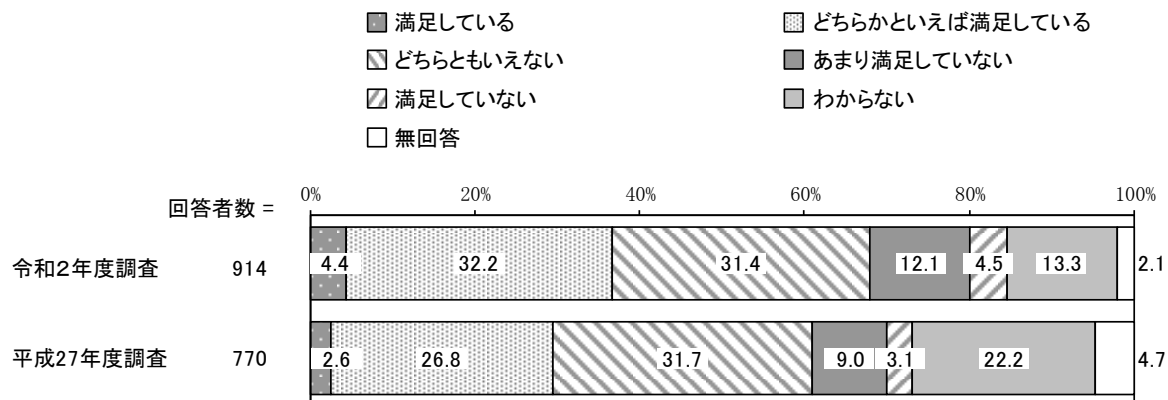


※前回調査に「⑤学校における体験活動の充実」、「⑦子どもの体づくりの推進」、「⑩英語教育の推進」、「⑪理数教育の推進」、「⑫情報教育の推進（ＩＣＴ機器を活用した授業の充実など）」、「⑬環境教育・ＥＳＤの推進」、「⑭地域教育力の向上支援」の項目はありません。

【前回調査と比較】

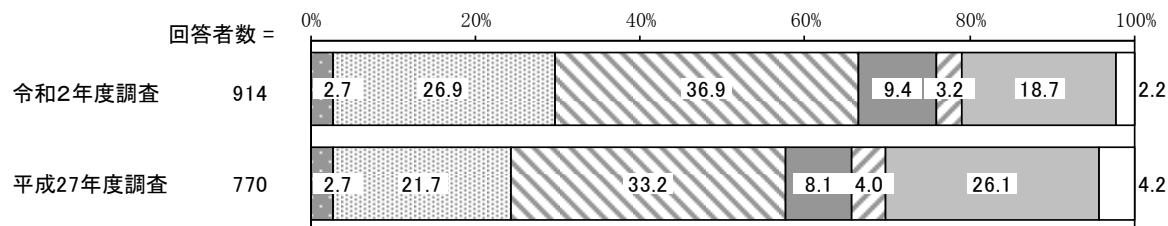
①家庭教育・子育ての支援

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



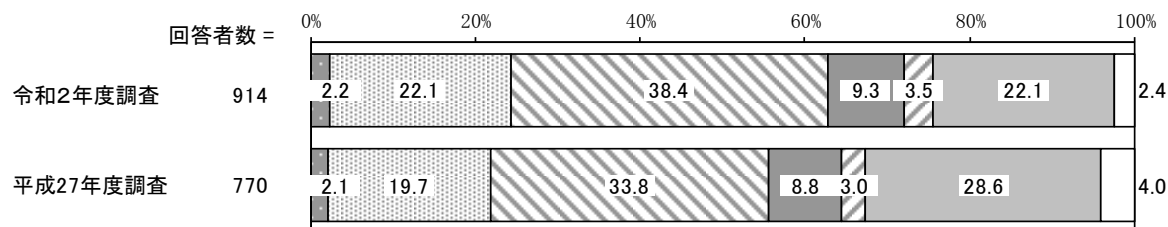
②道徳教育の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



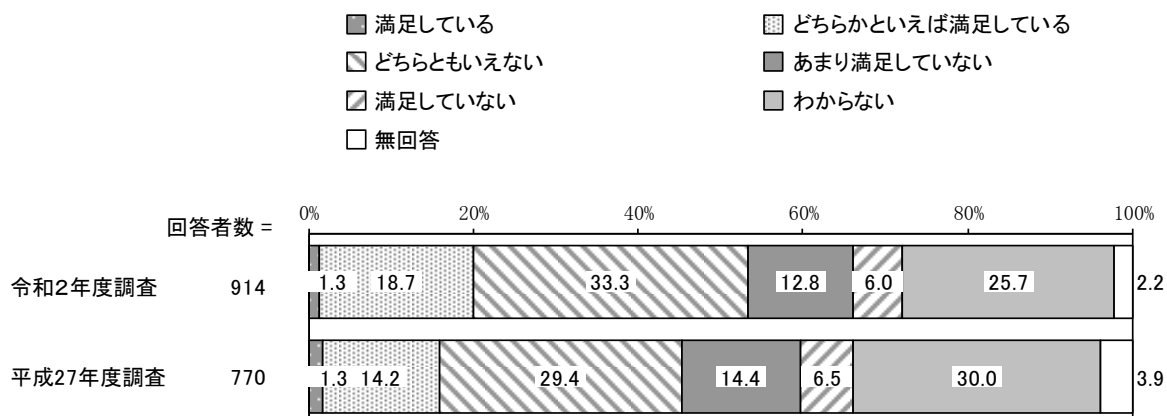
③人権教育の推進

平成 27 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



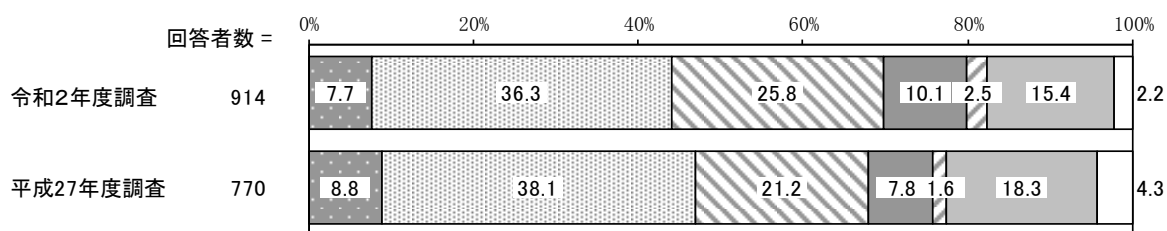
④いじめ・不登校などへの対応

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



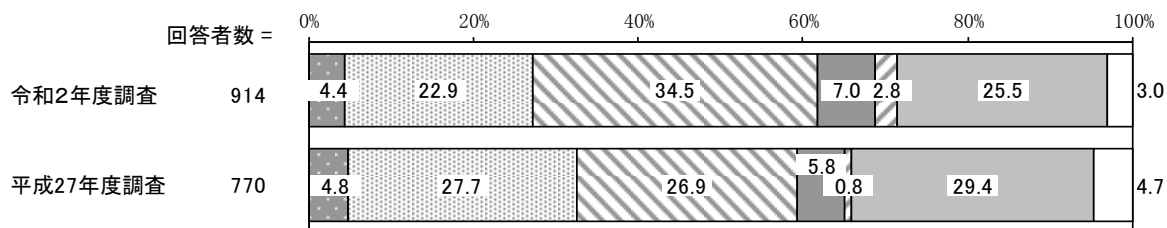
⑥読書活動の推進

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



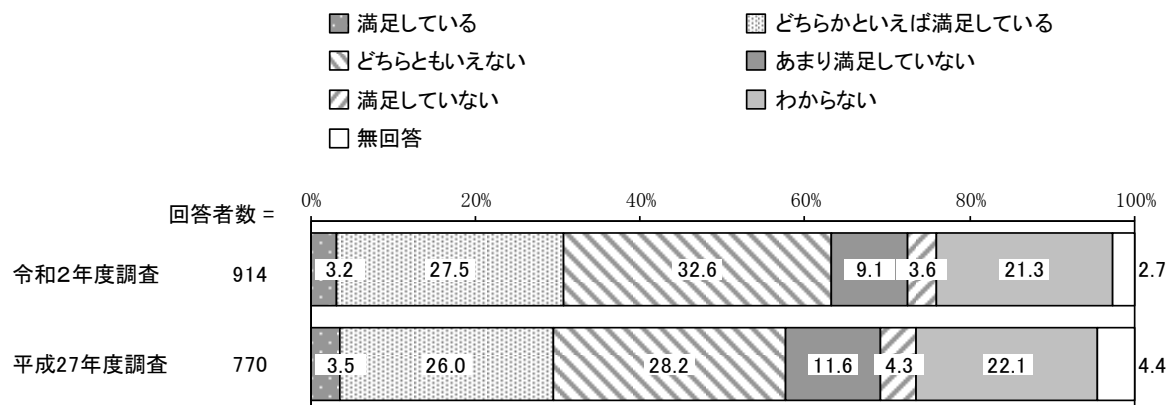
⑧文化遺産の継承と新たな文化の創造（文化財保護の推進）

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。



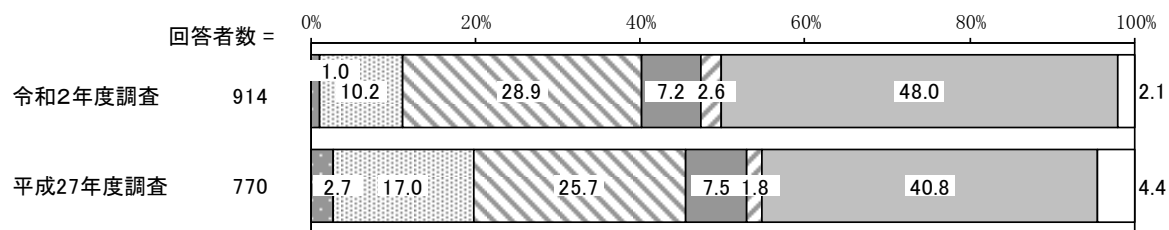
⑨楽しくわかる授業の実践

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



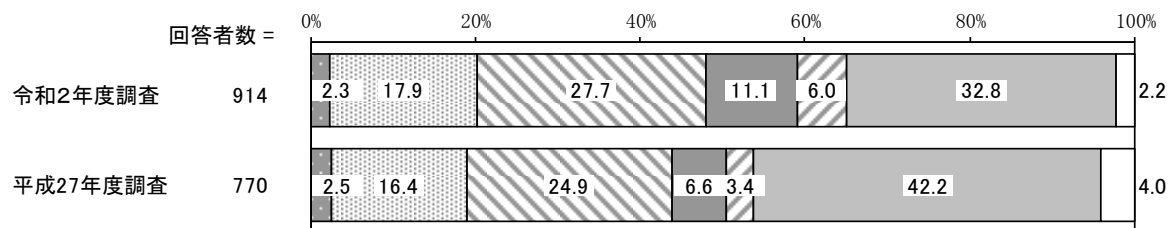
⑭日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば満足している」の割合が減少しています。



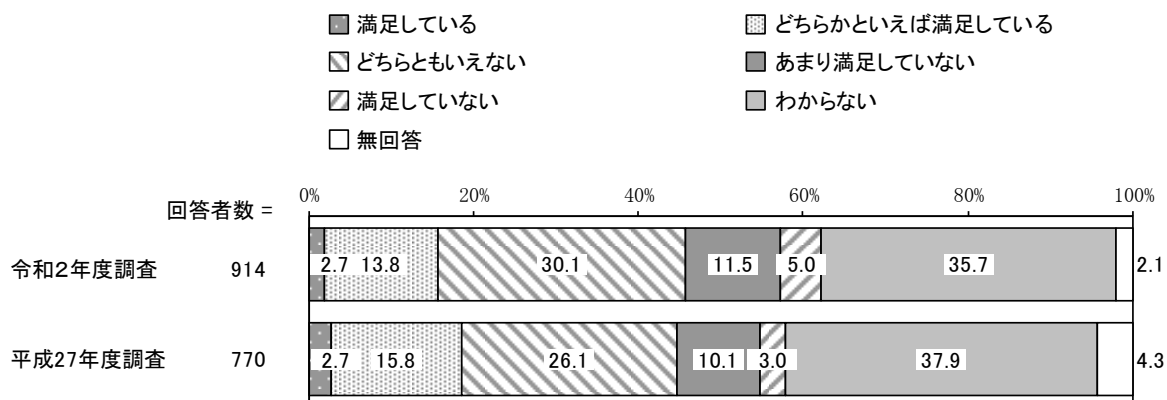
⑮配慮が必要な児童生徒への対応の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



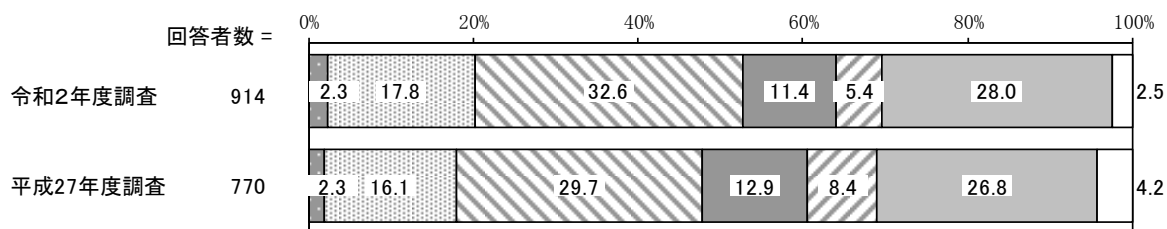
⑯進路指導の充実

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



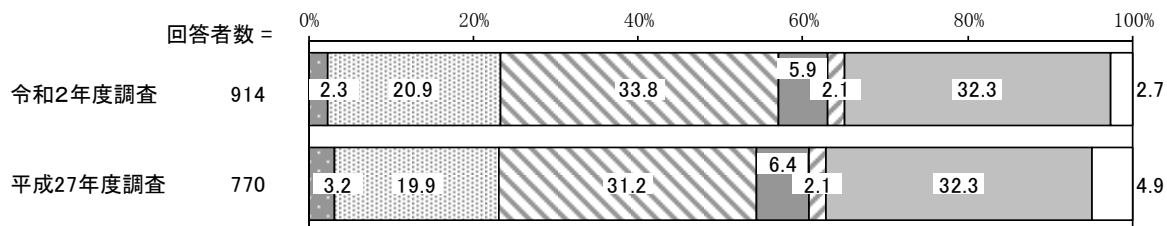
⑰教職員のさらなる資質の向上

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



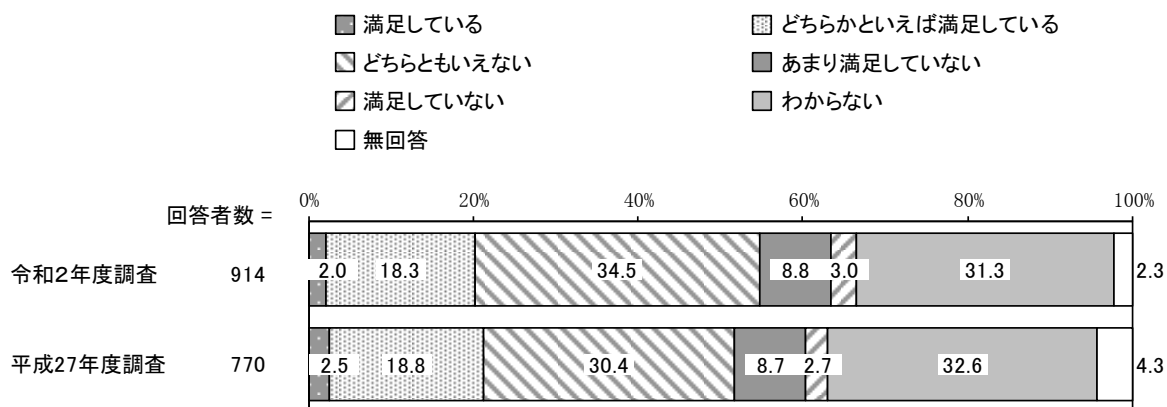
⑱生涯学習の振興（地域生涯学習講座の開催支援など）

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



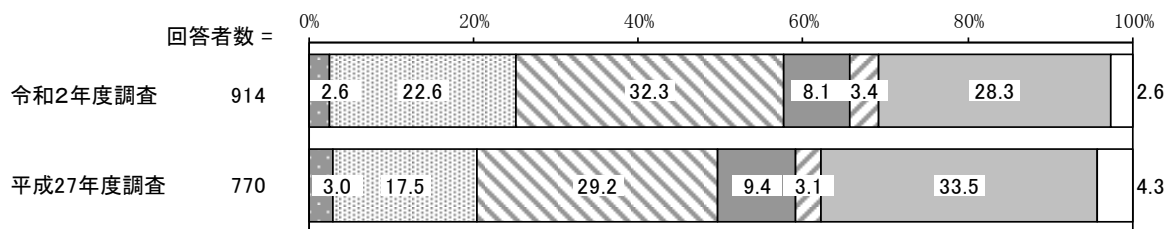
⑱生涯の健康を支える力の育成

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



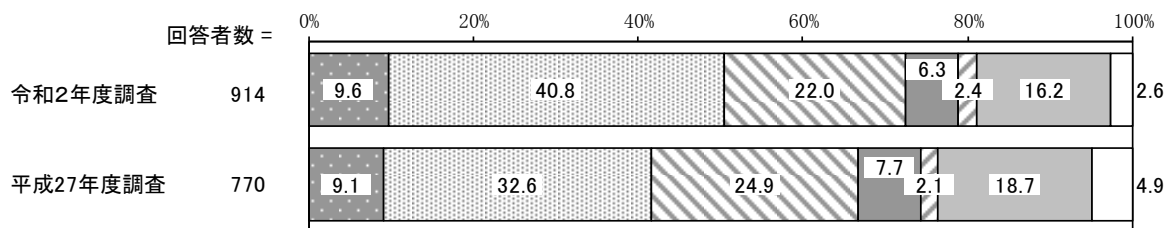
㉑生涯スポーツの振興（スポーツイベントの開催支援など）

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



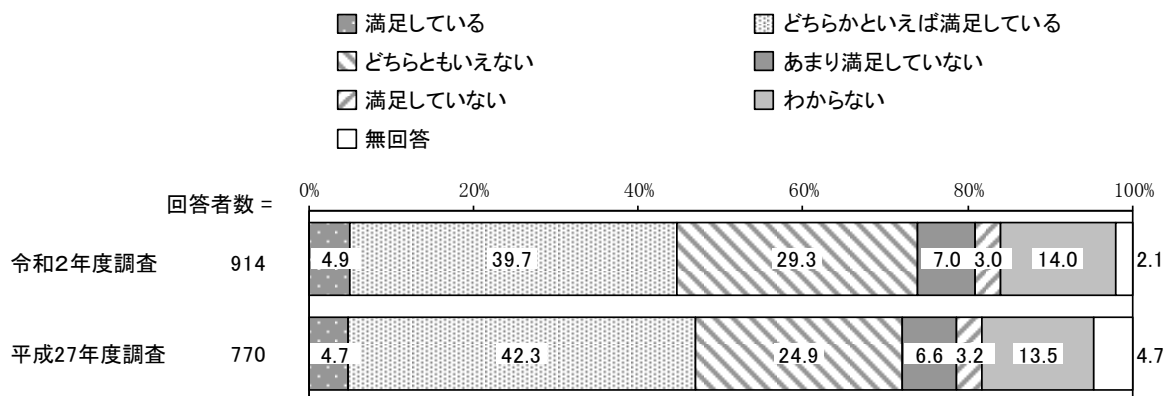
㉒図書館サービス・読書環境の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が増加しています。



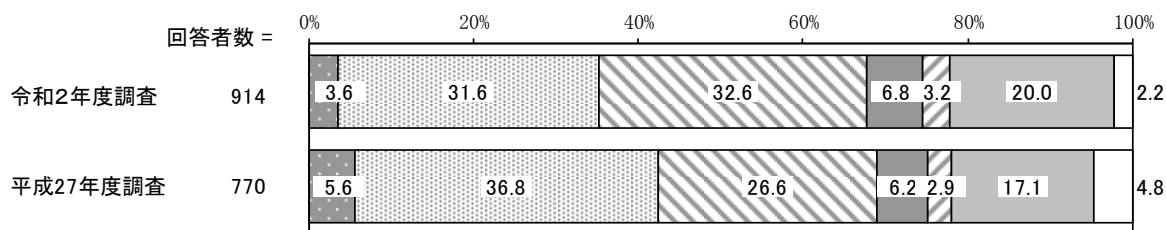
②②児童生徒の安全・安心の確保

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



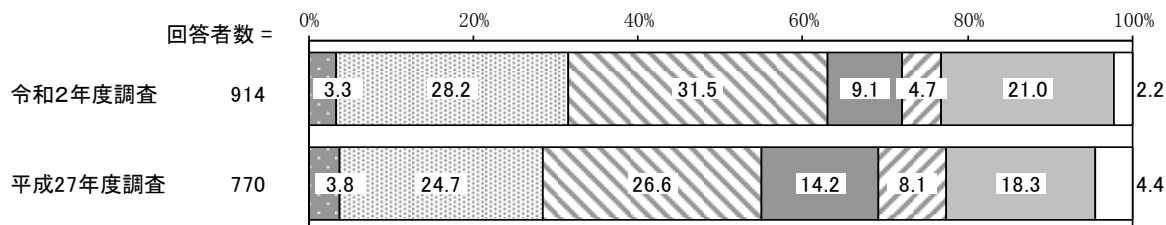
②③開かれた学校づくりを目指す教育活動

平成 27 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば満足している」の割合が減少しています。



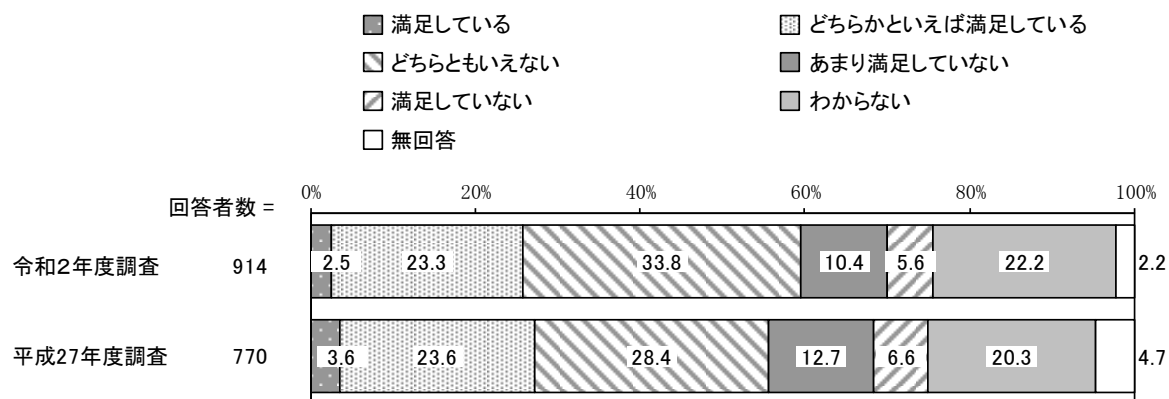
②⑤学校教育環境の整備

平成 27 年度調査と比較すると、「あまり満足していない」の割合が減少しています。



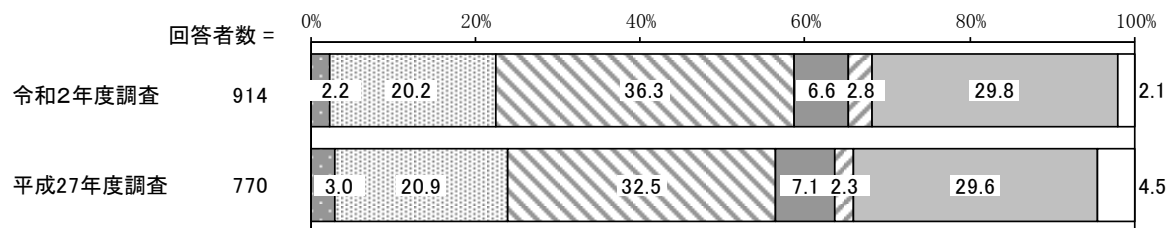
②⑥スポーツ環境の整備

平成27年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。



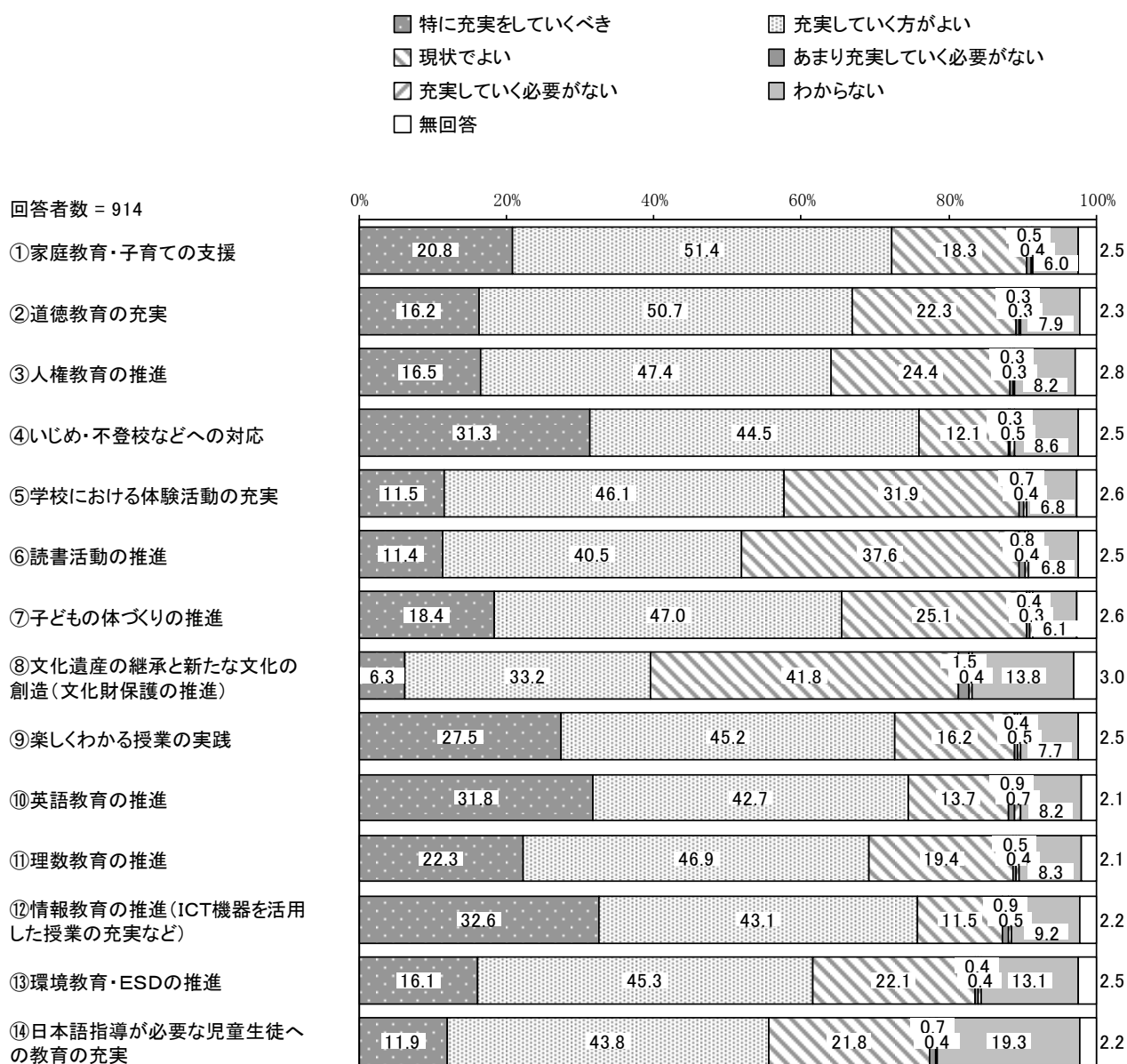
②⑦生涯学習環境の整備

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後豊川市で力を入れて行う必要があると思いますか。(①～⑭の各項目について、あてはまるものに、それぞれ1つだけ○)

『①家庭教育・子育ての支援』、『④いじめ不登校への対応』、『⑨楽しくわかる授業の実践』、『⑩英語教育の推進』、『⑫情報教育の推進（ICT機器を活用した授業の充実など）』で「特に充実していくべき」と「充実していく方がよい」を合わせた“充実していくべき”の割合が高く、7割を超えています。一方、『⑧文化遺産の継承と新たな文化の創造（文化財保護の推進）』、『⑭生涯学習の振興（地域生涯学習講座の開催支援など）』で“充実していくべき”の割合が低く、約4割となっています。



回答者数 = 914

⑮配慮が必要な児童生徒への対応の充実

⑯進路指導の充実

⑰教職員のさらなる資質の向上

⑱生涯学習の振興（地域生涯学習講座の開催支援など）

⑲生涯の健康を支える力の育成

⑳生涯スポーツの振興（スポーツイベントの開催支援など）

㉑図書館サービス・読書環境の充実

㉒児童生徒の安全・安心の確保

㉓開かれた学校づくりを目指す教育活動

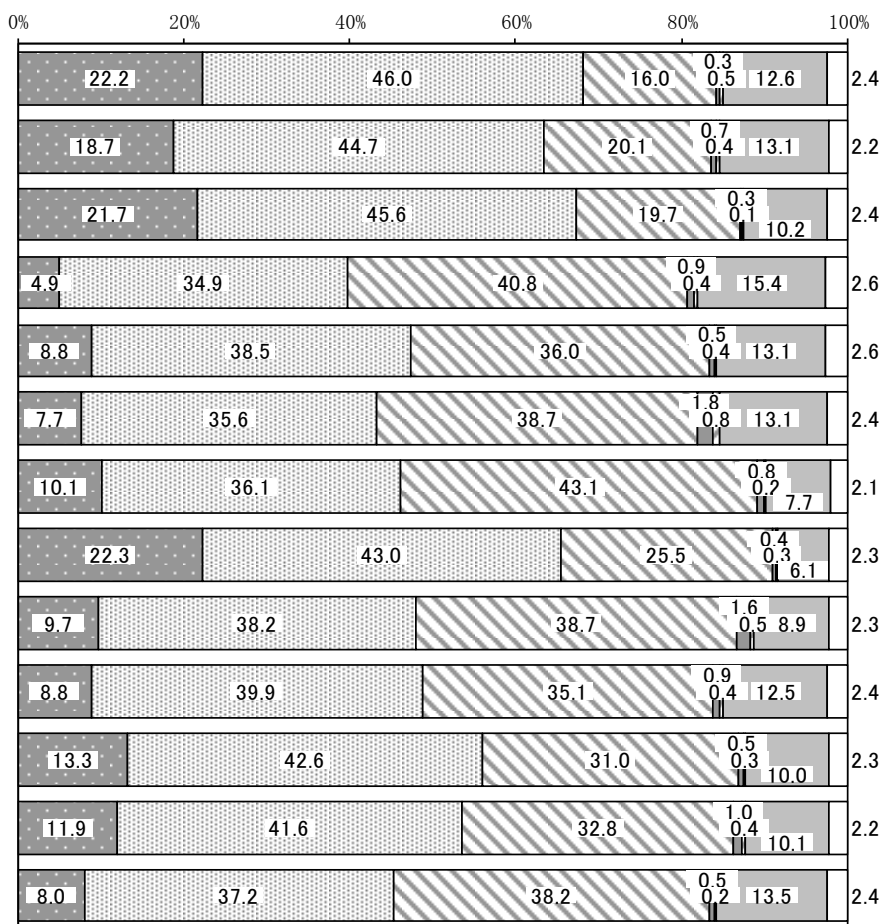
㉔地域教育力の向上支援

㉕学校教育環境の整備

㉖スポーツ環境の整備

㉗生涯学習環境の整備

- 特に充実をしていくべき
- 現状でよい
- 充実していく必要がない
- 無回答
- 充実していく方がよい
- あまり充実していく必要がない
- わからない

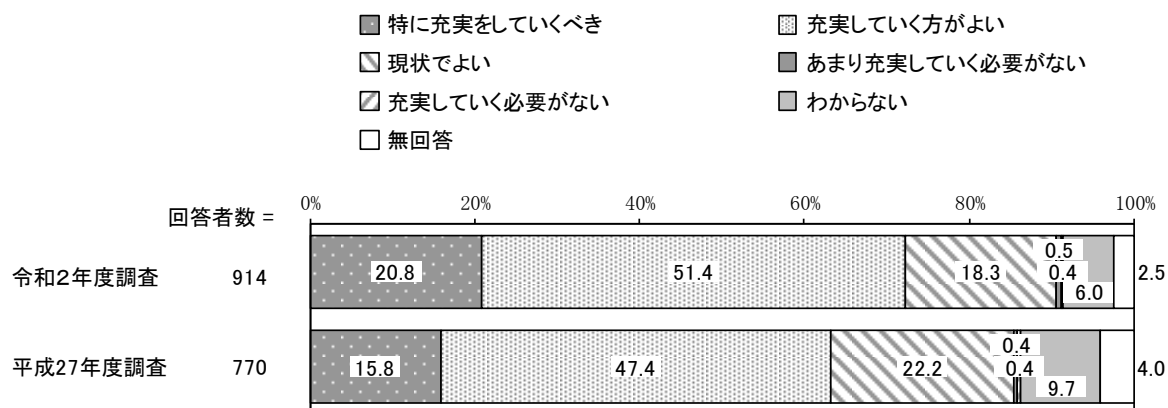


※前回調査に「⑤学校における体験活動の充実」、「⑦子どもの体づくりの推進」、「⑩英語教育の推進」、「⑪理数教育の推進」、「⑫情報教育の推進（ＩＣＴ機器を活用した授業の充実など）」、「⑬環境教育・ＥＳＤの推進」、「⑭地域教育力の向上支援」の項目はありません。

【前回調査と比較】

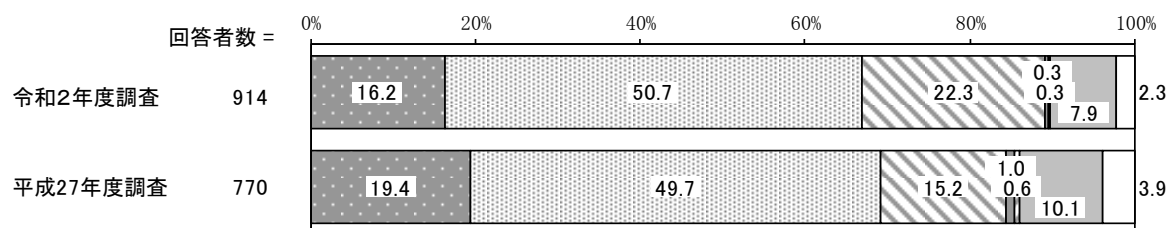
①家庭教育・子育ての支援

平成 27 年度調査と比較すると、「特に充実をしていくべき」の割合が増加しています。



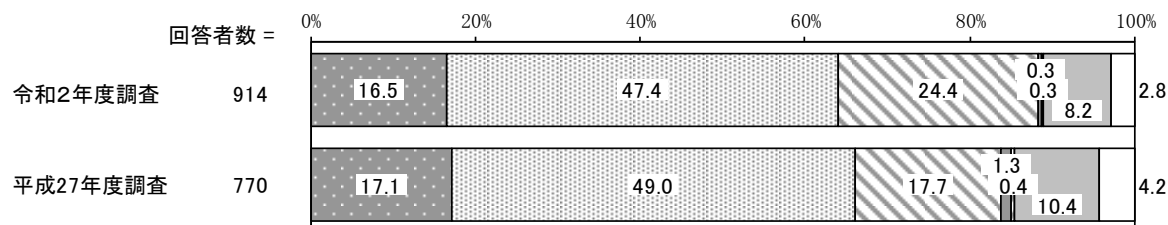
②道徳教育の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。



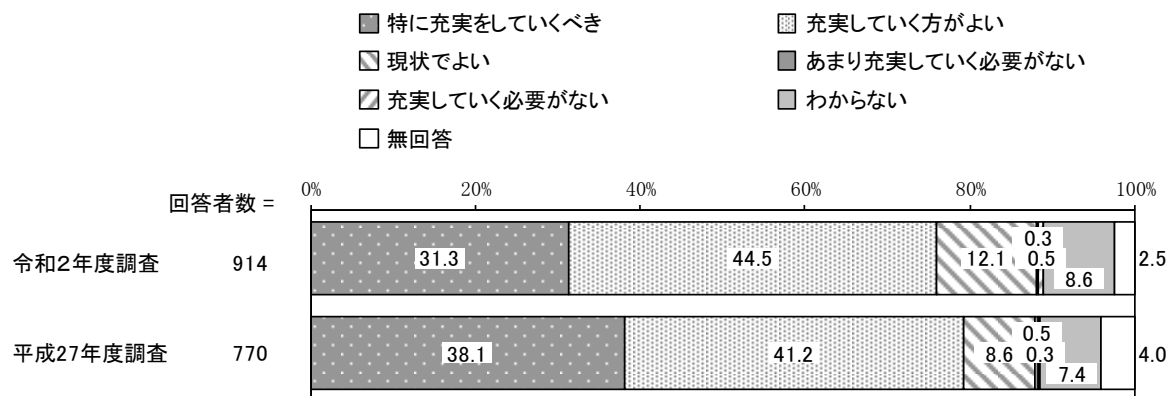
③人権教育の推進

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。



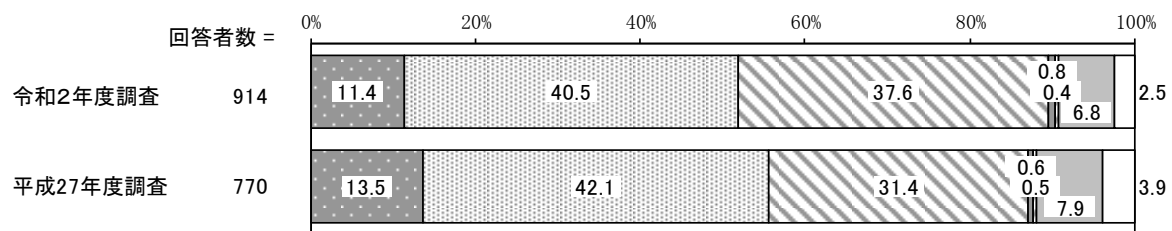
④いじめ・不登校などへの対応

平成 27 年度調査と比較すると、「特に充実をしていくべき」の割合が減少しています。



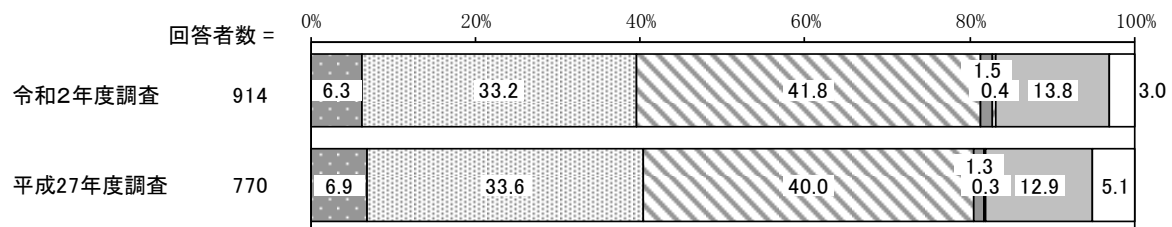
⑥読書活動の推進

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。



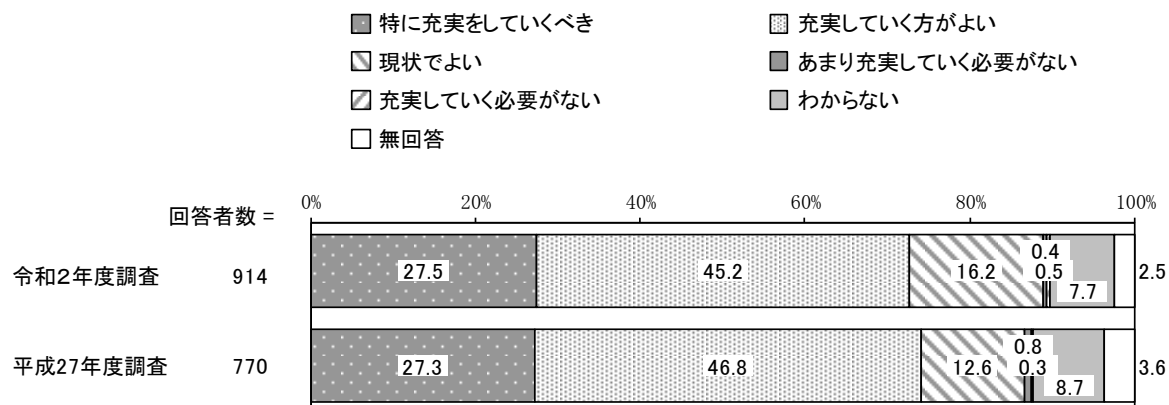
⑧文化遺産の継承と新たな文化の創造（文化財保護の推進）

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



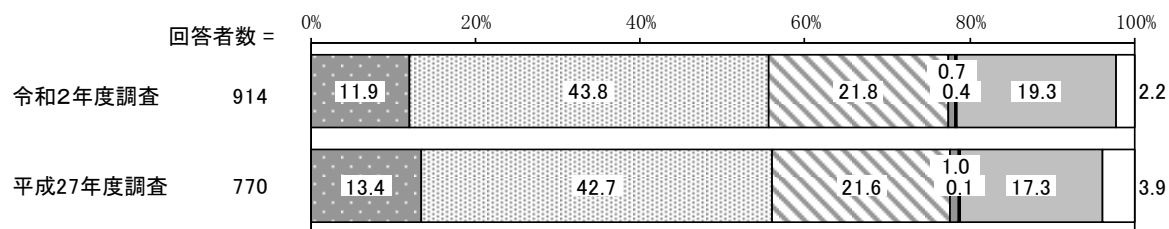
⑨楽しくわかる授業の実践

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



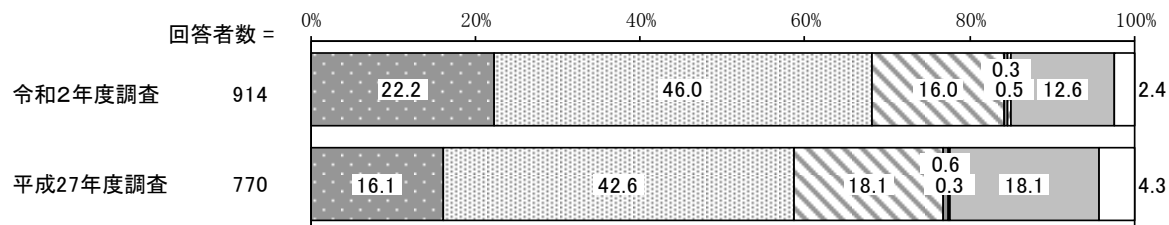
⑭日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



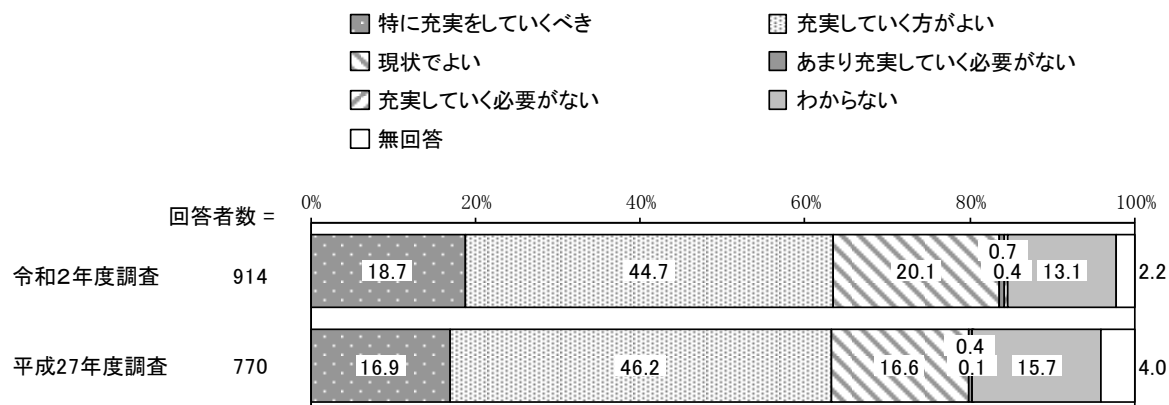
⑮配慮が必要な児童生徒への対応の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「特に充実をしていくべき」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



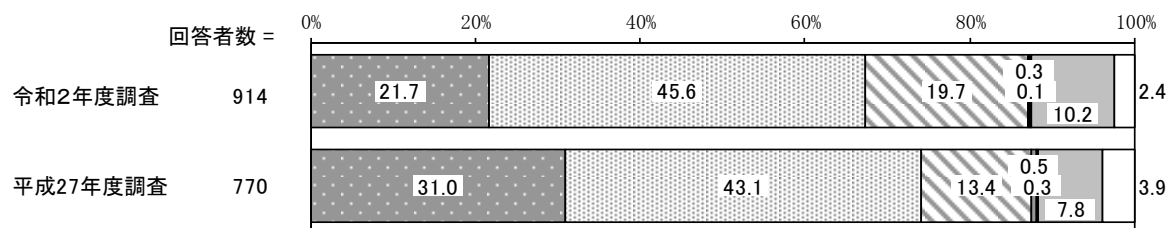
⑯進路指導の充実

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



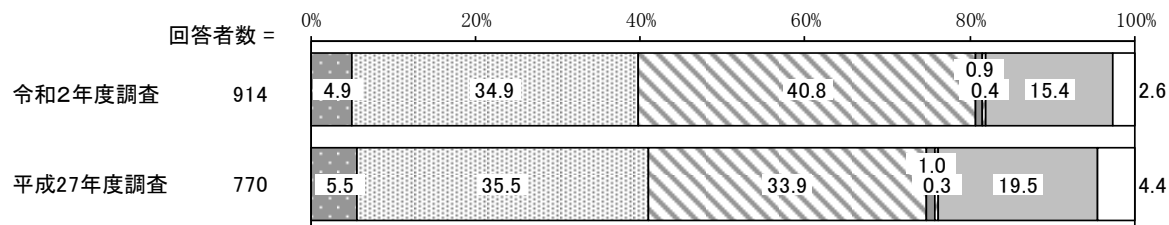
⑰教職員のさらなる資質の向上

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。一方、「特に充実をしていくべき」の割合が減少しています。



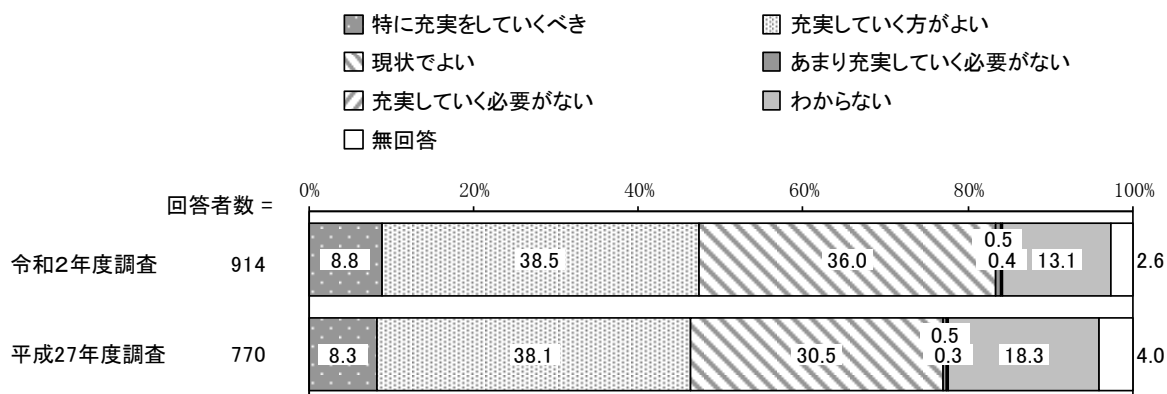
⑱生涯学習の振興（地域生涯学習講座の開催支援など）

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。



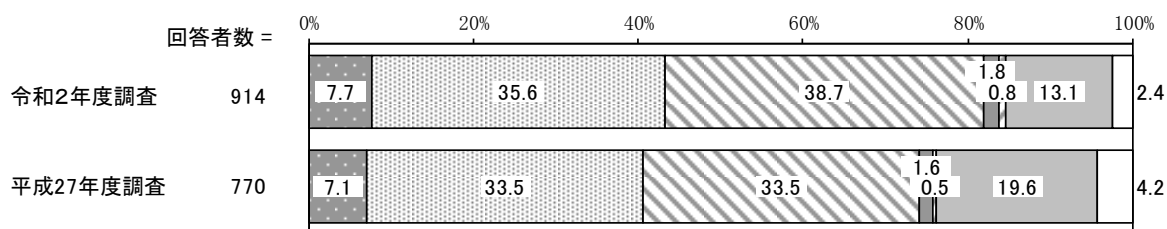
⑱生涯の健康を支える力の育成

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



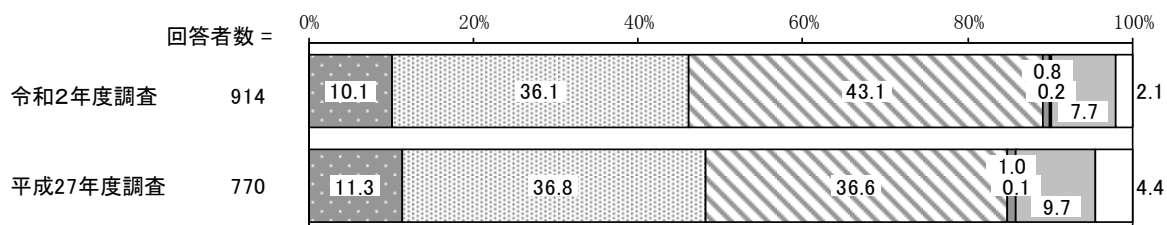
㉑生涯スポーツの振興（スポーツイベントの開催支援など）

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



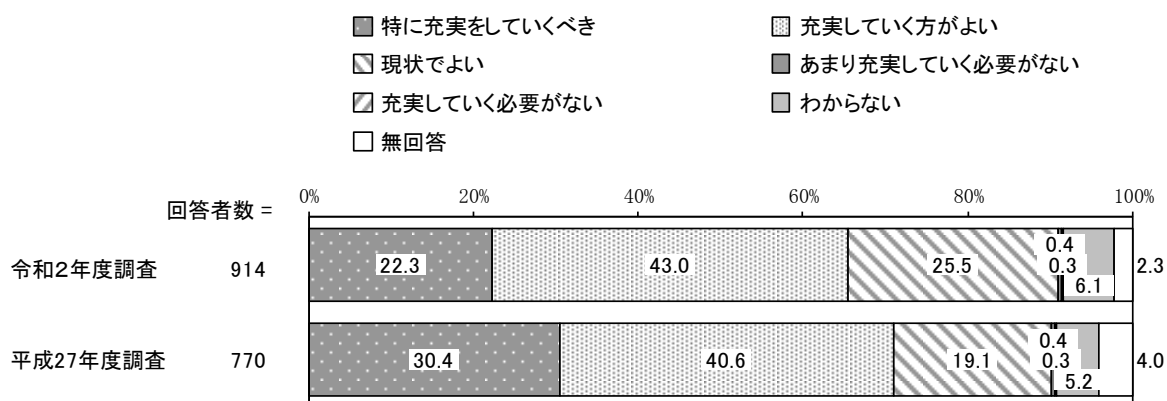
㉒図書館サービス・読書環境の充実

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。



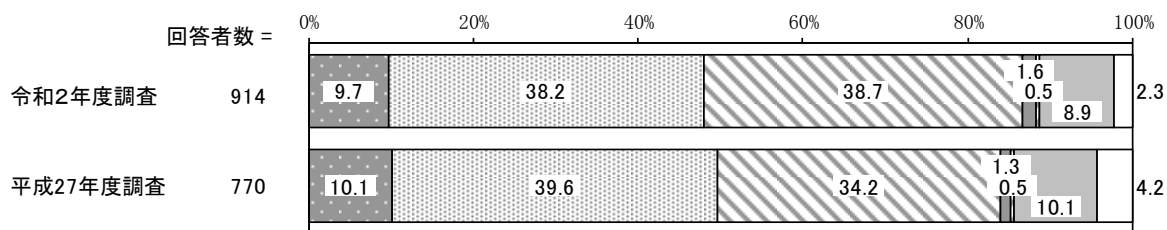
②児童生徒の安全・安心の確保

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。一方、「特に充実をしていくべき」の割合が減少しています。



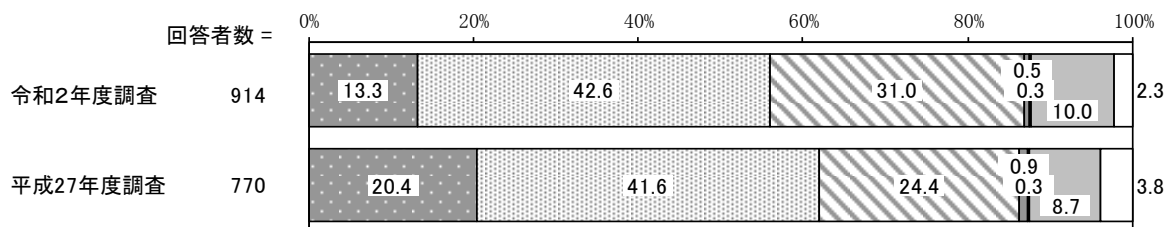
③開かれた学校づくりを目指す教育活動

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



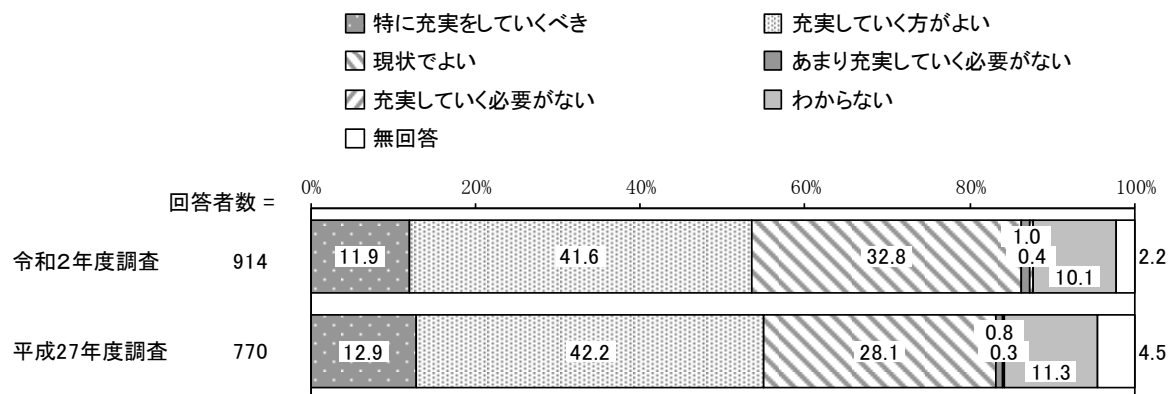
⑤学校教育環境の整備

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。一方、「特に充実をしていくべき」の割合が減少しています。



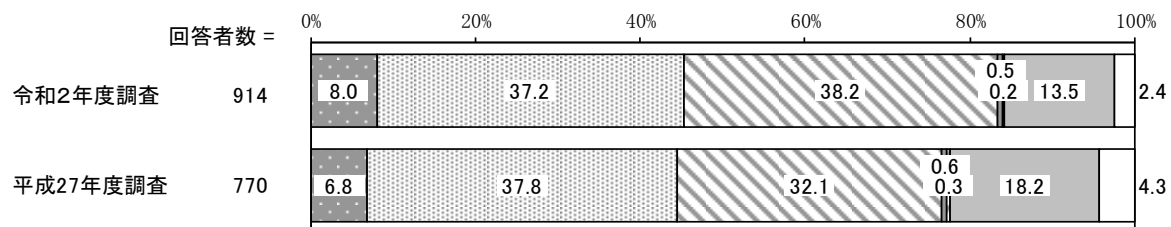
②⑥スポーツ環境の整備

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②⑦生涯学習環境の整備

平成 27 年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

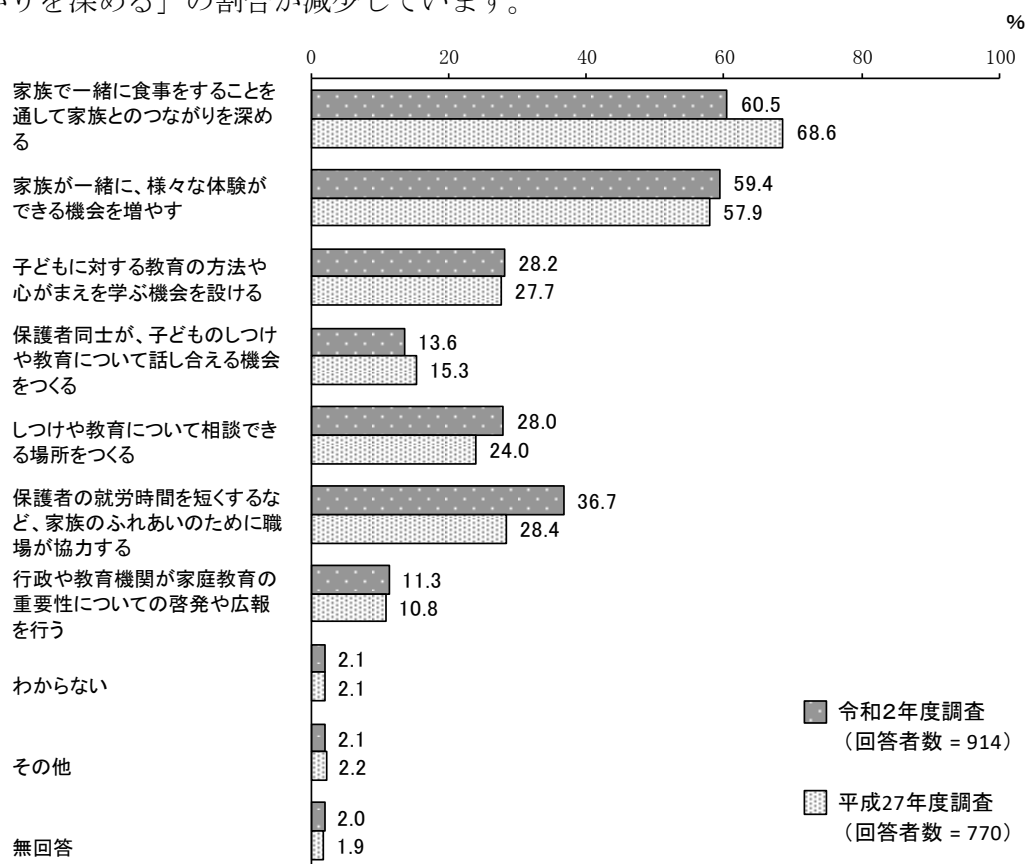


(3) 家庭・地域における教育について

問 23 あなたは、「家庭の教育力」を高めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(主なもの3つまで○)

「家族と一緒に食事をするを通して家族とのつながりを深める」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「家族と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」の割合が 59.4%、「保護者の就労時間を短くするなど、家族のふれあいのために職場が協力する」の割合が 36.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「保護者の就労時間を短くするなど、家族のふれあいのために職場が協力する」の割合が増加しています。一方、「家族と一緒に食事をするを通して家族とのつながりを深める」の割合が減少しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、高校生の子ども、社会人の子どもで「家族と一緒に食事をするを通して家族とのつながりを深める」の割合が高くなっています。

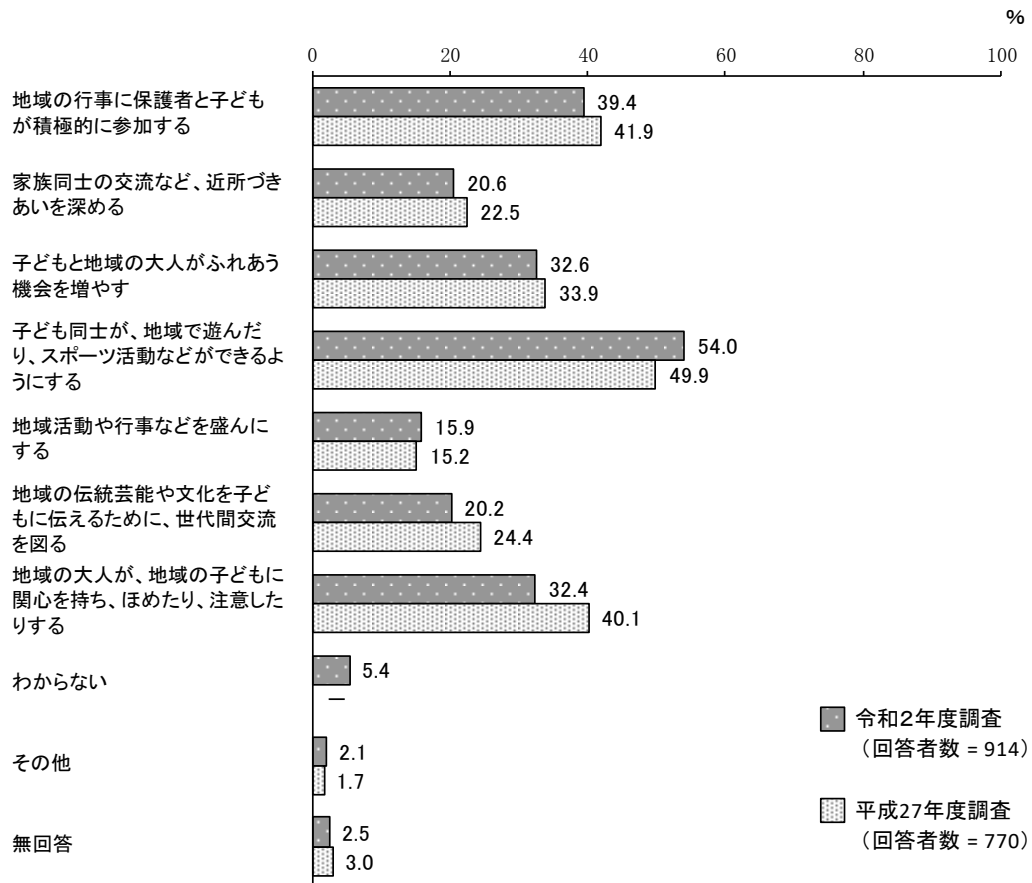
単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に食事を通して 家族とのつながりを深める	家族と一緒に、様々な体験ができる機 会を増やす	子どもに対する教育の方法や心がまえ を学ぶ機会を設ける	保護者同士が、子どものしつけや教育 について話し合える機会をつくる	しつけや教育について相談できる場所 をつくる	保護者の就労時間を短くするなど、家 族のふれあいのために職場が協力する	行政や教育機関が家庭教育の重要性に ついての啓発や広報を行う	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	59.9	63.8	28.0	11.1	33.3	42.5	11.6	0.5	0.5	1.0
小学生の子ども	409	62.1	61.1	26.9	14.7	24.4	38.1	10.8	2.2	2.9	1.5
中学生の子ども	135	57.8	58.5	33.3	8.9	32.6	26.7	15.6	3.0	1.5	2.2
高校生の子ども	23	69.6	39.1	30.4	21.7	17.4	39.1	8.7	4.3	8.7	—
専門学校生・大学生・大学院生の子 ども	14	64.3	57.1	42.9	—	14.3	50.0	7.1	—	—	—
社会人の子ども	39	69.2	59.0	30.8	12.8	25.6	23.1	17.9	2.6	—	2.6

問 24 あなたは、「地域の教育力」を高めるために、地域の中でどのような取り組みが必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する」の割合が 39.4%、「子どもと地域の大人がふれあう機会を増やす」の割合が 32.6%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が減少しています。



※前回調査に「わからない」の選択肢はありません。

【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、天王小学校区で「地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する」の割合が、千両小学校区で「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」の割合が、平尾小学校区、萩小学校区で「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する	家族同士の交流など、近所づきあいを深める	子どもと地域の大人がふれあう機会を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	地域活動や行事などを盛んにする	地域の伝統芸能や文化を子どもに伝えるために、世代間交流を図る	地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする	わからない	その他	無回答
豊川小学校区	37	40.5	27.0	32.4	48.6	8.1	21.6	27.0	8.1	—	2.7
東部小学校区	37	43.2	13.5	37.8	56.8	13.5	13.5	32.4	5.4	2.7	5.4
桜木小学校区	29	37.9	17.2	34.5	65.5	17.2	20.7	27.6	3.4	—	—
三蔵子小学校区	46	34.8	15.2	23.9	56.5	10.9	13.0	37.0	8.7	—	4.3
千両小学校区	10	30.0	30.0	20.0	80.0	30.0	20.0	20.0	—	10.0	—
牛久保小学校区	43	39.5	20.9	37.2	46.5	16.3	37.2	32.6	—	2.3	2.3
中部小学校区	53	32.1	28.3	28.3	60.4	17.0	13.2	43.4	3.8	1.9	3.8
八南小学校区	53	54.7	26.4	22.6	56.6	9.4	18.9	35.8	7.5	—	—
平尾小学校区	25	32.0	16.0	40.0	40.0	20.0	12.0	48.0	8.0	—	—
国府小学校区	59	37.3	13.6	40.7	54.2	22.0	30.5	33.9	1.7	1.7	—
桜町小学校区	27	48.1	29.6	25.9	66.7	18.5	25.9	18.5	7.4	—	—
御油小学校区	58	37.9	22.4	37.9	44.8	6.9	20.7	41.4	1.7	5.2	1.7
天王小学校区	26	57.7	15.4	30.8	42.3	11.5	23.1	19.2	19.2	3.8	—

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する	家族同士の交流など、近所づきあいを深める	子どもと地域の大人がふれあう機会を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	地域活動や行事などを盛んにする	地域の伝統芸能や文化を子どもに伝えるために、世代間交流を図る	地域の大人が、地域の子どものに関心を持ち、ほめたり、注意したりする	わからない	その他	無回答
代田小学校区	36	47.2	30.6	25.0	50.0	13.9	13.9	25.0	2.8	5.6	2.8
金屋小学校区	28	53.6	14.3	39.3	60.7	17.9	7.1	32.1	3.6	3.6	—
豊小学校区	42	38.1	16.7	28.6	57.1	16.7	19.0	33.3	9.5	2.4	—
一宮東部小学校区	23	26.1	21.7	17.4	52.2	21.7	26.1	21.7	8.7	8.7	4.3
一宮西部小学校区	44	43.2	29.5	34.1	65.9	13.6	18.2	31.8	—	2.3	—
一宮南部小学校区	15	53.3	—	20.0	60.0	6.7	20.0	26.7	13.3	—	—
萩小学校区	6	33.3	—	50.0	66.7	—	33.3	66.7	—	—	—
長沢小学校区	16	18.8	12.5	50.0	43.8	12.5	12.5	43.8	18.8	—	—
赤坂小学校区	26	46.2	26.9	38.5	46.2	19.2	23.1	30.8	—	—	3.8
御津北部小学校区	23	39.1	21.7	39.1	43.5	8.7	21.7	30.4	8.7	—	13.0
御津南部小学校区	50	36.0	30.0	44.0	54.0	16.0	14.0	42.0	—	—	6.0
小坂井東小学校区	47	31.9	14.9	27.7	51.1	25.5	29.8	25.5	6.4	6.4	4.3
小坂井西小学校区	46	26.1	15.2	30.4	58.7	28.3	21.7	23.9	6.5	—	2.2

【居住年数別傾向】

居住年数別でみると、他に比べ、1年未満で「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する	家族同士の交流など、近所づきあいを深める	子どもと地域の大人がふれあう機会を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	地域活動や行事などを盛んにする	地域の伝統芸能や文化を子どもに伝えるために、世代間交流を図る	地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする	わからない	その他	無回答
1年未満	13	53.8	38.5	30.8	76.9	30.8	15.4	38.5	—	—	—
1年以上～5年未満	54	33.3	16.7	31.5	53.7	22.2	20.4	25.9	13.0	1.9	1.9
5年以上～10年未満	97	34.0	22.7	29.9	56.7	13.4	23.7	24.7	5.2	2.1	3.1
10年以上～20年未満	233	31.3	18.9	31.3	53.6	16.7	18.9	36.9	7.3	3.0	1.3
20年以上	512	44.3	21.1	34.0	53.5	14.6	20.5	32.6	3.9	1.8	2.5

【子どもの年代別傾向】

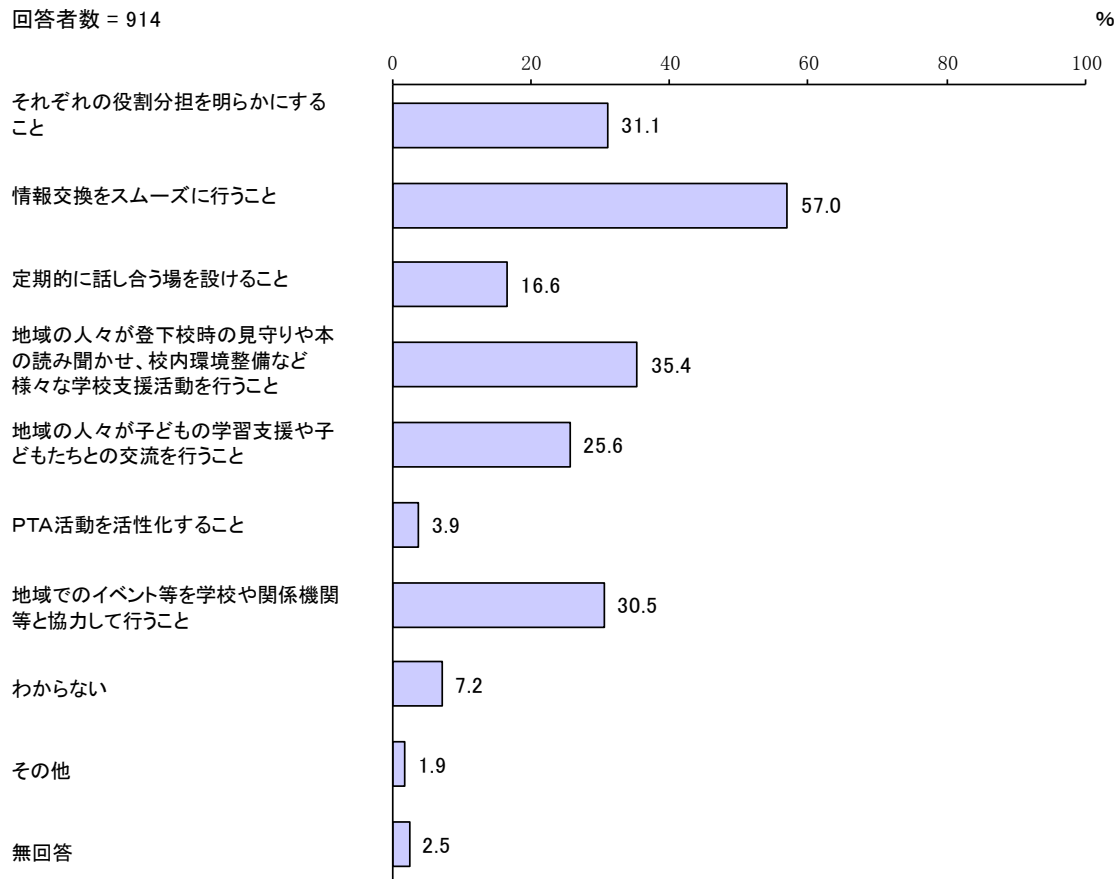
子どもの年代別でみると、他に比べ、社会人の子どもで「地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する」の割合が、就学前の子ども、小学生の子どもで「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	地域の行事に保護者と子どもが積極的に参加する	家族同士の交流など、近所づきあいを深める	子どもと地域の大人がふれあう機会を増やす	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	地域活動や行事などを盛んにする	地域の伝統芸能や文化を子どもに伝えるために、世代間交流を図る	地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	44.0	27.1	33.8	58.0	16.9	21.3	30.4	3.9	3.4	1.0
小学生の子ども	409	37.9	18.8	31.3	58.4	13.4	18.6	33.5	5.6	2.0	2.2
中学生の子ども	135	37.8	16.3	31.9	48.9	17.0	25.9	33.3	6.7	—	3.0
高校生の子ども	23	26.1	17.4	26.1	47.8	8.7	26.1	39.1	8.7	8.7	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	50.0	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	50.0	—	7.1	—
社会人の子ども	39	56.4	20.5	41.0	43.6	25.6	17.9	33.3	—	—	2.6

問 25 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思
いますか。（主なもの3つまで○）

「情報交換をスムーズに行うこと」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと」の割合が 35.4%、「それぞれの役割分担を明らかにすること」の割合が 31.1%となっています。



【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、牛久保小学校区、桜木小学校区で「情報交換をスムーズに行うこと」の割合が、千両小学校区で「地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	それぞれの役割分担を明らかにすること	情報交換をスムーズに行うこと	定期的に話し合う場を設けること	地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと	地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちの交流を行うこと	PTA活動を活性化すること	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	わからない	その他	無回答
豊川小学校区	37	18.9	64.9	18.9	27.0	24.3	2.7	18.9	16.2	2.7	—
東部小学校区	37	35.1	64.9	16.2	32.4	40.5	16.2	29.7	2.7	2.7	5.4
桜木小学校区	29	31.0	58.6	13.8	55.2	31.0	3.4	20.7	3.4	3.4	3.4
三蔵子小学校区	46	37.0	43.5	26.1	28.3	19.6	6.5	30.4	10.9	—	4.3
千両小学校区	10	30.0	40.0	20.0	30.0	10.0	10.0	60.0	10.0	10.0	—
牛久保小学校区	43	37.2	72.1	18.6	37.2	27.9	9.3	25.6	—	2.3	2.3
中部小学校区	53	35.8	56.6	17.0	34.0	17.0	1.9	32.1	7.5	3.8	3.8
八南小学校区	53	26.4	60.4	20.8	34.0	34.0	—	34.0	7.5	1.9	—
平尾小学校区	25	28.0	68.0	20.0	44.0	28.0	—	28.0	4.0	—	—
国府小学校区	59	27.1	55.9	15.3	42.4	28.8	3.4	32.2	8.5	1.7	—
桜町小学校区	27	44.4	70.4	29.6	22.2	22.2	3.7	25.9	3.7	—	—
御油小学校区	58	31.0	58.6	20.7	34.5	24.1	1.7	32.8	3.4	6.9	1.7
天王小学校区	26	38.5	46.2	7.7	30.8	19.2	3.8	30.8	11.5	3.8	—

単位：％

区分	有効回答数(件)	それぞれの役割分担を明らかにすること	情報交換をスムーズに行うこと	定期的に話し合う場を設けること	地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと	地域の人々が子どもたちの学習支援や子どもたちの交流を行うこと	P T A活動を活性化すること	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	わからない	その他	無回答
代田小学校区	36	33.3	47.2	19.4	25.0	16.7	5.6	19.4	11.1	2.8	2.8
金屋小学校区	28	42.9	60.7	10.7	35.7	25.0	3.6	25.0	3.6	3.6	—
豊小学校区	42	38.1	52.4	14.3	42.9	28.6	2.4	28.6	4.8	—	—
一宮東部小学校区	23	30.4	65.2	4.3	34.8	8.7	4.3	30.4	8.7	—	4.3
一宮西部小学校区	44	40.9	59.1	11.4	27.3	29.5	2.3	45.5	2.3	—	—
一宮南部小学校区	15	—	53.3	6.7	46.7	26.7	—	33.3	13.3	—	—
萩小学校区	6	50.0	66.7	—	33.3	50.0	—	33.3	—	—	—
長沢小学校区	16	12.5	50.0	—	18.8	12.5	12.5	43.8	37.5	—	—
赤坂小学校区	26	34.6	61.5	23.1	34.6	23.1	3.8	42.3	3.8	—	3.8
御津北部小学校区	23	30.4	39.1	4.3	30.4	30.4	4.3	30.4	8.7	4.3	8.7
御津南部小学校区	50	26.0	60.0	10.0	54.0	36.0	4.0	24.0	8.0	—	6.0
小坂井東小学校区	47	12.8	61.7	25.5	38.3	23.4	—	34.0	2.1	—	6.4
小坂井西小学校区	46	34.8	43.5	19.6	34.8	23.9	4.3	26.1	10.9	—	2.2

【居住年数別傾向】

居住年数別でみると、他に比べ、1年未満で「情報交換をスムーズに行うこと」、「定期的に話し合う場を設けること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	それぞれの役割分担を明らかにすること	情報交換をスムーズに行うこと	定期的に話し合う場を設けること	地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと	地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちとの交流を行うこと	PTA活動を活性化すること	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	わからない	その他	無回答
1年未満	13	38.5	84.6	46.2	38.5	23.1	—	30.8	—	—	—
1年以上～5年未満	54	29.6	68.5	18.5	38.9	22.2	—	25.9	9.3	—	1.9
5年以上～10年未満	97	30.9	45.4	16.5	36.1	21.6	2.1	37.1	7.2	—	2.1
10年以上～20年未満	233	28.8	57.9	13.7	33.5	28.3	4.7	26.6	9.4	3.0	1.3
20年以上	512	32.0	57.0	17.2	35.7	25.8	4.5	31.4	6.3	2.0	2.9

【子どもの年代別傾向】

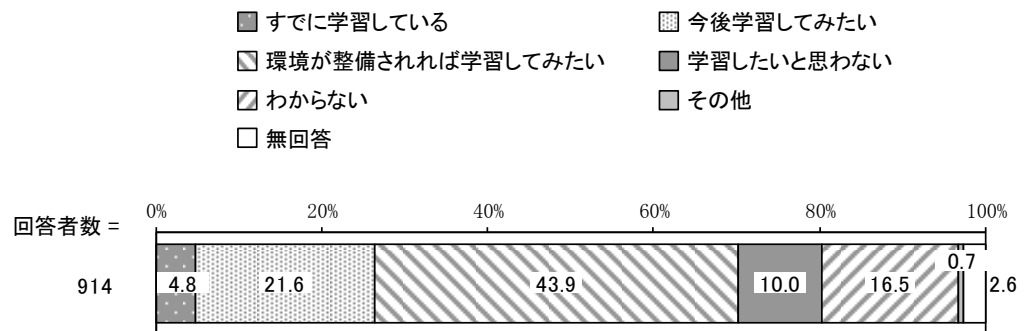
子どもの年代別でみると、他に比べ、高校生の子ども、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと」の割合が、中学生の子どもで「情報交換をスムーズに行うこと」の割合が、社会人の子どもで「地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	それぞれの役割分担を明らかにすること	情報交換をスムーズに行うこと	定期的に話し合う場を設けること	地域の人々が登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な学校支援活動を行うこと	地域の人々が子どもの学習支援や子どもたちとの交流を行うこと	PTA活動を活性化すること	地域でのイベント等を学校や関係機関等と協力して行うこと	わからない	その他	無回答
就学前の子ども	207	30.4	56.5	21.3	37.2	24.6	3.4	26.6	6.8	2.9	1.0
小学生の子ども	409	31.5	57.5	13.4	37.4	29.1	4.2	31.3	6.1	2.0	2.0
中学生の子ども	135	29.6	62.2	16.3	25.2	21.5	3.7	34.1	9.6	—	2.2
高校生の子ども	23	39.1	47.8	8.7	26.1	17.4	8.7	43.5	13.0	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	28.6	57.1	14.3	42.9	21.4	—	42.9	7.1	7.1	7.1
社会人の子ども	39	25.6	56.4	25.6	53.8	35.9	2.6	25.6	7.7	—	2.6

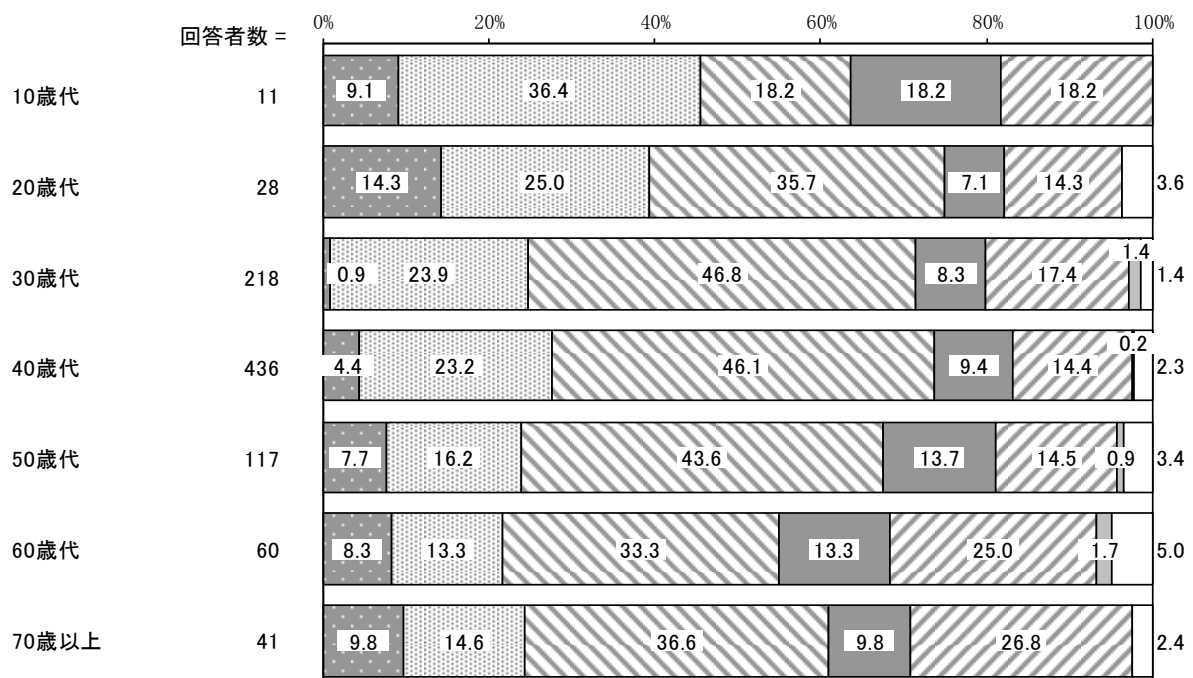
問 26 近年、「人生１００年時代」と言われている中で、リカレント教育（社会人になっても生涯にわたって学んでいくこと）や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関で学習したいと思いますか。（１つに○）

「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「今後学習してみたい」の割合が 21.6%、「わからない」の割合が 16.5%となっています。



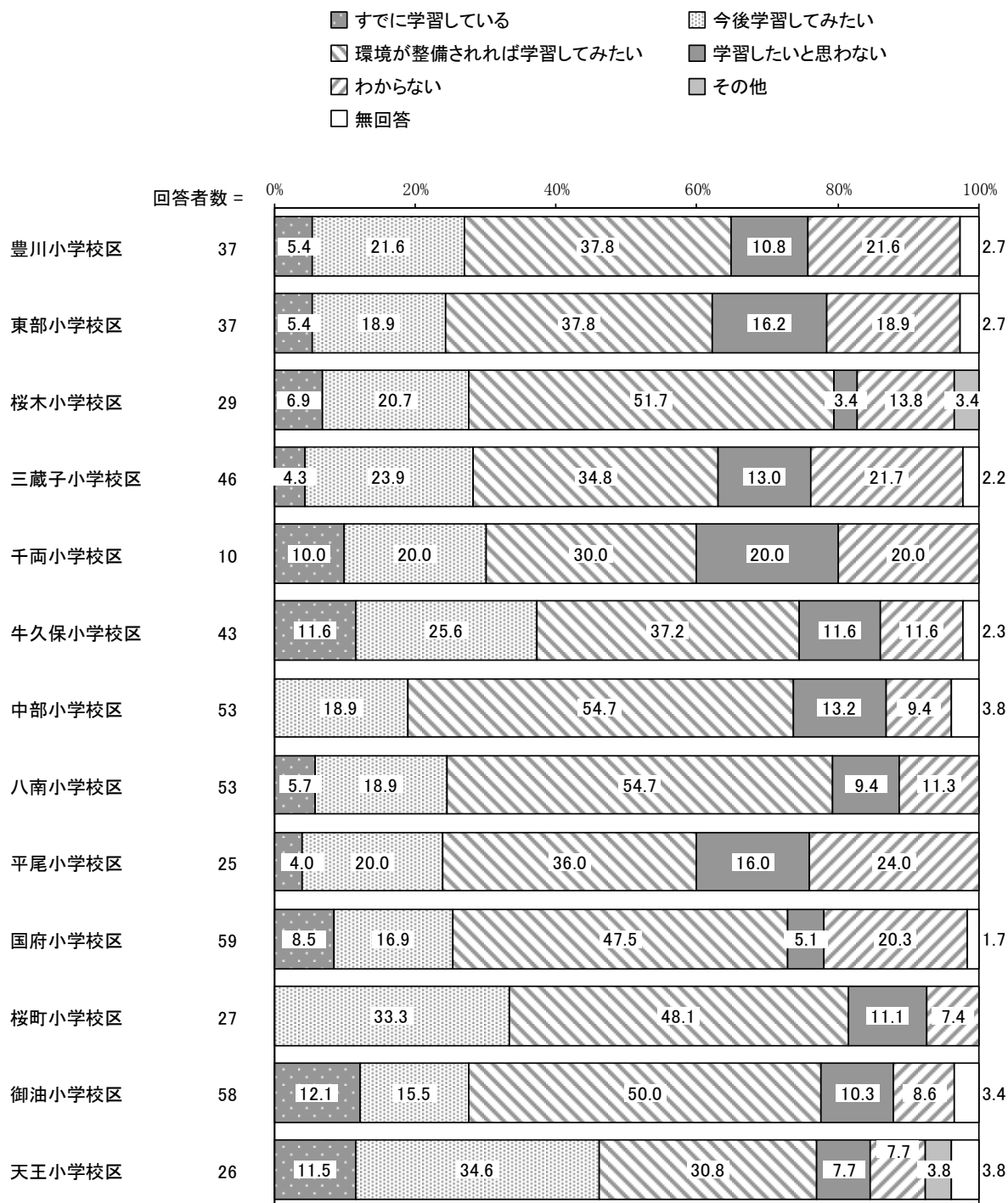
【年齢別傾向】

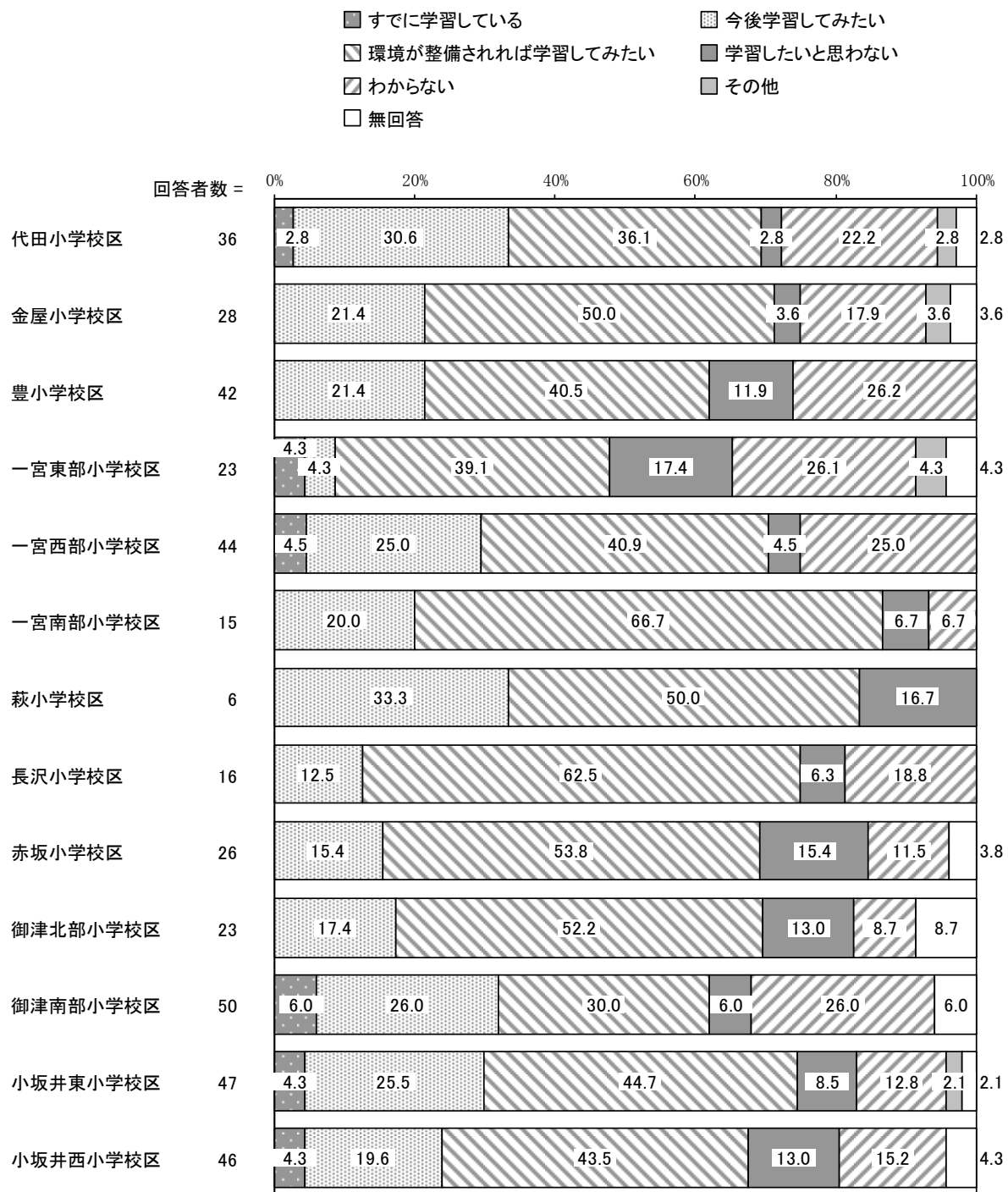
年齢別でみると、年代が低くなるほど「今後学習してみたい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20 歳代で「すでに学習している」の割合が、30 歳代、40 歳代で「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が、10 歳代で「学習したいと思わない」の割合が高くなっています。



【地区別傾向】

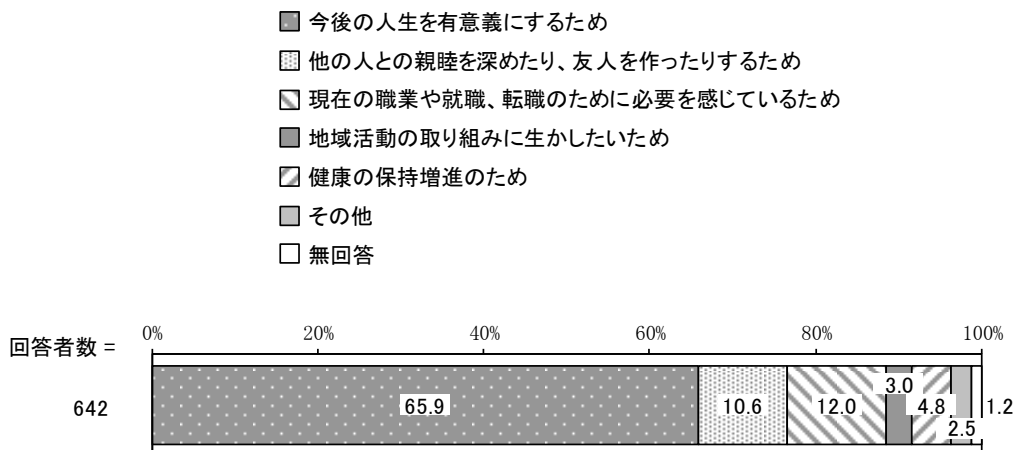
地区別でみると、他に比べ、天王小学校区で「今後学習してみたい」の割合が、一宮南部小学校区で「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が、千両小学校区で「学習していと思わない」の割合が高くなっています。





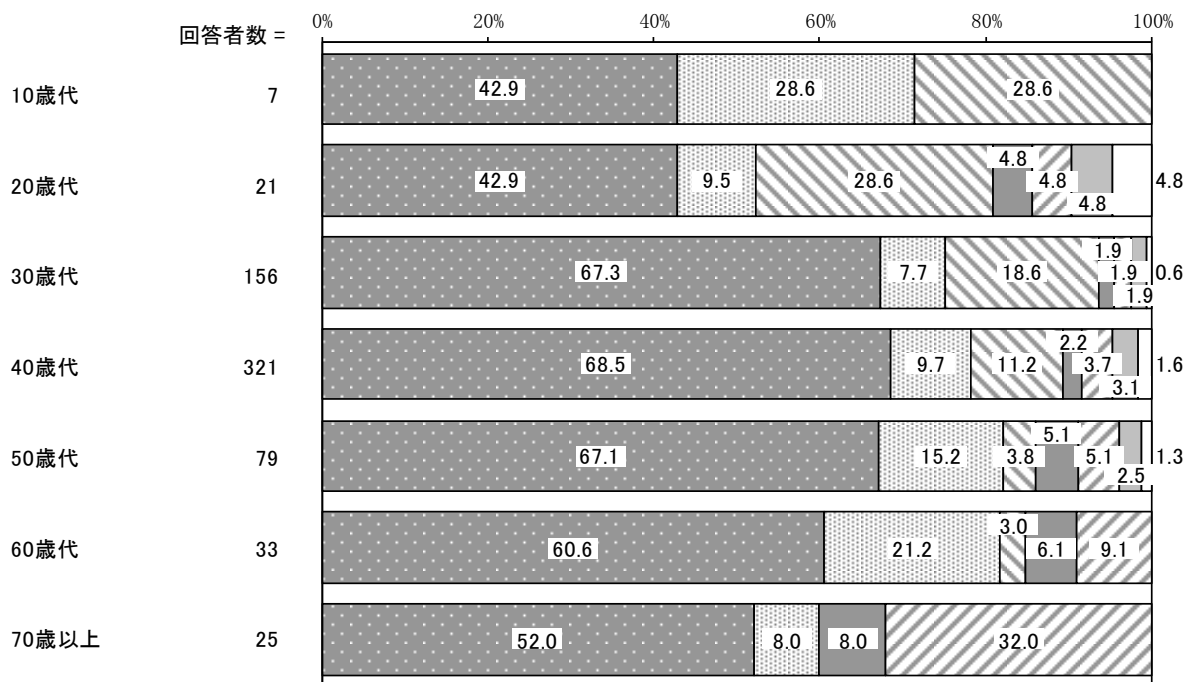
問 27 問 26 で「1」～「3」とお答えいただいた方にお聞きします。
 そう思う理由は何ですか。（1つに○）

「今後の人生を有意義にするため」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「現在の職業や就職、
 転職のために必要を感じているため」の割合が 12.0%、「他の人との親睦を深めたり、友人を作
 ったりするため」の割合が 10.6%となっています。



【年齢別傾向】

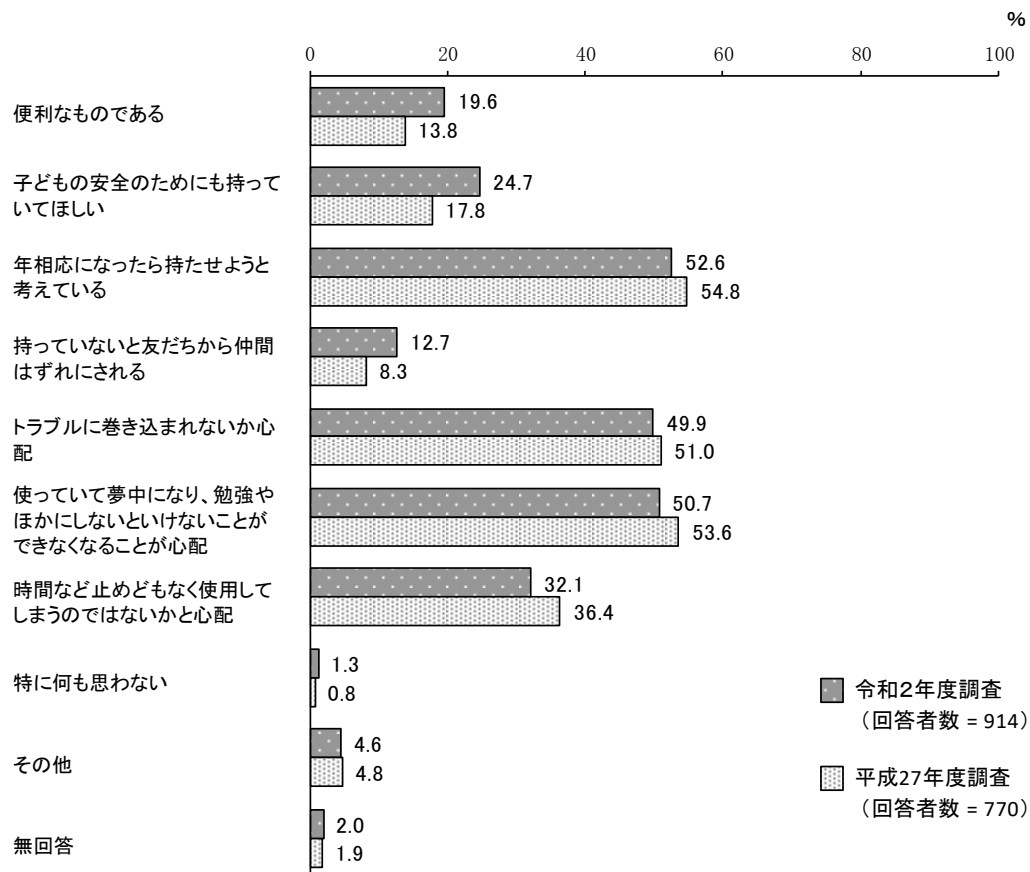
年齢別でみると、他に比べ、30 歳代、40 歳代、50 歳代で「今後の人生を有意義にするため」
 の割合が、60 歳代で「他の人との親睦を深めたり、友人を作ったりするため」の割合が、20 歳代
 で「現在の職業や就職、転職のために必要を感じているため」の割合が高くなっています。



問 28 あなたは、子どもが携帯電話やスマートフォンを持つことをどう思いますか。
(主なもの3つまで○)

「年相応になったら持たせようと考えている」の割合が52.6%と最も高く、次いで「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなることが心配」の割合が50.7%、「トラブルに巻き込まれないか心配」の割合が49.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「便利なものである」、「子どもの安全のためにも持っていてほしい」の割合が増加しています。



【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、高校生の子どもで「トラブルに巻き込まれないか心配」の割合が、小学生の子どもで「年相応になったら持たせようと考えている」の割合が、中学生の子どもで「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけなことができなくなることが心配」の割合が高くなっています。

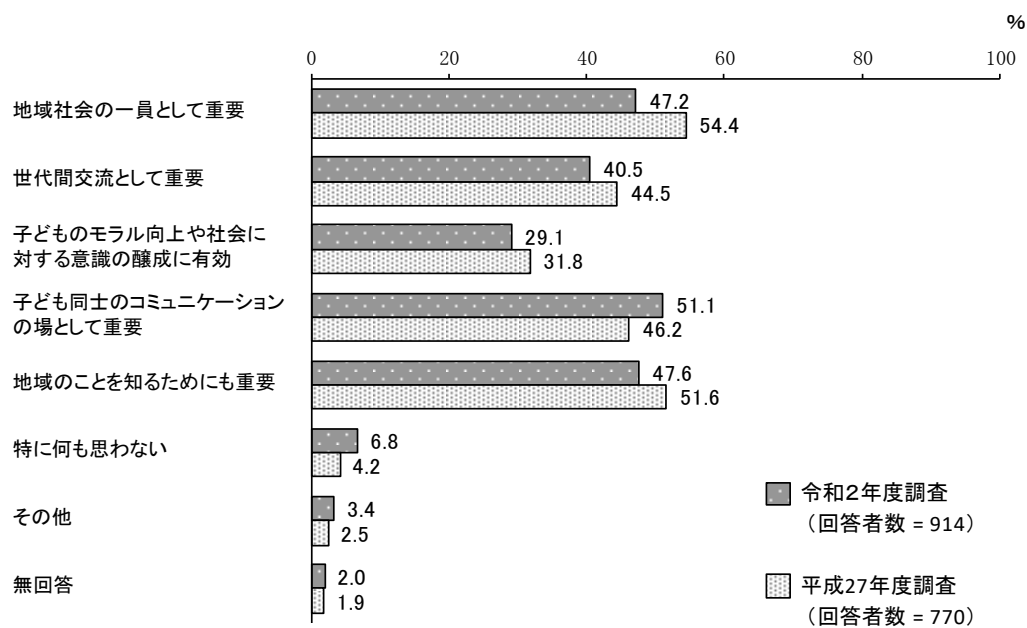
単位：％

区分	有効回答数 (件)	便利なものである	子どもの安全のためにも持っていてほしい	年相応になったら持たせようと考えている	持っていないと友だちから仲間はずれにされる	トラブルに巻き込まれないか心配	使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけなことができなくなることが心配	時間など止めどもなく使用してしまうのではないかと心配	特に何も思わない	その他	無回答
就学前の子ども	207	15.9	28.0	56.0	16.9	48.3	47.8	27.5	0.5	4.3	1.4
小学生の子ども	409	20.0	21.8	59.4	11.0	56.0	53.3	30.8	0.2	4.2	1.2
中学生の子ども	135	24.4	28.1	43.0	13.3	40.0	62.2	37.8	2.2	3.7	2.2
高校生の子ども	23	13.0	30.4	34.8	4.3	60.9	43.5	56.5	4.3	4.3	—
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	28.6	14.3	57.1	21.4	28.6	35.7	21.4	7.1	14.3	—
社会人の子ども	39	17.9	28.2	48.7	10.3	38.5	46.2	23.1	—	5.1	5.1

問 29 子どもが地域のお祭り等のイベントに参加することについてどう思いますか。
(主なもの3つまで○)

「子ども同士のコミュニケーションの場として重要」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「地域のことを知るためにも重要」の割合が 47.6%、「地域社会の一員として重要」の割合が 47.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域社会の一員として重要」の割合が減少しています。



【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、東部小学校区で「地域社会の一員として重要」の割合が、千両小学校区で「子ども同士のコミュニケーションの場として重要」、「地域のことを知るためにも重要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域社会の一員として重要	世代間交流として重要	子どものモラル向上や社会に対する意識の醸成に有効	子ども同士のコミュニケーションの場として重要	地域のことを知るためにも重要	特に何も思わない	その他	無回答
豊川小学校区	37	32.4	32.4	32.4	56.8	43.2	13.5	5.4	—
東部小学校区	37	67.6	37.8	24.3	48.6	51.4	8.1	2.7	2.7
桜木小学校区	29	27.6	17.2	41.4	55.2	65.5	3.4	10.3	—
三蔵子小学校区	46	45.7	32.6	30.4	67.4	39.1	2.2	4.3	2.2
千両小学校区	10	30.0	30.0	20.0	70.0	80.0	10.0	—	—
牛久保小学校区	43	60.5	44.2	20.9	32.6	55.8	7.0	4.7	2.3
中部小学校区	53	43.4	34.0	35.8	62.3	52.8	7.5	3.8	—
八南小学校区	53	49.1	50.9	35.8	50.9	43.4	1.9	—	—
平尾小学校区	25	40.0	40.0	32.0	64.0	44.0	12.0	—	—
国府小学校区	59	49.2	50.8	27.1	47.5	45.8	5.1	11.9	—
桜町小学校区	27	51.9	37.0	25.9	51.9	51.9	7.4	—	—
御油小学校区	58	53.4	36.2	25.9	44.8	44.8	8.6	1.7	3.4
天王小学校区	26	65.4	42.3	30.8	30.8	50.0	11.5	3.8	—

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域社会の一員として重要	世代間交流として重要	子どものモラル向上や社会に対する意識の醸成に有効	子ども同士のコミュニケーションの場として重要	地域のことを知るためにも重要	特に何も思わない	その他	無回答
代田小学校区	36	30.6	36.1	36.1	50.0	55.6	5.6	5.6	2.8
金屋小学校区	28	53.6	42.9	32.1	32.1	46.4	14.3	3.6	—
豊小学校区	42	38.1	33.3	21.4	47.6	45.2	9.5	2.4	2.4
一宮東部小学校区	23	39.1	52.2	13.0	47.8	43.5	8.7	—	4.3
一宮西部小学校区	44	52.3	38.6	29.5	52.3	50.0	9.1	—	—
一宮南部小学校区	15	53.3	40.0	20.0	40.0	60.0	6.7	—	—
萩小学校区	6	66.7	33.3	50.0	33.3	83.3	—	—	—
長沢小学校区	16	37.5	43.8	18.8	50.0	43.8	12.5	6.3	—
赤坂小学校区	26	57.7	34.6	38.5	46.2	46.2	7.7	3.8	3.8
御津北部小学校区	23	56.5	34.8	34.8	39.1	47.8	4.3	4.3	8.7
御津南部小学校区	50	48.0	60.0	24.0	66.0	38.0	2.0	2.0	6.0
小坂井東小学校区	47	51.1	51.1	31.9	53.2	44.7	4.3	2.1	2.1
小坂井西小学校区	46	34.8	39.1	26.1	58.7	41.3	4.3	2.2	2.2

【居住年数別傾向】

居住年数別でみると、他に比べ、1年未満で「子ども同士のコミュニケーションの場として重要」の割合が、20年以上で「地域のことを知るためにも重要」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域社会の一員として重要	世代間交流として重要	子どものモラル向上や社会に対する意識の醸成に有効	子ども同士のコミュニケーションの場として重要	地域のことを知るためにも重要	特に何も思わない	その他	無回答
1年未満	13	46.2	38.5	23.1	76.9	38.5	7.7	—	—
1年以上～5年未満	54	40.7	38.9	33.3	55.6	37.0	9.3	9.3	1.9
5年以上～10年未満	97	47.4	34.0	29.9	53.6	43.3	8.2	1.0	1.0
10年以上～20年未満	233	40.8	39.5	24.9	48.5	45.1	9.9	4.7	1.7
20年以上	512	50.8	42.6	30.5	50.8	51.0	4.9	2.7	2.0

【子どもの年代別傾向】

地域別でみると、他に比べ、専門学校生・大学生・大学院生の子どもで「地域社会の一員として重要」、「子どものモラル向上や社会に対する意識の醸成に有効」、「地域のことを知るためにも重要」の割合が、高校生の子どもの「子ども同士のコミュニケーションの場として重要」の割合が高くなっています。

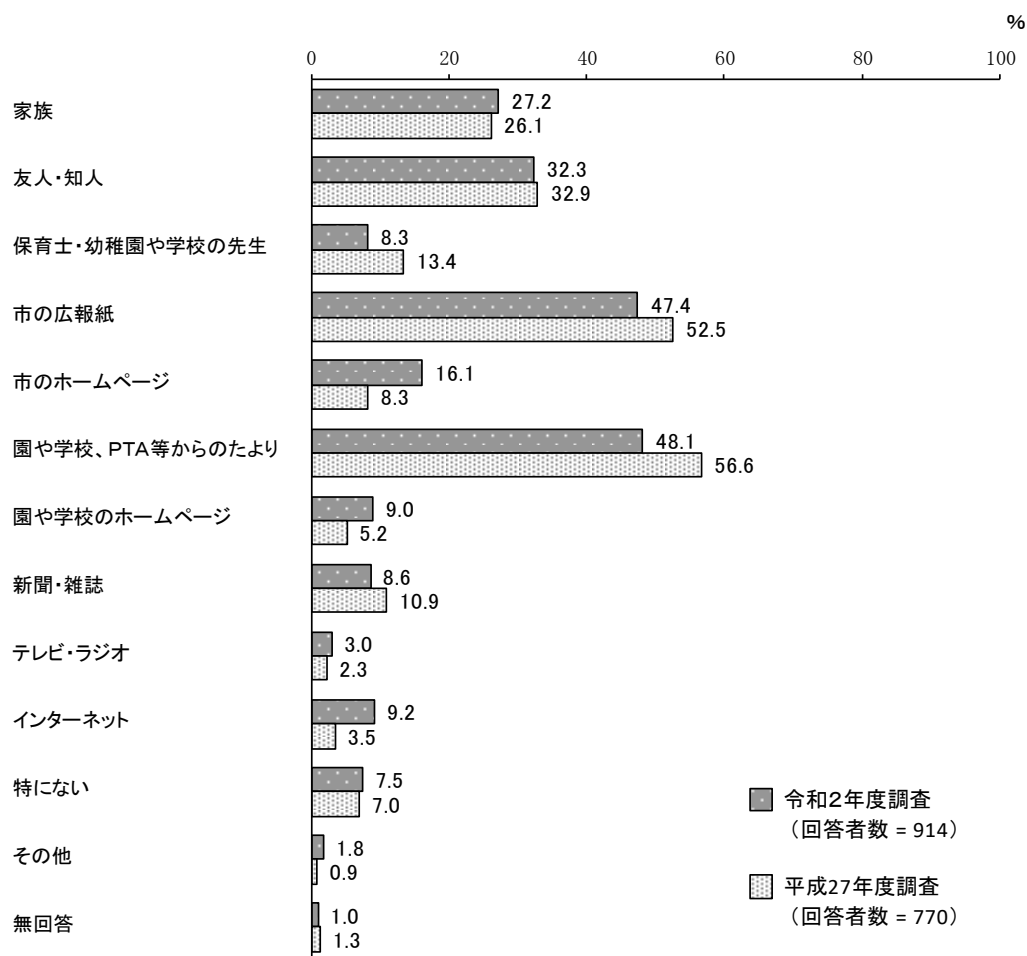
単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域社会の一員として重要	世代間交流として重要	子どものモラル向上や社会に対する意識の醸成に有効	子ども同士のコミュニケーションの場として重要	地域のことを知るためにも重要	特に何も思わない	その他	無回答
就学前の子ども	207	51.2	39.1	30.9	58.0	44.9	4.8	4.3	1.0
小学生の子ども	409	46.9	39.6	28.9	52.1	47.7	7.1	4.2	1.2
中学生の子ども	135	45.2	44.4	25.9	50.4	55.6	5.9	—	2.2
高校生の子どもの	23	30.4	43.5	26.1	60.9	39.1	8.7	4.3	4.3
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	71.4	42.9	57.1	21.4	57.1	7.1	—	—
社会人の子ども	39	61.5	41.0	30.8	30.8	53.8	5.1	—	5.1

問 30 あなたは、豊川市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。（主なものの3つまで○）

「園や学校、P T A等からのたより」の割合が48.1%と最も高く、次いで「市の広報紙」の割合が47.4%、「友人・知人」の割合が32.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「市のホームページ」、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「保育士・幼稚園や学校の先生」、「市の広報紙」、「園や学校、P T A等からのたより」の割合が減少しています。



【年齢別傾向】

年齢別でみると、年代が高くなるにつれて「市の広報紙」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、70 歳以上で「家族」の割合が、30 歳代で「友人・知人」の割合が、20 歳代で「保育士・幼稚園や学校の先生」の割合が、40 歳代で「園や学校、PTA等からのたより」の割合が、10 歳代で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族	友人・知人	保育士・幼稚園や学校の先生	市の広報紙	市のホームページ	園や学校、PTA等からのたより	園や学校のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネット	特にない	その他	無回答
10 歳代	11	36.4	9.1	—	27.3	—	—	—	9.1	9.1	9.1	36.4	—	—
20 歳代	28	39.3	28.6	14.3	25.0	14.3	21.4	3.6	3.6	3.6	10.7	21.4	10.7	—
30 歳代	218	22.0	40.4	9.6	39.0	18.8	47.7	7.3	4.6	1.8	14.2	9.2	1.8	0.5
40 歳代	436	26.1	32.6	9.2	48.2	17.7	58.7	12.6	5.7	1.4	7.6	4.4	1.4	0.9
50 歳代	117	30.8	29.1	6.0	57.3	12.0	44.4	6.0	17.1	5.1	9.4	5.1	—	0.9
60 歳代	60	30.0	16.7	5.0	51.7	8.3	18.3	3.3	23.3	10.0	5.0	21.7	5.0	—
70 歳以上	41	41.5	29.3	2.4	70.7	14.6	26.8	2.4	19.5	7.3	2.4	2.4	—	4.9

【子どもの年代別傾向】

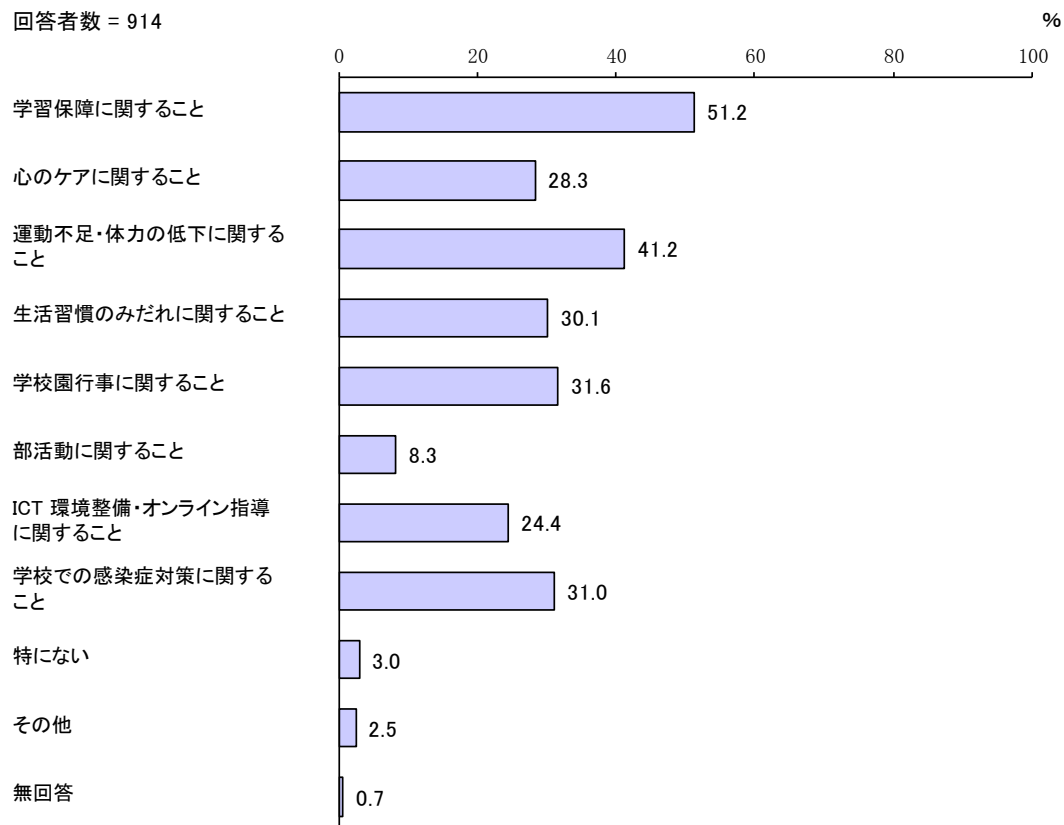
子どもの年代別でみると、他に比べ、小学生の子どもで「園や学校、P T A等からのたより」の割合が、社会人の子どもで「市の広報紙」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族	友人・知人	保育士・幼稚園や学 校の先生	市の広報紙	市のホームページ	園や学校、P T A等 からのたより	園や学校のホーム ページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネット	特 に ない	そ 他	無 回 答
就学前の子ども	207	26.1	35.7	13.0	49.3	16.9	45.9	6.3	9.2	3.4	12.1	6.8	1.9	0.5
小学生の子ども	409	29.6	33.5	6.8	48.4	16.4	61.1	11.5	5.9	1.0	8.8	3.9	1.5	0.5
中学生の子ども	135	34.1	31.9	10.4	43.0	17.0	49.6	12.6	7.4	3.0	8.9	3.7	0.7	1.5
高校生の子ども	23	13.0	39.1	8.7	65.2	21.7	30.4	8.7	13.0	8.7	13.0	—	—	4.3
専門学校生・大 学生・大学院生 の子ども	14	7.1	28.6	14.3	64.3	14.3	21.4	—	35.7	—	7.1	7.1	—	—
社会人の子ども	39	17.9	28.2	2.6	71.8	12.8	20.5	—	28.2	7.7	2.6	12.8	2.6	—

問 31 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における豊川市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。（主なもの3つまで○）

「学習保障に関すること」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「運動不足・体力の低下に関すること」の割合が 41.2%、「学校園行事に関すること」の割合が 31.6%となっています。



【年齢別傾向】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「学習保障に関すること」の割合が、70歳以上で「運動不足・体力の低下に関すること」、「生活習慣のみだれに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	学習保障に関すること	心のケアに関すること	運動不足・体力の低下に関すること	生活習慣のみだれに関すること	学校園行事に関すること	部活動に関すること	ICT環境整備・オンライン指導に関すること	学校での感染症対策に関すること	特にない	その他	無回答
10歳代	11	27.3	36.4	36.4	18.2	36.4	—	27.3	36.4	—	—	—
20歳代	28	50.0	32.1	35.7	21.4	21.4	17.9	28.6	21.4	—	10.7	—
30歳代	218	58.7	27.5	42.2	22.9	35.3	6.0	22.9	27.5	3.2	3.2	0.5
40歳代	436	51.8	25.5	40.4	28.4	33.7	9.6	27.5	30.0	3.2	2.3	0.2
50歳代	117	50.4	34.2	39.3	37.6	26.5	8.5	24.8	32.5	2.6	1.7	0.9
60歳代	60	36.7	36.7	41.7	40.0	21.7	5.0	16.7	43.3	3.3	1.7	1.7
70歳以上	41	39.0	31.7	56.1	58.5	26.8	7.3	7.3	41.5	—	—	2.4

【子どもの年代別傾向】

子どもの年代別でみると、他に比べ、高校生の子どもの「学習保障に関すること」の割合が、社会人の子どもで「心のケアに関すること」の割合が、専門学校生・大学生・大学院生の子どもの「運動不足・体力の低下に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

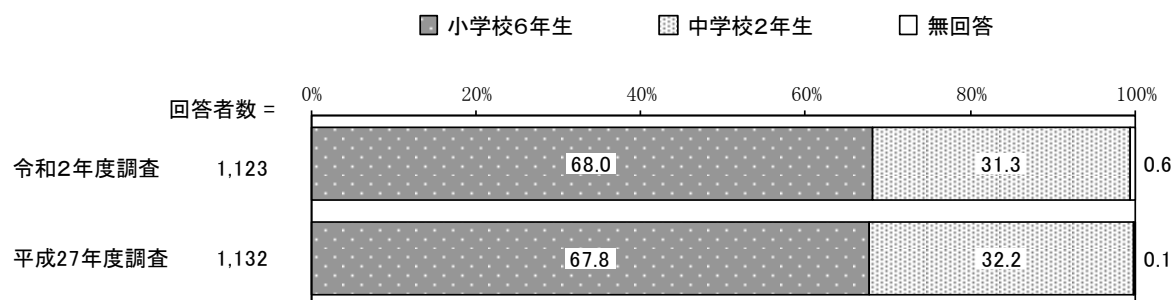
区分	有効回答数 (件)	学習保障に関すること	心のケアに関すること	運動不足・体力の低下に関すること	生活習慣のみだれに関すること	学校園行事に関すること	部活動に関すること	ICT環境整備・オンライン指導に関すること	学校での感染症対策に関すること	特にない	その他	無回答
就学前の子ども	207	50.7	30.0	44.0	26.6	38.2	4.3	20.8	33.8	3.4	2.4	—
小学生の子ども	409	53.3	26.2	46.0	28.1	33.3	7.8	24.9	30.6	2.7	2.2	0.5
中学生の子ども	135	57.8	28.9	31.1	32.6	31.1	12.6	28.9	27.4	0.7	1.5	0.7
高校生の子ども	23	60.9	26.1	17.4	52.2	13.0	8.7	30.4	34.8	4.3	4.3	—
専門学校生・大学生・大学院生の子ども	14	50.0	21.4	57.1	35.7	14.3	21.4	21.4	35.7	—	7.1	—
社会人の子ども	39	35.9	48.7	46.2	35.9	30.8	10.3	20.5	33.3	2.6	—	—

2 児童・生徒

(1) 回答者属性

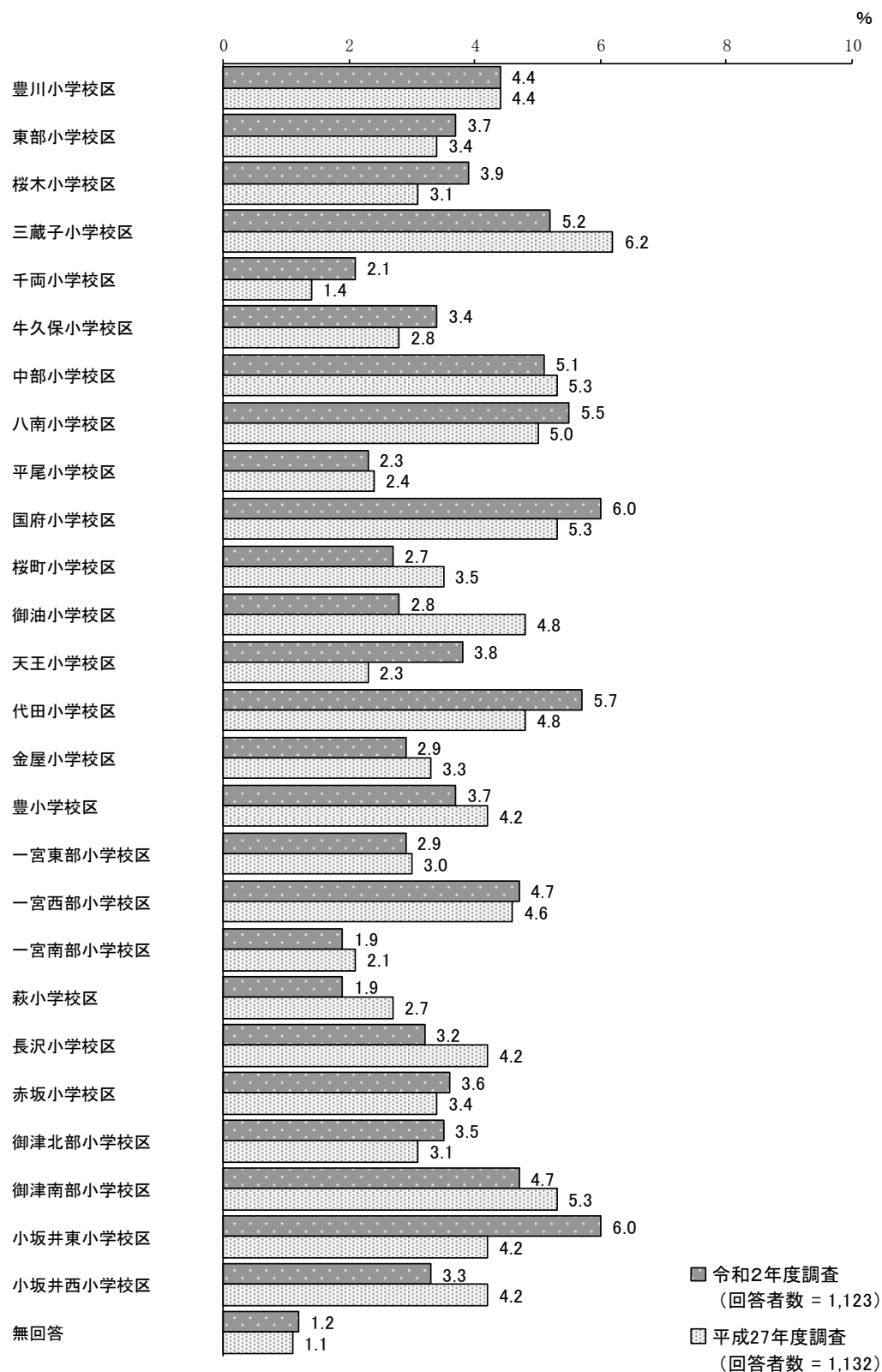
問1 あなたは何年生ですか。(どちらかに○)

「小学校6年生」の割合が68.0%、「中学校2年生」の割合が31.3%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



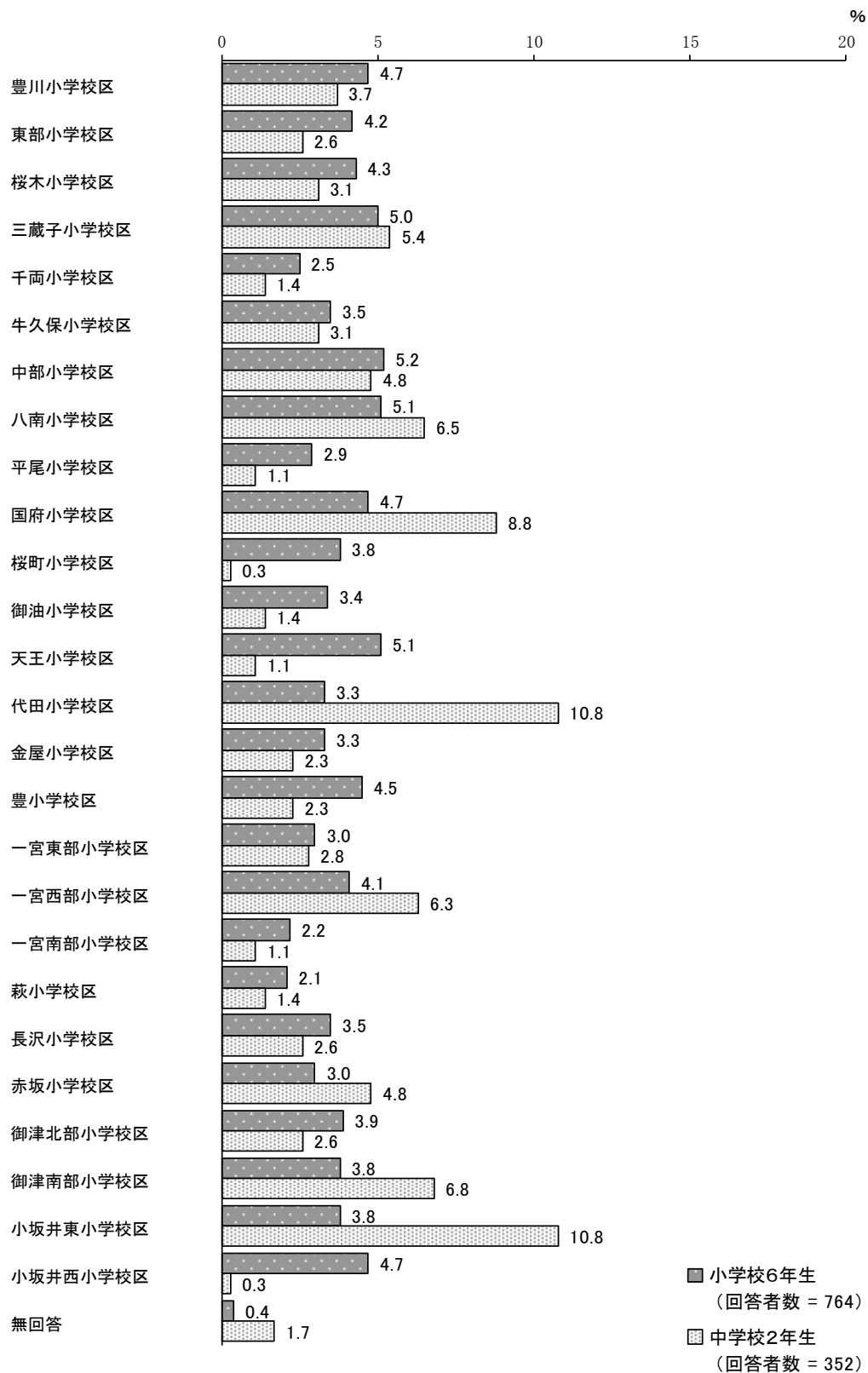
問2 あなたの通っている学校の地域はどこですか。(1つだけに○)

「国府小学校区」、「小坂井東小学校区」の割合が6.0%と最も高くなっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別】

学年別でみると、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「代田小学校区」、「小坂井東小学校区」の割合が高くなっています。

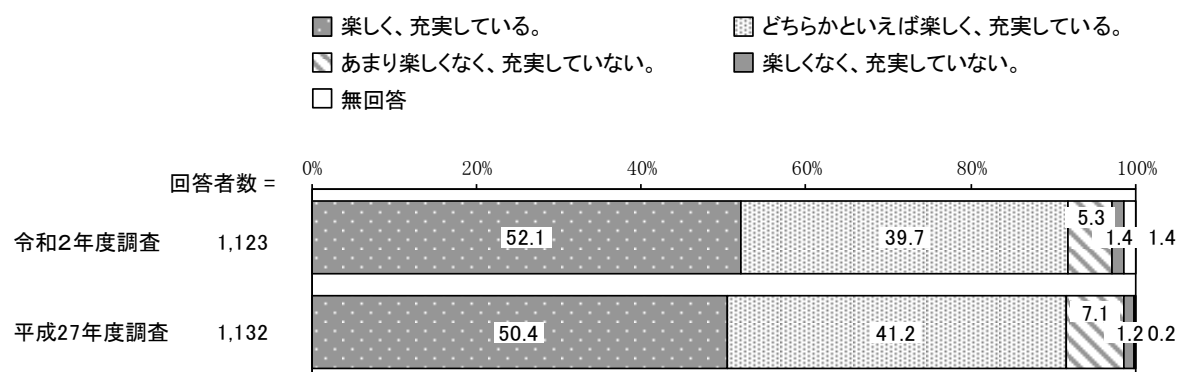


(2) 学校生活について

問3 あなたは、学校生活が楽しく、充実していますか。(1つだけに○)

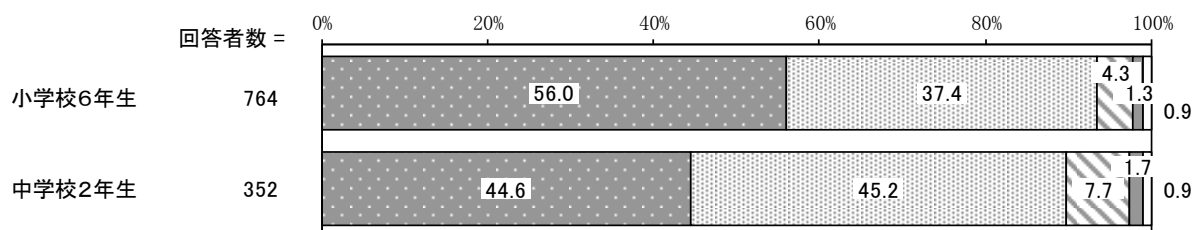
「楽しく、充実している。」と「どちらかといえば楽しく、充実している。」を合わせた「楽しく、充実している」の割合が 91.8%、「あまり楽しくなく、充実していない。」と「楽しくなく、充実していない。」を合わせた「楽しくなく、充実していない」の割合が 6.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



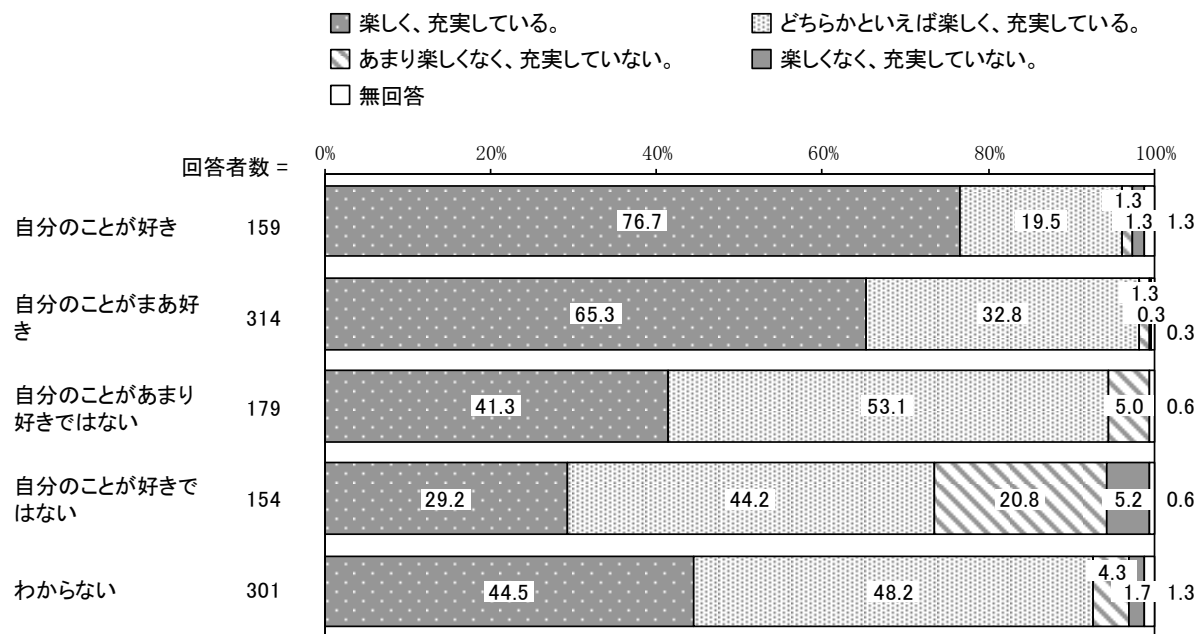
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「楽しく、充実している。」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「どちらかといえば楽しく、充実している。」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感が高くなるにつれて「楽しく、充実している。」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほどで「どちらかといえば楽しく、充実している。」の割合が高くなる傾向がみられます。

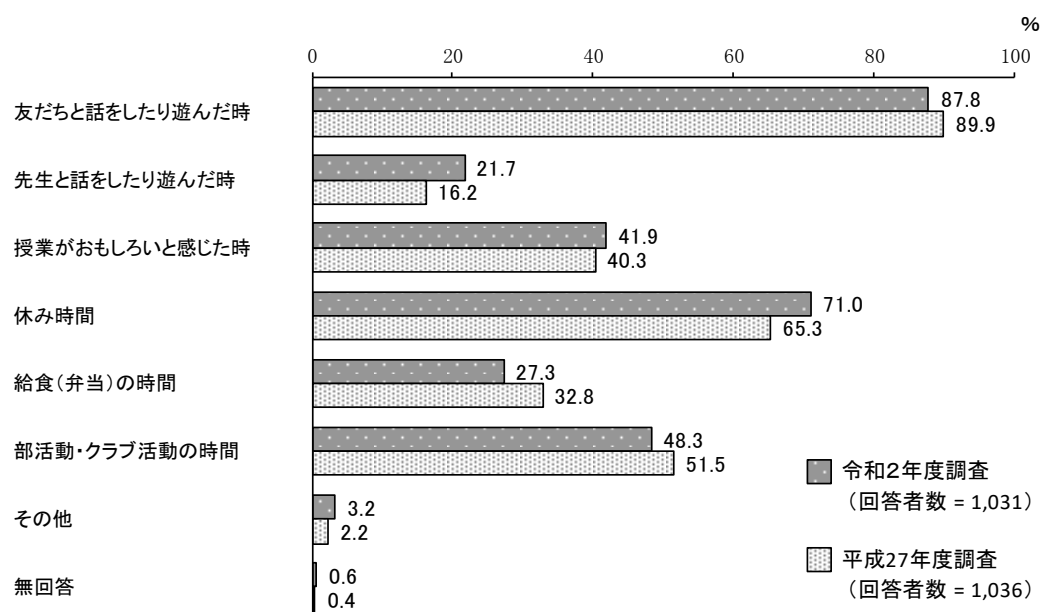


問3-1は、問3で「1. 楽しく、充実している。」「2. どちらかといえば楽しく、充実している。」に○をつけた人だけにたずねます。

問3-1 楽しく、充実していると思うのはどんな時ですか。(あてはまるすべてに○)

「友だちと話をしたり遊んだ時」の割合が87.8%と最も高く、次いで「休み時間」の割合が71.0%、「部活動・クラブ活動の時間」の割合が48.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「先生と話をしたり遊んだ時」、「休み時間」の割合が増加しています。一方、「給食(弁当)の時間」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「先生と話をしたり遊んだ時」、「授業がおもしろいと感じた時」、「休み時間」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「部活動・クラブ活動の時間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	友だちと話をしたり遊んだ時	先生と話をしたり遊んだ時	授業がおもしろいと感じた時	休み時間	給食(弁当)の時間	部活動・クラブ活動の時間	その他	無回答
小学校6年生	714	89.6	24.5	44.4	73.8	29.8	45.7	3.4	0.6
中学校2年生	316	83.5	15.5	36.4	64.9	21.5	54.4	2.8	0.6

【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感が高くなるにつれて「先生と話をしたり遊んだ時」、「授業がおもしろいと感じた時」、「給食（弁当）の時間」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことがまあ好きで「休み時間」、「部活動・クラブ活動の時間」の割合が高くなっています。

単位：％

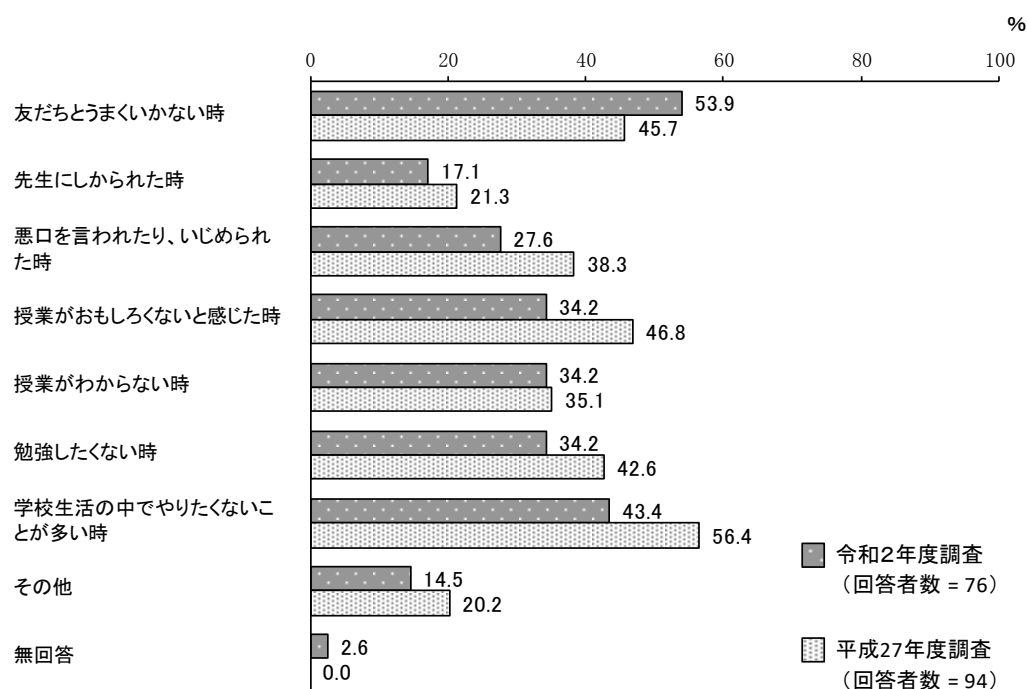
区分	有効回答数 (件)	友だちと話をしたり遊んだ時	先生と話をしたり遊んだ時	授業がおもしろいと感じた時	休み時間	給食（弁当）の時間	部活動・クラブ活動の時間	その他	無回答
自分のことが好き	153	86.9	31.4	52.3	69.9	41.2	53.6	3.3	—
自分のことがまあ好き	308	91.9	27.6	46.8	75.0	29.5	57.1	4.5	0.3
自分のことがあまり好きではない	169	85.8	17.2	40.8	71.6	26.0	39.6	2.4	0.6
自分のことが好きではない	113	83.2	15.9	28.3	61.9	24.8	38.1	2.7	0.9
わからない	279	86.7	15.4	37.3	71.3	19.4	45.5	2.5	1.1

問3-2は、問3で「3. あまり楽しくなく、充実していない。」「4. 楽しくなく、充実していない。」に○をつけた人だけにたずねます。

問3-2 学校生活が楽しくなく、充実していないと思うのはどんな時ですか。(あてはまるすべてに○)

「友だちとうまくいかない時」の割合が53.9%と最も高く、次いで「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が43.4%、「授業がおもしろくないと感じた時」、「授業がわからない時」、「勉強したくない時」の割合が34.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「友だちとうまくいかない時」の割合が増加しています。一方、「悪口を言われたり、いじめられた時」、「授業がおもしろくないと感じた時」、「勉強したくない時」、「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「友だちとうまくいかない時」、「先生にしかられた時」、「授業がわからない時」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が高くなっています。

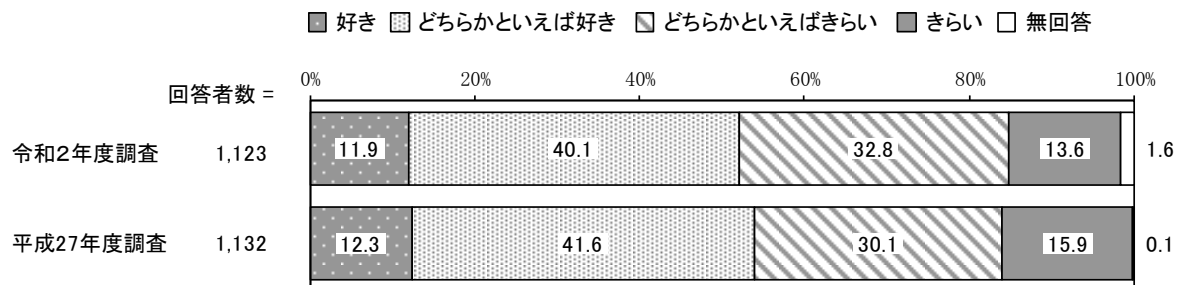
単位：％

区分	有効回答数(件)	友だちとうまくいかない時	先生にしかられた時	悪口を言われたり、いじめられた時	授業がおもしろくないと感じた時	授業がわからない時	勉強したくない時	学校生活の中でやりたくないことが多い時	その他	無回答
小学校6年生	43	62.8	27.9	30.2	37.2	44.2	37.2	39.5	4.7	2.3
中学校2年生	33	42.4	3.0	24.2	30.3	21.2	30.3	48.5	27.3	3.0

問4 あなたは、勉強をすることが好きですか。（1つだけに○）

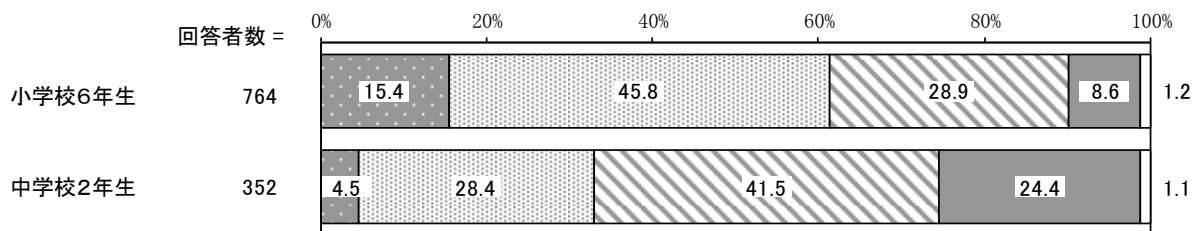
「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた「好き」の割合が52.0%、「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせた「嫌い」の割合が46.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



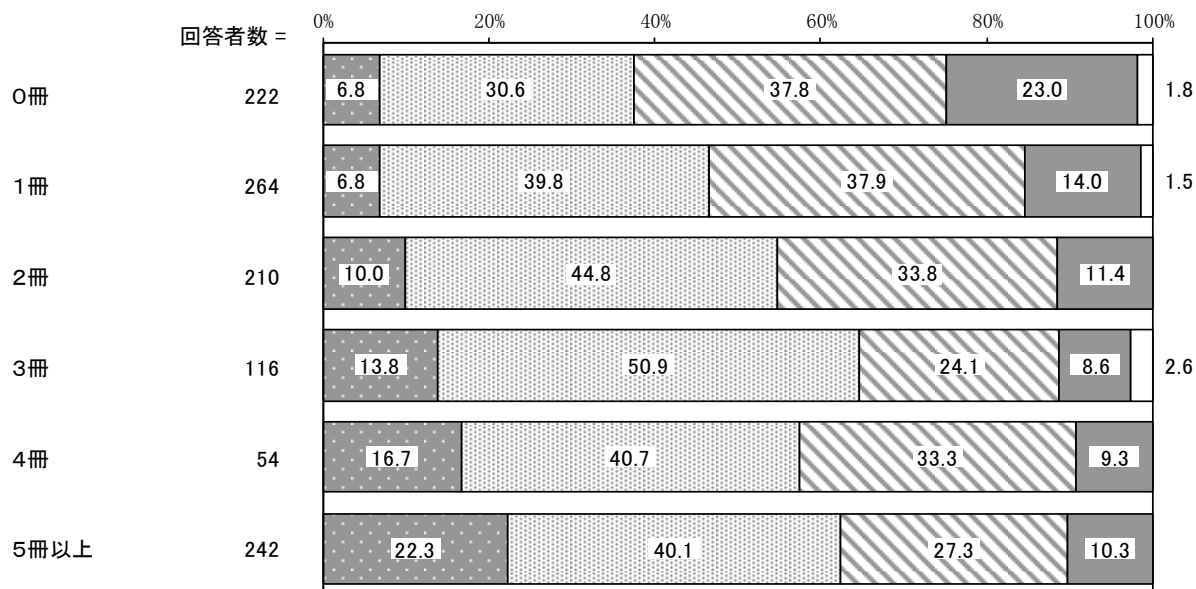
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた「好き」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせた「嫌い」の割合が高くなっています。



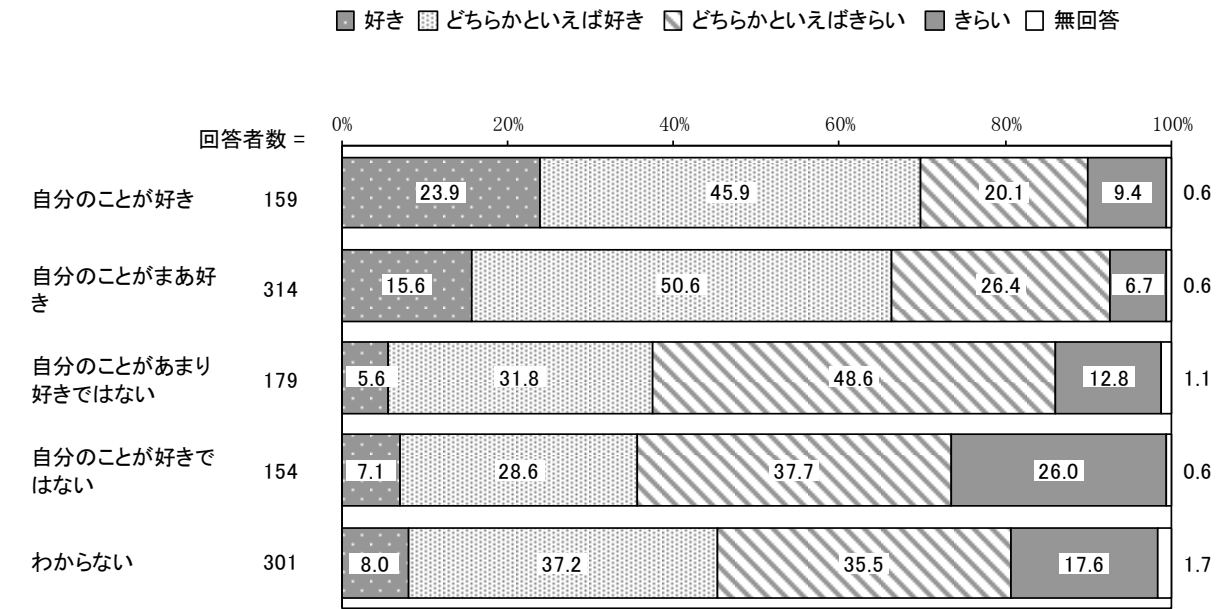
【読書頻度別傾向】

読書頻度別でみると、読書頻度が高くなるにつれて「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた「好き」の割合が高くなる傾向がみられます。また、読書頻度が低くなるほど「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせた「嫌い」の割合が高くなる傾向がみられます。



【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が高くなる傾向がみられます。また自己肯定感が低くなるほど「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせた“嫌い”の割合が高くなる傾向がみられます。

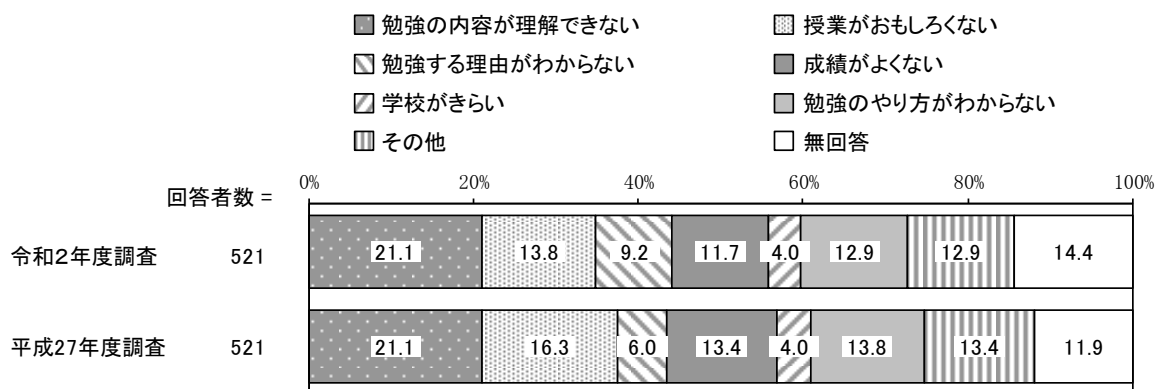


問４－１は、問４で「３．どちらかといえばきらい」、「４．きらい」に○をつけた人だけにたずねます。

問４－１ 勉強をすることがきらいな理由は何ですか。（１つだけに○）

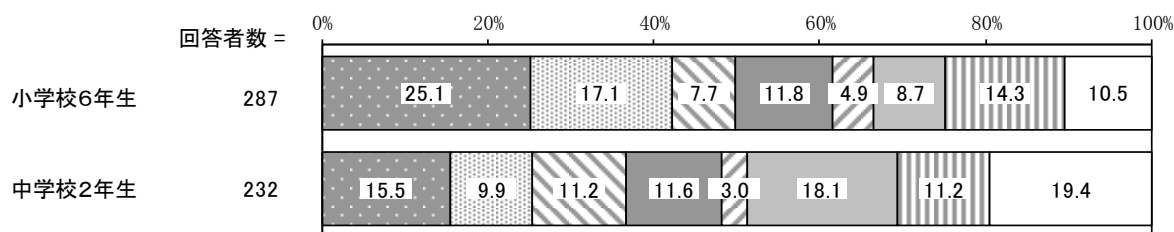
「勉強の内容が理解できない」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「授業がおもしろくない」の割合が 13.8%、「勉強のやり方がわからない」の割合が 12.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

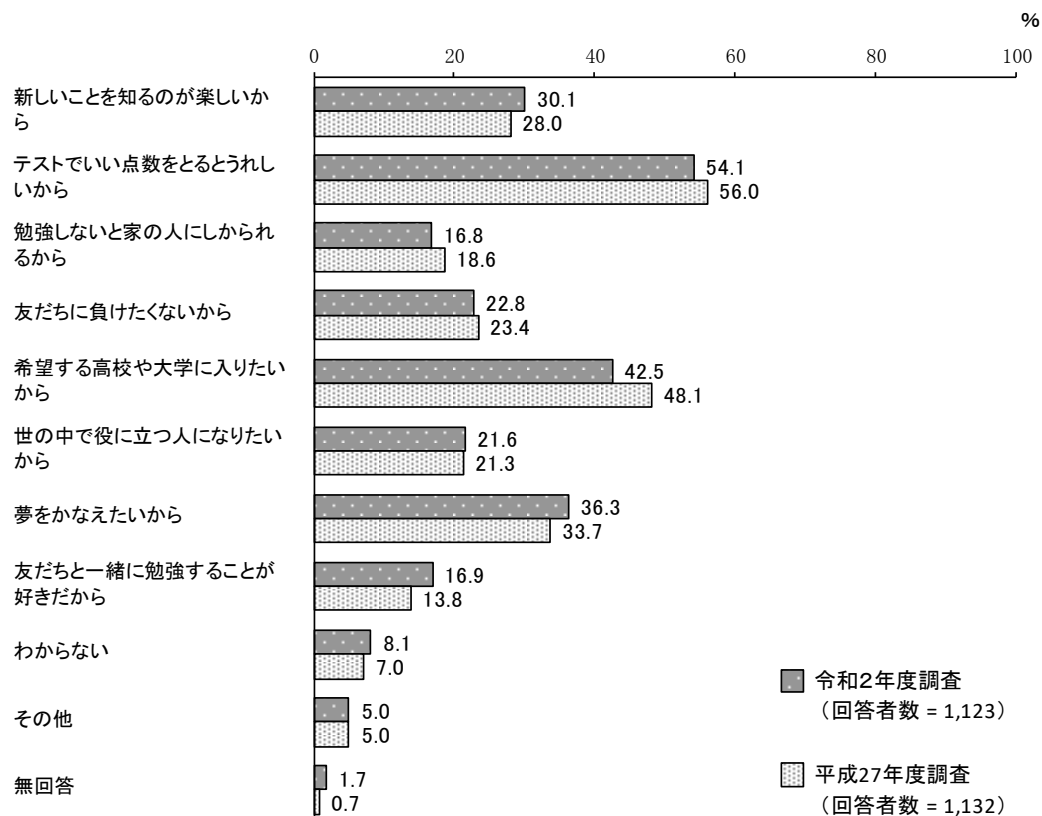
学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「勉強の内容が理解できない」、「授業がおもしろくない」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「勉強のやり方がわからない」の割合が高くなっています。



問5 あなたが勉強するのはどうしてですか。勉強する理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「テストでいい点数をとるとうれしいから」の割合が54.1%と最も高く、次いで「希望する高校や大学に入りたいから」の割合が42.5%、「夢をかなえたいから」の割合が36.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「希望する高校や大学に入りたいから」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「新しいことを知るのが楽しいから」、「友だちと一緒に勉強することが好きだから」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「勉強しないと家の人にしかられるから」、「友だちに負けたくないから」、「希望する高校や大学に入りたいから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	新しいことを知るの が楽しいから	テストでいい点数をと るとうれしいから	勉強しないと家の人 にしかられるから	友だちに負けたく ないから	希望する高校や大学 に入りたいから	世の中で役に立つ人 になりたいから	夢をかなえたいから	友だちと一緒に勉強 することが好きだから	わからない	その他	無回答
小学校6年生	764	36.6	55.4	13.5	19.0	36.1	22.9	38.5	20.9	7.3	4.8	1.3
中学校2年生	352	16.5	52.6	24.4	31.5	56.8	19.3	32.4	8.5	9.7	5.4	1.1

【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「友だちに負けたくないから」、「希望する高校や大学に入りたいから」、「世の中で役に立つ人になりたいから」、「夢をかなえたいから」、「友だちと一緒に勉強することが好きだから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「勉強しないと家の人にしかられるから」の割合が高くなる傾向がみられます。

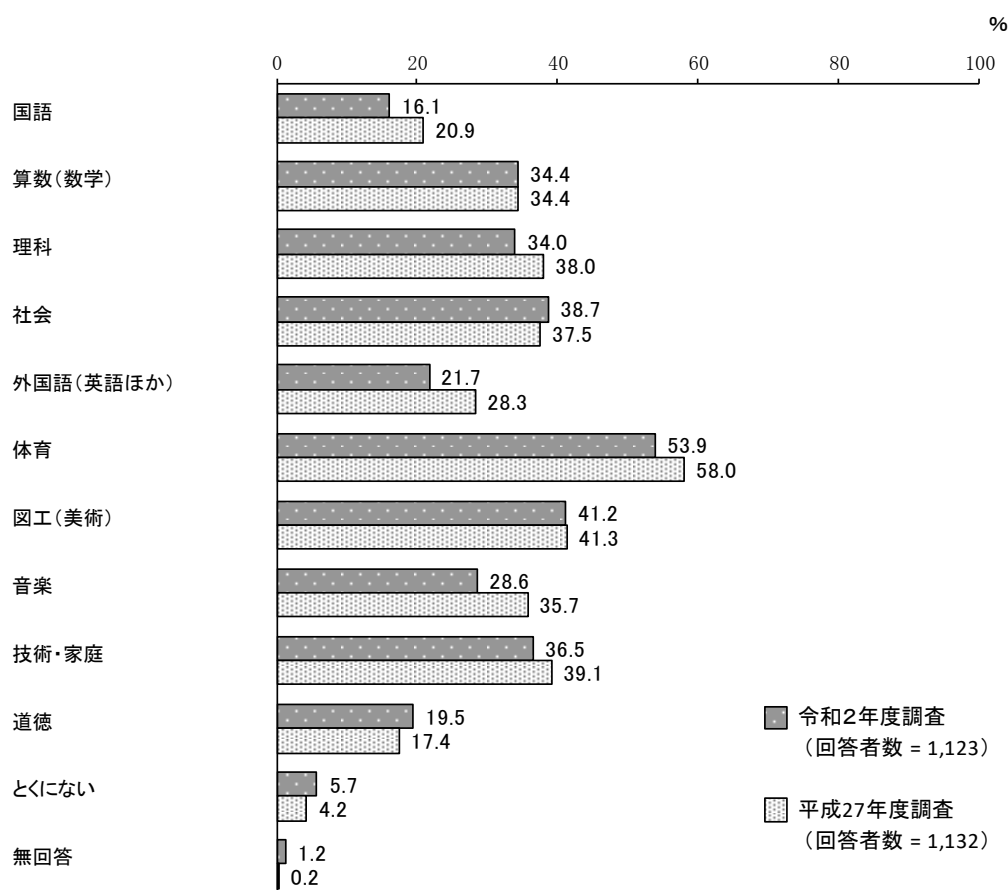
単位：％

区分	有効回答数 (件)	新しいことを知るの が楽しいから	テストでいい点数をと るとうれしいから	勉強しないと家の人 にしかられるから	友だちに負けたく ないから	希望する高校や大学 に入りたいから	世の中で役に立つ人 になりたいから	夢をかなえたいから	友だちと一緒に勉強 することが好きだから	わからない	その他	無回答
自分のことが好き	159	39.6	64.8	9.4	32.1	54.7	34.0	46.5	25.8	3.8	5.0	0.6
自分のことがまあ好き	314	39.8	67.5	16.2	24.5	46.8	26.4	39.8	18.5	2.5	3.2	—
自分のことがあまり好きではない	179	25.7	49.7	17.9	24.6	41.3	19.6	41.3	20.7	6.1	5.0	1.7
自分のことが好きではない	154	22.1	33.8	22.1	14.3	39.6	15.6	33.8	9.7	14.3	7.8	1.3
わからない	301	21.9	49.5	18.9	20.3	35.5	15.6	26.6	12.0	14.6	5.3	2.0

問6 学校で好きな科目を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「体育」の割合が53.9%と最も高く、次いで「図工（美術）」の割合が41.2%、「社会」の割合が38.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「外国語（英語ほか）」、「音楽」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「算数（数学）」、「理科」、「体育」、「図工（美術）」、「技術・家庭」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「とくにない」の割合が高くなっています。

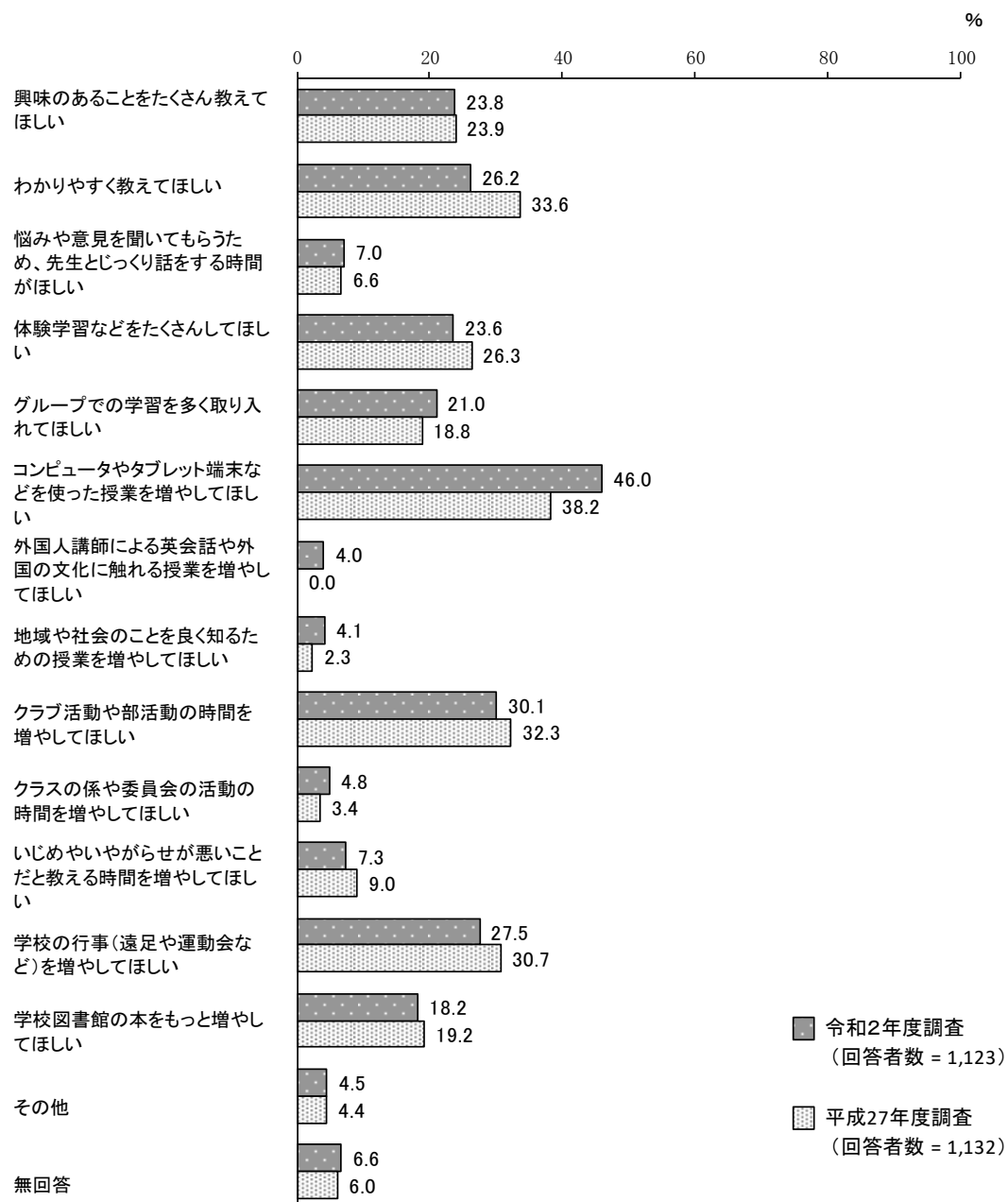
単位：％

区分	有効回答数(件)	国語	算数(数学)	理科	社会	外国語(英語ほか)	体育	図工(美術)	音楽	技術・家庭	道徳	とくにない	無回答
小学校6年生	764	14.7	40.2	36.6	38.9	23.8	57.9	48.6	30.2	41.4	21.2	3.1	0.9
中学校2年生	352	19.6	22.2	29.0	39.2	17.6	46.0	26.1	25.6	26.4	16.2	11.4	0.6

問7 学校や先生に対して、どのようなことを望みますか。(主なもの3つまで○)

「コンピュータやタブレット端末などを使った授業を増やしてほしい」の割合が46.0%と最も高く、次いで「クラブ活動や部活動の時間を増やしてほしい」の割合が30.1%、「学校の行事（遠足や運動会など）を増やしてほしい」の割合が27.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「コンピュータやタブレット端末などを使った授業を増やしてほしい」の割合が増加しています。一方、「わかりやすく教えてほしい」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「学校図書館の本をもっと増やしてほしい」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「わかりやすく教えてほしい」、「学校の行事（遠足や運動会など）を増やしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	興味のあることをたくさん教えてほしい	わかりやすく教えてほしい	悩みや意見を聞いてもらうため、先生とじっくり話をする時間がほしい	体験学習などをたくさんしてほしい	グループでの学習を多く取り入れてほしい	コンピュータやタブレット端末などを使った授業を増やしてほしい	外国人講師による英会話や外国の文化に触れる授業を増やしてほしい
小学校6年生	764	23.6	21.1	7.5	24.0	21.6	49.0	4.5
中学校2年生	352	24.4	37.8	6.3	23.3	20.2	40.3	2.8

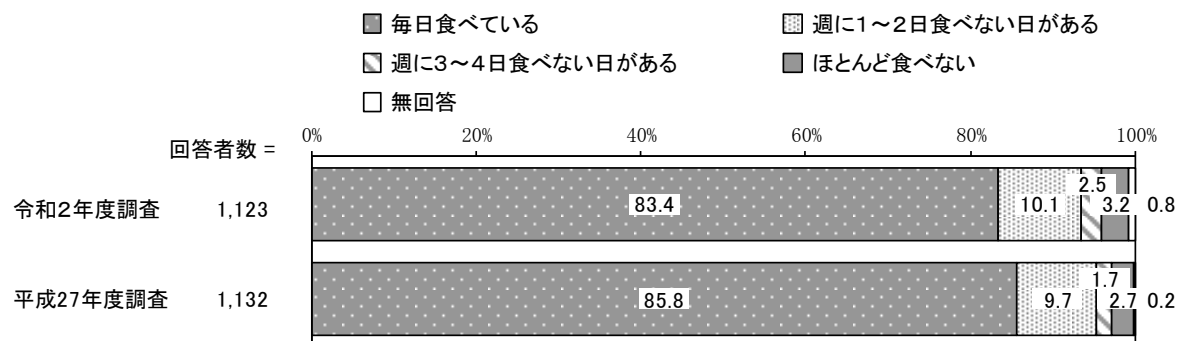
区分	地域や社会のことを良く知るための授業を増やしてほしい	クラブ活動や部活動の時間を増やしてほしい	クラスの係や委員会の活動の時間を増やしてほしい	いじめやいやがらせが悪いことだと教える時間を増やしてほしい	学校の行事（遠足や運動会など）を増やしてほしい	学校図書館の本をもっと増やしてほしい	その他	無回答
小学校6年生	4.3	30.8	5.5	7.9	25.1	23.2	3.4	5.8
中学校2年生	3.7	29.3	3.4	6.0	33.0	7.7	6.8	7.1

(3) 家や地域での生活について

問8 あなたは、朝食を食べていますか。(1つだけに○)

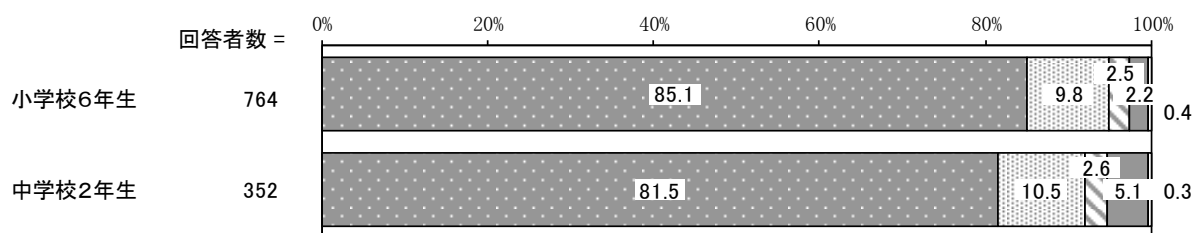
「毎日食べている」の割合が83.4%と最も高く、次いで「週に1～2日食べない日がある」の割合が10.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



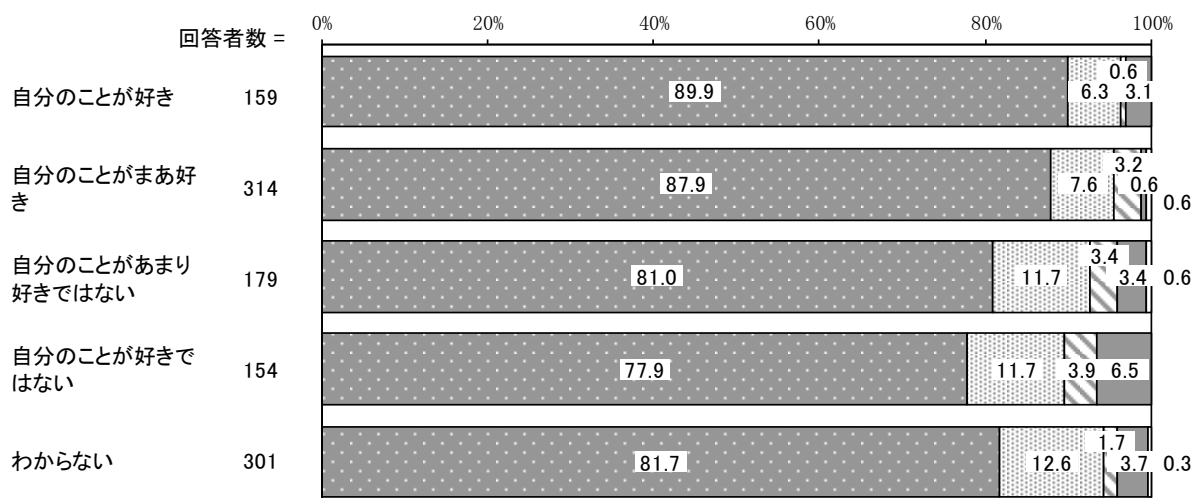
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。

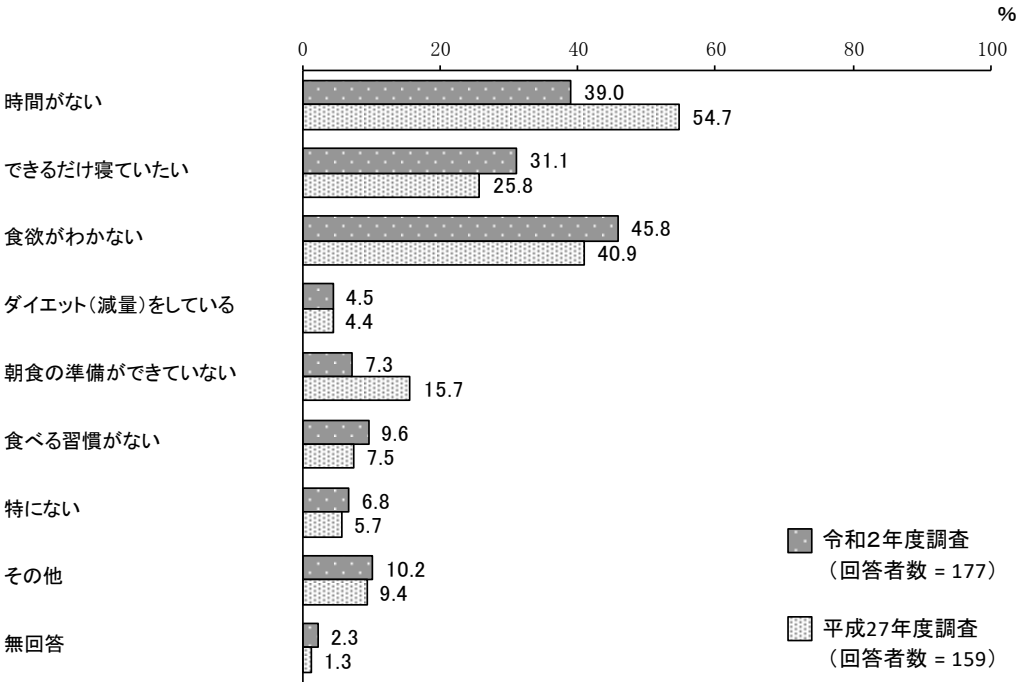


問 8－1 は、問 8 で「2. 週に 1～2 日 食べない日がある」、「3. 週に 3～4 日 食べない日がある」、「4. ほとんど 食べない」に○をつけた人だけにたずねます。

問 8－1 朝ごはんを食べない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「食欲がわからない」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 39.0%、「できるだけ寝ていたい」の割合が 31.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「できるだけ寝ていたい」の割合が増加しています。一方、「時間がない」、「朝食の準備ができていない」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「時間がない」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「できるだけ寝ていたい」、「食べる習慣がない」の割合が高くなっています。

単位：％

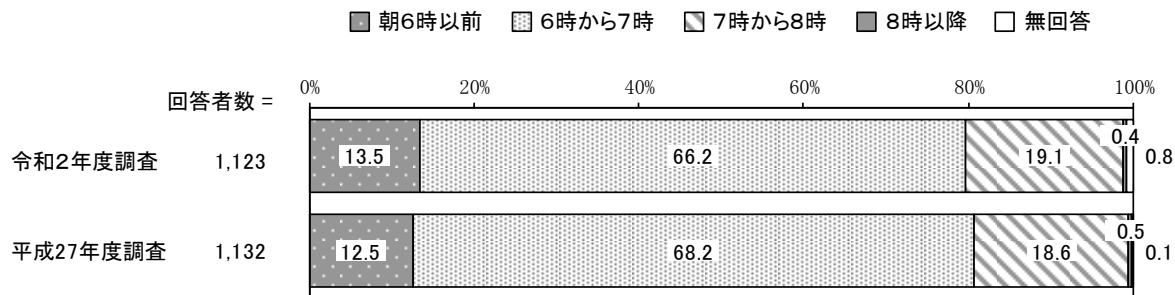
区分	有効回答数 (件)	時間がない	できるだけ寝て いたい	食欲がわかない	ダイエット(減量) をしている	朝食の準備がで き ていない	食べる習慣がない	特にない	その他	無回答
小学校6年生	111	43.2	28.8	44.1	3.6	9.0	5.4	7.2	9.0	1.8
中学校2年生	64	31.3	35.9	48.4	6.3	4.7	17.2	6.3	12.5	3.1

問9 あなたは、平日（月曜日～金曜日）、朝は何時頃に起きますか。また、何時頃に寝ますか。（それぞれ、だいたいの時刻でお答えください。）

＜起きる時刻＞（１つだけに○）

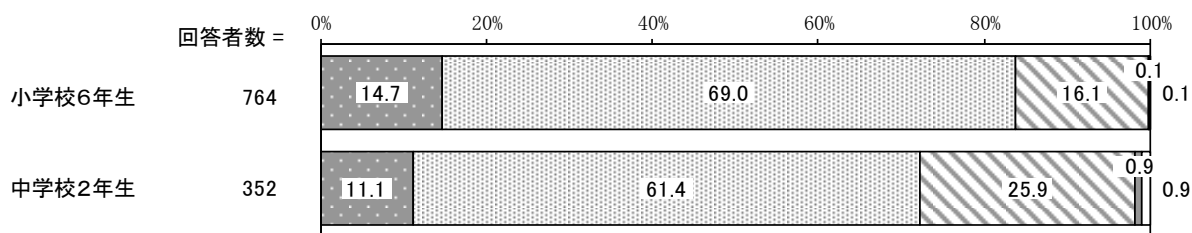
「6時から7時」の割合が66.2%と最も高く、次いで「7時から8時」の割合が19.1%、「朝6時以前」の割合が13.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

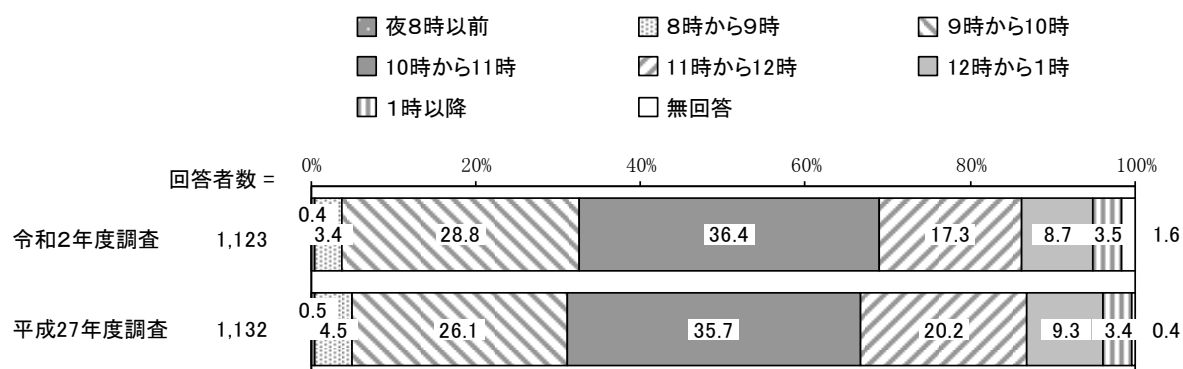
学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「6時から7時」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「7時から8時」の割合が高くなっています。



＜寝る時刻＞（１つだけに○）

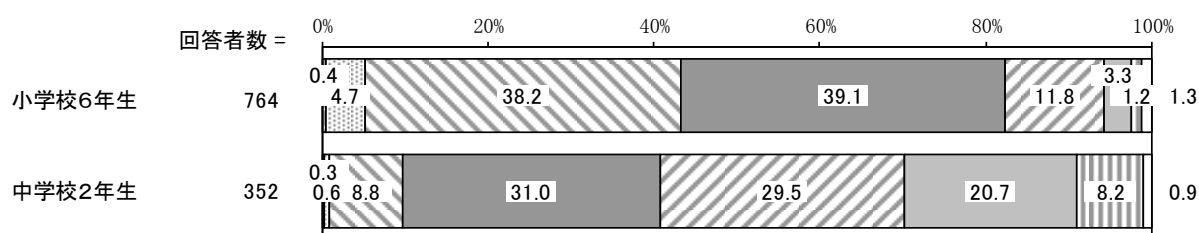
「10時から11時」の割合が36.4%と最も高く、次いで「9時から10時」の割合が28.8%、「11時から12時」の割合が17.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

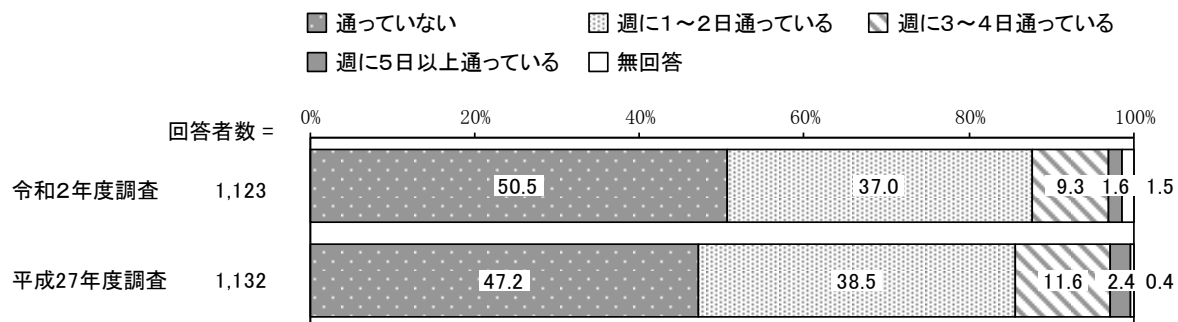
学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「9時から10時」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「11時から12時」、「12時から1時」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、学習塾（家庭教師をふくむ）に通っていますか。（1つだけに○）

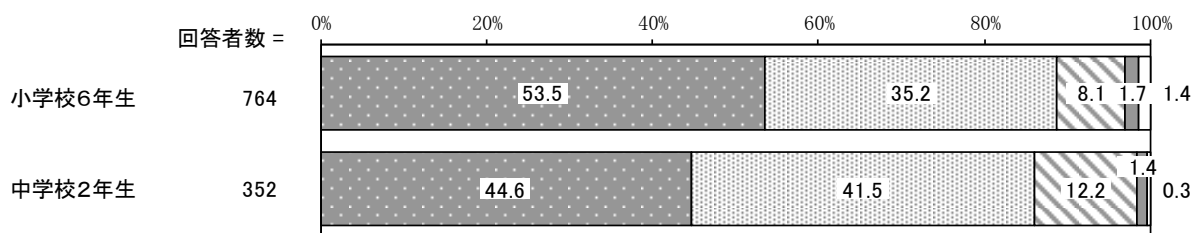
「通っていない」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「週に1～2日通っている」の割合が 37.0%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「通っていない」の割合が高くなっています。

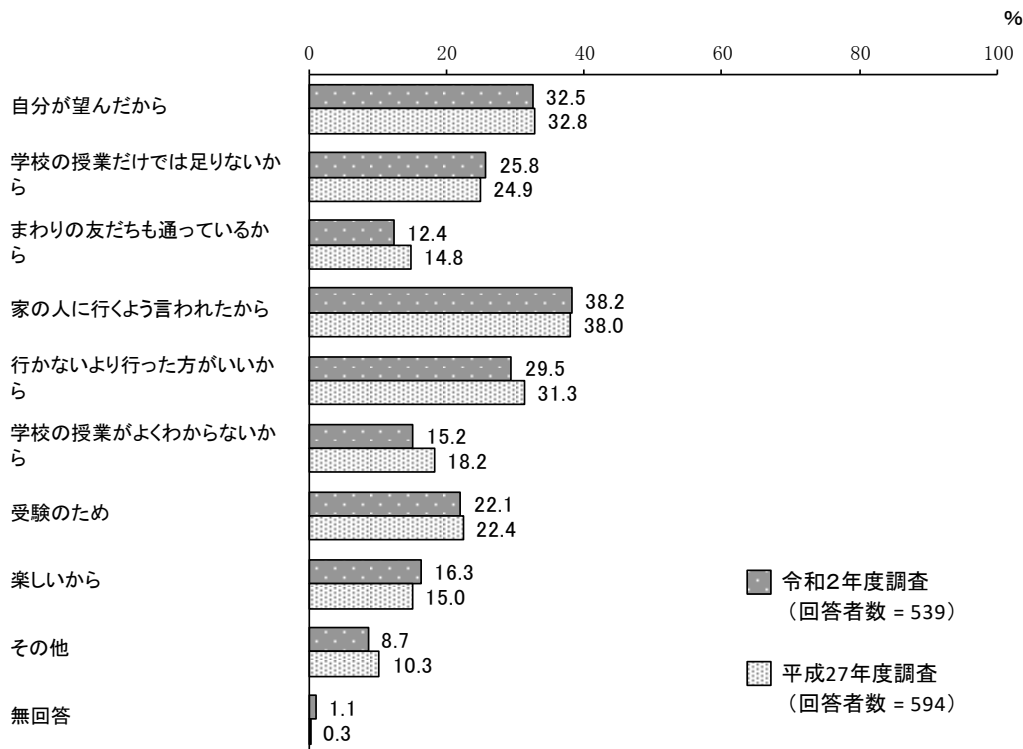


問 10－ 1 は、問 10 で学習塾に通っていると答えた人だけにたずねます。

問 10－ 1 あなたが、学習塾（家庭教師）に通うのはどうしてですか。（あてはまるすべてに○）

「家の人に行くよう言われたから」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「自分が望んだから」の割合が 32.5%、「行かないより行った方がいいから」の割合が 29.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「家の人に行くよう言われたから」、「楽しいから」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「自分が望んだから」、「学校の授業だけでは足りないから」、「学校の授業がよくわからないから」、「受験のため」の割合が高くなっています。

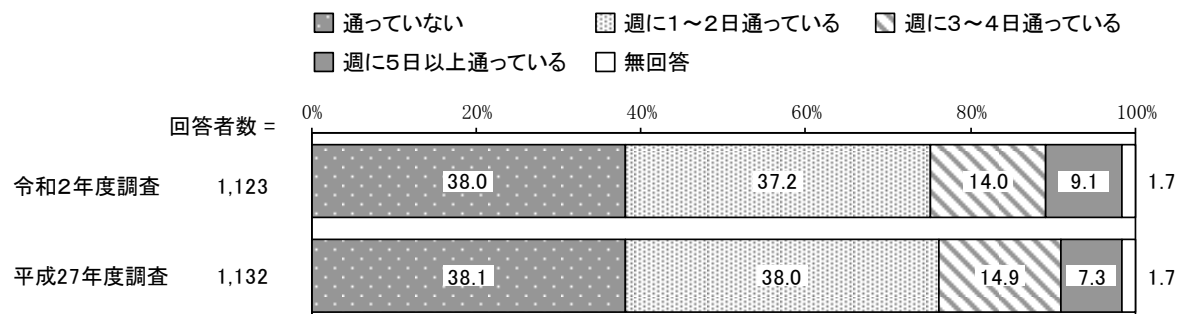
単位：％

区分	有効回答数(件)	自分が望んだから	学校の授業だけでは足りないから	まわりの友だちも通っているから	家の人に行くよう言われたから	行かないより行った方がいいから	学校の授業がよくわからないから	受験のため	楽しいから	その他	無回答
小学校6年生	344	29.9	19.5	13.1	40.4	29.7	9.6	11.9	20.3	10.2	1.2
中学校2年生	194	37.1	37.1	10.8	34.5	29.4	25.3	40.2	9.3	6.2	1.0

問 11 あなたは、学習塾以外の習い事に通っていますか。（1つだけに○）

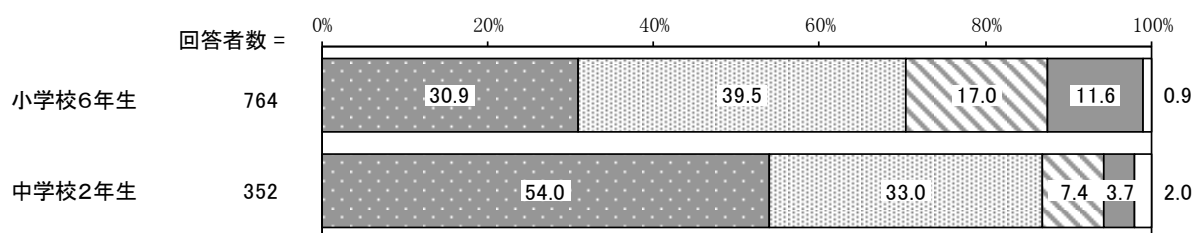
「通っていない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「週に1～2日通っている」の割合が 37.2%、「週に3～4日通っている」の割合が 14.0%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

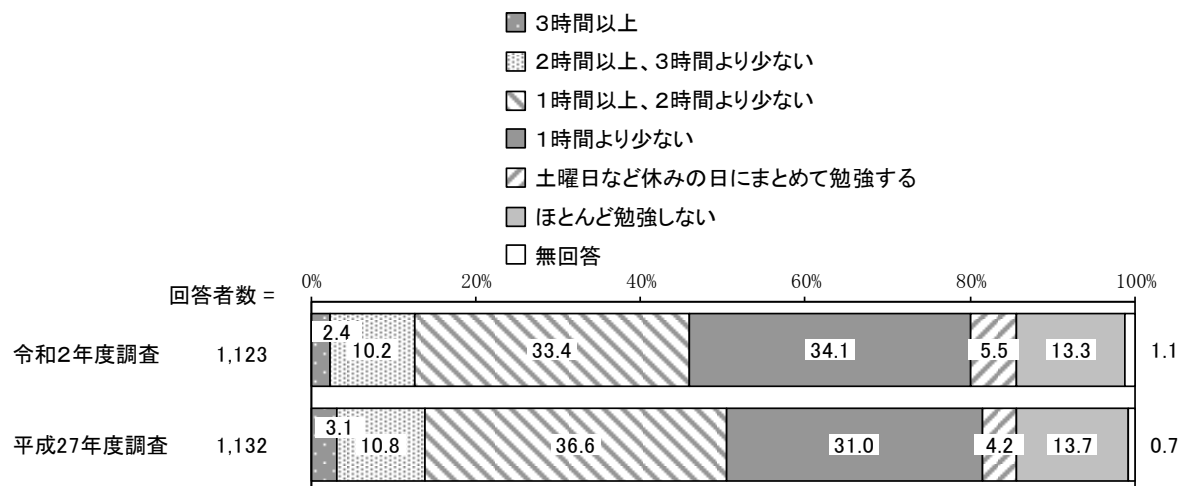
学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「週に3～4日通っている」、「週に5日以上通っている」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「通っていない」の割合が高くなっています。



問 12 あなたは、平日（月曜日～金曜日）は家で１日どのくらい勉強しますか。（学習塾、家庭教師の時間は含まない）（１つだけに○）

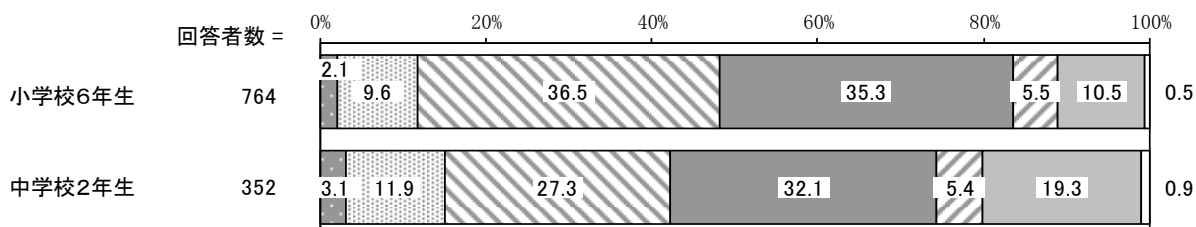
「１時間より少ない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」の割合が33.4%、「ほとんど勉強しない」の割合が13.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



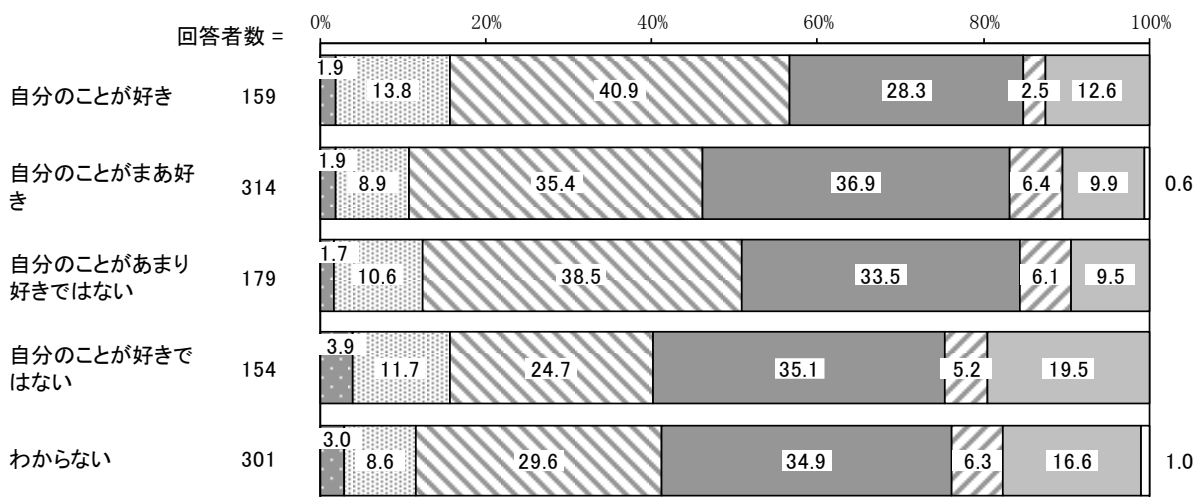
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「１時間以上、２時間より少ない」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「ほとんど勉強しない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

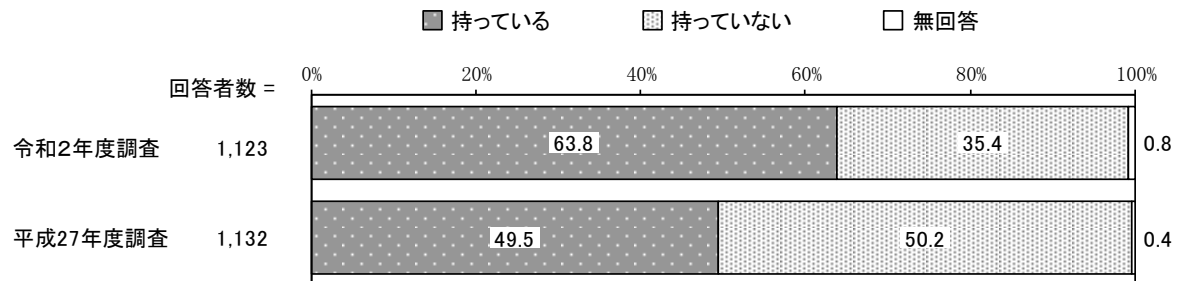
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるほど「１時間以上、２時間より少ない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことが好きではないで「ほとんど勉強しない」の割合が高くなっています。



問 13 あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。（どちらかに○）

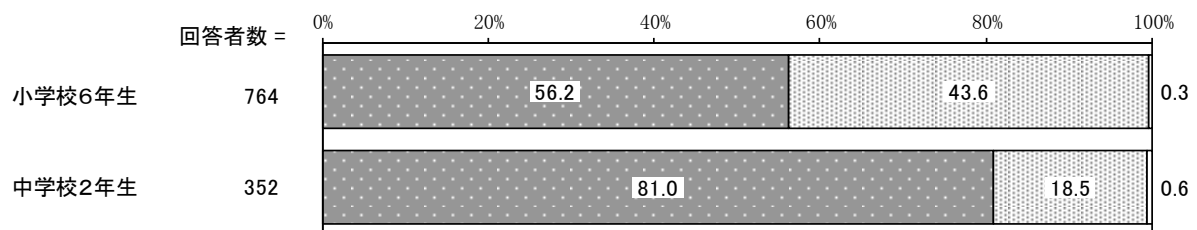
「持っている」の割合が 63.8%、「持っていない」の割合が 35.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加しています。一方、「持っていない」の割合が減少しています。



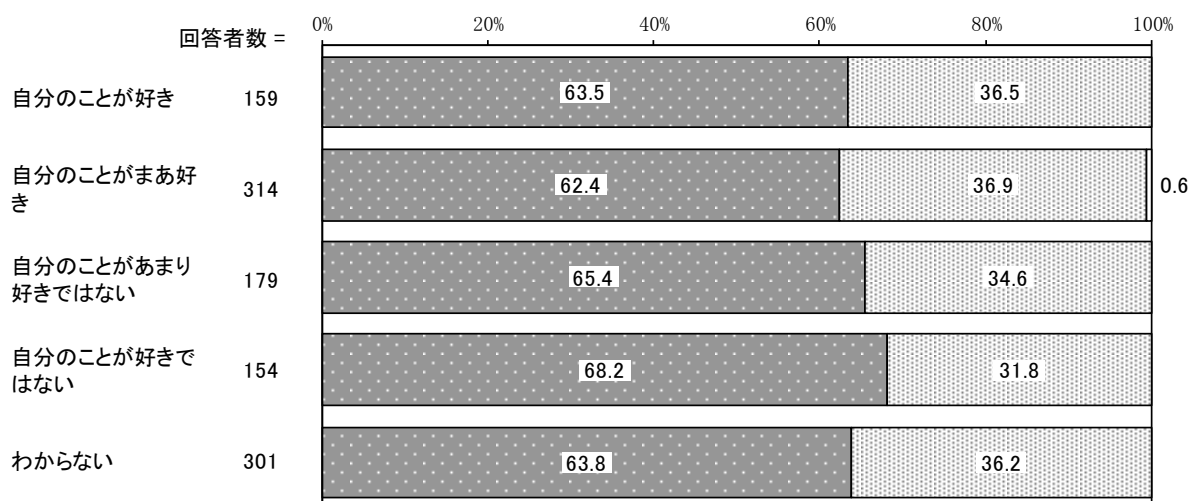
【学年別傾向】

学年別でみると、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「持っている」の割合が高くなっています。また、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「持っていない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

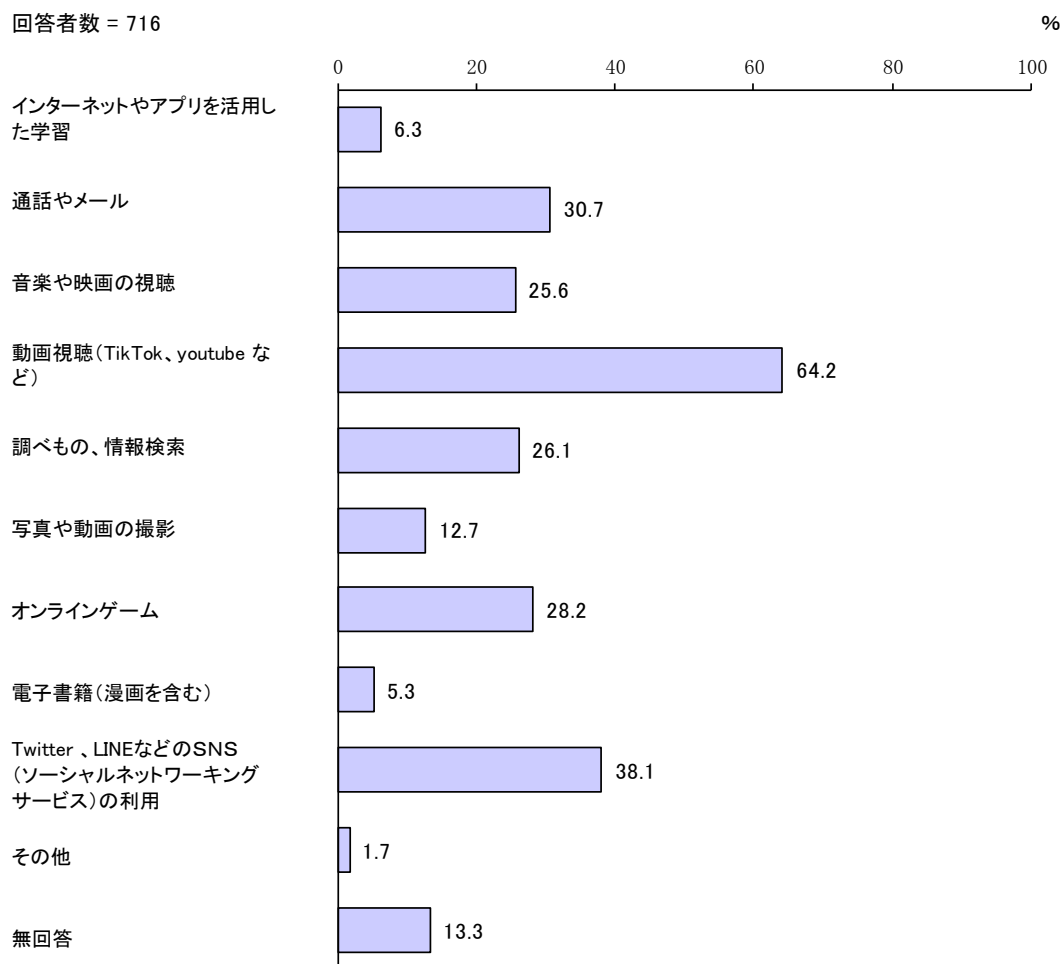
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



問 13－ 1 は、問 13 で「持っている」に○をつけた人だけにたずねます。

問 13－ 1 あなたはどんなことに使っていますか。(主なもの 3 つまで○)

「動画視聴 (TikTok、youtube など)」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「Twitter、LINE などの SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の利用」の割合が 38.1%、「通話やメール」の割合が 30.7%となっています。



【学年別傾向】

学年別でみると、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「Twitter、LINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	インターネットやアプリを活用した学習	通話やメール	音楽や映画の視聴	動画視聴（TikTok、youtube など）	調べもの、情報検索	写真や動画の撮影	オンラインゲーム	電子書籍（漫画を含む）	Twitter、LINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用	その他	無回答
小学校6年生	429	8.6	32.4	25.4	64.3	27.5	13.5	30.5	5.6	33.1	2.6	8.6
中学校2年生	285	2.8	28.1	25.6	63.9	24.2	11.6	24.6	4.9	45.6	0.4	20.4

【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自分のことがあまり好きではないで「動画視聴（TikTok、youtube など）」の割合が高くなっています。

単位：％

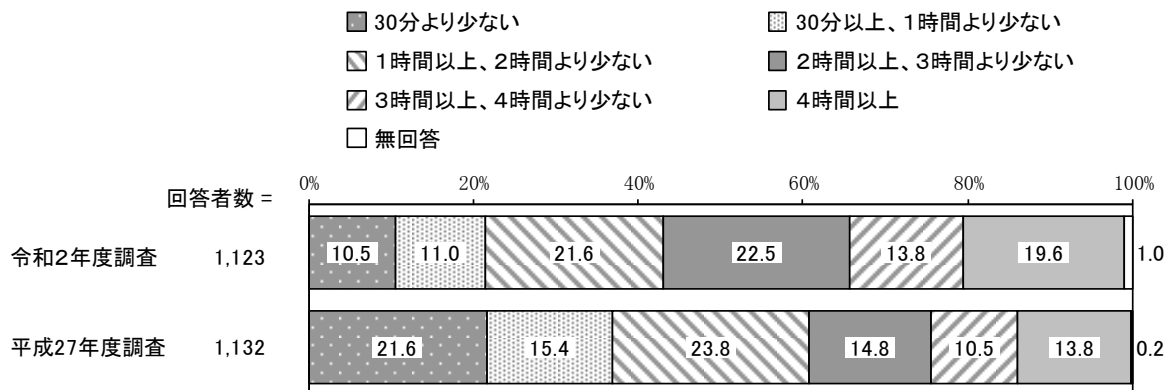
区分	有効回答数（件）	インターネットやアプリを活用した学習	通話やメール	音楽や映画の視聴	動画視聴（TikTok、youtube など）	調べもの、情報検索	写真や動画の撮影	オンラインゲーム	電子書籍（漫画を含む）	Twitter、LINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用	その他	無回答
自分のことが好き	101	5.0	25.7	26.7	67.3	25.7	16.8	27.7	5.0	32.7	3.0	13.9
自分のことがまあ好き	196	8.2	30.6	26.5	58.2	26.0	11.2	28.6	5.6	36.7	1.0	13.8
自分のことがあまり好きではない	117	6.8	31.6	23.9	73.5	29.1	11.1	23.1	7.7	40.2	1.7	10.3
自分のことが好きではない	105	8.6	32.4	25.7	60.0	23.8	13.3	26.7	3.8	34.3	1.9	17.1
わからない	192	3.6	32.3	24.5	64.6	25.5	13.0	31.3	4.7	43.2	1.6	12.5

問 13－2 は、問 13 で「持っている」に○をつけた人だけにたずねます。

問 13－2 あなたは、平日（月曜日～金曜日）に携帯電話やスマートフォンを、1 日どのくらいの時間使っていますか。（1 つだけに○）

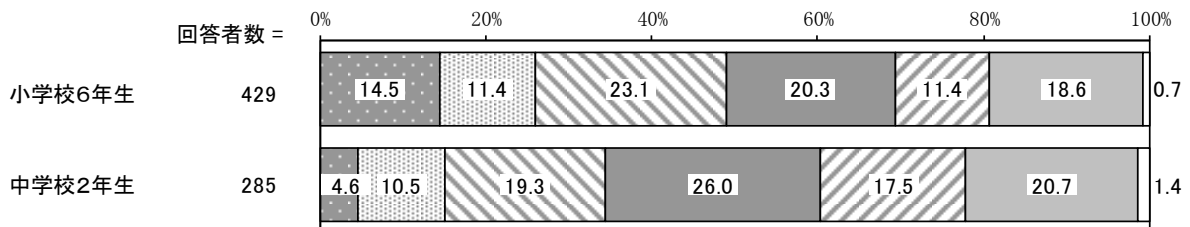
「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合が 21.6%、「4 時間以上」の割合が 19.6%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「2 時間以上、3 時間より少ない」、「4 時間以上」の割合が増加しています。一方、「30 分より少ない」の割合が減少しています。



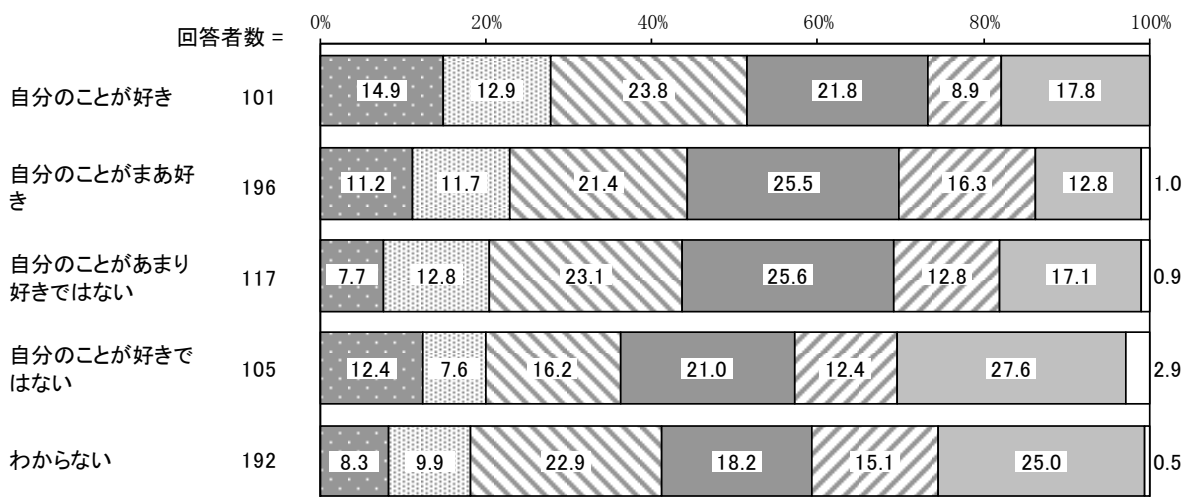
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「30 分より少ない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

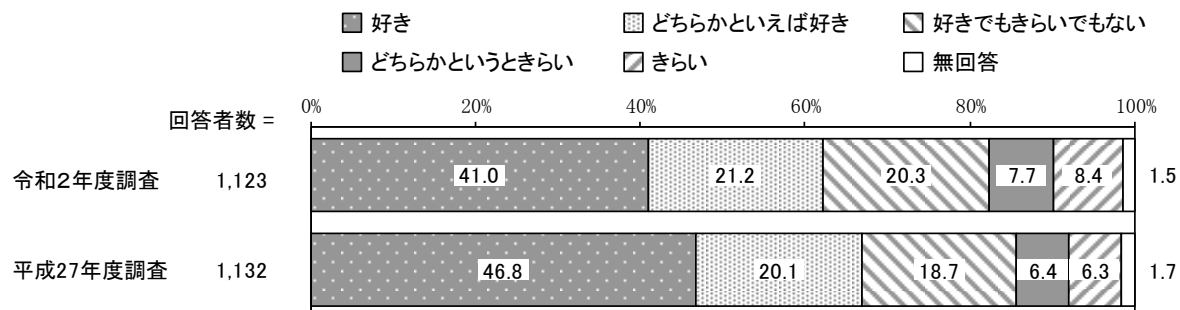
自己肯定感別でみると、他に比べ、自分のことが好きではないで「4 時間以上」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、運動することが好きですか。（1つだけに○）

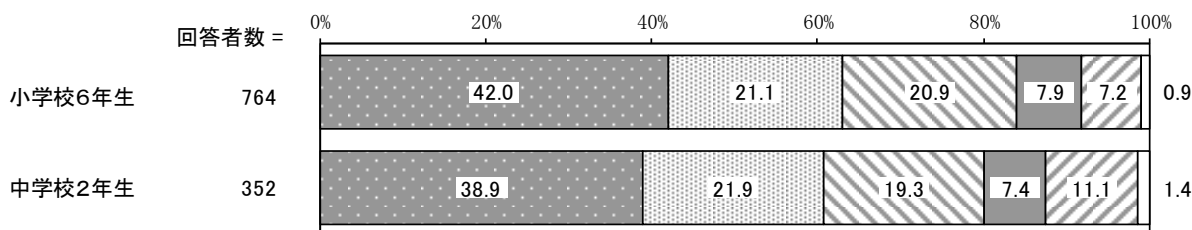
「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が 62.2%、「どちらかというときらい」と「きらい」を合わせた“きらい”の割合が 16.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「好き」の割合が減少しています。



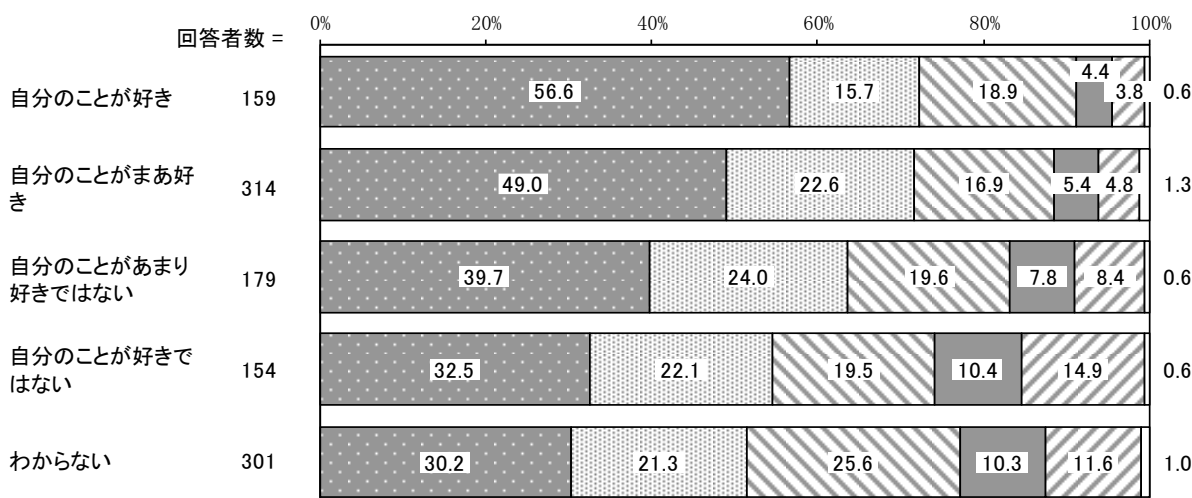
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

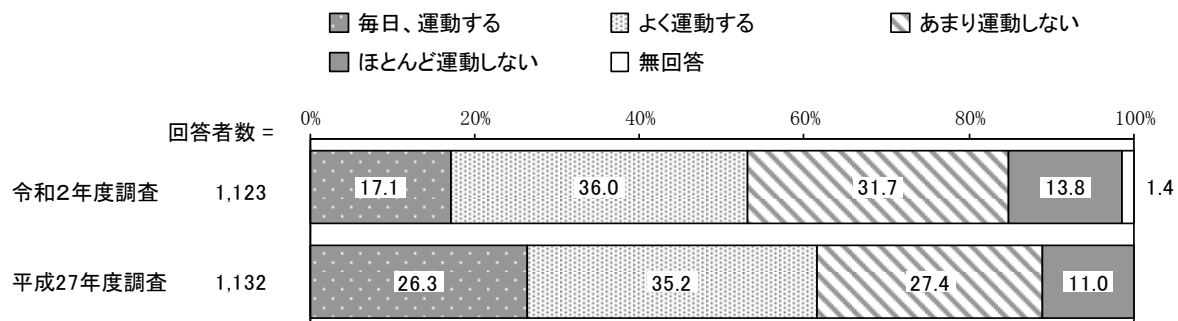
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「どちらかというときらい」と「きらい」を合わせた“きらい”の割合が高くなる傾向がみられます。



問 15 あなたは、学校の授業以外で運動をしていますか。（1つだけに○）

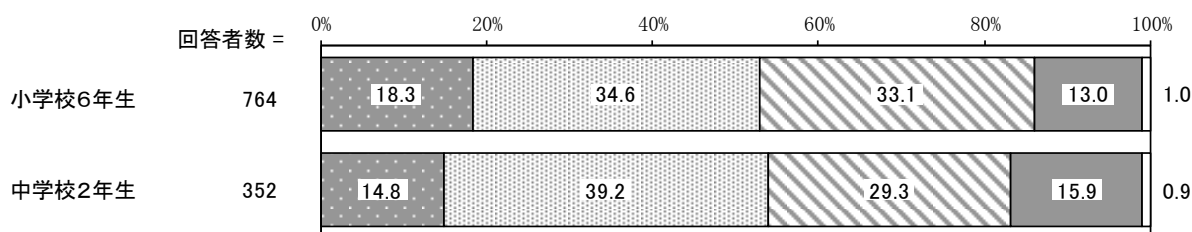
「毎日、運動する」と「よく運動する」を合わせた“運動する”の割合が 53.1%、「あまり運動しない」と「ほとんど運動しない」を合わせた“運動しない”の割合が 45.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「毎日、運動する」の割合が減少しています。



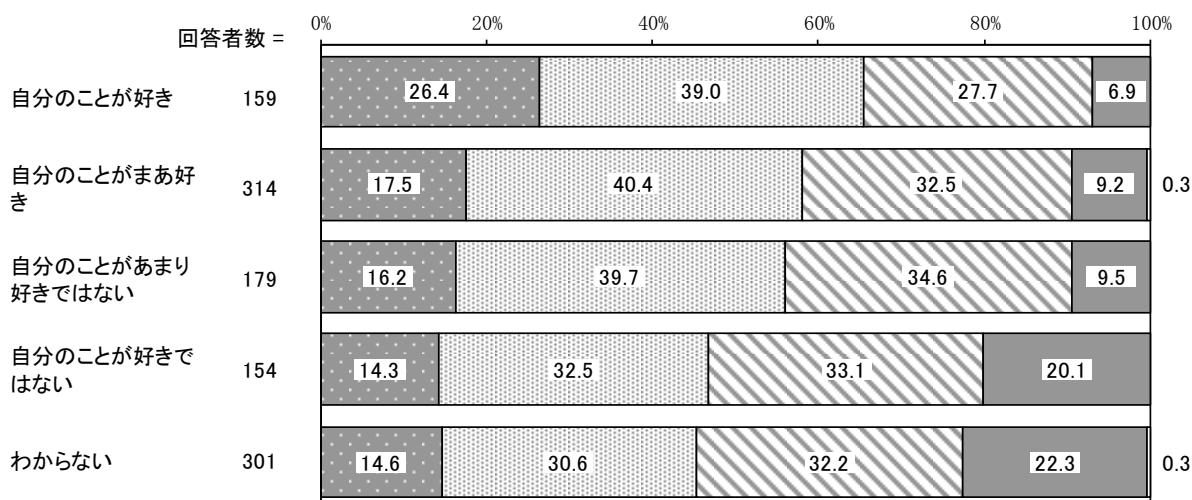
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



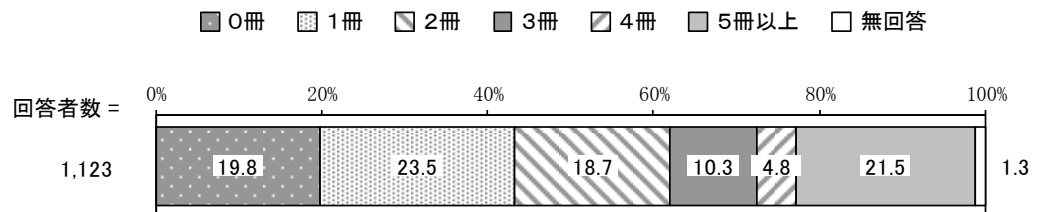
【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「毎日、運動する」と「よく運動する」を合わせた“運動する”の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「あまり運動しない」と「ほとんど運動しない」を合わせた“運動しない”の割合が高くなる傾向がみられます。



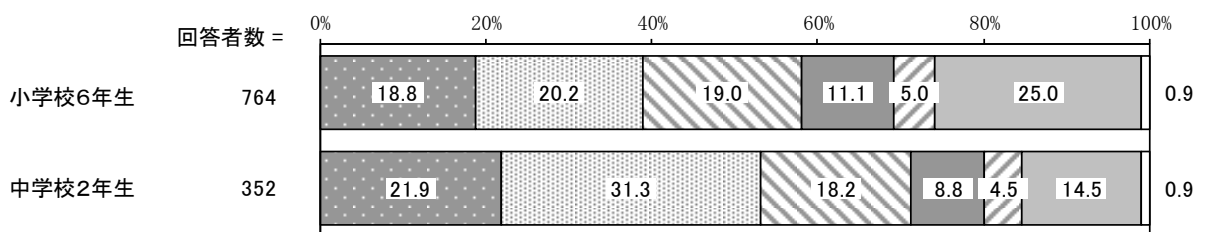
問 16 あなたは、1 か月に何冊の本（漫画、雑誌をのぞく）を読みますか。（1 つだけに○）

「1 冊」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「5 冊以上」の割合が 21.5%、「0 冊」の割合が 19.8%となっています。



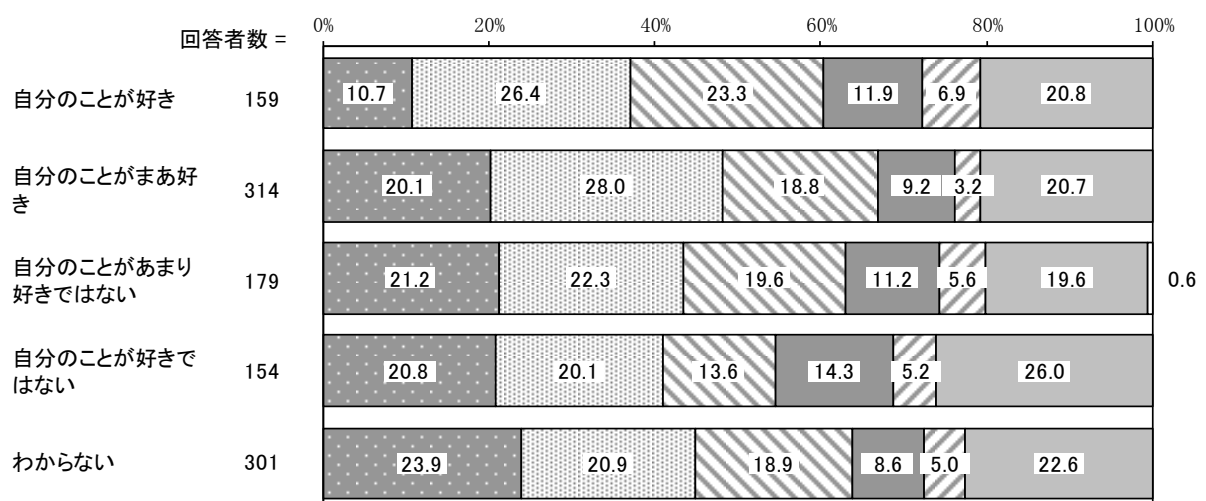
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「5 冊以上」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「1 冊」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

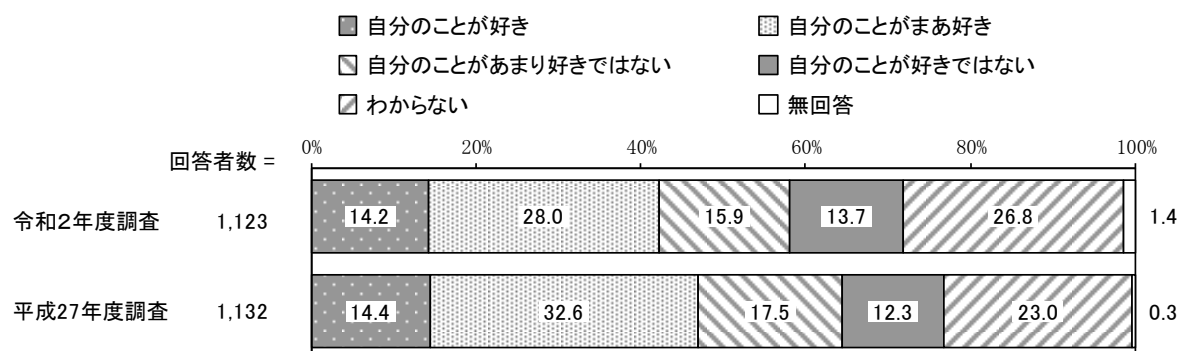
自己肯定感別でみると、自己肯定感が低くなるほど「0 冊」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が高くなるにつれて「1 冊」「2 冊」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 17 あなたは、自分のことを好きですか。（1つだけに○）

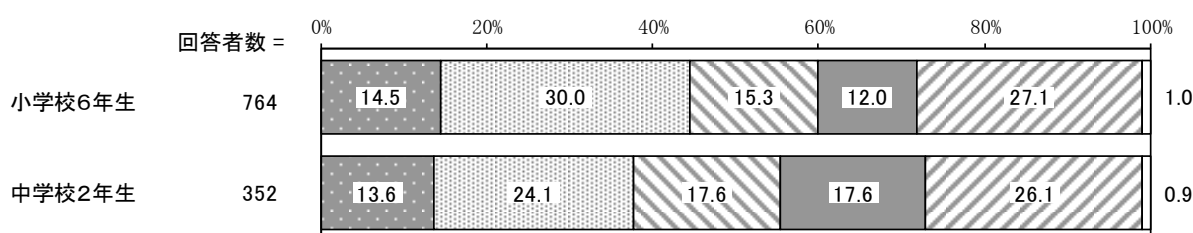
「自分のことが好き」と「自分のことがまあ好き」を合わせた“好き”の割合が42.2%、「自分のことがあまり好きではない」と「自分のことが好きではない」を合わせた“好きではない”の割合が29.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

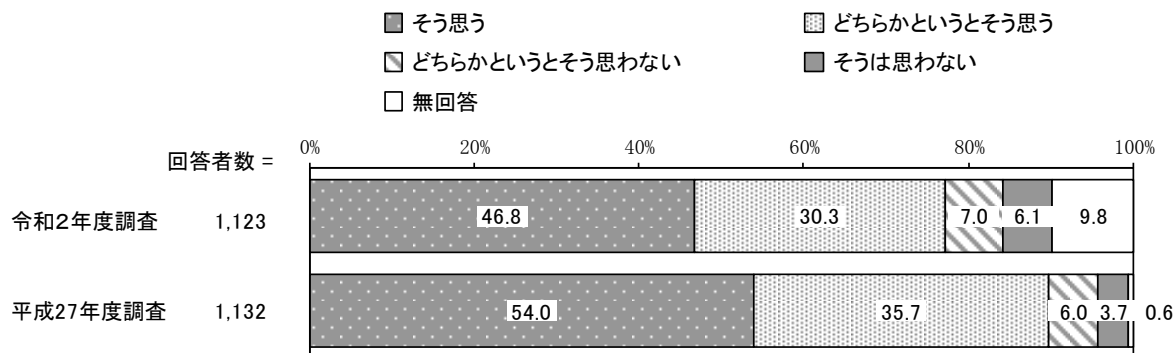
学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「自分のことがまあ好き」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「自分のことが好きではない」の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、家の人から大切にされていると思いますか。（1つだけに○）

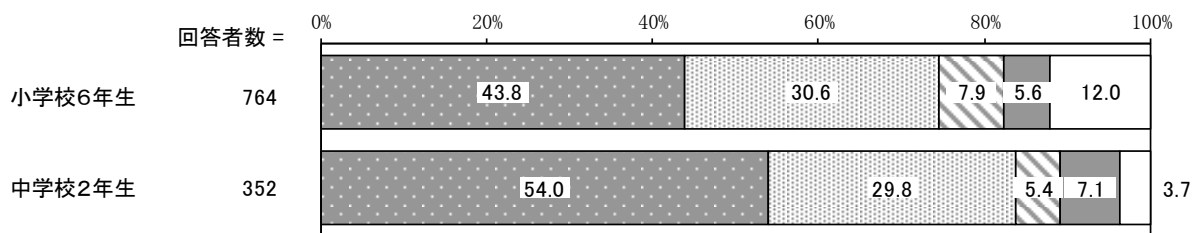
「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”の割合が 77.1%、「どちらかというと思わない」と「そうは思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 13.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が減少しています。



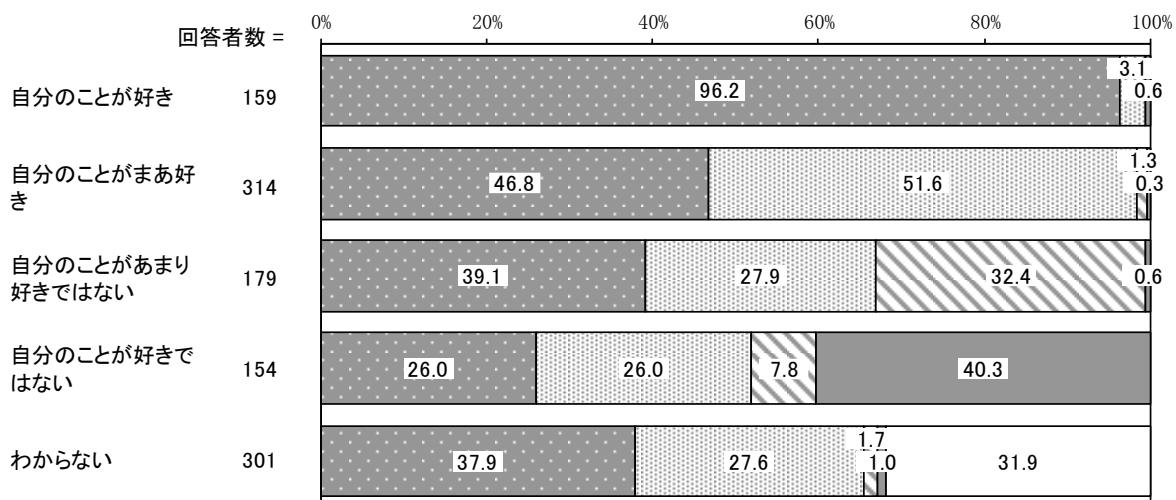
【学年別傾向】

学年別でみると、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

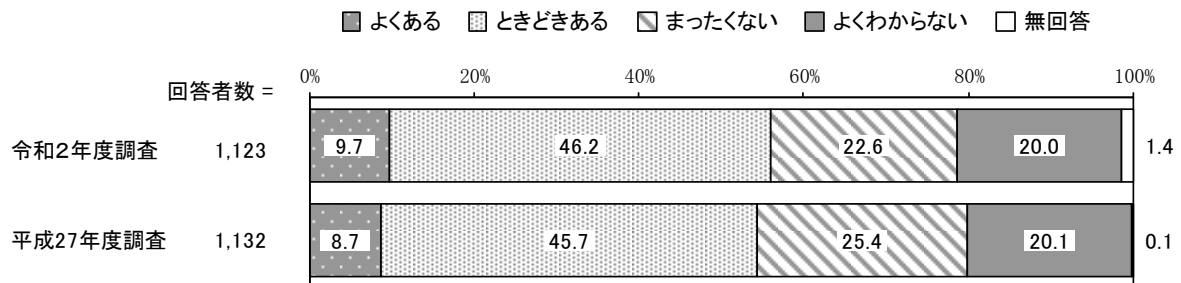
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことがあまり好きではないで「どちらかというと思わない」の割合が、自分のことが好きではないで「そうは思わない」の割合が高くなっています。



問 19 あなたは、自分の気持ちをコントロールできなくなることがありますか。（1つだけに○）

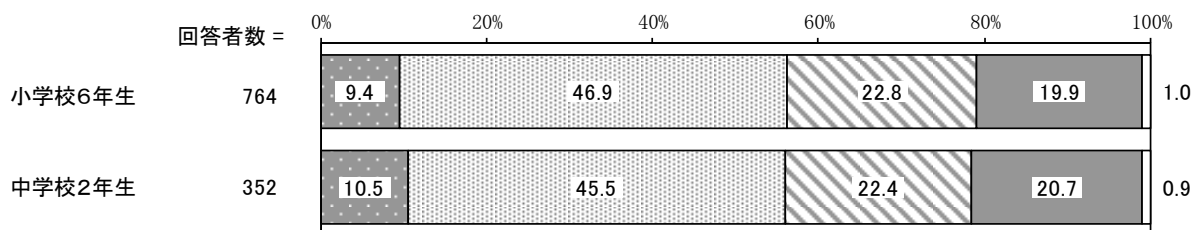
「ときどきある」の割合が46.2%と最も高く、次いで「まったくない」の割合が22.6%、「よくわからない」の割合が20.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



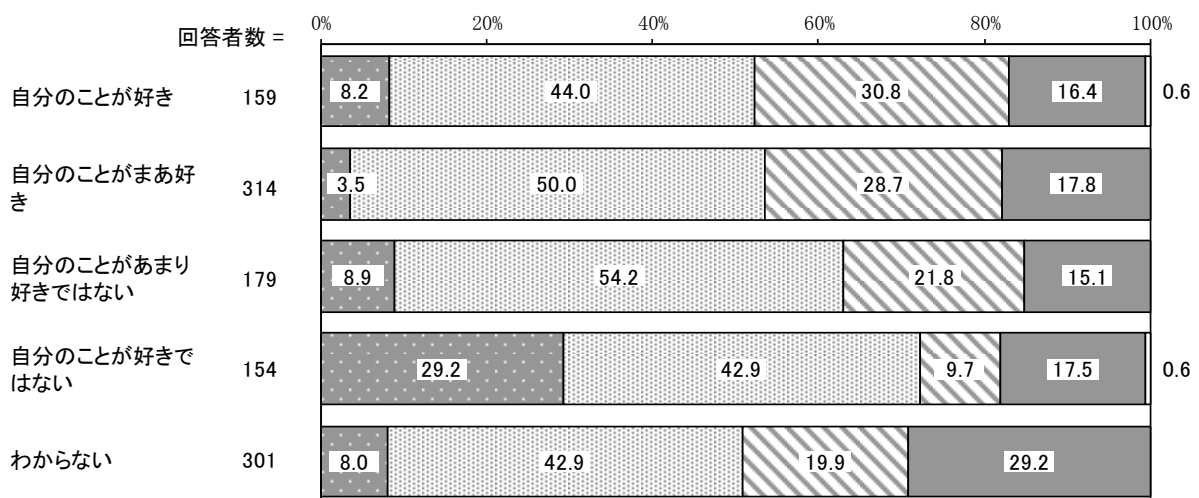
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

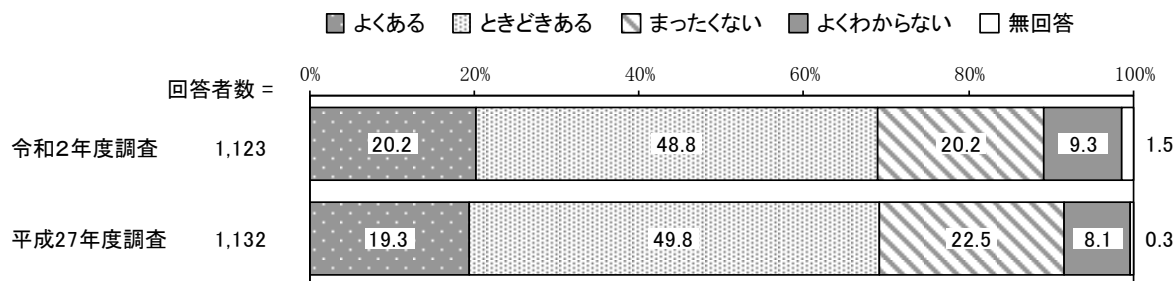
自己肯定感別でみると、他に比べ、自分のことが好きではないで「よくある」の割合が、自分のことがあまり好きではないで「ときどきある」の割合が、自分のことが好きで「まったくない」の割合が高くなっています。



問 20 あなたは、心配なことや悩みがありますか。（１つだけに○）

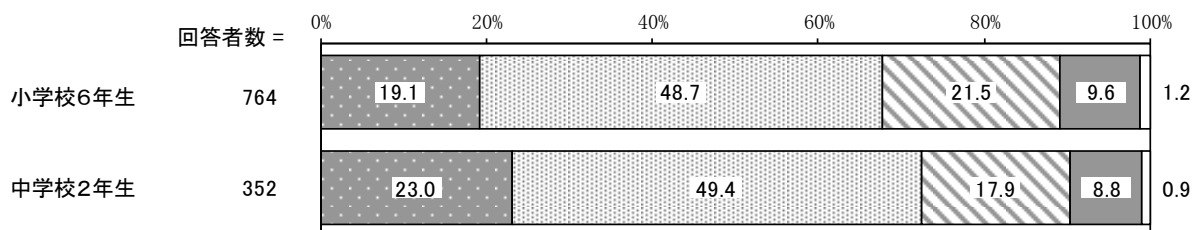
「ときどきある」の割合が48.8%と最も高く、次いで「よくある」、「まったくない」の割合が20.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



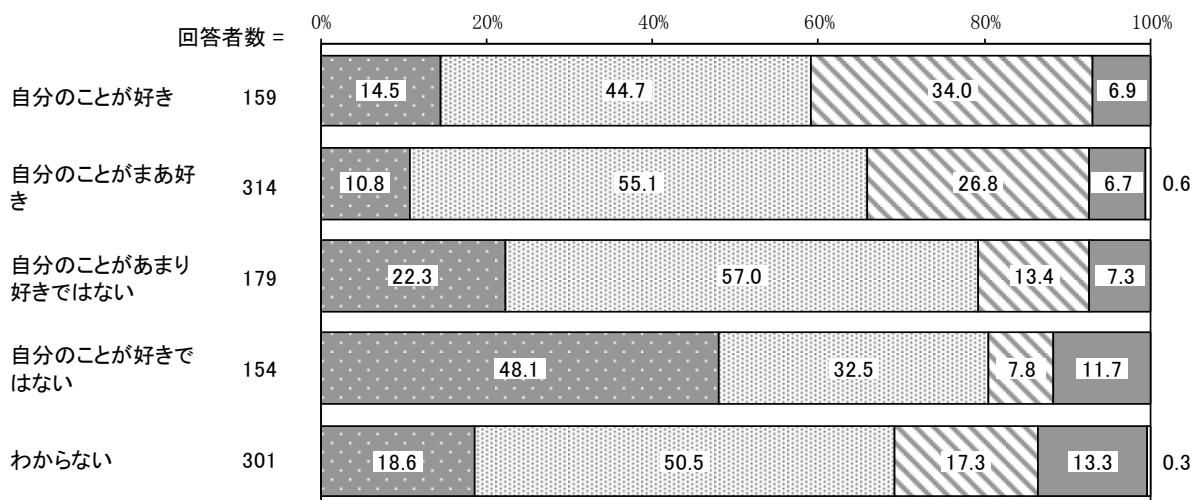
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

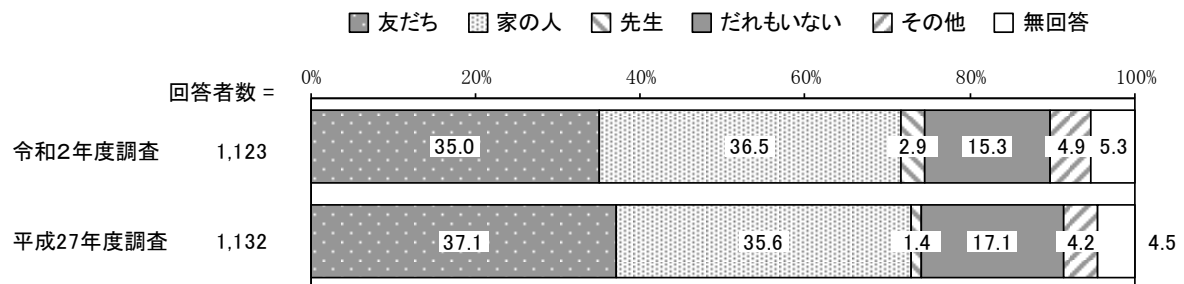
自己肯定感別でみると、自己肯定感が低くなるほど「よくある」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が高くなるにつれて「まったくない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことがあまり好きではないで「ときどきある」の割合が高くなっています。



問 21 あなたは、心配なことや悩みがあるとき、だれに相談しますか。（１つだけに○）

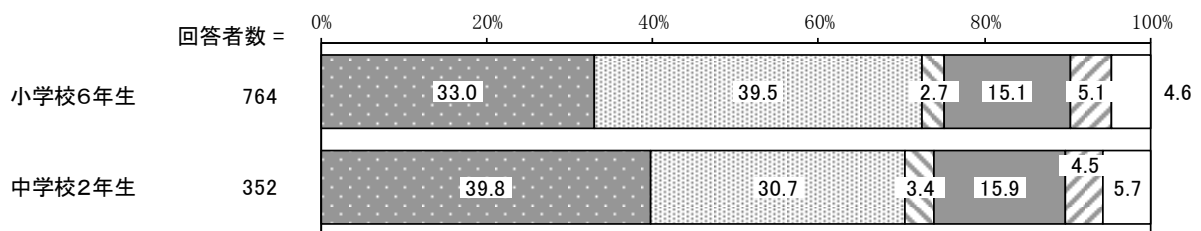
「家の人」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 35.0%、「だれもない」の割合が 15.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



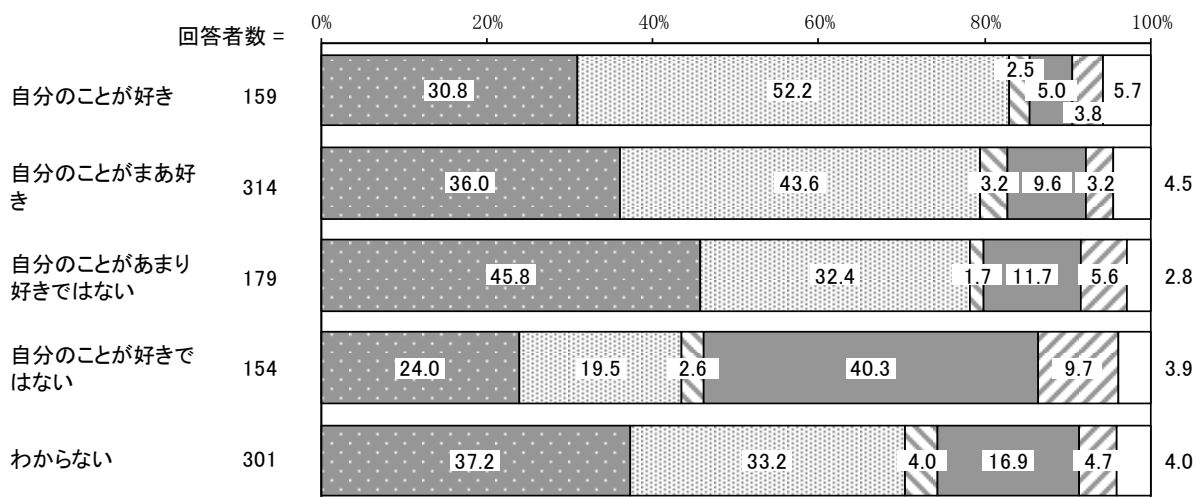
【学年別傾向】

学年別でみると、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「友だち」の割合が高くなっています。また、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「家の人」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

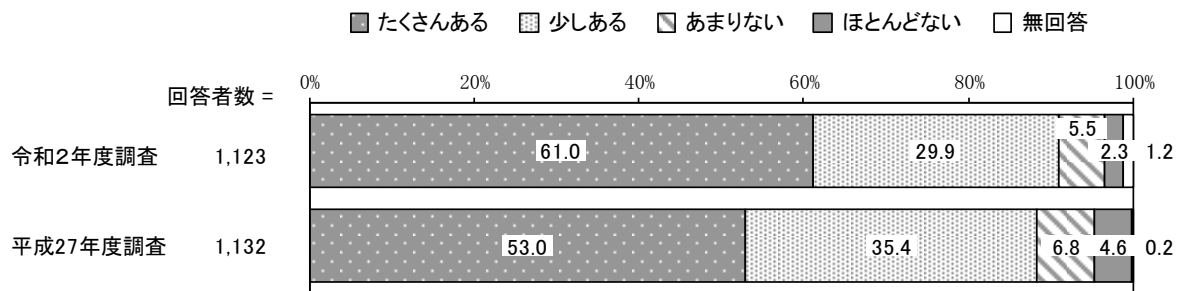
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「家の人」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことがあまり好きではないで「友達」の割合が、自分のことが好きではないで「だれもない」の割合が高くなっています。



問 22 あなたは、ふだん、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。（１つだけに○）

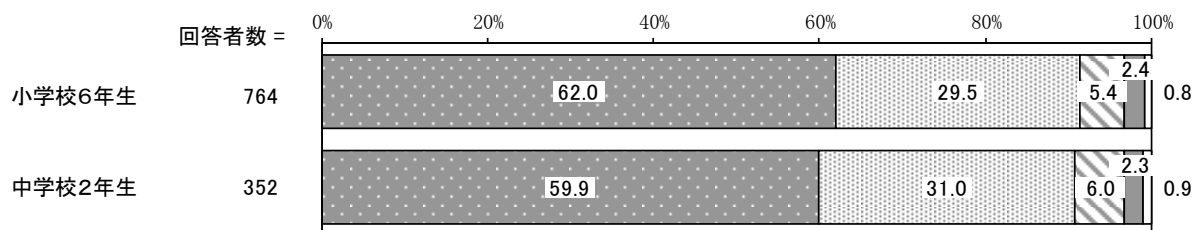
「たくさんある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が 90.9%、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の割合が 7.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「たくさんある」の割合が増加しています。一方、「少しある」の割合が減少しています。



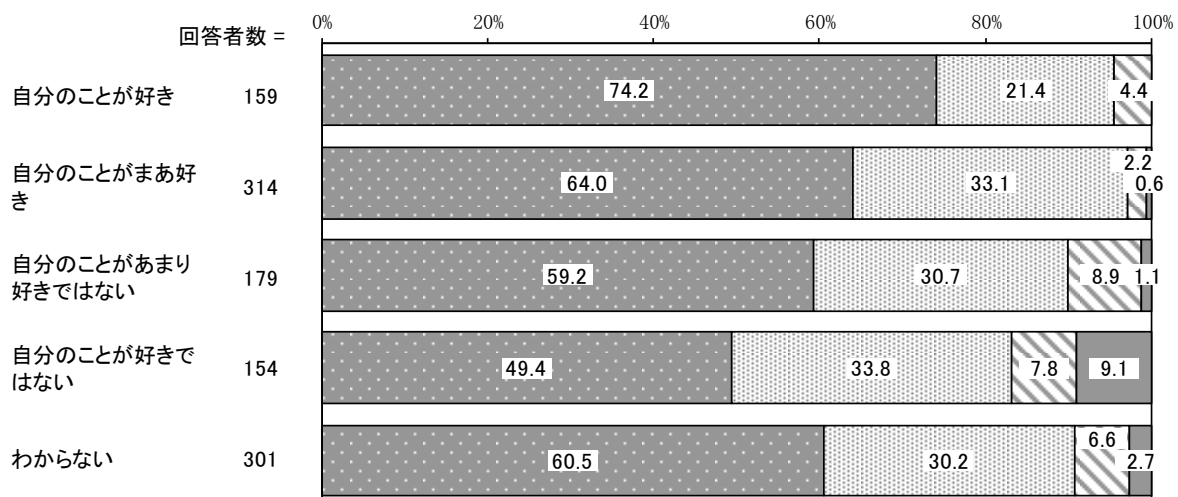
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

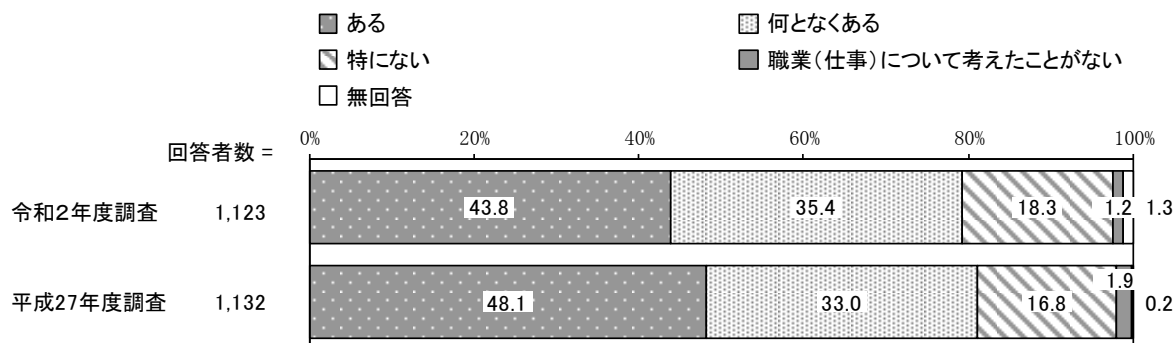
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「たくさんある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が高くなる傾向がみられます。



問 23 あなたは、将来つきたい職業（仕事）がありますか。（１つだけに○）

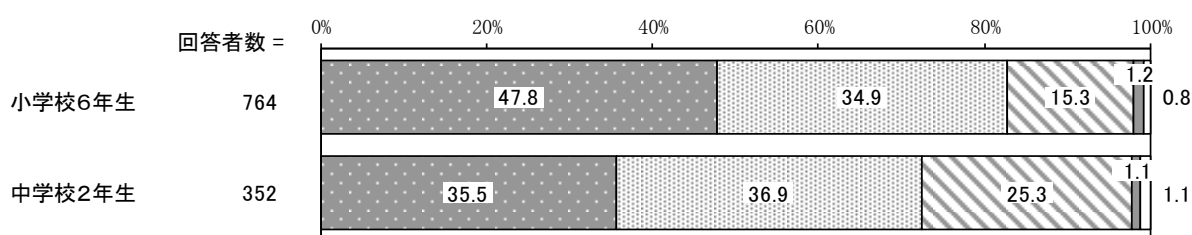
「ある」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「何となくある」の割合が 35.4%、「特にない」の割合が 18.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



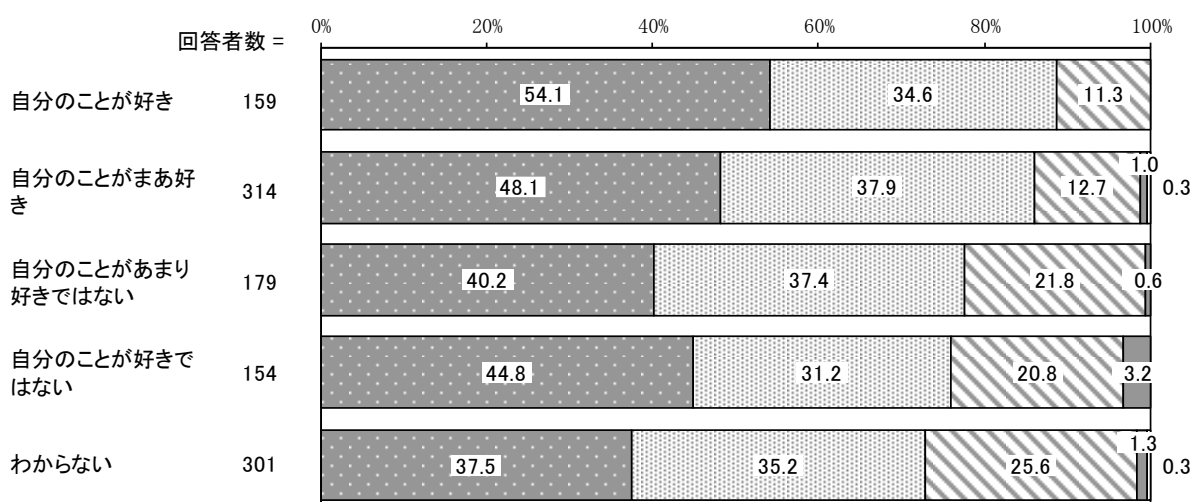
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「ある」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「特にない」の割合が高くなっています。



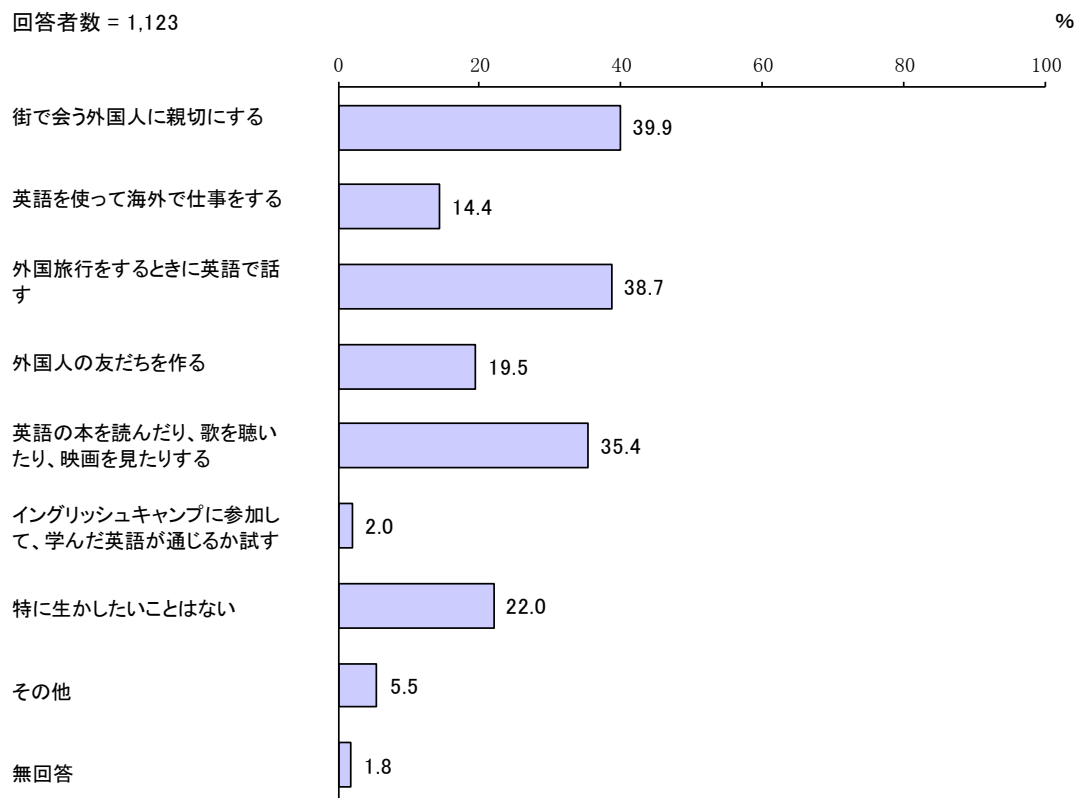
【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「特にない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 24 あなたは、英語をどのようなことに生かしたいですか。(主なもの3つまで○)

「街で会う外国人に親切にする」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「外国旅行をするときに英語で話す」の割合が 38.7%、「英語の本を読んだり、歌を聴いたり、映画を見たりする」の割合が 35.4%となっています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「街で会う外国人に親切にする」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「英語の本を読んだり、歌を聴いたり、映画を見たりする」の割合が高くなっています。

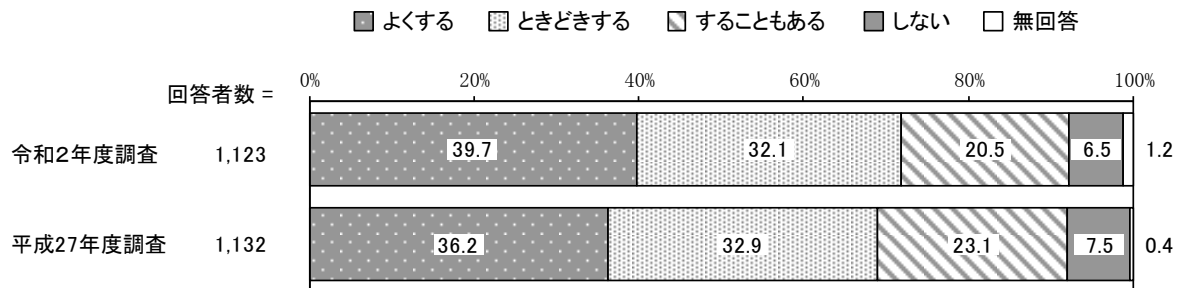
単位：%

区分	有効回答数(件)	街で会う外国人に親切にする	英語を使って海外で仕事をする	外国旅行をするときに英語で話す	外国人の友だちを作る	英語の本を読んだり、歌を聴いたり、映画を見たりする	イングリッシュキャンプに参加して、学んだ英語が通じるか試す	特に生かしたいことはない	その他	無回答
小学校6年生	764	42.4	14.7	37.6	20.7	31.7	2.1	22.0	5.5	1.3
中学校2年生	352	34.9	14.2	41.8	16.8	44.0	2.0	22.4	5.7	1.4

問 25 あなたは、学校であった出来事を家の人と話をしますか。（1つだけに○）

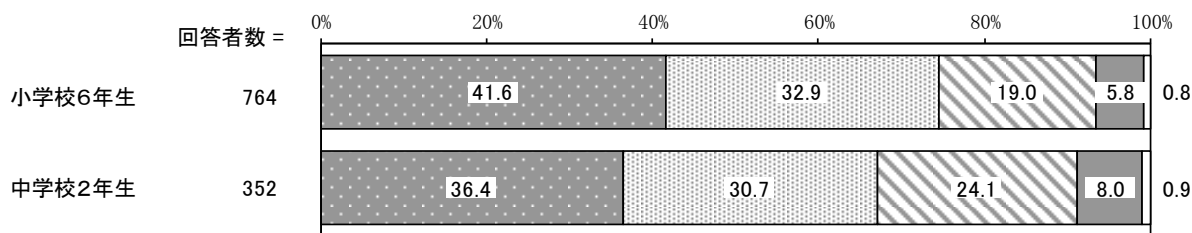
「よくする」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「ときどきする」の割合が 32.1%、「することもある」の割合が 20.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



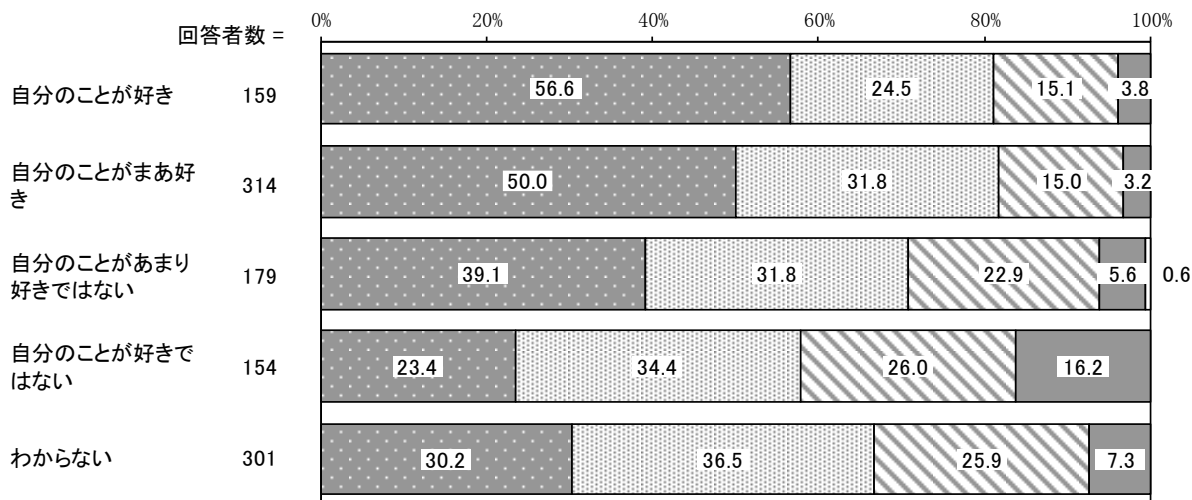
【学年別傾向】

学年別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別傾向】

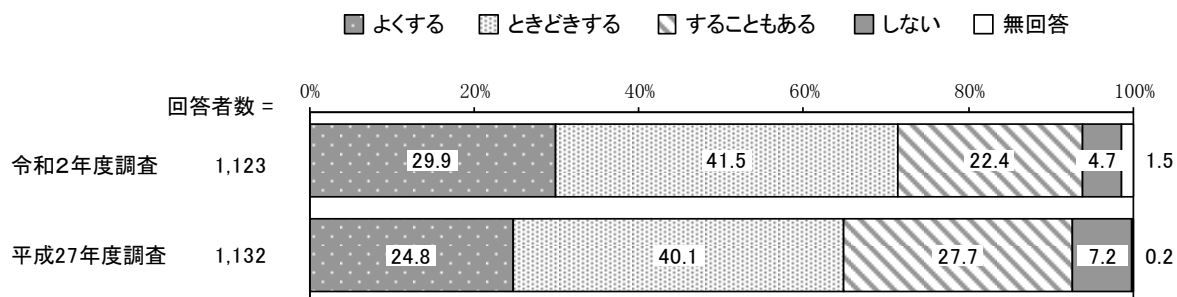
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「よくする」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「ときどきする」、「することもある」、「しない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 26 あなたは、家の手伝いをしますか。（１つだけに○）

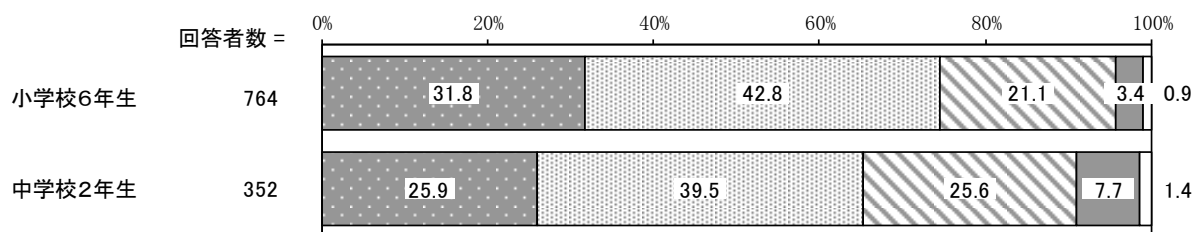
「ときどきする」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「よくする」の割合が 29.9%、「することもある」の割合が 22.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「よくする」の割合が増加しています。一方、「することもある」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「よくする」、「ときどきする」の割合が高くなっています。また、小学校 6 年生に比べ、中学校 2 年生で「することもある」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

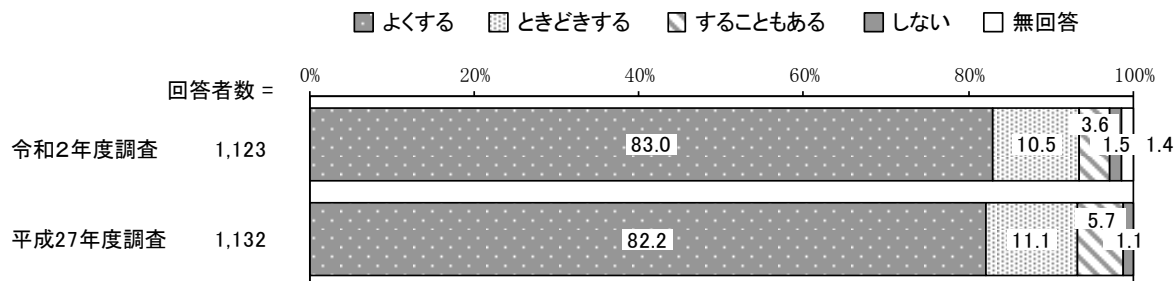
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「ときどきする」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「することもある」、「しない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 27 あなたは、家の人と一緒に食事をしますか。（１つだけに○）

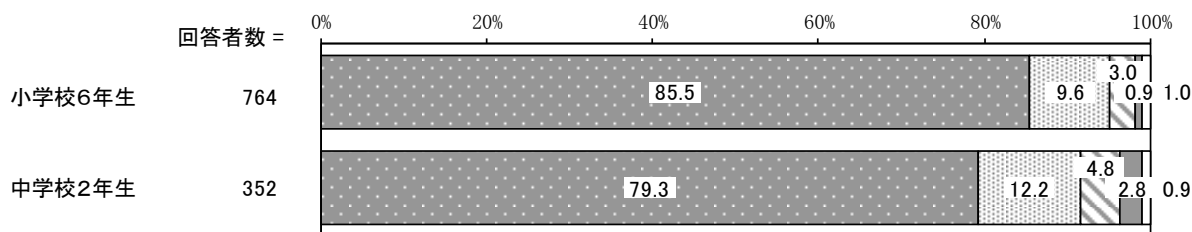
「よくする」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「ときどきする」の割合が 10.5%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



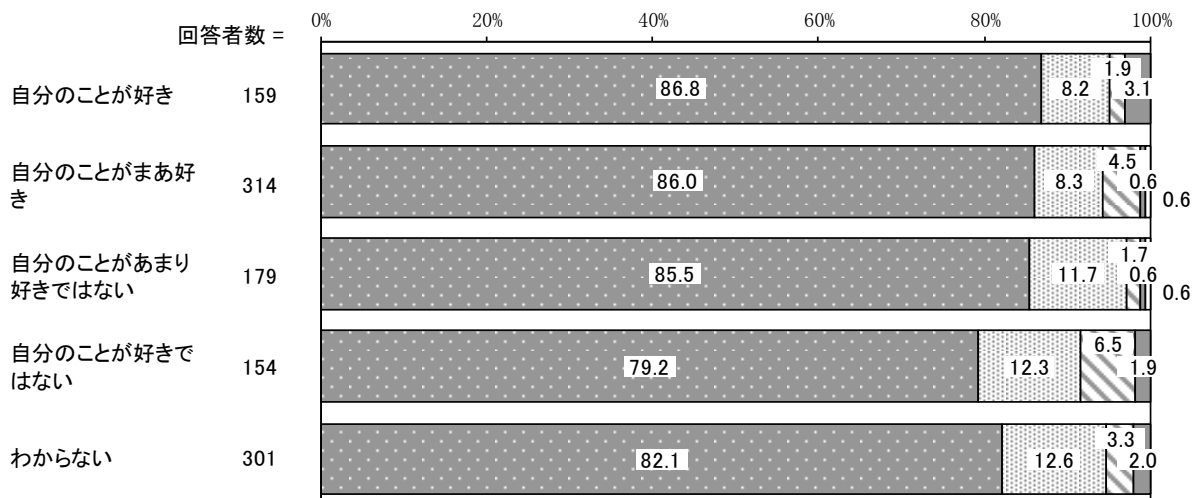
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校 2 年生に比べ、小学校 6 年生で「よくする」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

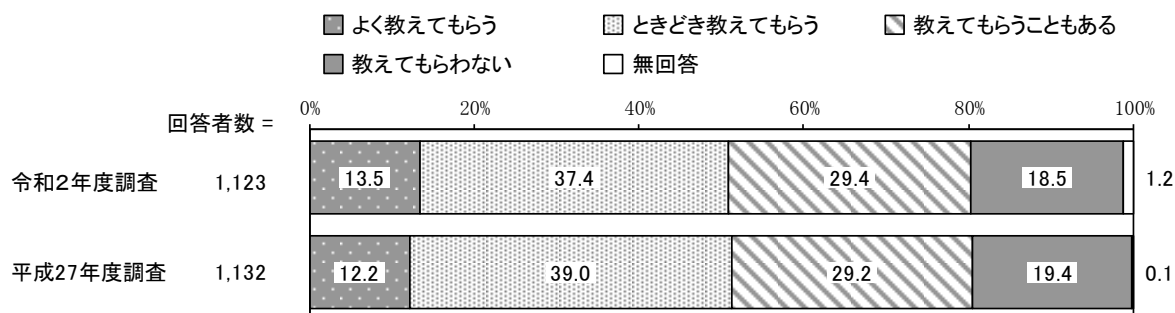
自己肯定感別でみると、他に比べ、自分のことが好きではないで「よくする」の割合が低くなっています。



問 28 あなたは、家の人から勉強を教えてもらうことがありますか。（1つだけに○）

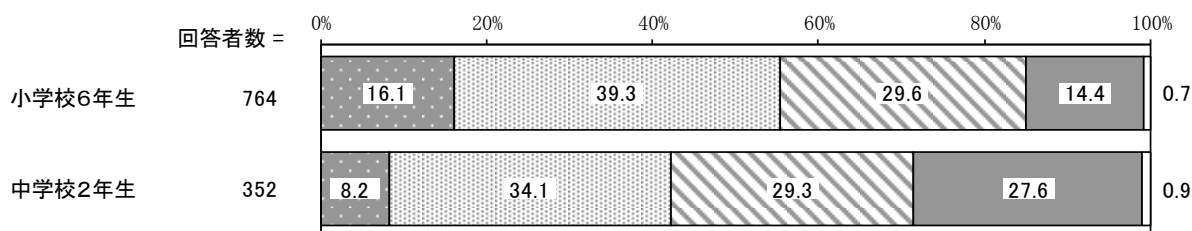
「ときどき教えてもらう」の割合が37.4%と最も高く、次いで「教えてもらうこともある」の割合が29.4%、「教えてもらわない」の割合が18.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



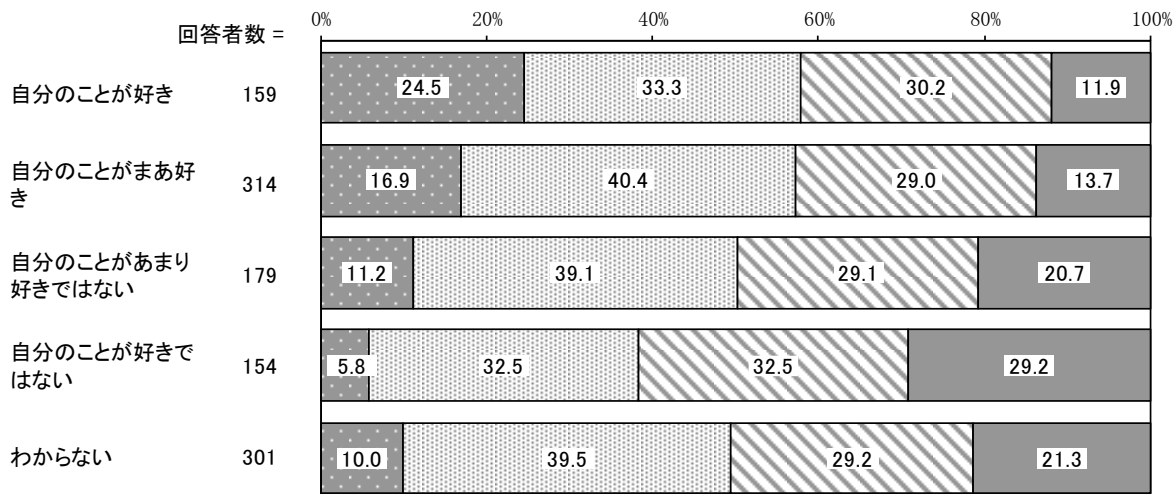
【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「よく教えてもらう」、「ときどき教えてもらう」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「教えてもらわない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別傾向】

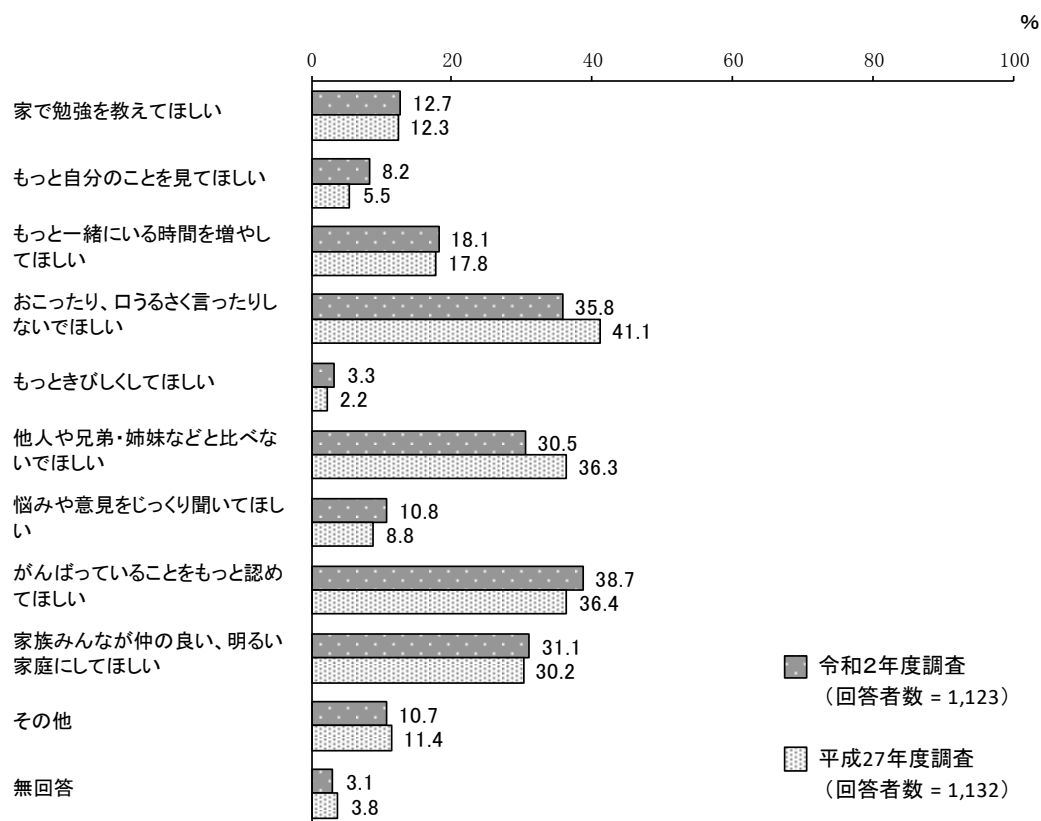
自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「よく教えてもらう」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「教えてもらわない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことがまあ好きで「ときどき教えてもらう」の割合が高くなっています。



問 29 あなたは、自分の家族に対してどのようなことを望みますか。（主なもの3つまで○）

「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が38.7%と最も高く、次いで「おこったり、口うるさく言ったりしないしてほしい」の割合が35.8%、「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」の割合が31.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「おこったり、口うるさく言ったりしないほしい」、「他人や兄弟・姉妹など比べないほしい」の割合が減少しています。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「もっと一緒にいる時間を増やしてほしい」、「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家で勉強を教えてほしい	もっと自分のことを見てほしい	もっと一緒にいる時間を増やしてほしい	おこったり、口うるさく言ったりしないほしい	もっときびしくしてほしい	他人や兄弟・姉妹など比べないほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	がんばっていることをもっと認めてほしい	家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい	その他	無回答
小学校6年生	764	13.5	8.6	20.5	35.3	2.6	30.9	10.7	37.4	34.3	9.8	2.1
中学校2年生	352	11.4	7.4	12.8	37.5	4.8	30.1	11.1	42.0	24.4	12.8	4.0

【自己肯定感別傾向】

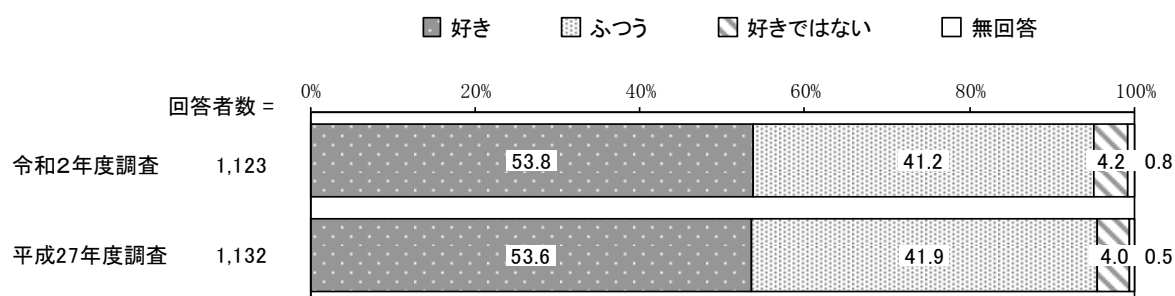
自己肯定感別でみると、自己肯定感が低くなるほど「おこったり、口うるさく言ったりしないほしい」、「他人や兄弟・姉妹など比べないほしい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、自分のことが好きで「家で勉強を教えてほしい」、「もっと一緒にいる時間を増やしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家で勉強を教えてほしい	もっと自分のことを見てほしい	もっと一緒にいる時間を増やしてほしい	おこったり、口うるさく言ったりしないほしい	もっときびしくしてほしい	他人や兄弟・姉妹など比べないほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	がんばっていることをもっと認めてほしい	家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい	その他	無回答
自分のことが好き	159	16.4	11.9	26.4	27.0	6.9	19.5	10.1	39.0	30.2	12.6	2.5
自分のことがまあ好き	314	14.0	8.3	20.1	33.4	2.5	27.4	12.7	40.4	33.8	7.3	1.6
自分のことがあまり好きではない	179	11.7	8.9	18.4	35.8	2.8	36.3	12.8	41.3	31.3	10.1	2.2
自分のことが好きではない	154	7.8	11.7	14.9	44.2	4.5	39.0	12.3	42.2	27.3	9.7	3.9
わからない	301	13.3	4.3	14.0	40.5	2.0	33.6	7.3	35.5	32.2	14.0	1.0

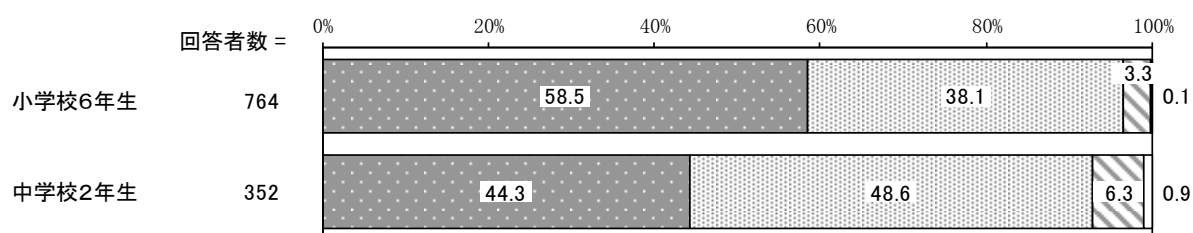
問 30 あなたは、現在暮らしている地域が好きですか。（1つだけに○）

「好き」の割合が53.8%と最も高く、次いで「ふつう」の割合が41.2%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



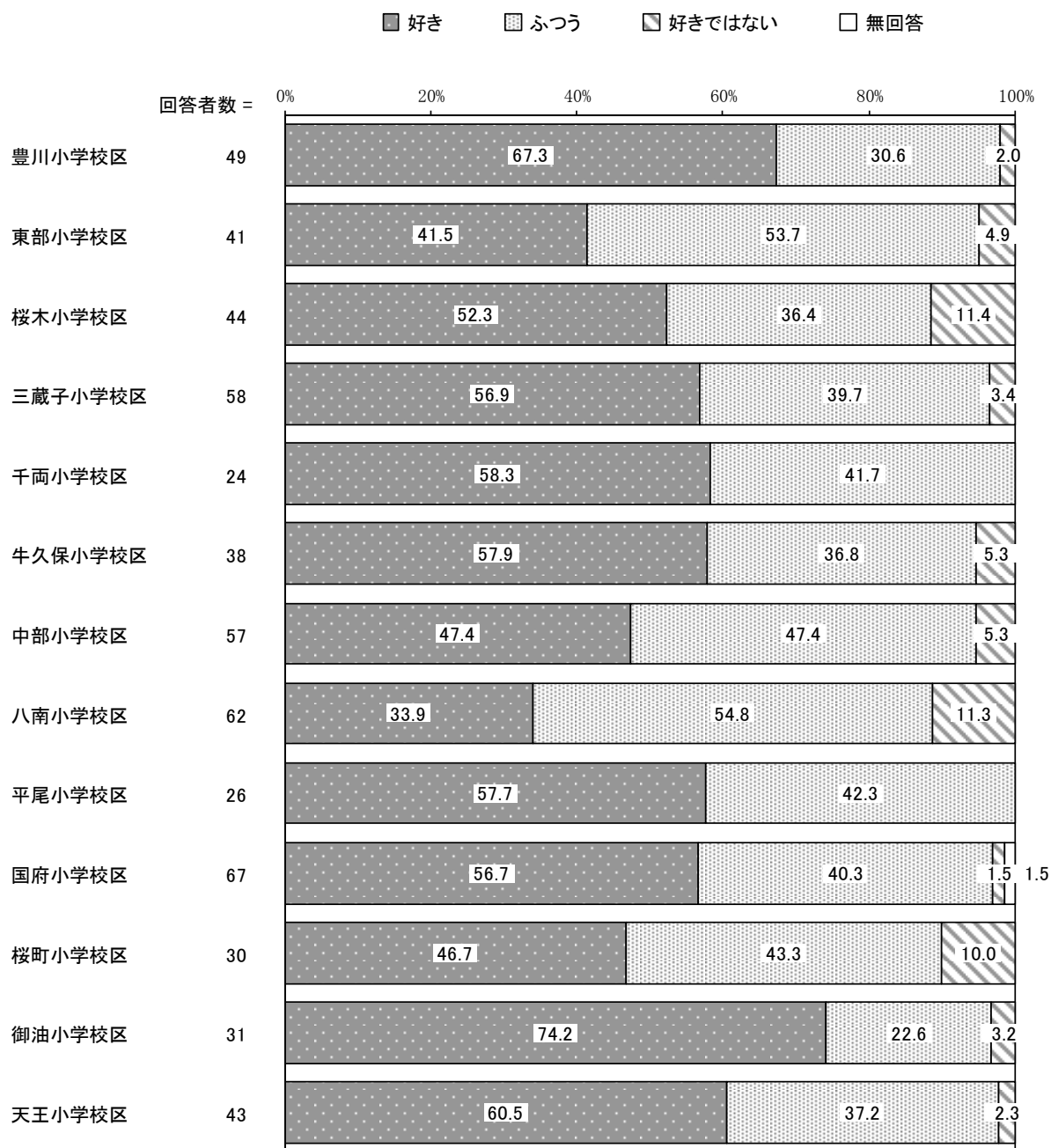
【学年別傾向】

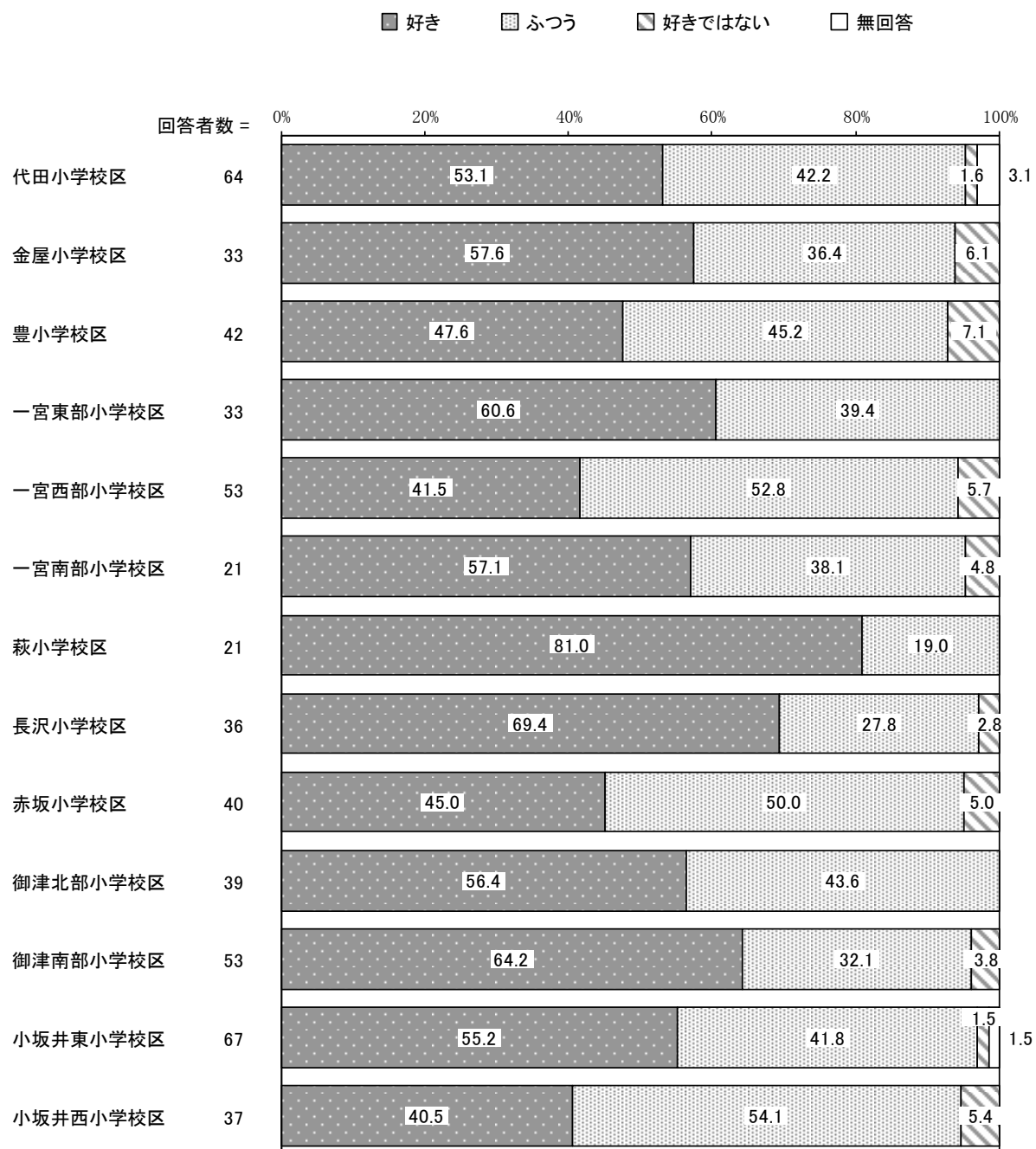
学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「好き」の割合が高くなっています。
また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「ふつう」の割合が高くなっています。



【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、萩小学校区で「好き」の割合が、八南小学校区、小坂井西小学校区で「ふつう」の割合が高くなっています。

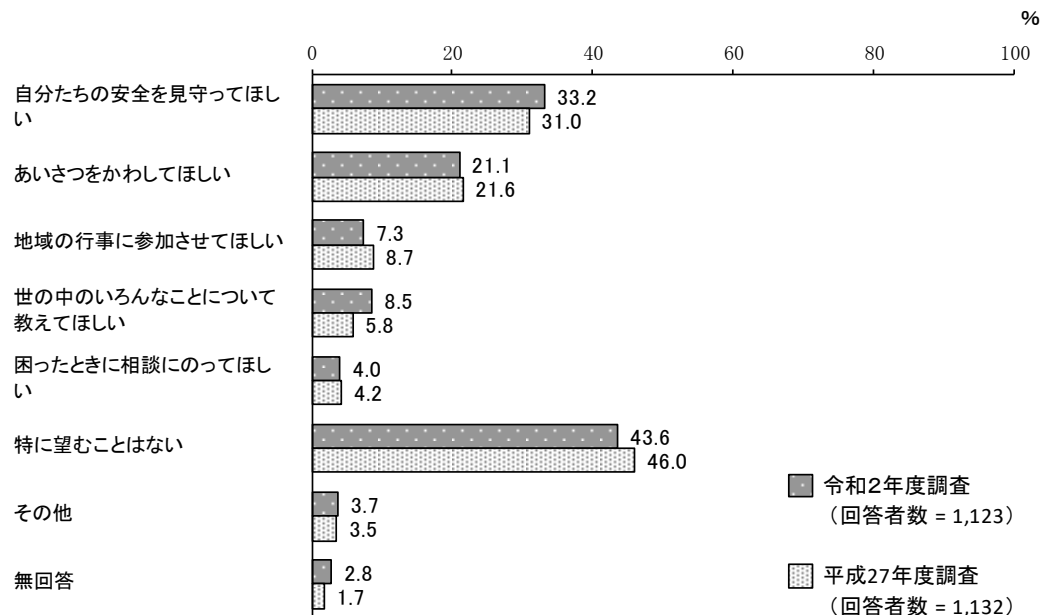




問 31 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。(主なもの2つまで○)

「特に望むことはない」の割合が43.6%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が33.2%、「あいさつをかわしてほしい」の割合が21.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

学年別でみると、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が高くなっています。また、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「特に望むことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをかわしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	世の中のいろんなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	特に望むことはない	その他	無回答
小学校6年生	764	36.1	21.3	8.4	9.3	4.3	40.8	3.7	2.1
中学校2年生	352	27.3	21.0	5.1	6.8	3.1	50.3	4.0	2.8

【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、金屋小学校区で「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が、一宮東部小学校区で「あいさつをかわしてほしい」、「地域の行事に参加させてほしい」の割合が、御油小学校区で「特に望むことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分たちの安全を 見守ってほしい	あいさつをかわし てほしい	地域の行事に参加 させてほしい	世の中のいろいろな ことについて教え てほしい	困ったときに相談 にのってほしい	特に望むことはな い	その他	無回答
豊川小学校区	49	38.8	16.3	10.2	16.3	6.1	32.7	6.1	6.1
東部小学校区	41	36.6	12.2	2.4	7.3	4.9	51.2	—	—
桜木小学校区	44	29.5	27.3	6.8	6.8	6.8	40.9	6.8	2.3
三蔵子小学校区	58	32.8	24.1	5.2	6.9	6.9	41.4	3.4	1.7
千両小学校区	24	29.2	16.7	12.5	4.2	4.2	45.8	4.2	8.3
牛久保小学校区	38	47.4	21.1	5.3	5.3	13.2	34.2	2.6	2.6
中部小学校区	57	28.1	21.1	7.0	10.5	5.3	45.6	3.5	1.8
八南小学校区	62	25.8	16.1	8.1	1.6	8.1	54.8	1.6	1.6
平尾小学校区	26	19.2	15.4	7.7	7.7	3.8	57.7	—	—
国府小学校区	67	22.4	20.9	7.5	6.0	—	52.2	4.5	3.0
桜町小学校区	30	30.0	23.3	6.7	13.3	—	43.3	3.3	6.7
御油小学校区	31	16.1	19.4	6.5	19.4	—	58.1	—	3.2
天王小学校区	43	41.9	37.2	7.0	7.0	2.3	25.6	7.0	4.7

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分たちの安全を 見守ってほしい	あいさつをかわし てほしい	地域の行事に参 加させてほしい	世の中のいろん なことについて教 えてほしい	困ったときに相 談のつてほしい	特に望むことはな い	その他	無 回 答
代田小学校区	64	37.5	10.9	6.3	17.2	7.8	42.2	1.6	4.7
金屋小学校区	33	51.5	24.2	9.1	3.0	—	42.4	—	3.0
豊小学校区	42	28.6	19.0	—	7.1	2.4	57.1	2.4	2.4
一宮東部小学校区	33	36.4	42.4	21.2	15.2	3.0	15.2	3.0	—
一宮西部小学校区	53	35.8	22.6	5.7	5.7	3.8	39.6	7.5	1.9
一宮南部小学校区	21	23.8	23.8	9.5	9.5	—	47.6	—	4.8
萩小学校区	21	38.1	28.6	4.8	19.0	4.8	28.6	14.3	—
長沢小学校区	36	41.7	33.3	2.8	5.6	—	36.1	8.3	—
赤坂小学校区	40	35.0	27.5	7.5	2.5	—	47.5	5.0	2.5
御津北部小学校区	39	33.3	12.8	7.7	5.1	—	53.8	—	—
御津南部小学校区	53	30.2	20.8	5.7	7.5	1.9	49.1	1.9	—
小坂井東小学校区	67	41.8	14.9	10.4	7.5	4.5	43.3	1.5	1.5
小坂井西小学校区	37	29.7	16.2	8.1	10.8	5.4	45.9	13.5	—

【自己肯定感別傾向】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が高くなるにつれて「自分たちの安全を見守ってほしい」、「あいさつをかわしてほしい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、自己肯定感が低くなるほど「特に望むことはない」の割合が高くなる傾向がみられます。

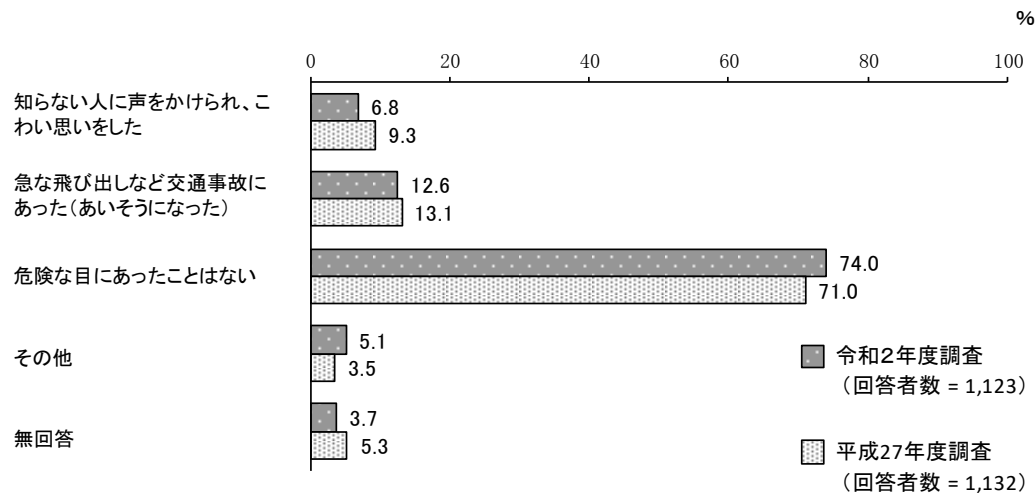
単位：％

区分	有効回答数 (件)	自分たちの安全を 見守ってほしい	あいさつをかわし てほしい	地域の行事に参 加させてほしい	世の中のいろん なことについて教 えてほしい	困ったときに相 談のつてほしい	特に望むことはな い	その他	無 回 答
自分のことが好き	159	44.0	29.6	13.2	9.4	6.3	29.6	1.3	2.5
自分のことがまあ好 き	314	43.3	21.7	7.6	12.7	2.9	36.6	3.2	1.6
自分のことがあまり 好きではない	179	31.3	22.9	7.3	5.0	2.8	47.5	3.4	1.1
自分のことが好きで はない	154	16.9	19.5	7.1	5.8	4.5	53.9	4.5	4.5
わからない	301	27.9	16.3	4.3	6.6	4.7	51.5	5.6	2.0

問 32 あなたは、学校の行き帰りに危険な目にあったことがありますか。(あてはまるすべてに○)

「危険な目にあったことはない」の割合が74.0%と最も高く、次いで「急な飛び出しなど交通事故にあった(あいそうになった)」の割合が12.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別傾向】

学年別でみると、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「急な飛び出しなど交通事故にあった(あいそうになった)」の割合が高くなっています。また、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「危険な目にあったことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	知らない人に声をかけられ、こわい思いをした	急な飛び出しなど交通事故にあった(あいそうになった)	危険な目にあったことはない	その他	無回答
小学校6年生	764	6.2	7.7	78.8	5.5	3.0
中学校2年生	352	8.2	23.0	64.8	4.3	3.7

【地域別傾向】

地域別でみると、他に比べ、金屋小学校区で「知らない人に声をかけられ、こわい思いをした」の割合が、一宮西部小学校区で「急な飛び出しなど交通事故にあった（あいそうになった）」の割合が、桜町小学校区で「危険な目にあったことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	知らない人に声を かけられ、こわい思 いをした	急な飛び出しなど 交通事故にあった (あいそうになっ た)	危険な目にあっ たことはない	その他	無回 答
豊川小学校区	49	2.0	16.3	73.5	2.0	6.1
東部小学校区	41	7.3	19.5	73.2	2.4	—
桜木小学校区	44	9.1	9.1	79.5	6.8	—
三蔵子小学校区	58	8.6	22.4	60.3	8.6	1.7
千両小学校区	24	16.7	12.5	62.5	16.7	4.2
牛久保小学校区	38	13.2	18.4	68.4	2.6	2.6
中部小学校区	57	5.3	5.3	70.2	8.8	10.5
八南小学校区	62	9.7	8.1	80.6	4.8	—
平尾小学校区	26	7.7	11.5	80.8	—	—
国府小学校区	67	7.5	13.4	79.1	4.5	3.0
桜町小学校区	30	3.3	6.7	86.7	3.3	—
御油小学校区	31	6.5	6.5	77.4	3.2	9.7
天王小学校区	43	4.7	9.3	81.4	4.7	2.3

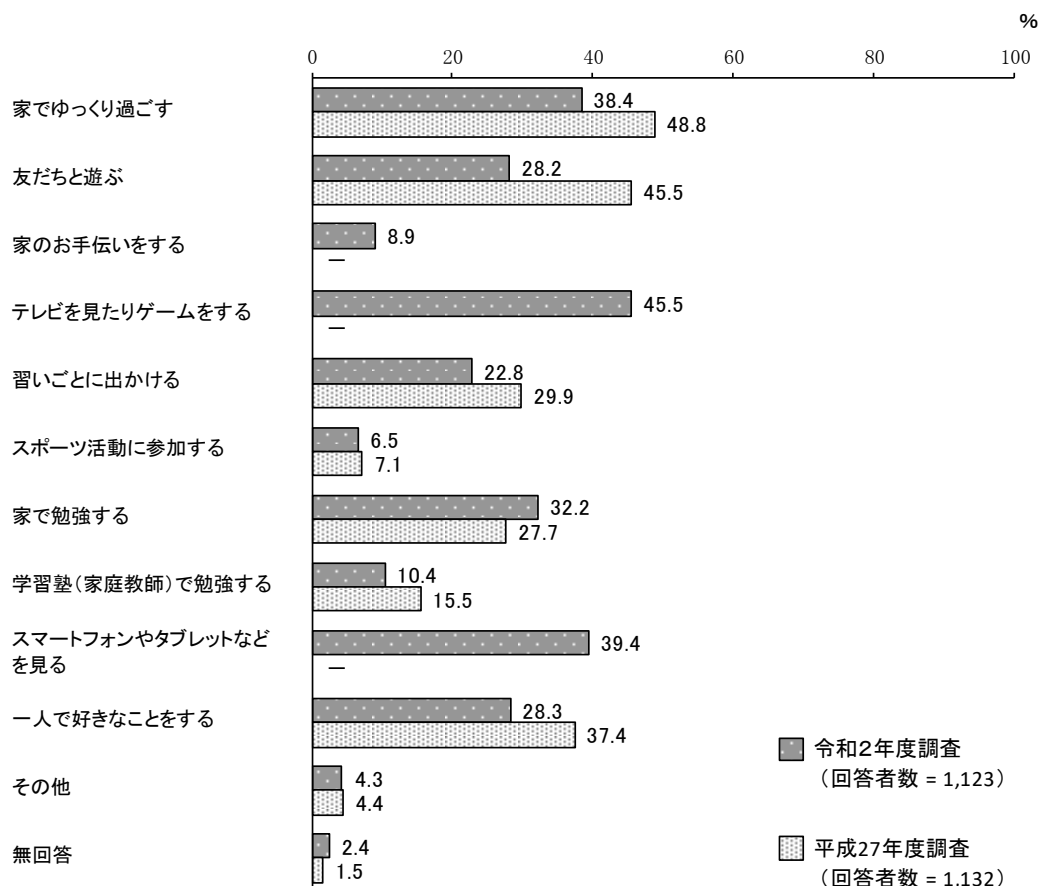
単位：％

区分	有効回答数 (件)	知らない人に声を かけられ、こわい思 いをした	急な飛び出しなど 交通事故にあつた (あいそうになつ た)	危険な目にあつた ことはない	その他	無回答
代田小学校区	64	9.4	12.5	70.3	3.1	6.3
金屋小学校区	33	18.2	9.1	72.7	3.0	—
豊小学校区	42	7.1	11.9	78.6	2.4	—
一宮東部小学校区	33	3.0	21.2	72.7	—	3.0
一宮西部小学校区	53	9.4	28.3	60.4	5.7	—
一宮南部小学校区	21	—	4.8	85.7	—	9.5
萩小学校区	21	—	4.8	76.2	9.5	9.5
長沢小学校区	36	—	8.3	80.6	5.6	5.6
赤坂小学校区	40	—	12.5	75.0	7.5	5.0
御津北部小学校区	39	7.7	7.7	71.8	5.1	7.7
御津南部小学校区	53	9.4	11.3	75.5	3.8	1.9
小坂井東小学校区	67	4.5	10.4	79.1	4.5	1.5
小坂井西小学校区	37	2.7	16.2	64.9	16.2	—

問 33 あなたは、学校から帰ったあと、どのように過ごすことが多いですか。（主なものの3つまで○）

「テレビを見たりゲームをする」の割合が45.5%と最も高く、次いで「スマートフォンやタブレットなどを見る」の割合が39.4%、「家でゆっくり過ごす」の割合が38.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「家でゆっくり過ごす」、「友だちと遊ぶ」、「習いごとに出かける」、「学習塾（家庭教師）で勉強する」、「一人で好きなことをする」の割合が減少しています。



※前回調査に「家のお手伝いをする」、「テレビを見たりゲームをする」、「スマートフォンやタブレットなどを見る」の選択肢はありません。

【学年別傾向】

学年別でみると、小学校6年生に比べ、中学校2年生で「家でゆっくり過ごす」、「スマートフォンやタブレットなどを見る」、「一人で好きなことをする」の割合が高くなっています。また、中学校2年生に比べ、小学校6年生で「友だちと遊ぶ」、「習いごとに出かける」、「家で勉強する」の割合が高くなっています。

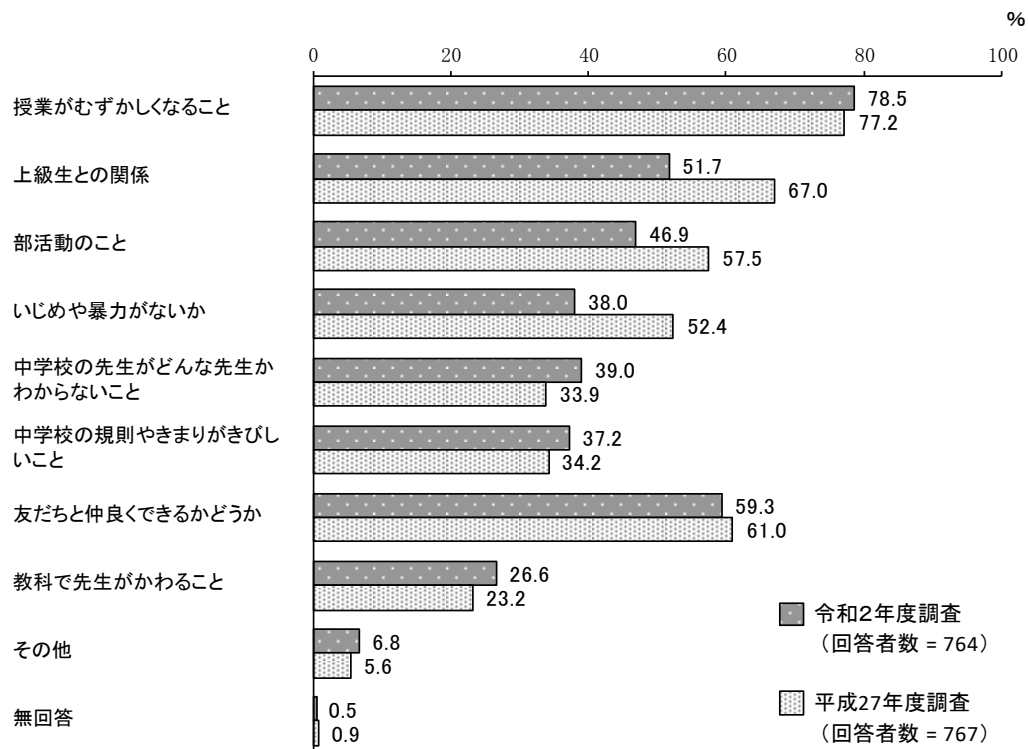
単位：％

区分	有効回答数 (件)	家でゆっくり過 ごす	友だちと遊 ぶ	家のお手伝 いをする	テレビを見 たりゲー ムをする	習いごと に出かける	スポー ツ活動に 参加 する	家で勉強 する	学習塾 (家庭教師) で勉強 する	スマー トフォン やタ ブレッ トなど を見る	一人 で好 きな こと を する	その他	無回 答
小学校6年生	764	33.5	32.2	9.0	45.7	27.5	6.5	36.4	9.2	31.9	25.4	5.1	1.7
中学校2年生	352	49.4	20.2	8.8	46.0	13.1	6.5	23.9	13.4	56.3	35.2	2.6	2.6

問 34 小学生に質問します。中学校に進学するときに不安に思うことは何ですか。（あてはまるすべてに○）

「授業がむずかしくなること」の割合が78.5%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできるかどうか」の割合が59.3%、「上級生との関係」の割合が51.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「中学校の先生がどんな先生かわからないこと」の割合が増加しています。一方、「上級生との関係」、「部活動のこと」、「いじめや暴力がないか」の割合が減少しています。



Ⅲ 自由意見

豊川市の教育に関して、多くのご意見をいただきました。できる限り原文に忠実に記述していますが、特定の学校に対するご意見やご要望、個人情報や差別的意見等は一部修正しています。また、誤字等についても修正しています。

1 就学前の幼稚園・保育所（園）における教育内容について

- ・ 就学前の子どもに対して、特に加配対応が必要な子どもがすぐに手厚い保育を受け、その様子を小学校へきちんと連携できる取り組みがほしい。年度途中でも、加配園への転園、又は市内の保育園すべてが加配対応できることが望ましいと思います。
- ・ 就学前の子どもに対して、特に加配対応が必要な子どもがすぐに手厚い保育を受け、その様子を小学校へきちんと連携できる取り組みがほしい。年度途中でも、加配園への転園、又は市内の保育園すべてが加配対応できることが望ましいと思います。
- ・ 保育園での加配担当の職員は、経験のあるベテランの方がついた方がいいと思う。
- ・ 何年も前からずっと気になっている事があります。きっかけは近所の保育園のベテランの保育士さんの言葉です。「3才までお母さんに見て（育てて）もらった子はやっぱり違う」と。私の子が通っていた幼稚園の園長先生も、幼少期母親が深く接する事を重視されており、私自身もその様に感じています。が、現実の社会の仕組みは逆です。0歳児から受け入れられる保育所、未満児や3人目の子への保育料優遇等、小さいうちから子を預けて母親が働きに出る方が推奨される仕組みです。長い目で見て、豊かな心を持ち自己肯定感の高い人を地域として育てていきたいと考えるのなら、3歳まで母親が自分で育てていきやすいような社会づくり（手当て、他の母友とのコミュニケーションの場、乳児の育児支援等）を整えていくことで心豊かな人材の育成、待機児童・保育士不足の解消につながっていくと考えています。長い目で見て、必要な教育を母親が担える場を作ってほしいです。

2 小・中学校における教育内容について

- ・ いつもありがとうございます。子ども達に気候変動、気候危機を学ばせる場を設けて欲しいと願っています。子ども達の未来のために。
- ・ 授業中、さわいでいてもそのまま授業が進むようです。しっかりききたい子には迷惑だと言っています。子供を静かにできない教育者はいかがなものかと思います。さわぎすぎてテストの範囲の授業内容ができてないそうです。中学生にとってはとても問題だと思います。学校に意見を言うと、モンスターだと言われ、直接には言いにくいのが現状です。
- ・ 特に豊川市だけ！ということではありませんが、まだまだ英語教育の推進が足りていないと思います。今まで以上に英語は必須言語になります。ネイティブな英語教育をどんどん取り入れ、姉妹都市との交換留学の枠などを大幅に広げて交流を深めるなど、色々なことにチャレンジ出来る環境を作って欲しいと思います。※交換留学枠を学力重視でなく、興味のある子（英語）、チャレンジしたい子にも開放すべきだと個人的に思います。なぜなら、体験することで全く違う世界観を味わえるから、学力で判断せずやる気のある子！にチャレンジする道を与えて頂きたいと思います。
- ・ 少人数の学校にてきめ細かな指導。
- ・ 体力の向上のための教育。
- ・ 障がい児教育の充実をよろしくお願いします。
- ・ ICTに特化した教育を是非ともお願いしたい（豊川市がモデルケースになるくらい）。

- ・ 小学校、中学も1クラスの人数が多すぎると思う。1クラス30人程度にして、先生が1人ずつをしっかりと見れるようにしてほしい。
- ・ 豊川市はスポーツに力を入れているイメージがとても強いです。スポーツのできる子(興味があって才能があったりのびる子)はとてものびのびと生活しやすいと思います。苦手な子は？芸術などの面で生かせる事ができればいいと思います。では、スポーツも芸術的にも苦手な子は？勉強や日常生活でほめられているのでしょうか？光をあびる事はあるのでしょうか？？？そういう子を伸ばす教育を考えてほしいと常に思っています。
- ・ 体を動かす、運動をする、ということについては充分に行われていると思いますが、一方で芸術、学力、表現力について、校内に貼り出す事以外で、きちんと表彰されたり認められるなりされていないと感じます(特に学力)。マラソンや運動会があるなら、同じ様に学力できちんと認められる機会があっても良いと思います。「子どもらしく」と「教育」が中途半端に混ぜられた古い教育観から脱せない限り、人権、環境教育を語るのは早すぎます。
- ・ 国の方針かもしれませんが、個人的に、早くから英語教育をしても将来実際必要な人は一部だと思うので、小学校からやるのはあまり意味がない気がします。かえって、難しい、と早くから嫌いになる子もいるのでは？と思う。あと、ローマ字をやりすぎだと思います。人名、地名ぐらいで十分です。我が子は、中学に行って、英単語をローマ字っぽく書くくせがついて困りました。
- ・ 家庭による格差がでないように学校での教育をしっかり行ってほしい。ICT、英語教育など重点的にやってほしい。ALTの授業をふやしてほしい。
- ・ 小学校の授業についてです。高学年は、中学校のように教科によって先生が変わっても良いと思います。学習内容が難しくなってくるので、担任の先生が主要5教科全てを教えるのは負担が大きいのと思います。せめて、先生の苦手な科目は講師を呼ぶなどすれば授業の質が良くなるのではないかと思います。先生方はとても一生懸命頑張ってくれていると感じていますが、頑張りすぎて疲れてしまうことが心配です。先生方も余裕を持つことが出来、授業の質も良くなるような対策をして欲しいです。
- ・ 小学校で苦手な部分(苦手な科目や取り組み。子供同士の苦手な友達とのクラスを一緒にしない等の気遣い)がわかっている子供は、中学校でそれらが引きつがれて学びが充実できると中学からの不登校も減ると思います。
- ・ 小坂井東小では、道徳の授業でのディスカッションや自分の感じたことを発表できる場があり、主体的な学びを促す教育が行われていて、今後学校教育が、社会で生き抜ける子供たちの育成に大きく貢献できるのではと期待感がもてました。今の子供たちは、与えられた課題に対して、正確に取り組むことは得意ですが、それを応用すること新たな物を生み出すこと、という力が弱いです。でも将来、子供たちが幸せに生き抜くためには、発想力や柔軟性がとても重要です。テストで優劣をつける教育から、子供たち1人1人の個性を尊重した教育が、子供たち自身自分の意見や考えを生み出せる思考力を養い、将来を支えるたくましい子供たちに成長してくれると思っています。今後の豊川市の教育に期待をしています。
- ・ 豊川市が、という訳ではないが政治や性教育など、タブーとされているように感じ、心の成長に日本は世界的にみて遅れをとっているのではないかと思います。人種問題は特に注視して積極的に教育していく必要があるのではないかと強く思っている。それらの家庭での教育の仕方など知りたい。親や地域住民も学べる機会があると嬉しい。くり返し行っていくような環境を作り豊川のカラーとなれば。それらは道徳心向上にもつながっていくと思う。以上。
- ・ 不審者が増加して子供だけで外を歩かせるのも、心配なので防犯の授業を定期的にやって欲しい。
- ・ 小学校での教科担任制はぜひ取り組んでほしいです。(英)、体、音、図などの副教科的なものからでいいので。

- ・ 子どもたち一人ひとりの学びを保障するために、人員配置の充実を切にお願いしたいです。全学年 35 人学級の早期実現を望みます。
- ・ 中学生の息子が、授業がつまらないうまくいいます。生徒たちが目を輝かせて先生の話が聞けるような授業ができるように先生たちに頑張ってもらいたいと思います。
- ・ 小学校の内に学校単位で給食センターの見学会を行って欲しい（給食を残す子が多いと聞くので）。年齢が低い内（未就学～小学校）に体験したことは将来に大きく影響するので、机上の学習も大事だけど学校を飛び出したり何かを見て感じて、作ったりする機会を授業で多く取り入れて欲しい。自分、他人を大切にできる大人になれるよう、家庭、地域、学校で子供たちを見守っていけるようにして欲しい。
- ・ 特別な支援、配慮のいる子どもについては、学校だけの課題でなく、市として取り組んでいかなくてはならない。不登校や障害のある子どもに対する専門的な指導のできる教員や専門家を、きちんと配備することが大切である。
- ・ 特別支援クラスの学習の充実をはかって欲しい。普通クラスの人達からの差別や偏見を無くす努力をして欲しい。

3 小・中学校の教育理念に関して

- ・ 教育等上部だけの教育はやってもムダな気がします。本心を持って教育してほしいです。
- ・ 教育・指導方法や内容が古く、時代に合っていない。今後はICTやAI化が更に進んでいく。子ども達が社会に出た時に個性や創造性が求められるため、それを伸ばすための指導を行っていくべきと考えます。例えば、瀬戸市では新しい教育方法と設備を備えた小学校がありますので、それらを参考にして豊川市も教育に対して変革すべき。
- ・ 豊かな学びを感じられる教育をお願い致します。
- ・ 車を運転していて、道をゆずるとあいさつしてくれる子が多く、家庭や学校での指導がよいのかなあと感じます。
- ・ あいさつできない小中高生が多いと感じています。
- ・ 都会の子どもたちにくらべれば自然もあり、あまり勉強だけに集中しているようには思いませんが、もっと自然の美しさ、すばらしさを見せるべきだと思う。豊川市だけでなく、子供同士の付き合い方が今の子供たちは少なく、もっといろいろなケンカしたり遊んだりして、子供同士のルールや大人になってからの人との付き合い方の練習（自然と人との付き合い方を覚えていく事）できてない様に思う。今の子どもたちは自分だけよければいいという気がする。とても悲しい事だと思います。学習よりも大事な事ではないでしょうか。
- ・ 勉強は、学んだ事をテストに書いて 100 点がとれるのもすばらしいけど、学んだことを実際の生活の中に活かして、自分も周りの人々も、より良く幸せにすごせる事が大切だよって子供達に伝えたいです。私も伝えていこうと思います。
- ・ 豊橋のように「ちくわ」や「うずらの卵」といった地域の特産品を給食にだしたりちくわを手作りしたりして子供に「ちくわ愛」を育てて地域の特産品を大好きになっていく・・・そういう風にまず豊川は何が有名or名物なのか子供の頃から理解を得て、それを学びや地域連携にしていってもよいと思う。「いなり寿司」やいなりん「シクラメン・カーネーション」豊川はこういう町なんだとわかる体験があればいいと思います。
- ・ 最近の新入社員は、一般常識や社会常識（社会人マナー）を知らない者、自立性がなく教わらないとできない者、自己中心的考え（協調性がない）の者が、多く感じられます。家庭のしつけの低下もありますが、学校教育の方法・方針に課題があるのではと思います。学業も、生きるうえで大切ですが、社会を生きぬくための学習は、もっと重要ではないでしょうか。豊川市は、独自に改革を行える環境でしょうか。教員も、一般常識や社会常識を学び、教えていくべきです。慣習となっていないでしょうか、改善は、常に必要と

思います。

- ・ 小・中学校の義務教育は学習の基礎である読み・書き・そろばんといわれているような分野をしっかりと学ばせて欲しいが、同時に自ら考えて行動できる。他人と共存できコミュニケーションのはかれる子供になれるような学びも大切にして欲しいです。個性を尊重しすぎるあまり、わがままできょうちょう性のない子供も多くみられるようになりました。学校では是非子供の個性も生かしつつでもまわりの子と共に生きることができる子供にそだつ手助けをしていただきたいと思います。
- ・ 子供たちが楽しみながら学ぶことのできる学校にしてほしい。いじめ0の学校であってほしいです。
- ・ いじめのインペイはしてはいけない。
- ・ いじめは実際、あります。つらい思いの子がいます。きちんと対応して下さい。
- ・ いじめの問題ってどこにでもあると思うんですね。現状、自分の周りで目にするものはないのですが。テレビ等、メディアでの放送で、学校、教育委員会等、一人一人亡くなっている問題に対して無責任な発言が目立ちます。人は平等です。豊川市の学校、教育委員会等、そのような問題が発生した時には、もちろん普段からですが、きちんと対処して頂きたいです。
- ・ 私は孫と同居していませんので詳しい事は分かりません。私の思い過ぎしの所があればお許し下さい。孫は支援級に在籍、学校では先生方がいつも声をかけて頂いてとても楽しいとの事、ただ普通級の友達がいません。それは機会が少ないからだと思います。スポーツを通じ、子供達に積極的に声かけ、子供同士に先生方のサポートがあったら・・・と思います。先生方はとても忙しく大変だと思いますが、今以上に生徒に声を掛け、支援級生、普通級の綱渡しを積極的にお願ひします。教育とは勉強だけとは思いません。
- ・ 新型コロナウイルス対応で厳しい社会情勢ではあるが、今後は、変化に対応できない人材は、厳しい世の中にますますなっていくことが予想される。教育では基礎的な学力向上も大切であるが、変化にチャレンジし、対応できる能力を身につけること、新しい技術を取り入れた変化に対応した学校づくりが必要かと感じている。

4 教育環境の整備について

- ・ 教育とは何なのでしょう？先生がカリキュラムに従って子どもの個性を尊重しないで決められたことをすることでしょうか？現代から今後の地球で楽しく生きていくためにはという視点ではなく、納税者を増やすことを目的としているとしか思えません。学校ではなく、興味あることを追求できる環境を整えることがいいと思います。
- ・ ネット環境を豊川市全体で整えて、無料w i f i 地域を増やし、各家庭でオンライン授業がいつでも出来るようにしてほしい。※タブレット、パソコン無料で貸し出しがあれば・・・。
- ・ オンライン指導は早めに導入してほしい。
- ・ 専科教員授業の推進、習熟度別学習、オンライン教科書の導入をまずは進めて、全てはそれからだと思います。
- ・ 今後も様々な新しい感染症が流行する事も考えられる事。中学生の息子の教科書や副教材を持参するにあたり、とても重く、自転車通学するのに危険すら感じられます。ICT教育を進め、タブレットへの移行（早期）をお願いしたい。今後感染症が流行した時にもスムーズにオンラインに移行できるのでは？
- ・ オンライン化の充実を検討して頂きたいです。
- ・ 現在、G I G Aスクール構想が、コロナの影響もあり、急ぎ目で進められていると思います。進めること自体は、とても素晴らしいと思います。ただそれまで、学校を「ネット（ウイルスや情報漏洩）」から守るために遠ざけていたように感じる中、（実際、イン

ターネットを使用する機会だったり、ICTを子どもたちがふれられるほど、PC室の環境が万全でなかったりします。)急に、子どもたちにタブレットを与え、Wi-Fiを整備されても、教員は困ってしまいます。もっと具体的に、「(「こんな便利なことができるため、子供の授業効率があがります。」「こんなアプリをいれましたので、こう使ってください。」「タブレットがもし、故障した場合は、こうして対処してください。)」などの指針が欲しいです。このままだと、宝の持ち腐れになってしまう可能性があります。

- ・ コロナ対策で大変な時ですが、今後の子供たちに夢を持たせてあげられる環境を整備してくれることを希望します。
- ・ 臨機応変な対応をしていき、オンラインや地域学習をしていただけたら親として嬉しく思います。今後とも宜しくお願い致します。先生達の情熱と丁寧な対応に日々感謝です。このような機会をありがとうございました！
- ・ ICT教育の充実を望みます(教員、児童共に)。コロナ休校中、オンライン授業等はほとんど行われず、私立学校との違いを感じ、このまま豊川市の公立校に子どもを通わせることに不安を感じたので、ICT教育の推進してほしいです。
- ・ 周辺市に比していち早くエアコンの設置等、子どもたちのための政策を進めて頂けたことには、豊川市民で良かったと思います。これからも日本の将来への投資をお願いします。
- ・ コロナを理由に子どもを登校させない親がいますが、家庭での学習に協力が得られない場合、子どもから学習の機会が奪われていると思います。夕方の登校や、宿題の提出、個別の対応(zoomの利用など)を現場の教師に任せるのは、荷が重すぎると思います。各学校での取り組みを話し合い、現場レベルで実施可能なこと、市全体の取り組みが必要なことを早急に検討する必要があると思います。
- ・ 小規模校の意味を改めて考えさせられています。コロナにより、密を避け、学習環境にも大きな支障をきたしていない点、大きく評価できると思います。小学校に限っては、各学校の特色ある取り組みについて、継続していくべきだと思います。
- ・ 市内の施設の改善、改修が進む中で、なぜいまだに雨もりする学校施設があるのか“ギモン”です。学校の施設は災害時の避難所にもなるのに、むしろ危険地域になりかねないのでは……。早急に対応していただきたいと思います。小坂井中学校、校舎、体育館は危険です(雨もり)。生徒がケガをします。トイレも悪臭がします。古すぎて不衛生で、先生も生徒も気の毒です。関係するご担当者様、お願いします。学校を一度しっかり身に来て下さい。
- ・ 校舎の老朽化

5 教員に関して

- ・ 子ども達に寄り添った指導を先生方をお願いしたいです。
- ・ 教員の過度の負担にならない様改善して欲しい。
- ・ 子供の気持ちを子供の目線で考えてくれる先生が増えてくれると安心です。
- ・ 大規模校にばかり優秀な先生が配置されているように感じる。田舎の学校にいた、いい先生はすぐに配置転換されていく。市内まんべんなく「いい」先生を配置させてほしい。
- ・ 教員の多忙化の解消のため、ペーパーレス、印かん文化の撤廃、部活動のクラブ化、もしくは残業代の適正化。・校則の見直し(ぼうしの統一などを変える)をして、時代に合った教育を行う。
- ・ 今までお世話になった先生方はとてもいい方ばかりでした。その先生方にいつまでも教育にたずさわっていただきたい。多くの子どもを幸せにしてあげてほしいと思う一方、夜おそくまで学校にいらっしゃるのを拝見すると心配になります。教員免許を持っている人はたくさんいると思うので、その方々をうまく活用し、第一線で頑張っている先生

方の負担が少しでも減るといいのにとおもいます。

- ・ 大変な仕事だと思います。人員を増やし、きめ細かい教育を期待しています。その為の税金ならば、皆文句は言わないのではないのでしょうか。
- ・ スクールロイヤーの配置を検討し、教師の負担軽減を図ってほしいです。
- ・ 教職員の質の向上、子どもに公平に接する事。
- ・ 日頃、教育活動にご尽力頂きありがとうございます。お陰様で子供達は楽しく学校へ通わせて頂いています。巷では、先生方の仕事量の多さが話題となっております。担任を持つ先生方が授業とクラスの子供達をしっかりと見て頂ける様に、その他の仕事や雑務を委託できる人材を確保して頂きたいと思います。なかなか財源等の問題もあるかと思いますが、個性を持った子供達が今日も学校へ行きたいと思える様に、家庭に問題（DVやネグレクト等）のある子供達に一早く気付き支援できる場でもあって欲しいと思います。
- ・ 地域社会との交流は児童でなく？教職員がするべきではないか？全職員がとは思わないが、一部教職員者が一般的な考え方ではなく、独自の考えになっているように感じる。そのような方に教えられる児童が、将来どのようなようになるのか不安である。教職員者の社会勉強不足を感じる。
- ・ 担任の先生により、子供の環境、ストレスが全く違うと実感しています。私の子供は保育園の年少から小学2年生まで、とても良い先生に恵まれていると思っていました。ですが、3年生の時にクラスの男たちに首をしめられるとか、けられる遊びをされるとか、日々色々ありましたが、先生が何かしてくれるわけでもなく、逆に先生からもいじめを受けていました。私の子は色々と私に話をしてくるのでいじめに気づけましたが、親に話さない子もよくいるみたいなので、学校の事は先生に頼るしかないのに、先生が正しい報告をせず違う情報を流すのはおそろしいと思い知りました。3年生はとても辛い経験をし、かわいそうでした。そして今の4年の先生は、授業が長引き「20分放課が5分だけだった」など、放課がほぼ無い事がよくあったり、「本も読まずに何もするな」という時があったり、他にも色々、コロナ対策というよりは、何かの訓練のような・・・クラス全体不満があるようですが、先生は無視をするので皆何も言えないようです。学校にずっと行きたくないと言っていて、大変です・・・。
- ・ 9歳、7歳、3歳の3人の子供がいますが、このアンケートで、子供の教育に関しては妻に任せっきりで、ほとんど何も知らなかったんだなと思いました。勤務時間が長く、平日は子供達と触れ合う時間をほとんど取れないのが現状です（最近では会社の方針で早く帰れるようになりましたが）。学校の先生方も同じで、勤務時間が長ければ、今後教育に関する人材不足が懸念され、そうなる教育の質自体が低下しちゃうんじゃないかと心配です。勝手なる想像で書きましたが、教職員の働き方改革から始めて、教育の質を高めて欲しいと思います。
- ・ 豊川市だけに限らず、教員の仕事が多すぎると思います。特に小学校の英語教室、プログラミング等の導入により、教員にかせられた課題が多く、そんな中で会計（学級）、環境整備、雑務（？）などもこなさなければならないのは、はたからみて大変だなあと思っています。子ども（児童、生徒）と向きあう時間を十分に確保し、教材の研究もできる時間的余裕をもつことで、ゆとりをもって（心に）指導できるのではないかと思います。
- ・ 豊川市は他市より先じて教室内にエアコン導入をすすめ、熱中症対策ができたと思います。教員の多忙化は大きな問題です。PTA役員の時に、時間外が80時間を超える職員が何人も発生している事を聞き、学校行事のスリム化をお願いしました（教員に時間外手当はないですが・・・）。学校から行事削減等は言い出しにくいと思い、保護者から提案すればやりやすいと思ったからです。教員が疲弊すれば3K職場と思われ、良い人材が集まりません。特に今年度は新型コロナの関係で、現場も振り回され大変だったと思います。教育は目先にとらわれず、長期的な観点で取り組んでいただければと思います。

- ・ 赤坂小に子供は通っていますが、先生方は一生懸命やってくださっています。ただ、配慮が必要な生徒数が多いのに先生の人数が少ないのではないかと思います。子供が困っていても、先生は忙しそうだから言えないと言っていたという声も聞きます。先生方が心のゆとりをもってお仕事が出来ることがを祈っています。
- ・ 夫婦共働きの家庭が増えている中、学校の懇談会などで早上がりを強く求められた事があり困った。教員の方々の働き方改革も大事だと思うが、柔軟に対応してほしい。
- ・ 教員、支援員の数をもっと増やすべきだと思う。子どもたちにきめ細やかな教育をするために、早急に実施すべきと考える。

6 地域と生活環境に関して

- ・ 名古屋市のようなトワイライトスクールみたいな授業後も学校で地域の人や友達と交流がもてる場があると地域の大人と子どもがふれあえていいと思う。授業後に友達とゲームばかりやっているなら、大人の目のあるところで遊んでいた方が安全。
- ・ 以前住んでいた地域の小学校と比べて、教育に関しても遅れていると感じました。この地域では、お年よりに対する支援は手厚いのに子供（子育てをしている家庭）に対する支援は、うすいなと思います。人口がへっていくこの先、子育てしやすい環境を作っていないといけないのではないかと思います。これからの未来をになう子供達にやさしい地域になってほしいなと思います。
- ・ 災害（津波など）時に、自分の身は自分で守るためにしっかり動けるよう、学校と地域が一緒になって訓練など行う機会を増やしてほしい。
- ・ 校区運動会はなくていいです。出場種目に人数が達してない時に、前年度に出場した人にまた頼むのはいかなものか？役員がそれに必死になるのはかなりのストレスです。他の地域はやっていない事をなぜしなければならないのか？その予算を他にまわして下さい！！
- ・ 学校のPTA（役員）、子ども会、地区委員などの役員を強制的にやらされる事をどうにかしてほしいです。核家族、母子、父子家庭が多い中、組織のあり方の見直しなど検討してほしいです。子どものための役員なのですが、子ども1人残して会議や行事などを出席して、結局は、子どもが犠牲になってしまい、仕事を役員のために転職や欠勤などさまざまなリスクになっています。毎年、役員決めでトラブルになっているので、役員決めは母親や父親にとって地獄です。コロナ禍の今、今後の方針を見直してください。
- ・ 地域のおまつりや行事が、子供の人数（子供会の人数）が少なく、むりが出ている。みまもり下校も、子供会や地域というより、学校行事として学校の方から保護者へとつたえるシステムの方がよい気がする（町内に入っていない家や、子供会に参加していない方が多いため）。
- ・ PTA活動はぜひ見直して欲しい。働いている親（共働き）にとっては貴重な時間を使うわけです。今までやってきましたが、活動自体に意味があるのかも分らないです。当学校でも廃品回収などやっていますが、学校の生徒の人数で、廃品回収で得た金額をわると、数百円です。車を出したりするのもボランティアでやっていて、ガソリン代もかかります。PTAの夜の会議等も見直すべきでは？役をわざわざつくって、行事を増やすのはやめてほしい。ベルマーク委員って何？子供達（高学年）になれば十分できると思います。ツッコミ所満載です。
- ・ 子供が学校から下校時に不審者が現れた場合、すぐに大人の助けを求められるよう、下校ポイントにもう少し見まもり隊を増やして頂きたい。
- ・ 今まで町内会の役員、こども会、PTAの役員をしているが、負担は大きい。家庭、学校、地域が協力していくことは大事だと思うが、働いている人も多く、やらない人は1度もやらず不公平を感じる。できる範囲で無理をしないでやっていければいいと思う。

コロナ禍の後は行事を減らしてやっていくのは仕方がない。正直最低限でいいと思っている。

- ・ 登下校の安全、防犯が心配。もっと身まわりを強化してほしい。児童クラブへ希望者は入れるようにして下さい。6年生まで入れるように……。できれば昔のように校内に設置してほしい。
- ・ 親子で参加できる（体験的な）イベントをたくさんつくってほしい。

7 家庭と教育に関して

- ・ 市内全ての小学校で歯みがきの時間を確保してほしい。たかが歯みがきだが、生活習慣の乱れにつながっている。小学校によって差があるのは問題。
- ・ 基本的な生活指導は各家庭ですべきだと思いますが、登下校の子供達と、地域の人達との交流があまりないと思います。あいさつをしても無視する子のなんと多い事か。諸事情もあると思いますが、家の前では“おはよう”“お帰りなさい”も子供と老人にとって必要な事だと思います。自転車通学の子供達にもっと交通ルールを守る様指導も必要に感じます。学習に関してはあまりわからないのですが、生活習慣に関しては、家庭、学校の両方の指導がもっと必要だと思います。
- ・ 学校、国などでは、保護者に対してほめることしかしていない。子供の悪いところは、ちゃんと伝えられるようにしていくべきだと思う。親としても、良いことだけでなく、学校での本当のことを知りたい。
- ・ 私は現在子育て奮闘中の母です。いつも子供たちがお世話になっています。時代の流れについて行くのは大変なことですね。今も昔も、いじめ、不登校、家庭問題はかわらずあると思っています。今や、核家族化が進み、兄弟も少ない中、子供たちが困っている時どう行動してよいのか？サインを出している時周りに人がいない状況を作り出してしまっている気がします。両親共働きで、子供たちのサインを見逃している気がしています。もう少し家にいてお帰りと声をかけてあげたいです。学校教育だけでなく、社会全体が子供のためになることを祈っています。
- ・ 子供と教員が、友だちみたいな関係のように見える事があり心配。目上の人に対する態度など、社会に出て困るのは子どもたちだと思う。親が言ってもきかない事もあり困る。
- ・ 子供というよりも親！子供の教育よりも親自体を教育すれば、きっと子供もきちんと育つ！なにかと親が一番だらしなくて都合よくて理不尽だからダメ！
- ・ 家庭でも責任感をもって子を育て、学校まかせにはせず双方が協力して子の成長を見守りたい。近年、教育だけに限らず、なにかと行政まかせ、行政への責任おしつけをする人が多く感じる。まずは自身一人一人が意識を高くもち、その上で心配事、困りごとは行政に支援を求めたり相談すべきだと思う。
- ・ 親のレベルの低下の対策が必要。自分の教育や子供に何も問題がないと思っている親をどうするか？毎日、車で送迎や、自分の子供が言ったことしか信じない。問題の本質がわかっていない親の教育が必要。たぶん、言っても理解すらしてくれない。親の問題だから、教育しても私には関係ない！！で終わると思います。

8 その他

- ・ アンケート、インターネット等を活用し、集計を楽に実施すべきと思います。集計作業は、何も付加価値を生まない作業であり、そういった所から合理化をお願いします。これまでは“ICT”の活用はできていないと思います。まずは教育委員会から、是非とも実施し、見本となるべきです。上ができていないのに、現場にそれをもとめるのは、いかがでしょうか？ところで、このフィードバックはいつですか？
- ・ 息子は中学校に通っております。中学へ入学の際、学校で必要とされる物の購入の金額の大きさがとても気になりました。学校指定の物が多すぎてまるで私立学校の様です。靴は白（色があるワンポイントはダメ）など。いままで履いていた靴で十分です。使える物は新しく買う必要はないのです。カバン（バックパック）も同様。色指定などせず慣れている物。必要なければ買わない。あらゆる学校指定の物に余計なお金を使う。今、これからの時代、リサイクル環境、資源問題がある中で、まだ使える物を使わず学校指定にムダなお金を使っていると思っております。息子は弓道部ですが、充実した時間もないのに本格的に弓道を習えるわけでもなく高い金額を払いました。全体的に今これからの時代に反する矛盾した出費と、昔からの古い思考の現れだと思います。大切な事だと思うのでご理解の程、1日でも早く、他のみなさまの為に納得の方向へ変えていただきたい。子供達が楽しく学校へ行くためにも豊川市が先立てて実行してほしい。
- ・ 小規模校の、今後さらに児童数が減っていく問題について、どのような対応が考えられているのか知りたい。合併についての検討をしているのか、何年度以降になど具体的な検討がされているのか、小規模校に通う子ども、保護者の意見はどのようにくみ取っていくのか。PTA活動などに、保護者の負担が大きくなっていくのも心配。実際、年々負担は増している。通常の半分にも満たない児童数（1学年6人など）に対して担任教師が一人ついていて、小規模だからといったメリットも感じない。今、現在小規模に通っている子ども、保護者がどのように考えているのか、私自身も知りたいし、市としても把握して頂きたいと思う。
- ・ コロナ禍の為、仕方がないのかもしれませんが、学校行事が減ってしまいました。社会見学、調理実習など、市内で方針が統一されていないので、不満が多いです。校区をこえた、親同士の交流がある為、多くの情報交換がある中で行事が実施されている学校では、通常と変わりなく行われている反面、実施されていない学校の子供達は、かわいそうです。校内でも、学年によって差があるようです。学校へ問い合わせても、「市内統一ではないので・・・」と言われてしまいます。子供達の時間は、とり返せないで、何とか納得できるようにして頂きたいと思います。
- ・ ※スマホでゲーム遊びが多い。
- ・ 教育とは直接関係ありませんが、心が育まれると思いました。
- ・ 洋式トイレの便座を暖房便座に変えてほしい。冷たいせいでトイレをがまんしていて体に良くない。昔からある見直しもされていない変な校則を見直し、みんなが納得できるものにしてもらいたい。家庭の意見も参考にしてもらいたい。おたよりは紙→電子配信に変更してほしい。前文はいらないから必要な事をわかりやすくしてほしい。単なる連絡か、対応が必要なのか、分類してほしい。中学生になると（反抗期になると）、だらしない子は手紙を親にすぐには渡さず、事後報告が多くなり困る。
- ・ いつも子どもたちの為に学習の機会を支援して頂き、ありがとうございます。現在は、コロナの影響もあり、学校での子どもの学習現況が把握できていません。今以上に積極的な情報発信をお願い致します。教育の現場は、日々忙しく大変かと思いますが、何卒宜しくお願い致します。
- ・ 中学校の定期テストの日に給食のある学校があります。うちの学校はないので、テストの日も給食ありにしたいです。夏休みなど、仕事に行くことのできない親がたくさんいます。出校日はもう少し多く設定してはどうですか。
- ・ 中学の指定学生服、男児の学ランは特にきゅうくつで勉強しにくいと。又、夏は暑く、

冬の防寒具も指定のウインドブレーカーを着用しなければならないのはどうかと思う。

(9,000 円ぐらいする) 登下校時以外に着られず育ちざかりの為、3 年間で購入しなおさないといけない。制服も同じです。学校指定の物はどれも高額なうえに利便性に欠けると思います。

- ・ 教育に対して不安があります。私の学力が低い事で、どこに相談したらと悩みます。先生が忙しいのはわかっていますが、親切な方と、不親切な方とわかれます。学習塾等に相談するしかありません。相談できる先生が学校にいたと思ったら、次の年には異動してしまい、相談できる環境が全くありません。子供が小学校のころですが、例えば2年生、先生によって教え方がちがう。宿題量がちがう。一定にした方が学力が安定するかと思います。少ない量だった時は、次の学年で苦労しました。私は、学校より、家庭学習に力を入れました。作文などはなかなか教えられないと思うので、作文に力を入れたり、漢字などに力を入れました。その指示もないので、教育の本で勉強しました。学校と社会と連けいするのは、やめて下さい。
- ・ 教育に関してのアンケートは現在子育てをしている方に送って下さい。
- ・ 豊川海軍工廠平和公園ですが閉館も早く、利用している人をあまり見かけません。大金を使って作った甲斐はあったのか疑問です……。他の市町村のような大人～子どもまで遊べるようなアスレチック公園を作ってもらえた方が大きな成果や評価を得る事ができたのではないかと思います。
- ・ 平熱が高い中1の息子は37.5°を超えるため学校へ行けなかった。学校へ連絡時、どの先生も37℃超えたら登校は控えて下さいと口にしたのでしたがつた。「元気なのでできることがあればと思っている」と伝えても、「教科書を読むぐらい」と言われ、それはできる時には行った。通知表をもらう時になって「授業に参加していないため評価できない」「提出物が未提出なので評価できない」と言われ、これまで見たことない成績だった。子供は自信をなくし、学習意欲をなくし、登校を渋るようになった。これは、コロナのせいというより、成績表のことまで考えなかった親の落度なのかと反省しつつ、子供をはげますため、仕事を早めに切り上げている現状がある。きっと他にも数人同じような人もいるのでは？と思っている。学校の対応には問題がなかったのかと正直なところ疑問。又、中卒で働く人が少数となった現在、多くの子供が高校受験へ向けて一定の学力を身につけるためには習熟度別の宿題や補講が必要なのではないかと考えている。高校無償化などの制度があるなら、中学時点で塾がなくても学習レベルを向上できる仕組みがほしい。
- ・ ここ最近の愛知県コロナウイルス感染症による患者増加により心配になりますが、色々な行事(学校、地域)も中止が相次ぎ子供の楽しみが減っている現状で、特に子供の体力低下が顕著になっている。休みの日遊びと言うとゲームで、外で遊ばないことから、学校での体育授業の大切さが重要だと考えさせられます。むずかしい判断とは思いますが、学校での体育授業しかり、部活動は行って欲しいと思います。いろいろな意見は有ると思いますが、一考を願います。
- ・ コロナの影響か、外で子供たちを見なくなりました。一番下の子は年のはなれた兄が帰って来た時のみ、庭でなわとびをするくらいでお友達が遊べないからと、ほぼ毎日、家の中でゲームをしています。時間をつくって子供とトランプ等していますが、お友達に聞いても同じ感じだそうです。学校がおわって宿題をしてからの時間活用や、土日のアイデアで体を動かす為の何かあれば・・・と悩んでいます。又、通学路においてもドライバーから見で一瞬で分る方法がないので、ぬけ道では減速されない車ばかりで下校時は外で見守る毎日です。先生方が忙しそうで、家庭からのお願いばかりで、申し訳なく、元教員の再雇用でもう少し人員を確保して欲しいです。
- ・ 教育に関してではないのですが、豊川市は母子家庭への配慮がなさすぎると思います。実家に住んでいるからといっても、生活に必要な支払いは家族に頼る事なく自分で自分の分と子供の分を払うのが当たり前なのにもかかわらず、一緒に住んでいる兄の給料をみて、母子手当など、もう何年も1円ももらえていません。兄にお金をもらう事など

今までもこの先も一度もないのに、兄の収入で決められては、私と子供の生活が困ります。一緒にすんでいる家族の収入ではなく、私の収入で手当の金額をきめていただきたいです。子供が2人いますので、パートにでられる時間も学校へ行っている時間だけなので収入が少なく、すごく困っています。どうか母子手当の決め方のご検討をお願い致します。

- ・ 家には小中学生がいないため、地域の資源回収の日にちをみたかったためにHPをみたのですが、更新される担当の先生がかわられたためか、ほとんど更新がなく、情報を得ることができませんでした。学校を地域にひらかれたものにすると言っているものの、学校で何かあったのか分からないため、在校生の保護者の方々も不安だと言っております。先生方も忙しいのは分かりますが、最低限の情報は発信すべきだと思います。あとすでに高校生になっている子の小学生の時のものがまだHPにのっていたりします。学校によって情報の扱い方が違う（1年経ったら消去する学校とずっとのこしている学校がある）ので統一したほうがいいと思います。人によっては個人情報で気にされているようです。
- ・ 発達障害グレーとか、目で見てわからない子供への支援が全く出来てないのでどうにかして欲しい。どこに相談しても結局たらいまわし。出来る手段なしで困っている。私もうつ、子供も発達障害、周りに頼れる人のいないかんきょうでどうにも家族だけではまわりません。普通の子と同じクラスで普通にすごしていますが、先生も言わないし・・・本質を云うか、全く生徒一人一人を見れてないです。
- ・ 小中の学校の先生の子供が特別扱いされるのは、私の時代もそうでしたが、それは一生そうなんですね。代表とか、どれだけ頑張っても先生の子が選ばれるのはおかしいです。そういうのはやめましょう。それから教育のことを市は語って下さい。このアンケートの前に、差別をやめろ。
- ・ アンケートの項目で、市や学校の現状が把握できていないため、回答の出来ないものがありました。こういうアンケートを通して、市民の関心向上にプラスになるので良いことだと思います。子供を中心に据えて教育を考えてほしいと思います。先生方の本来のお仕事、つまり「教える」ことにもっと時間が使われるようにしてほしいと思います。子供は私たちの宝です。大切に育てたいと思います。
- ・ 学生の自転車のマナーが悪すぎる。右側走行や並列走行、無灯走行。自動車側が悪くなくても、自動車側が責任を負うことになります。学校側、警察で徹底した指導を行って下さい。
- ・ 教育に関する具体的な計画の資とするのであれば、日頃から教育を考えている人（例えばPTA役員、教職員、20代の若者、企業の人事担当など）の意見をじっくり聞くべきと考える。無作為に抽出した人では本当の姿が見えなくなる。意味が無い。
- ・ 我が子がそうではないが、発達障害や不登校に対する教育者の知識が豊川市は劣っていると思う。義務教育の間だからこそ、専門に対応できる人材や教師の教育が必要だと思う。具体的に言えば、親戚の子が発達障害で、中学は不登校でした。不登校そのものというより、まず教育者の対応がひどかった。今、無事進学し、桜丘高校へ入学しました。そこに入学して思ったことは、先生のレベルが違う。色々な生徒に対し、ちゃんとした知識を持って対応している。豊川市の教師も見習うべきだと思う。どんな子供にも、学ぶ平等の価値があり、またちゃんと教師は対応すべき。よりよい教育の下、子供が安心して学校に行けるようにして下さい。
- ・ 学校給食の品数、量が少なくなっているように感じる。給食メニューの充実を検討していただきたい。
- ・ 保育士、教員への人件費を低くおさえて、やってもらおうとする行政の姿に「怒」です。春のコロナ自粛期間中の豊川市議員の言動、学校や教育への予算や設備投資を観察していて、あまりの意識、意欲の低さに失望しました。一方、環境が悪い中、意識、意欲の高い保育士、教員の方には感謝いっぱいです。つまり、環境、教育環境を悪くしている

のは行政と市議員である事がはっきりしました。教育委員会の言動も行政、市議員と同じなので、教育委員会も教育環境を悪くしている側として考えています

- ・ 車の運転が危ない。横断歩道で必ず車が止まるような指導をしてほしい。罰金刑になるはずである。細い道をスピードオーバーで運転、夜になるとバイクも暴走族のように走っており、対処してほしい。こんな市、街では、いけないと思います。
- ・ 中学生の子ども2人います。ここ数年、給食の内容が良くなって、満足してないと言っています。小・中学生にとって食事はとても重要です。我が家では体づくりの為に食事にとっても気をつけています。高級食材でなくても良いので、ボリュームがあり、おいしく食事ができるようお願いします。豊川市の農産物を使った給食は、子どもの食への関心が高まるので、これからも続けて頂きたい取組です。
- ・ 内容が少し難しいです。理解できない事も多数ありました。お力になれず、申し訳ないです。
- ・ 今年、小学校1年生に入学したばかりで、しかもコロナでわからないことばかりです。通常の1年生の生活が今年とどうちがっていたのか、少し気になります。
- ・ このアンケートも質問事項と回答がわかりにくく、せっかく行うのであれば、意味のある内容が必要と考えます。
- ・ 11月14日(土)、小東小のグラウンドでソフトボール大会がひらかれていた。夕方～翌日の昼頃までずっとやっていたと思われる。騒音が迷惑であった。学校で喫煙するのもどうかと思う。何よりも、コロナ禍でもあるにも関わらず、子どもから大人まで(教員もいた)大勢が参加しており、クラスターが発生したら・・・と思うと恐怖である。教育委員会も後援ということだったので、適切な判断ができなかったのかとがっかりした。
- ・ せっかくのアンケートでしたが、子供も成人し同居しておらず、教育とは離れた期間が長く回答できません。
- ・ アンケートを有効活用していただき、一つでも実現するよう努力してほしい。結果を見せてほしい。
- ・ 学校の通学時、荷物が重すぎる。体に悪い。
- ・ PTA活動で教育長先生はじめ、多くの教育委員会の方々と接する機会がありました。皆さん、1つ1つの事に丁寧に真剣に取り組んで下さり、時にユーモアを交え、とても楽しく魅力あふれる方々に引き込まれました。中部小学校、南部中学校に行く機会が多いのですが、どちらも子供達がとても明るく、礼儀正しく声をかけてくれます。色々とお話してくれ、コミュニケーション能力の高さに驚きます。教育委員会の先生方、学校の先生方、子供達の普段の様子を見て、豊川市の教育がとてもうまく行っている事を実感しています。豊川市で子育てをする事ができ、本当に良かったと思っています。ありがとうございます。
- ・ 子供の頃からの教育が充実しているかどうか、将来情報弱者になってしまうかに影響してくると感じる。このアンケートを紙でやっていること自体が既に時代に合っていない。郵送費用の無駄以外の何物でもない。
- ・ 中学生の学力レベルが豊橋や岡崎と比較して低すぎると思います。小学校でも低いレベルしか目指していないため、そのまま中学生になってしまいます。理由は何なのでしょう。理由を明確にして改善してほしいと思います。お願い致します。
- ・ 学校からの連絡はメールではなくラインにしてはどうか。「LINE公式アカウント学校プラン」というものがあります。メルマガより開封率も高く、保護者としてもリアルタイムに情報を受けとれます。現状では迷惑メールにふりわけられたり、メルアドが変わってしまったら受けとる事が出来ません。是非検討して下さい。コスト0です。
- ・ コロナの時代ですが、そのせいで子供が楽しみにしている学校行事が中止とならないように(修学旅行、運動会など)、どうすればできるかをみんなで考えて開催する方向にできればと願っています。

- ・ 娘が不登校になった際に、学校の対応について限界を感じました。先生方は大変良く対応して下さいましたが、メンタルが弱くなっている娘が、年配の先生で、しかも男性に気をつかう事を考えると、付き添って下さるのは大変ありがたかったですが、心の負担になる気がしてお断りしました。学校でそういった不登校に対する人員の確保はむずかしく、教員の付き添いが別室で行われる場合、せめて性別が一緒の方で話しやすい先生が良いのと思いました。学校へ行くのがゴールとするならば、家庭での対応だけでは足りず、学校での過ごしやすさも大切になるのではと思いました。その後は保健室で保健の先生（女性）が付いて下さったので、ある程度したら元気になり、今は普通に通えるようになっていきます。
- ・ コロナの影響で、長沢小では学習発表会が実施されませんでした。音羽中では合唱コンクールも実施されませんでした。安全第一で仕方ないとは言え、他の豊川市内の中学では実施されているのを考えると、文化会館などの施設を利用してでも実施していただきたかったのが、保護者としての正直な気持ちです。また、教職員の業務負荷の問題、またはコロナ感染症の問題で、部活動や学校行事が縮小傾向にあります。でも子ども達にとっては、かけがえのない貴重な学生生活です。今後学年費が多少上がることになっても（例えば合唱コンクールでホールやバスを借りる、部活動指導のできる人を外部から招くなど）、保護者からの了解が得られれば、積極的に変更してもいいと思います。コロナだからという理由で地域との交流も希薄になり、あらゆる行事や体験がなくなれば寂しいと思います。
- ・ 放課後の部活の他に、クラブ活動、体操クラブ・・・などできる様になったら、子供の教育、体力など、もっと活動が広がって楽しいと思います。
- ・ コロナウイルスが流行する中で不安があるが、必要以上の規制や制限は誤解や偏見のもとになると思います。消毒や密をさける、マスクなどは引き続き必要ですが、きちんと対策をしてもかかってしまった時にはしかたないと思える、心の余裕も今は大切だと思います。
- ・ 先日、友人が「保育園は年齢になると勝手に入園できるの？」と言われ出産から入園まで何も知らないことにおどろきました。そんな人が1人でもいるので母子手帳配布時や出生届提出時にしっかり話をしてもらえればいいと感じました。豊川市は待機児童ゼロみたいですが、隠れ待機児童がいる現状です。もっと早くから園について話しをしてもらえれば変わるのかなと思いました。自分が子育てしていく中でどんな地域に住んでいるのかを市の方から無知な私たちに教えてもらいたいです。
- ・ 小坂井地区の道の細さ、歩道の少なさが心配で1人で出かけさせることができない。人も車も安全に通ることができる道を作ってほしい。ふみきを渡るのも心配です。
- ・ 子どもが興味をもてる、展覧会や、市内にも岡崎こども美術館のような施設があるといいと思います。
- ・ アンケートを生かしてほしい。
- ・ このアンケートの間 21. 22 など、質問の項目に対して学校で行っている行事など（例えば、マラソン大会は体力づくり推進のため？）と行事とどの質問が結びついているのか判断しにくいので答えにくい。読書週間は読解力をつけるため？学年ごとに目標のページ数が決められているので、達成しようと本を手取るが、内容を把握しているのか、楽しんでいるのか、疑問に思う。教職員のさらなる質の向上、望みますが、どのような取り組みをしているのですか？赤ちゃん交流は道徳教育になるのですか？豊川市として、もう少し情報を発信して欲しいです。
- ・ 市の職員の皆様、日頃、市民のために働いて下さりありがとうございます。子、孫に関しては、以前とは大きく違い、様々な事が多様化する中、日々がんばっているのかと思います。何をもって「教育」というのか？というのは、個々、色々な立場で意見が違うのかもしれませんが、ただ、これから大人になっていく子供達が日々、着実に進んで行ける様、他の県・都市などの取り組みも参考にしてみるというのも1つの手段になったり

するのでは？と私的に思う事もあります。

- ・もう少し教育情報が分かったら良い。このアンケートの回答も現状がどうなっているのかという資料もなく、何に対してのアンケートであるか意味を見出せない。「こういうことに取り組んでいる」が「そう見えるか」というような比較できる資料が必要。豊川市に大学を招致していくと良い。ただ時代に合ったICTに特化した日本初の大学。子どもも大人も学べ、世界からも人が集まる。
- ・子供たちの体力向上、地域の方や自然とのふれ合いを目的とし、よく近くの公園に行かせているのですが、トイレが古くて汚く不衛生なのがとても気になります。夕方は子供たちが集まり大変にぎわっている公園です。トイレが汚く、がまんしてもらってしまう子供もよく見かけます。子供たちの為に早急に対応して頂きたいです。(寄付公園)
- ・色々聞かれても、分からないことが多いです。子どもが小・中・保育園と4人もいるのに。学校に関する事は、書面になってお知らせしてもらっていることもあると思いますが、読んだり読まなかったり。日常生活のあわただしさに流されているかんじです。・Withコロナの時代。人と人とのつながりが希薄になり、子どもの行動が制限され、生きにくい時代です。どのように、心身すこやかな子に育てていくか……。そう考えると、やはり、自然豊かな所での経験を数多くすることかなと思います。おかげさまで、我が家の子どもたちは、子どもらしく元気に毎日を過ごしています。・豊川市は、こんなことをしています。みたいな特集を広報にしたら、多くの方に見てもらえるのでは、と思います。
- ・アンケート調査に参加させて頂き有難く思いますが、人選が適切でないと思う。もっと現役に近い世代を選出して欲しい。
- ・豊川の教育は、他地域と比べてとても充実していると感じている。保護者も教員も市も子どもが主語、主軸においた指導や行政ができると良い。子どもたちは、将来、豊川市をよりよい市にするための宝であると思うからです。このように、豊川市をよりよい市にしようと取り組んでいる教育委員会、庶務課の方々に感謝したい。いつも誠にありがとうございます。
- ・今回のアンケートは現実問題として60代の私には理解できませんでした。孫が学校に関係するようになればまた違った考えがあるかも……。
- ・特別支援教育や障がいを持っている子どもたちへの設備のある学校をもっと増やしてほしい。子どもの数が減っていくので、特別に支援が必要な子どもに密度を濃くした教育ができるように考えてほしい。
- ・苦情の窓口を校長室に設置すること。モンスターペアレントや過激ないじめなどの案件については、若い先生に任せることなく、校長、教頭が積極的に介入するよう組織改革を進めること。
- ・新型コロナの対応など、むずかしい1年となりましたが、子どもたちのための対応を1番に考えて対応してほしいです。社会や大人の事情で行動するのではなく、子どもファーストの行動をよろしくお願いします。
- ・市民プールの変わりとなるものをあたえてほしい。蒲郡は市民プールがなくなったかわりにラグーナのプール500円券を各世帯に配布しています。このような活動をしてほしい。ただなくすだけでは意味がありません。西尾や安城、幸田のプールは大人500円、子供200円で市内外問わず人が入っています。豊川からもそちらにいつている人は多いです。このような施設を作ってもらいたい。
- ・とても、個人的なことですみません。以前、さくらんぼに子供が通っていました。毎日の送迎は少々大変で、そのうち、子供は飯田線と名鉄をつかって、通学しました。その費用も短いとはいえ月にすると費用はかかります。今、高校に通っていますが、定期には学割があります。ぜひ、いろいろ悩んだり、いろんな所へ相談したり通院したり、いろんな問題をかかえている時の助けがほしかったです。学割ほしかったです！！
- ・これだけのアンケートを書かせておいて何の成果もないというのはありえません。経費

も相当にかかっていると思います。どうか有効に活用して下さい。

- ・ 特別支援学級の生徒に対する差別や偏見が強いと感じています。普通学級に通う子の保護者にも差別的発言が多いです。発達障害とは、いろいろな子供達がいる中で、先生の数に足りていないと感じることが多くあります。個別対応が必要なため、職員を増員してほしい。教職員、保護者ともに発達障害について学ぶ機会が必要だと思う。不登校児のコミュニティーが欲しい。学校に通うことができない子供が昼間通える場所が必要です。精神保健福祉士などを配置し、(不登校児が話したり、相談したり、遊んだりする場所。) こういう場所を作って欲しいです。
- ・ コロナの感染防止のため、運動会も子供たちにとってはただの体育の授業になってしまった。コロナ感染が出ていないのに出ている所より厳しい判断ではなかったと思いました。感染しないが1番ですが、少し矛盾を感じました。
- ・ 行事の有無が学校ごとに対応が異なるのが気になります。楽しみにしていた行事がことごとくなくなり、親子共々残念に思います。障害児のPT, OT, STの訓練施設が他市町村に比べ少なすぎます。療育が受けられずにいる子が多すぎます。公立の機関でしっかり療育が受けられるようにしてほしいです。豊川市在住で新城市までSTを受けに行く方々を何人も見えています。居住する地域で療育を受け、地域で見えていける体制作りが早急に必要です。
- ・ 子どもの事を学校以外で相談できる施設や機関が少ないと思います。幼児期はもちろんですが、小学校高学年からの子どもとの関わり方に悩む親は多いと思います。ですが、新規での相談できる所はなく予約すらとれないのが現状です。子供が大きくなれば親よりも体が大きくなり力も強くなります。親だけでの対応も限界があります。親が助けをもとめた時に「予約はいっぱいだとれません」との言葉はとてもつらい言葉です。助けは突然必要になります。もう少し今より新規でも相談できる所があると助かります。親も子も少しでも笑顔で1日過ごせるように助け合っていける豊川市になってほしいと思います。教育に関しての意見ではない内容でしたらすみませんでした。
- ・ 子どもも、大人になり学校から距離をおき、現場のことが解らない？ただ子供に元気がない気がする。
- ・ 子供が5年生で野外活動がある年でした。残念ながらこの状況で市内の学校が一斉に中止になりやむを得ない事だと子供達も納得していました。その後、遠足や課外学習、発表会、かけ足全てなくなり、すごく残念な気持ちです。子供はしょうがないよねと言っていました。習い事で他の小学校がいろいろ集まる場で「〇〇に行って来た！」「キャンプファイヤーやった」など聞くことがあると、びっくりしてしまいます。小学校によって、こんなに行事に対する考えがちがうのか？子供たちがかわいそうでなりません。
- ・ 子どもと勉強しようとすると、市外に行くしかありません。(科学館等の園館施設) これまで、そういった所で学ぶ楽しさを知り、学校での生活も充実してきました。市内でもそういった施設やイベントが増えるといいですね。(とはいえ、〇〇〇はここ、△△△はそこ、と安定して知識を得られるほうがいいですね。)
- ・ 子ども達の遊びの場が豊川は少ない。低学年の時に児童クラブに入れず、夏休みが困ると相談したら、児童館をすすめられたが、東部小校区に児童館は1つもない。市民プールまたやってほしい。コロナの為に野活やマラソン大会など中止となったのは残念だった。学校で定期的に先生と子で困った事はないか1対1で話しているそうだが、子どものケアのためにとても良い事だと思う。今の子供達は部活ではなく、クラブチームでスポーツしている子が多い。先生も多忙なので部活動に重きをおかなくてもいいと思う。
- ・ 兵庫県の政令指定都市出身です。豊川市の教育はとてもレベルが高いと感じています。先生のモラルも高いと感じています。親の教育やしつけもいき届いていると思います。その反面、協調性が高すぎて、そこから逸脱してしまう子供に対しての子供、親の目線がとてもきつく感じます。個性ととらえているのか本心はわかりませんが、閉鎖的にも感じます。他県から来ると独特な文化に感じる人が多いです。

- ・ コロナ禍で大変だと思いますが、家にこもりがちになってしまうので、豊川市で大きなイベント（子供参加型）が行われたらいいと思います。
- ・ 孫のことなので教育がどうかっているかわからない。現状は運動不足で、身体を動かさないのですか上りもできない。しっかり子供を見てほしい。姿勢が悪い！ともだちがいないのではないかな？
- ・ 先日、東部小でコロナウイルス感染者の子が発生した際に、豊川市ホームページに臨時休校の内容が載り、年齢も10才代で出ていた為、他校の子を持つ友人から個人特定をするような連絡が入ることがありました。差別的扱いや個人情報保護の為に、掲載することが正しいのかと感じました。今後同じような事が他校であった場合、検討された方がよいのではと感じます。また学校側から発生後どのような対策されたのか、クラス全体のPCR検査はされたのか詳しい説明がなく、保護者も子ども達も不安の中、学校へ登校させる形となりました。せめて子ども達が不安なく登校できる範囲でいいので、学校から説明が欲しいと思いました。今後のコロナウイルス感染発生の際の学校の対応を検討していただけたらと思います。
- ・ ただでさえ100年時代と言われているのに、部活がへるとかなくなるとか、体をうごかさないと、何十年後の子供が健康でいられるのかがとても不安！！先生が大変なら他から来てもらおうとかいろいろあると思う。もう少し考えてもらいたい！！
- ・ アンケートをとるのはいいが、このアンケートがどう教育の現場に生かされたか、PRしてほしい。※アンケートを書く時間（労力）を無駄にしないようお願いします！
- ・ 意見を色々書いても、今迄もそうですが、あまり反映されないように思います。
- ・ 私が小学生のときから思うと、一クラスの人数も減り、学校の環境もとても良くなり学び易いと思います。大変な時期ですが、公園で楽しそうに遊んでいる子供たちを見るとホッとします。しかし教育ともなると、昔と比べると本当に大変だと、中3の孫の様子を見てると痛感します。特にこのコロナ禍、自由に学校訪問もできない状態。しかし本人は何とかしようと頑張っています。私が住んでいる地域は小学生、中学生が少なく、様子があまりわかりませんが、時々公園で、スマホでゲームをしているのか、2～3人でベンチに座り頭を寄せ合っているのを見かけます。一生懸命楽しく勉強し、運動し、たくましい子供を育てて欲しいと願うばかりです。
- ・ コロナウイルス感染対策もあるので、なかなか難しいと思いますが……。未就学児～老人までが関われるイベントが多いと嬉しいです。外国の方々も参加しやすいようなイベントがあると、子供達には刺激になると思います！！
- ・ 職業柄、守秘義務は守っていますが、もう少し学校からの情報が必要です。
- ・ 学校でどのような取り組みをしているかはよく分かっていません。どうしたらと聞かれても分かりませんが、自分の子供が、長男はグレーゾーンな子なのでいろいろ心配な事がありました（家は、勉強面です）。次女は長男に比べてさほど勉強には困りません。なので、グレー、障害、不登校などの子を持つ親に、アンケートを取ってあげると山ほど意見が有ると思います。
- ・ 今年はコロナで生活が変わった方が多いと思います。市から来るメールで、公園で不審者が出たなどを見ても思うのですが、外に出る機会が減りました。こうなってくると、家庭がいかに大事かと考えさせられます。共働きのご家庭だと、子どもさんは大丈夫かな？とときどき思います。豊川市で今すぐは無理でも、またみんなが楽しめるもの（お祭りとか）できたら良いなと思います。
- ・ 「豊川市の子どもたち」全体に関わる設問は分かりづらく、答えることができませんでした。まずは自分の子どものことから、できることに取り組んでいきたいと思います。アンケートの作成、集計、お疲れ様でした。今後とも豊川市の教職員、子どもたちが、笑顔あふれることを願っています。
- ・ 授業の進み具合や宿題の量・内容等が、担任によって差があります。同じ学年でもクラスが違くと進度がバラバラということもあるようです。各学年である程度統一して授業

を進めてもらい、新学年になった時に授業の理解度等にバラつきがないようにしてもらいたいです。1年間、全く使用しなかった教科書（ことばのきまり）があると子どもから聞きました。各学年で様々なとりくみをして、授業以外にも時間をとられている中、先生も大変かとは思いますが、子ども達の授業時間はきちんと確保してもらいたいです。学校で十分な時間がとれないのなら、その旨を家庭に伝達していただければ、家庭で補っていけるかと思います。また、共働き世帯が増えている現状で、PTA活動が負担になっています。廃止もしくは外注できるものは業者にまかせる等して、PTA活動の見直しをお願いしたいと思います。毎年PTA役員決めの時に貴重な時間をとられるのは困ります。

- ・ 豊川市では、教育支援について色々に行っているのかもしれませんが、それが家庭まで届いて実感することはございません。小学校でどのように教育、学習をしているのか、ほぼ親たちはわからない状態です。こんなものなののでしょうか。先生の指導にもやはり個人差がございます。熱意のある先生は自発的に、人権問題、学習支援など行っているという印象です。先生全体の意識は、冷たいものを感じます。子どもたちを教育するということが、責任重大で、将来や人格形成に少しは関わることも視野に入れながら、担任を持ってほしいものです。そして子育てには親の知識も必要で、家庭環境は最も精神的影響の受けやすいと思います。育てにくいお子さんをはじめ、そうでない子も、親として子育ての知識というものがスタンダードに備わっていてもいいのではと思います。子どもは勝手に育つわけではありません。親が導くものです。土台をしっかりと築いて、強く思いやりを持つ余裕が持てるのではと。核家族化の時代だからこそ必要だと思います。地域全体、市全体、県全体、国全体で子育てを行うべきです。
- ・ 豊橋と違い、豊川市はコロナの情報が分かりにくい。
- ・ 孫と別居しており、問 11、21、22 は回答不可です。
- ・ 子供が不安定である事を、親・教育者は気付きながら、大きな問題にならないければ知らなかったという。せめて子供からサインを出した時は、家庭・学校・地域どこでも良いので事実を受けとめ考えなければ、子供は何を信じれば良いのかわからない。大人は逃げずにむき合う行動をだれかがしたら、少しは救われるのではないのでしょうか。すべての見本は大人だと思う。
- ・ コロナで大変な時期だと思いますががんばって下さい。
- ・ 時代背景に応じて規則も変えるべき。学校の体操服が高額のわりに素材が悪いのか、すぐ毛玉ができたり伝線したりする。
- ・ 豊川市内であつてもはんだんがちがって、特にメールの連絡がおそく感じます。登下校の班についても、毎年のように問題があり困っています。雨が降れば車で登校、下校も車で帰ります。1人で下校という事が多々あり、学年下校など意味がありません。1年生の子がお困っております。
- ・ これからの子供達の為に、大変だとは思いますが子供一番の考えでお願いしたいと思います。
- ・ 部活動の活動縮小がさびしく思います。先生方の負担が多く、大変だということは承知していますが、地域の方から指導者を招くなどして、朝練や土日の一日練習などができるようになると良いと思います。
- ・ 先生方にはいつも丁寧な指導に大変感謝しています。ただ、指導という間の集団行動は軍隊だ・・・。自分は兵隊、先生は王様のつもりかと子供が発した事が脳裏をよぎります。先生が考える平等は生徒が感じる不平等。大変かと思いますが生徒ひとりひとりを、かたよりなく差別なく、指導を願います。
- ・ 子供も 50 才に成長し、孫も 23 才に成長しています。誠に申し訳ありませんが、教育、学校については縁遠い事柄と成っています。アンケートに答える事が出来ません。学校が楽しいと言える子供が出来る様に御指導を願う。
- ・ コロナ、これからの時代、体力UP、あいうべ体操は毎日取り入れてほしい。姿勢もよ

くなるし、歯並びも悪いので。

- ・ 子供が通っている小学校に言葉遣いが悪い若い女の先生がいて、数年前から気になっていいます。教師としての言葉遣いではないので、教育委員会の方からこの先生に限らず、注意を促していただきたいです。
- ・ 今後、学校行事が前のように行えるか心配です。学校によって対応が違っているのに、統一すればよいのにはと思います（運動会、学芸会、キャンプなど・・・やる子とやらない子がいたり・・・）。
- ・ 比較対照が難しい質問が多かった。
- ・ 忖度しか考えてない。個々の意見が言えない環境。
- ・ 子供はもちろん、大人も含めて、公園内にいろいろな気軽にスポーツが楽しめる環境を作って頂きたいと思います。バスケットゴールの子供用、大人用の設置。サッカーゴールの設置。“あの公園ならあのスポーツが出来るから、行こう”と親子、友人、おじいちゃんおばあちゃんと出掛ける、そんな人たちが集まると、コミュニケーションがスポーツをすることで広がっていく。そしてさらにスポーツイベント（だれでも気軽に参加できる）を企画して頂き、さらに町が盛り上がり、豊川市全体が良い方向へ向かっていき、1人1人が楽しく人生を過ごせる、そんな形になるとよいと思います。教育（子供のスポーツ教育）としてそのような環境を望みます。宜しくお願いします。
- ・ 問題が山積みなのに、相談しても「うちの担当じゃないので」とたらい回しにされ、まともに対応しない。問題提起をしても無かったことにされる。隠匿される。豊川市の教師の中に、小児性愛者の変態が複数いる。地域との関わりは大切とは思いますが、危険人物が多すぎると思う。子供たちとの関わりの前に、そのような人物たちを無くす方が先だと思う。PTAはどの地域でも親同士のけんかの元、いじめ合いの元になっている。共働き世帯が大半になっているのに、無償での強制参加は異常だと思う。自由にPTAの入退会できるようにすべき。時代に合っていない。教師や市には声が上がっていないが、役員のなすりつけ合いで親同士の争い、親同士のいじめからの、子供たちにもいじめが及ぶという悪循環。担当部署じゃない等と、責任転嫁のし合いをせず、きちんと市としての役割を果たしてほしい。
- ・ 校区内の洋品店が閉店してしまい、体操服などの購入先に困っています。イオンにも販売してください。よろしくお願い致します。
- ・ 特別支援教育に関してですが、学校によって対応が違うところや、これは個人の性格になってしまうのか、担当される先生によっては特別支援学級にあわない先生が配属されていて、保護者が対応に不満があるということを何度か耳にしたことがあります。支援が必要な子にこそ自己肯定感が高まるような指導をお願いしたいです。又、自分たちが子どもの頃のイメージでは、特支に対する偏見を持つ保護者の方がよくいらっしやり、それで子どもが発達的に心配なことがあっても、普通級を希望される方が多いと聞きます。そういった時の対応は私たちが知ることはないと思いますが、気になりました。今コロナ禍で大変なことと思いますが、よろしくお願い致します。長々と失礼しました。ありがとうございました。
- ・ 特別支援教育について、人員数の問題だけでなく、ちゃんと研修を受けて専門性のある人が教師として配属されているのか、疑問に思うことが多いです。もし、教師として資質が足りない方が学校にいたとしたら、周りの先生たちは見て見ぬふりはしないで、せめてフォローに入ってあげてほしい。その教師だけで何とかしようとするから、余計に問題が困難さを増してしまう。ちゃんと話し合ったりしてるのか？職員会議って、一体何を話してるの？・・・とか、いろいろ余計なことを考えてしまう。
- ・ 特別支援級について。学校によって、先生によって、対応に差がありすぎると感じる。先生方は研修等受けていただき、障がいや特性についてある程度は理解しておいてほしい。親としては、その子が将来社会に出て生きていけるか心配で、毎日の学校生活で学ぶことが将来に直結する部分もあると思っているのに、先生方の知識量、やる気によっ

ては本当に残念に思いますし、できるだけめずに対応していただけるよう、色々と考え、提案するのも本当に心身共に疲れる作業です。研修等受講と、あと、やる気がある、特別支援に向いているなど、適した先生を配置してほしいと願っています。少人数の普通学級状態では、支援級に入れている効果が低すぎます。

- ・ 前の市長も今の市長も子供や教育についてそれほど考えているとは思えない。子供受給者証も、近隣の市町村で一番遅かった。一極集中で旧宝飯郡地域に何かしてもらった実感もないので、子育て世帯として住みやすい地域とは思えない。老齢期の方達は、最近では豊橋より良くなっていると言うので、それを全世代で広げてほしい。最近では国府高校もレベルが上がっていると言われていたらしいが、県立であり市がかかわっている学校ではないのでそこを目指せる小中学を作っていってほしい。
- ・ 中学校において、先生方が暴力的な言葉を使う。内申点を人質にとり、言いたい放題、やりたい放題。先生が暴言を吐くのはOKで生徒が先生に暴言を吐くのはNG。e t c →両方NGだけど先生は大人、生徒は子供。義務教育は何度でも指導でやり直せる機会があると私は思う。大人が言う方がよっぽど悪い。先生同士のケンカをどうかで行い、生徒がびっくりしたり不安になったりしている。親の夫婦ゲンカをみせるのも今は虐待なので先生のもめ事も見せないで欲しい。親同様、先生は子供にとって一番身近な大人だということを意識して、見本となるよう行動や言動に注意して欲しい。不登校や、特質のある生徒への対応の勉強をして欲しい。保健室登校や、他に気軽に行きやすい教室を作りたい。他の都道府県のいいところを真似して実践して欲しい。大学からすぐに先生になれるシステムを変えて、一度3年間社会へ出て勉強し、そこで教師になれるような人柄が査定されて合格が出た人しか教員免許を受けることが出来ないようにして欲しい。怒鳴らない指導を、お願いしたい。公平性を尊重して、親が言った方になることがあったので先生だと困ることもあると思うので、ピアノのオーディションは先生でなく、必ず外部の方がきき、その場で判断し伝えて欲しい。(ピアノの先生など、ヤマハ検定5級以上。)
- ・ 項目が多すぎ。孫は遠方だし、あまり耳に入ってこないで、調査内容が細かくて、理解がよくできない。多様性、むずかしい教育。子供は将来の日本を支えていく大切な宝ものだと思っています。さらなるご努力、よろしく願いいたします。＜気になるワード＞地球環境、格差問題、優しさ寛容さ、挫折しない精神、リベンジできる社会、弱者を見捨てない、努力したことが報われる仕組み、成功体験をして、前向きになれること、など。
- ・ アンケートに答える機会をくださりありがとうございます。豊川市だけでなく、スマートフォンやネットの充実によりゲーム依存、子どもの心の病気が問題になっていると感じています。そのような問題に直面した際、明確な相談窓口がわからず保護者も学校も戸惑う事が多く、また相談しようにも専門機関は予約がいっぱいだったり使い勝手が悪いと思っています。我が子は保育所に通っていますが、子育ての相談に気軽に乘って下さる先生もいれば、挨拶もきちんとできないような先生もいたりして教育者の方も色々いらっしゃるのだなと思うのですが。担任の先生がコミュニケーションの難しい方だった場合の相談口非常に困ることがありました。挨拶も返さない先生、結構ベテランの方です。ちょっとどうかと思います。学校、保育所の人員が少ない事はわかりますし、とても感謝しています。勤務時間を超えて対応してほしいとまでは思っていないですが、相談できるような第三の機関があったらと思いました。保護者も不安です。
- ・ インターネットを利用した情報発信に力を入れてほしい。市のホームページは20年前のレベル。使い物にならないです。豊川市民として恥ずかしい。・ 地元の人にしか読み取れない情報発信をやめてほしい。学区での表記をやめてほしい。特に、豊川医師会のHPがひどい。県外から転入した際、学校も病院も調べるのが非常に困難です。・ 小学校の先生方は熱心に指導して下さっていると思いますが、副担任、もしくは補助の先生を確保してほしいです。・ 中高生の交通マナーが非常に悪い。さすが事故率ワースト県

民の子どもたち。と揶揄されて当然だと思います。特に部活動で自転車移動する時とテスト期間中のマナーがひどく悪い。

- ・ 「豊川市の子ども」や「豊川市の教育」と言われても、遠方で働いているため、日常で子どもたちを目にする機会がほとんどないため、回答に困った。子育てが終わると、ほとんど情報が入ってこない。
- ・ 学校でもらうおたよりが多すぎる。毎日兄弟ですごいもらってくるので共働きで見る余裕がないと本当に必要な情報をみのがすことも。自分自身はそんな必要ないものが多いため、ぱっとみて捨ててしまう事が多いです。そろばんをやらせたくて、知り合いの所は桜町校区で週4で月1,500?だったかつて聞いていて、諏訪では近くの場合は全然高いし、日数も少なく断念しました。学べる環境でも校区で全然違うのでもったいないと感じました。
- ・ 先生たちには大変お世話になり感謝しております。コロナ影響により授業を工夫しなければならず、大変な状況が続くと思いますが、感染に注意してがんばって下さい。子どもたちは登校し、友だちと会えることを楽しみにしていますので休校にならず教育現場がコロナから守られますよう願っています。
- ・ コロナ対策が、されておらず、未だに、集団で行う行事、会合、活動をしている事に絶句と、あきれております。差別もあり、課題は山積みであります。対応の遅さ、知恵の無さ、こりかたまった風習、責任転嫁、大人の質が悪いので、子供を守る事は出来ない。教育者の質も落ちているので、不安しかありません。
- ・ 日頃、仕事と家庭のことで精一杯で、町内の役がまわってこない限りなかなか地域にまで目を向ける機会が持てずにいるのが現状です。子供達も社会人になり尚一層学校や教育とは、関わりがなくなりました。コロナ禍で発症されてしまった方や、また、その周りの関わる方々が、差別や偏見の目で苦しんでいらっしゃると思います。今求められるのは、お互いの協力と、支え合う温かい心かと痛感しています。差別のない住み心地の良い町であってほしいと思います。
- ・ 小学生はランドセルでないといけない理由はあるのでしょうか？安全性のためなどあるかもしれませんがそれ自体が重いため又高額なので他のもので代用してもいいのかなあと感じています。現在、年中と小2の子供がいます。今まで出会った教育者の方はみなさん素晴らしい方ばかりでとても恵まれています。テレビなどで目にする様なことが実際にあるのか？といつも思っているほどです。
- ・ 学校と係ることが全く無くなってしまったので、意見を書くにも、何とも仕様がな。日頃から何らかの方法で、学校とか子供たちと係る機会があったら良いと思うのだが・・・、いかがでしょうか。
- ・ 学校の担任の先生が大ハズレの時があります。理不尽に怒られ、大声で怒鳴られることがあるので、先生がイヤなことはもちろんのこと、学校が大キライになっています。クラスの大多数の生徒や保護者が先生に不満を持っています。でも学校には言えません。先生への言葉遣い等の教育をしてほしいです。
- ・ 豊川市の教育って何なんだろう。これといって名物の教育法もない中今回のアンケートの意味がわからない。性犯罪防止の強化、制服や体操服の生地が薄く下着が透けているところがある。見ていて可哀想。豊川の学校全体でそういう視点で考えてほしい。
- ・ 子供が卒業後は、教育に関して、無関心になってしまいます。卒業したタイミングならば、多くの意見があります。それをうまく反映出来る様にして頂けると良いと思います。方法としては、手間はかかってしまうと思いますが、個別にアンケート用紙を郵送する方法など。
- ・ コロナで生活が一変してしまい子供達にがまんをさせる事が多くなりました。遠出も出来ずにいます。豊川市内の施設を充実させて近場で安全に遊べる様にして頂きたいです。(夏に行った日本列島公園は木々の剪定がされておらず、ベンチもこわれたままです。とても残念な気持ちになりました。) 子供達が遠足で行ける様に手を入れて頂きたいです。子

供達が入学したばかりで学校教育の内容をあまり分かっておらず質問にうまく答えられなかったです。これを機に子供の成長を通して教育について考えていきたいです。

- ・ 市民プールがなくなってしまったので、夏に子供が楽しめる施設があると助かります。新しくできた公園には遊具が充実している所が多く、密になって遊べなくなる事があります。体を動かす機会を増やす、気軽に出掛けられるような場所を作っていただければありがたいです。
- ・ このようなアンケートによって参加意識が高まります。自らはなかなか参加する機会がないので、このような発信には感謝します。豊川市の発展には協力したいです。ありがとうございました。
- ・ 園から小学校、小学校から中学校へ上がる時、子どもが少しでも困ることがあると感じたら、様子をくわしく伝え、専門機関に通うなどして、子どもが少しでも学校生活に困らないように援助してほしいと思います。園や学校の様子をきちんと伝えないと、子どもの本当の姿を知らないまま進んでいき、自立生活できなくなってしまう方が大変です。見て分からない発達障害が自分も相手も辛い思いをしてしまいます。
- ・ 他の市に比べて教育レベルが低いのではないかな。
- ・ ランドセルの購入についてですが豊川市の小学校では必ずランドセルで登校と決まっているのでしょうか？ランドセルでもリュックやその他のカバンでも自由で良いとしていただけたらと思います。学校との連絡が電話のみというのは困ります。メールやLINEなどの連絡方法があれば便利ではないでしょうか。トイレの出入口には消毒液を置いて消毒をさせた方が良いでしょう。給食当番の子だけ消毒してもらえようのですがそれだけでは不安です。
- ・ 学校の行事、部活動の時間がどんどん減らされている事に、親子共々残念に思っています。外部コーチを入れる、教員の人員を増やすなど、教員の負担を減らしつつ、学校行事の充実を図ってほしい。勉強、運動、学校行事など、すべての事において意欲がない子供が増えている事がとても気になります。
- ・ まだ子供が小学校低学年と小さいので、あまり市の教育に対し触れる機会がありませんが、あらゆる子供たちにとって安全かつ平等に教育の機会が与えられる豊川市であってほしいと願っています。
- ・ 学校からのお知らせ等のプリント類はなるべくペーパーレス化した方がよい。学校への休む等の連絡や、休んだ時のお便り等も人伝いではなくてメールやアプリで出来るようになって欲しい。豊川市内の小学校では、コロナに関する対応は揃えた方がよいと思う。
(修学旅行の時期・行き先・交通手段や、運動会の密具合、授業数の増やし方、行事の判断基準など。)授業の用意や宿題など、各教員が毎度用意しているように思うが、市内の学年で統一するなど、効率化をはかれるとよいと思う。食育は大事だが、残す児童が罪悪感や嫌な気持ちになることがないようにして欲しい。部活動は教員の負担にならないよう、外部からの指導者の受入れ等の予算を付けて欲しい。どんどん新しく、良くしていった下さい！！
- ・ 先生が授業・教室でスマホを使用するのは、通常でしょうか？疑問です。
- ・ 転入前の県では、発達障害児の教育サポートが充実していた。転入したら、親が必要か否かの判断をせまられ、様子を見ることにしたが、現在グレーゾーンの状態においても、市内に受診出来る病院がなく、市外の病院の予約もなかなかとれない状態。普通級と支援級の間がなく、通級は1h／1w～2w担当の先生も「あまり意味ないです。」と言うし、受け皿自体が少ないのではないかな？市内高専は定員人数が少なく選択肢がない。もう少し発達障害児やグレーゾーンの子供達が学びやすい環境にしてほしい。
- ・ 我が家には今年小学校に入学した子がいます。入学式翌日から長期連休に入り、親としてイレギュラーな事に大変とまどいましたが、担任の先生から丁寧にまとめた宿題等用意をしていただき、とてもありがたかった事がずっと心に残っています。今でもコロナ対策のためにできない事、中止になった事がありますが、この1年でも子供たちは心も

体もとても成長しています。無理な事もあるとは思いますが、いろんな事を吸収して学ぶ時期。「コロナだからできなかった」ではなく「コロナでも有意義なときを過ごすことができたね」と、振り返った時に子供達に思ってもらえるような生活を提供してもらえたらなと思います。

- ・ 放課後のおあずかりを、もっと、安く、だれもが利用できることとすかります。パートでも、ギリギリ子供のかえりに間にあわない 15:00 までだと利用できず。でも、生活のためにはギリギリで、子供との時間も大切にしたいと思っているので、フルパートまでにしたくないのでよろしくお願いします。
- ・ 登下校時の夏の暑さ対策が許可されている学校とそうでないところがあるようで、熱中症の心配があるため、市全体で対策をするようにして欲しい。生徒の家族が勤務する職場でコロナウイルス感染者が発生した場合、子供は登校しても良いのかなど、感染が広まっているので色々な想定をしてルール作りをして欲しい。小学校で学童に入っていない生徒を単発で預かってくれる制度を作って欲しい。下の子の幼稚園の行事などの都合で子供が帰ってくる時間に幼稚園に行かなければならない状況があり、近くに子供を預けられる人がいないため、小学校に早く迎えに行ったり、父親に仕事を休んでもらうなどの対応が必要で困ってしまうことがあるから。
- ・ 駐車場、トイレの設備が有り大きな広い公園、月に 1～2 回手作りマーケット e t c フリマ、水あそび、室内室外の遊具がある場所が出来るが良い。子育てするのに公園は小さく少ない駐車場がない不便。
- ・ 子育てするなら豊川市、というのならもっと、発達障害の子ども達の理解や支援を充実してほしいです。どことなく障害のある子どもに対して比べられたりするとところが嫌な気分になります（発達障害を持つ子の親として）。子育て情報をスピーディーに知らせしてほしいです。
- ・ 子育て+会社員として働くことがとても大変です。保育園は 7:30～なのに会社は 8:00。通勤に 30 分しかない。現在子供が中学生ですが、学校でも何かとお金もかかり高校や大学のことを考えると（お金の事で）2 人目が欲しくても作ることができません。そういった事を気にせず子供を作る事ができる環境を整えて欲しいです。
- ・ 小学校の校風による、指導力の違い。ゆるすぎる学校、厳しすぎる学校がはっきりしている様に思う。私学ではないので、ある程度同レベルであってほしい。
- ・ コロナの中御苦勞様です。たいした回答ができなくてすみません。
- ・ 親がもう少しちゃんと教育をするべき。その上で保育士や教員の質の向上。※学校及び先生方は親（保護者）の顔色を伺い過ぎ。時にはもっと厳しく指導してもよいと思う（昔の様に）。それが可能になる様に豊川市の教育現場全体で保護者に媚びない方針を共有し、実行してみても？部活の活動強化。年間休止日が多すぎる。もっとハードでよい。それを可能にする為には指導者への報酬も増やす必要性有り。
- ・ 子どもの教育には、良い大人、良い社会が最も大切だと思います。より良い社会づくりが子どもの教育のためにはいちばん良いことだと思います。これからも頑張ってください。
- ・ 僕は農業をやっていてよく行事に参加しています。娘は 2 年生になったら学校がつまらない。いきたくないといいます。友達とうまくいってないかと思ったら先生とうまくいってないみたいです。今だけかと思ったらそうではありませんでした。授業参観にいった時びっくりしたのは先生が呼び捨てだったこと。なんか強い口調だし。娘はもっと自分をだせる子だったのに完全に怖がって委縮してしまいました。大人しくなっていました。面談の時には大人しい子ですねって言われて全然みていない人だとわかりました。新人の先生みたいですがもっとベテランの先生にもサポートして頂かないと親としては毎日心配です。
- ・ 産まれてからずっと豊川で過ごして来ました。自分達が学生時代の頃に比べると少しづつ全体が良い方向に向かっている気がします。ですが学力差やイジメ問題は、未だ解決には、難しいように思えます。学力差は、貧困家庭に支援があると嬉しいです。それと

先生以外の方が教えてくれるなどのサービスが充実して欲しいです。いじめに関しては、加害者との接触を避けるように努めてほしいです。相手の保護者にも伝えてほしいです。監視カメラを取り付けるのも有りだと考えております。

- ・ 先生も学校もよりそう事をしない。同級生の親も知っているのに差別するような事をする。私の子供は軽度の知的障害で支援級に通っています。相談しても意味がない。学校に通わせたくなくなる。支援級の先生もそうですが、もっと障害のある子供に対する接し方を勉強してほしい。
- ・ 現在、小学生の子供（小1）がいるが、このアンケートを通して、学校がどういう取り組みをしているのか、知らないことがたくさんある、ということに気づかされた。いかに、知る機会がないか、知らされないか。4月より、コロナ休業をしいられているが、児童クラブに1回も出席していなくても、籍を抜くと必要になった時に入れなくなると困るので、費用を毎月払い続けている。休業証明書の提出で、免除（又は減額）して欲しい。費用も他市町と比べて高い。
- ・ 好き嫌いで子供に接している先生が居るので、明らかに子供から見て分かる態度など、やめた方がいいと思う。先生が子供へ通知表で評価するのだから、匿名で生徒も先生の評価すべきだ。そういうアンケートをやるべき。先生の常識は一般の会社員や社会で働いている人たちの常識が違うので、そのズレを合わせる機会があるといいのに・・・と思う。今の子供たちには、思いやる気持ちがなく、自分さえよければそれでいいという感じの子が多く、傷つく言葉を平気で言う。多分言ってる子は、大人から見て分からないような子。イジメにつながる。もっと目を光らせていないと不登校の子が増えてしまうと思う（先生にも限度があり出来ないとは思いますが）。
- ・ 読書に親しむ取り組みを行っていて良いと思います。図書館、プラネタリウムよく利用します。市の広報紙も、引越してきて何も情報がない時に大変助かりました。・未就学(園)児が雨に日や真夏、真冬にのびのび遊べるような屋内の大規模な公の施設が1つあると嬉しいです（公園は大きなものもありますが、夏は暑すぎて利用できません。近隣の市まで出かけているので・・・）。食育教育、子どもにもよく届いているようです。給食も美味しくいただいています。
- ・ このご時世、PTAの役員というのはいらないと思います。コロナの影響で収入減の中、仕事を休んでまで役員会に参加したりする必要がないと思います。考えるとストレスがすごいです。学力が低い子に対する対策を学校でもっとして欲しいです。収入によって塾に通わせることが困難な家庭もあります。
- ・ 市民プールは必要。外で遊べる大きな公園、整備された公園はたくさんあってよい。雨でも遊べる施設が必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染症について、先生、保護者の考え方に個人差をうめる事は出来ないと思いますが、学校生活の慣れはとても心配です。各クラスでの感染対策の徹底をお願いしたいです。

